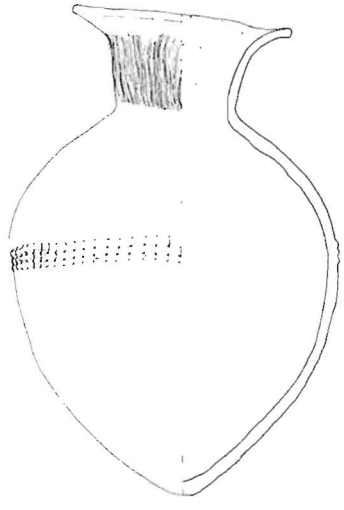
熊本大学埋蔵文化財調査報告書第6集

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅵ

（1999・2000・2001年度）



2010

熊本大学埋蔵文化財調査室

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅵ

（1999・2000・2001年度）

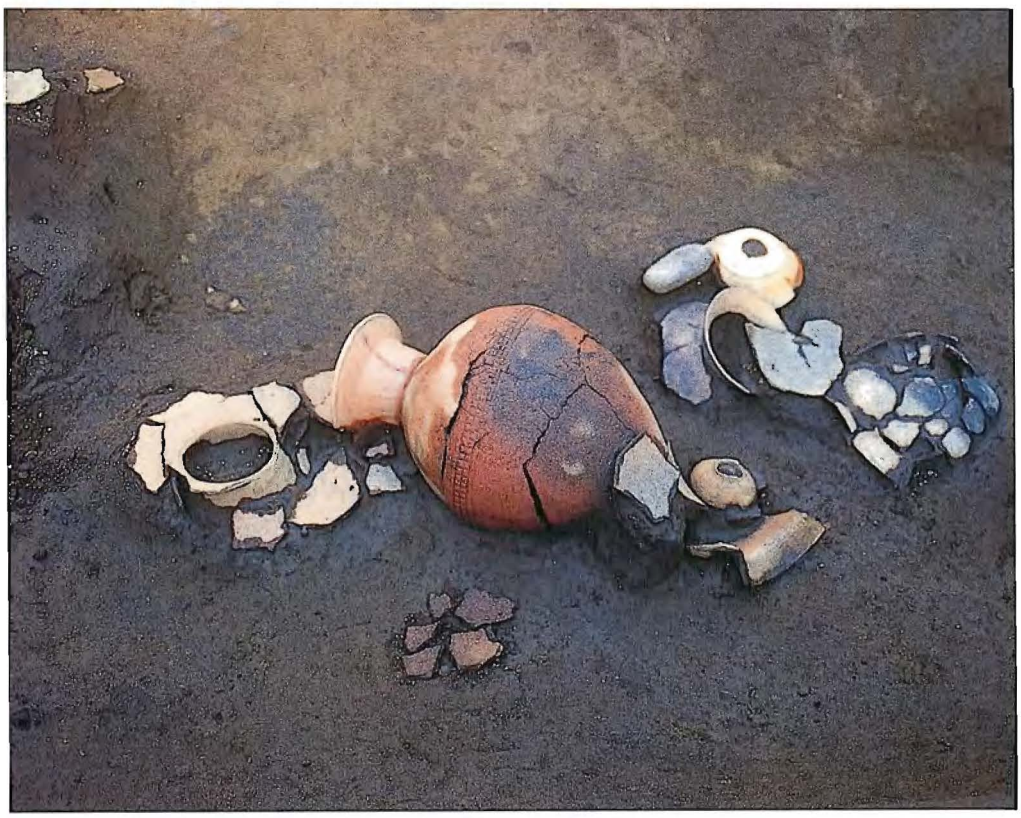
2010

熊本大学埋蔵文化財調査室

1．本庄遺跡0101調査地点調査区遠景

2．本庄遺跡0104調査地点30号溝

1．本庄遺跡0104調査地点144柱穴地鎮具



2．本庄遺跡0119調査地点1号溝遺物群

序　　文

本書は、1999年度・2000年度・2001年度の３年間に実施した発掘調査の報告である。

1999年度の調査は、1998年度末の補正予算による事業調整により先送りされた西病棟建設に伴う発掘調査で始まった。２名の調査員が調査にあたったが、半年を要する調査であった。また、この年の年度末にも、補正予算によって急遽、発掘調査を実施せねばならず、立会調査及び調査室年報の作成と並行しての調査であった。2000年は病棟新築に伴う関連設備と周辺環境の整備の年であり、その他の地区でも開発事業は緩やかであったが、調査面積に比して、遺構密度や遺物の出土量が多い地点の調査となった。また立会調査から本調査へ
切り替えた事案は、調査期間・体制確保に苦慮する場面もあった。2001年は、黒髪地区・本荘地区で建物建築に関わる発掘調査が４件あり、年度末まで多忙の年であった。

黒髪南地区での発掘調査の成果は、これまでに実施してきた発掘調査で得られた成果とは異なった。大きな要因として、調査地点の立地があげられる。３か所のうち２か所の調査地点は、黒髪南地区の南端である白川沿いであったため、これまで調査を行ってきた古代の集落址ではなく、近世・近代の畑址と墓地が検出され、近世・近代における白川河川敷の様子が明らかとなった。これにより、古代の集落址の範囲も、ある程度推定できるようになった。別の調査地点では、旧制熊本高等工業学校時代の遺構が検出され、黒髪南地区の西側は旧制熊本高等工業学校時代に運動場として削平されていることを追認した。

本荘北地区では、医学部総合研究棟・西病棟及び関連設備・共同溝の建設工事により発掘調査を行った。古墳時代・古代の集落址を検出し、膨大な量の遺構と遺物を検出した。また、本地区では初めてとなる弥生時代の遺構を検出し、構造物による土地利用が弥生時代まで遡って確認された。一連の調査により、敷地の西側ほど旧地形が低くなっており、遺構の密度も非常に高く、保存状態も良いなど、遺跡の分布状況について、広範囲にわたって把握することができた。

本学における再開発に伴う埋蔵文化財に対する取り組みは、今年で16年目を迎える。本年度、埋蔵文化財調査室は移転し、展示スペースを設けた。これまでに得た資料の展示公開へ向けて準備を進めている。本書とともに、構内で実施された発掘調査の成果が、広く活用されることを切望するとともに、今後とも文化財の保護と普及啓蒙に努めていきたい。

構内遺跡の発掘調査にご協力を惜しまれなかった熊本市教育委員会、熊本県教育庁および周辺市町村の文化財ご担当各位には、深く感謝申し上げます。

平成22年３月24日

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会

委員長　伊藤　重剛

例　　言

1．本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査室が1999～2001年度に実施した発掘調査に関するものである。

2．本書に収録した成果報告は、1999～2001年度に埋蔵文化財調査室が実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、黒髪北9907・9909・0102調査地点、（本荘北）0006・0101・0104・0119調査地点７つの発掘調査に関する成果である。

3．上記調査地点の報告にあたっては、下記のように地区ごとに分けて報告する。

Ⅱ章：黒髪南地区　9907調査地点・9909調査地点・0102調査地点

Ⅲ章：本荘北地区　0006調査地点・0101調査地点・0104調査地点・0119調査地点

4．以上の調査を実施した1999年度～2001年度の埋蔵文化財調査室の組織と調査体制は以下のとおりである。

1999年度　室　　長：甲元眞之（文学部教授）
　　調　査　員：小畑弘己（文学部助教授）
　　大坪志子（文学部助手）
　　事務補佐員：松嶋木綿子

2000・2001年度　室　　長：甲元眞之（文学部教授）
　　調　査　員：小畑弘己（文学部助教授）
　　大坪志子（文学部助手）
　　事務補佐員：冨永明子

5．遺物番号は地区ごとに１から番号を付けている。写真図版中の番号はこれに一致する。

6．本文は、小畑弘己、大坪志子が執筆した。

7．本書に使用した遺構実測図に関しては、小畑弘己をはじめとする調査に参加した熊本大学考古学研究室学生諸氏、および埋蔵文化財サポートシステムの手によるものである。

8．本書に使用した遺物実測図は、神川めぐみ、田上慶、髙濱美來、谷川優子、長谷智子、山嵜早苗、小畑、大坪志子が製作した。

9．本書に使用した図版の製図は小畑、大坪、増井弘子、鬼塚美枝、早川翔が行った。

10．遺構実測及び製図には手描による記録とともに遺跡調査汎用システム（カタタ Ver.3－アーケオテクノ社）、アイシン精機株式会社の遺跡実測支援システム「遺構くん」及び製図システム「トレース３Ｄくん」を使用した。

11．本書に使用した現場写真は小畑・大坪が、遺物写真は小山正子、末吉美紀がこれを撮影した。

12．本書で使用した遺物観察表は、江口路、首藤優子、山嵜、神川、田上、髙濱、小畑、大坪が作成した。

13．本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財調査室が保管している。

14．本書の編集は大坪が行った。

本　文　目　次

Ⅰ　構内遺跡と調査の概要
1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要 …… 1
2. 調査に至る経緯 …… 4
3. これまでの調査と本書収録の遺跡 …… 5
Ⅱ　黒髪南地区の調査
1. 工学部実験用プレハブ新築工事に伴う発掘調査（9907調査地点）……19
（1）調査の目的と経過 ……19
（2）調査区の基本層序 ……19
（3）検出遺構 ……23
（4）出土遺物 ……23
（5）まとめ ……23
2. 工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・
ラボラトリー棟新営工事に伴う発掘調査（9909調査地点）……25
（1）調査の目的と経過 ……25
（2）調査区の基本層序 ……25
（3）検出遺構 ……27
（4）出土遺物 ……27
（5）まとめ ……28
3. 黒髪団地南地区基幹・環境整備に伴う発掘調査（0102調査地点）……33
（1）調査の目的と経過 ……33
（2）調査区の基本層序 ……33
（3）検出遺構 ……33
（4）出土遺物 ……35
（5）まとめ ……35
Ⅲ　本荘北地区の調査
1.（医病）基幹・環境整備に伴う発掘調査（0006調査地点）……37
（1）調査の目的と経過 ……37
（2）調査区の基本層序 ……43
（3）検出遺構 ……44
（4）出土遺物 ……48
（5）まとめ ……55
2.（医病）医学部総合研究棟新営工事に伴う発掘調査（0101調査地点）……61
（1）調査の目的と経過 ……61
（2）調査区の基本層序 ……62
（3）検出遺構 ……62
（4）出土遺物 ……73
（5）まとめ ……74

3.（医病）基幹・環境整備（共同溝設置）に伴う発掘調査（0104調査地点）……79
（1）調査の目的と経過……79
（2）調査区の基本層序……81
（3）検出遺構……81
（4）出土遺物……101
（5）まとめ……113
4.（医病）医療用ガス供給設備室取設工事に伴う発掘調査（0119調査地点）……123
（1）調査の目的と経過……123
（2）調査区の基本層序……123
（3）検出遺構……123
（4）出土遺物……130
（5）まとめ……130

挿図目次

図1　黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（1/25000）……2
図2　黒髪南地区における調査地点位置図（1/2000）……20
図3　9907調査地点遺構配置実測図・壁土層断面実測図（/150・1/100）……21
図4　9907調査地点出土遺物実測図（1/3）……22
図5　黒髪南地区における調査地点位置図（1/2000）……26
図6　調査区北壁土層断面実測図（1/100）……27
図7　9909調査地点遺構配置実測図（1/300）……29
図8　『熊本之図』文化二年（1805）に見る調査地点の位置（アミは熊本大学、黒ベタが調査地点）……32
図9　0102調査地点遺構配置実測図（1/200）……34
図10　1号風倒木痕および各遺構出土遺物実測図（1/50・1/3）……35
図11　本荘北地区における調査地点位置図（1/2000）……38
図12　0006調査地点Ⅰ区遺構配置実測図（1/80）……39
図13　0006調査地点Ⅱ区遺構配置実測図（1/50）……40
図14　0006調査地点Ⅲ区遺構配置実測図（1/50）……41
図15　0006調査地点Ⅰ区西壁・Ⅱ区南壁・Ⅱ区2号土坑・Ⅲ区東壁土層断面実測図（1/30・1/50）……42
図16　0006調査地点Ⅱ区南壁土層断面実測図（1/50）……43
図17　9・22号竪穴住居址実測図（1/50）……45
図18　28・29号竪穴住居址実測図（1/50）……47
図19　0006調査地点出土遺物実測図1（1/4）……49
図20　0006調査地点出土遺物実測図2（1/4）……50
図21　0006調査地点出土遺物実測図3（1/4・1/3）……51
図22　0006調査地点出土遺物実測図4（1/4）……52
図23　0006調査地点出土遺物実測図5（1/4）……53
図24　0006調査地点出土遺物実測図6（1/4・1/3・2/3・1/1）…54

図25　基本層序および13・15号溝土層断面実測図（1 /100・1 /50）……63
図26　0101調査地点Ⅰ面遺構配置実測図（1 /250）……64
図27　0101調査地点Ⅱ面遺構配置実測図（1 /250）……65
図28　0101調査地点Ⅲ面遺構配置実測図（1 /250）……66
図29　23・27号土壙墓・31号掘立柱建物址・20号竪穴住居址実測図（1 /25・1 /100・1 /50）……67
図30　19・21号竪穴住居址実測図（1 /50）……69
図31　0101調査地点出土遺物実測図1（1 / 4・1 / 3）……70
図32　0101調査地点出土遺物実測図2（1 / 4・1 / 3）……71
図33　0101調査地点出土遺物実測図3（1 / 4）……72
図34　0101調査地点出土遺物実測図4（1 / 4・1 / 3）……73
図35　0104調査地点遺構配置実測図（1 /400）……80
図36　Ⅰ区南壁・Ⅴ区南壁・Ⅳ区（400号竪穴住居址付近）北壁土層断面実測図（1 /50・1 /100）……82
図37　125号溝・30号溝・222号溝土層断面・出土遺物実測図（1 /50）……84
図38　365・319号溝・14・208号竪穴住居址実測図・土層断面実測図（1 /50）……86
図39　223号竪穴住居址実測図（1 /50）……87
図40　378・443号竪穴住居址実測図（1 /50）……88
図41　384・392・404号竪穴住居址実測図・土層断面実測図（1 /50）……90
図42　216・16・32号竪穴住居址実測図（1 /50）……91
図43　9号竪穴住居址実測図（1 /50）……92
図44　31・10・221号竪穴住居址実測図（1 /50）……94
図45　361・15・29号竪穴住居址実測図（1 /50）……95
図46　318・307・377・368・386号竪穴住居址実測図（1 /50）……97
図47　99（161）・256・276号竪穴住居址実測図（1 /50）……98
図48　294・13・61号竪穴住居址実測図（1 /50）……99
図49　400号竪穴住居址・1号掘立柱建物址・144号柱穴実測図（1 /50・1 /100・1 /20）……102
図50　2・3号掘立柱建物址・41・42号土抗実測図（1 /100・1 /50）……103
図51　379号井戸実測図（1 /40）……104
図52　0104調査地点出土遺物実測図1（1 / 4・1 / 3）……105
図53　0104調査地点出土遺物実測図2（1 / 4）……106
図54　0104調査地点出土遺物実測図3（1 / 4）……107
図55　0104調査地点出土遺物実測図4（1 / 4）……108
図56　0104調査地点出土遺物実測図5（1 / 4）……109
図57　0104調査地点出土遺物実測図6（1 / 4）……110
図58　0104調査地点出土遺物実測図7（1 / 4）……111
図59　0119調査地点遺構配置実測図・調査区北壁土層断面実測図（1 /100）……124
図60　1号溝出土遺物実測図・土層断面実測図（1 /50）……126
図61　19号竪穴住居址実測図（1 /50）……127
図62　25・18・26・34・5・4号竪穴住居址実測図（1 /50）……128
図63　2・3号竪穴住居址・掘立柱建物址実測図（1 /50・1 /100）……129
図64　0119調査地点出土遺物実測図1（1 / 4）……131

図65　0119調査地点出土遺物実測図２
（１／４）……132
図66　0119調査地点出土遺物実測図３
（１／４）……133

図　版　目　次

図版１　9907調査地点 ……137
写真１　調査区全景（南より）
写真２　調査区南隅傾斜部分（北より）
写真３　縄文土器出土状況（北西より）
写真４　遺物出土状況（西より）
写真５　縄文土器出土状況
図版２　9907調査地点 ……138
写真６　遺物出土状況（南西部）（西より）
写真７　縄文土器出土状況（北より）
写真８　遺物出土状況（南西部）（西より）
写真９　遺物出土状況（北西部）（西より）
写真10　遺物出土状況（南西部）（北より）
写真11　遺物出土状況（南西部）（西より）
写真12　遺物出土状況（南西部）（南より）
写真13　遺物出土状況（南西部）（南より）
図版３　9907調査士地点出土遺物１ ……139
図版４　9907調査士地点出土遺物２ ……140
図版５　9909調査地点 ……141
写真14　調査区全景（北東より）
写真15　調査風景（北東より）
図版６　9909調査地点 ……142
写真16　Ⅰ区全景（東より）
写真17　Ⅱ区全景（南より）
写真18　Ⅱ区全景（東より）
写真19　Ⅱ区全景（北より）
写真20　Ⅱ区北壁土層断面（南より）
写真21　鉄銭・銅銭出土状況（東より）
写真22　銭（うね入り）近撮（東より）
写真23　トレンチ１土層（西より）
図版７　0102調査地点 ……143
写真24　調査区全景（上空より）
写真25　調査区東壁土層断面（西より）
写真26　風倒木痕１遺物出土状況（東より）
写真27　風倒木痕４（西より）
写真28　風倒木痕５完掘状況（南より）
図版８　0102調査地点出土遺物 ……144
図版９　0006調査地点 ……145
写真29　Ⅰ区全景（東より）
写真30　調査区全景（東半）（西より）
写真31　９号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真32　９号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真33　９号竪穴住居址遺物出土状況（北より）
図版10　0006調査地点 ……146
写真34　９号竪穴住居址土層断面（西より）
写真35　９号竪穴住居址（南より）
写真36　22号竪穴住居址（北より）
写真37　22号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）
写真38　28号竪穴住居址（北より）
写真39　29号竪穴住居址（北西より）
写真40　Ⅱ区１号土坑遺物出土状況（北より）
写真41　Ⅱ区２号土坑遺物出土状況（東より）
図版11　0006調査地点 ……147
写真42　２号土坑遺物出土状況（北より）
写真43　２号土坑遺物出土状況（西より）
写真44　２号土坑遺物出土状況（北より）
写真45　２号土坑遺物出土状況（北より）
写真46　２号土坑遺物出土状況（西より）
写真47　２号土坑遺物出土状況（東より）
写真48　２号土坑遺物出土状況（東より）
写真49　２号土坑土層断面（西より）
図版12　0006調査地点 ……148
写真50　Ⅱ区遺物出土状況・土器群１（北東より）
写真51　Ⅱ区遺物出土状況・土器群２（西よ

り）
写真52　Ⅱ区遺物出土状況・土器群３（北より）
写真53　鉄鏃出土状況（南より）
写真54　Ⅲ区全景（北より）
写真55　遺構完掘状況（南より）
図版13　0006調査地点出土遺物１……149
図版14　0006調査地点出土遺物２……150
図版15　0006調査地点出土遺物３……151
図版16　0006調査地点出土遺物４……152
図版17　0006調査地点出土遺物５……153
図版18　0101調査地点……154
写真56　Ⅰ面全景（東より）
写真57　Ⅰ面全景（南西より）
写真58　Ⅰ面全景（北東より）
写真59　Ⅰ面全景（西より）
写真60　Ⅰ面畑（西より）
図版19　0101調査地点……155
写真61　Ⅰ面畑（北東より）
写真62　Ⅱ面畑址（西より）
写真63　Ⅲ面全景（上空より）
写真64　西トレンチ土層断面（西より）
写真65　東壁土層断面（西より）
写真66　東壁南部土層（西より）
写真67　72号土壙墓（北より）
写真68　23号土壙墓（南より）
図版20　0101調査地点……156
写真69　23号土壙墓出土人骨および副葬品（南東より）
写真70　20号竪穴住居址全景（南東より）
写真71　20号竪穴住居址（西より）
写真72　20号竪穴住居址土層断面（西より）
写真73　20号竪穴住居址遺物出土状況（東より）
写真74　20号竪穴住居址遺物出土状況（西より）
写真75　19号竪穴住居址焼土炭出土状況（北西より）
写真76　19号竪穴住居址鉄鏃出土状況
図版21　0101調査地点……157
写真77　21号竪穴住居址（南より）
写真78　21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真79　21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真80　21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真81　13号溝土層（西より）
写真82　15号溝土層（西より）
写真83　17号溝（南西より）
写真84　22号水溜状遺構遺物出土状況（東より）
図版22　0101調査地点……158
写真85　22号水溜状遺構遺物出土状況（東より）
写真86　38号焼土平面（東より）
写真87　38号焼土ベルト（西より）
写真88　調査風景（北西より）
写真89　作業風景（東より）
図版23　0101調査地点出土遺物１……159
図版24　0101調査地点出土遺物２……160
図版25　0101調査地点出土遺物３……161
図版26　0101調査地点出土遺物４……162
図版27　0104調査地点……163
写真90　Ⅰ区完掘状況（北東より）
写真91　Ⅱ区完掘状況（西部）（南西より）
写真92　Ⅱ区完掘状況（東部）（南より）
写真93　Ⅲ区東部全景（南より）
写真94　Ⅲ区西半（南より）
写真95　Ⅲ区東半（南より）
写真96　Ⅳ区全景（南より）
写真97　Ⅴ区中部全景（東より）
図版28　0104調査地点……164
写真98　Ⅴ区南部全景（東より）
写真99　125号溝（南東より）
写真100　125号溝土層（北より）
写真101　30号溝上面遺物出土状況（北東より）
写真102　30号溝上面南側（南より）
写真103　30号溝上面南側アップ（西より）

写真104　30号溝掘り上げ状況（南より）
写真105　30号溝土層断面（南より）
図版29　0104調査地点 ……165
写真106　222号溝土層断面（北西より）
写真107　222号溝遺物出土状況（北西より）
写真108　222号溝遺物出土状況（西より）
写真109　222号溝遺物出土状況（西より）
写真110　222号溝遺物出土状況（南西より）
写真111　222号溝遺物出土状況（北西より）
写真112　222号溝遺物出土状況（南西より）
写真113　222号溝（北西より）
図版30　0104調査地点 ……166
写真114　319号溝全景（北より）
写真115　365号溝（東より）
写真116　365号溝土層断面（北より）
写真117　14号溝（北西より）
写真118　208号竪穴住居址遺物出土状況（南東より）
写真119　208号竪穴住居址近景（北より）
写真120　208号竪穴住居址完掘状況（南東より）
写真121　223号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）
図版31　0104調査地点 ……167
写真122　223号竪穴住居址遺物出土状況（北西より）
写真123　223号竪穴住居址床検出状況（南東より）
写真124　223号竪穴住居址炉断面（南西より）
写真125　223号竪穴住居址掘り方完掘状況（南より）
写真126　378号竪穴住居址（東より）
写真127　378号竪穴住居址土層断面（北より）
写真128　385・384号竪穴住居址付近遺物（東より）
写真129　385・384号竪穴住居址付近遺物（北より）
図版32　0104調査地点 ……168
写真130　404号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）
写真131　404号竪穴住居址土層断面（南より）
写真132　443号床検出状況（東より）
写真133　216号竪穴住居址（南西より）
写真134　216号竪穴住居址完掘状況（東より）
写真135　276号竪穴住居址完掘状況（南東より）
写真136　32号竪穴住居址（南西より）
写真137　32号竪穴住居址掘り上げ状況（南より）
図版33　0104調査地点 ……169
写真138　32号竪穴住居址竈土層断面（南より）
写真139　32号竪穴住居址竈掘り上げ状況（南より）
写真140　9号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真141　9号竪穴住居址床検出状況（南より）
写真142　9号竪穴住居址竈土層断面（東より）
写真143　9号竪穴住居址内破鏡出土状況（南より）
写真144　31号竪穴住居址（南東より）
写真145　31号竪穴住居址堀り上げ状況（南西より）
図版34　0104調査地点 ……170
写真146　31号竪穴住居址竈土層断面（西より）
写真147　31号竪穴住居址コーナー遺物出土状況（南より）
写真148　10号竪穴住居址硬化面検出状況
写真149　10号竪穴住居址竈焼土土層断面（西より）
写真150　361号竪穴住居址・379号井戸（北より）
写真151　15号竪穴住居址完掘状況（北西よ

り）
写真152　29号竪穴住居址床面検出状況（東より）
写真153　29号竪穴住居址焼土遺物出土状況（西より）
図版35　0104調査地点 ……171
写真154　29号竪穴住居址（西より）
写真155　307号竪穴住居址完掘状況（東より）
写真156　377号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真157　386号竪穴住居址竈袖石（東より）
写真158　386号竪穴住居址完掘状況（南西より）
写真159　161号竪穴住居址（南東より）
写真160　161号竪穴住居址竈土層断面（西より）
写真161　368号竪穴住居址硬化面遺物検出状況（東より）
図版36　0104調査地点 ……172
写真162　368号竪穴住居址完掘状況（東より）
写真163　256号竪穴住居址床検出状況（北東より）
写真164　311号硬化面検出状況（北より）
写真165　321・323号竪穴住居址完掘状況（北より）
写真166　294号竪穴住居址（南より）
写真167　13号竪穴住居址（南東より）
写真168　61号竪穴住居址下面（北より）
写真169　322号竪穴住居址完掘状況（北東より）
図版37　0104調査地点 ……173
写真170　159号竪穴住居址と周辺遺物（北より）
写真171　207号竪穴住居址掘り上げ状況（東より）
写真172　318号竪穴住居址土層断面（南より）
写真173　318号竪穴住居址完掘状況（南より）
写真174　400号竪穴住居址床検出状況（東より）
写真175　400号竪穴住居址完掘状況（東より）
写真176　448号竪穴住居址焼土（東より）
写真177　448号完掘状況（東より）
図版38　0104調査地点 ……174
写真178　1号掘立柱建物址（南より）
写真179　144号柱穴内遺物出土状況（南より）
写真180　144号柱穴内地鎮具（北より）
写真181　144号柱穴内土器の中（北より）
写真182　41・42号土壙（東より）
写真183　379号井戸貝層と遺物（東より）
写真184　379号井戸遺物出土状況（北東より）
写真185　379号井戸貝層と遺物（東より）
図版39　0104調査地点 ……175
写真186　379号井戸土層断面（東より）
写真187　204（253）号ピット内土錘出土状況（東より）
写真188　鍔帯出土状況
写真189　鉄・鎌出土状況（東より）
写真190　作業風景（南より）
図版40　0104調査地点出土遺物1 ……176
図版41　0104調査地点出土遺物2 ……177
図版42　0104調査地点出土遺物3 ……178
図版43　0104調査地点出土遺物4 ……179
図版44　0104調査地点出土遺物5 ……180
図版45　0104調査地点出土遺物6 ……181
図版46　0104調査地点出土遺物7 ……182
図版47　0104調査地点出土遺物8 ……183
図版48　0104調査地点出土遺物9 ……184
図版49　0104調査地点出土遺物10 ……185
図版50　0119調査地点 ……186
写真191　調査区全景（西より）
写真192　1号溝遺物出土状況（東より）
写真193　1号溝遺物出土状況（南西より）
写真194　1号溝遺物出土状況（西より）

写真195　1号溝完掘状況（北より）
図版51　0119調査地点 ……187
写真196　19号竪穴住居址遺物出土状況（西より）
写真197　19号竪穴住居址遺物出土状況（近景）
写真198　19号竪穴住居址遺物出土状況（北西より）
写真199　19号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真200　19号竪穴住居址完掘状況（西より）
写真201　25号竪穴住居址掘削状況（西より）
写真202　4号竪穴住居址床検出状況（南東より）
写真203　2号竪穴住居址遺物検出状況（西より）
図版52　0119調査地点 ……188
写真204　3号竪穴住居址遺物検出状況（南より）
写真205　18号竪穴住居址遺物出土状況（東より）
写真206　26号竪穴住居址遺物出土状況（東より）
写真207　掘立柱建物址（西より）
写真208　調査区北壁土層断面（東より）
写真209　作業風景
図版53　0119調査地点出土遺物1 ……189
図版54　0119調査地点出土遺物2 ……190
図版55　0119調査地点出土遺物3 ……191

表　目　次

表1　熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表……1
表2　既往調査地点と本書収録調査地点一覧表……5
表3　9907調査地点出土遺物一覧表……24
表4　肥後における江戸中期～後期（元禄～嘉永年間）の水害記事……30
表5　0102調査地点出土遺物一覧表……36
表6　0006調査地点出土遺物一覧表……56
表7　0101調査地点出土遺物一覧表……75
表8　0104調査地点出土遺物一覧表 ……115
表9　0119調査地点出土遺物一覧表 ……134

Ⅰ　構内遺跡と調査の概要

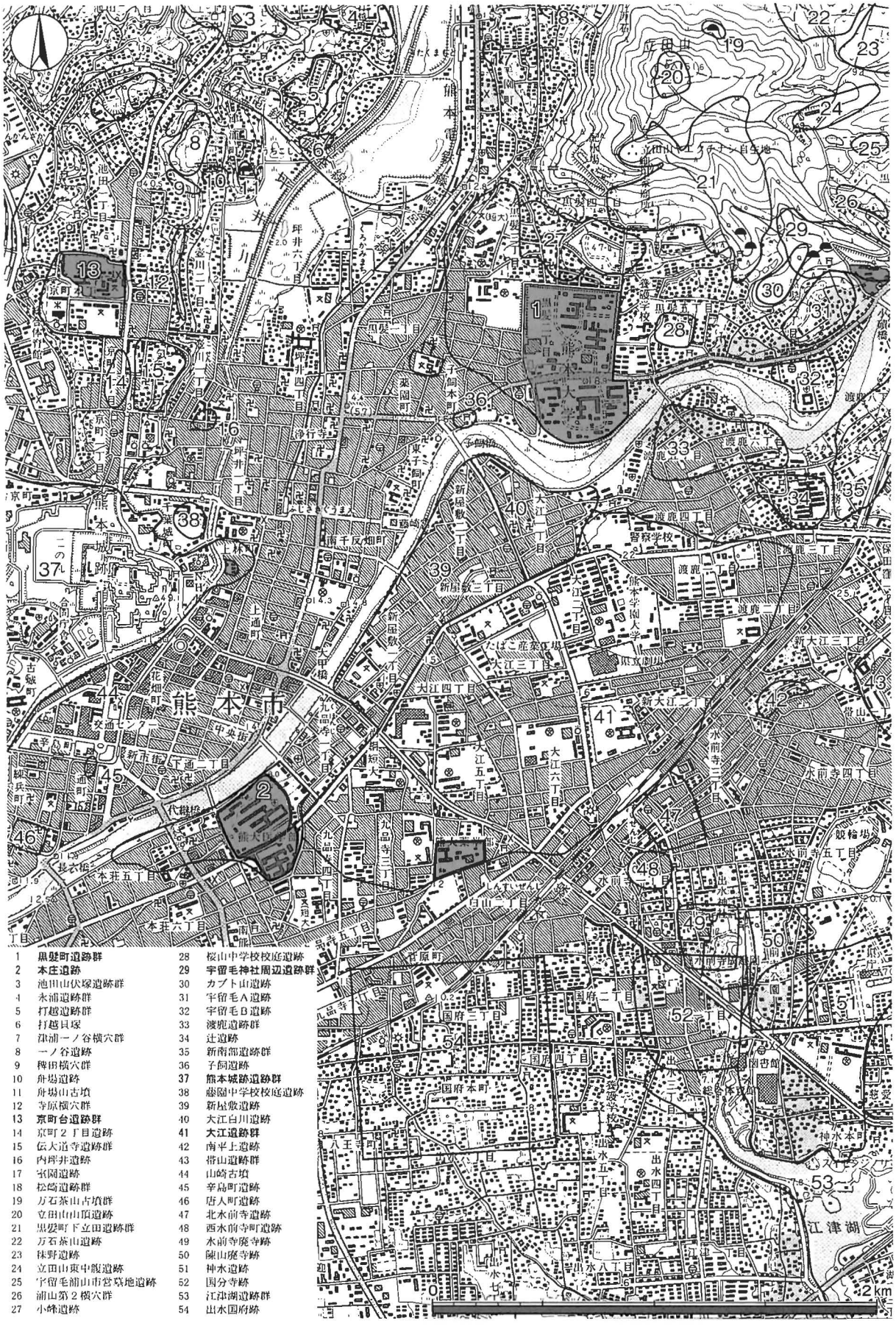
1．熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪地区・本荘地区・九品寺地区・大江地区・宇留毛地区・京町地区・城東地区及び下南部地区の８区、市外の合津地区・阿蘇地区の２地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表１）。

法・文・教育・工学・理学部の校舎が設置されている黒髪地区は黒髪町遺跡（熊本市埋蔵文化財地図№８－88）に含まれる。本遺跡は熊本市中心部のほぼ北東端に位置する立田山（標高151.6m）の南西部の緩斜面が、西を坪井川の作る沖積面と南を白川河岸の低位段丘によって囲まれる東西900m、南北1000mの遺跡群であり、縄文時代から歴史時代に至る遺構・遺物を包蔵している。遺跡発見の経緯は昭和11年に遡り、大学に隣接する熊本県立中学済々黌（現済々黌高校）の校庭から甕棺２基が発見されたことに始まる。また昭和40年には隣接する九州女学院敷地においてやはり弥生時代中期の甕棺や古墳時代の須恵器甑などが発見するに至り、その重要性が認識されるに至った。黒髪町式土器の指標遺跡である。このように弥生時代を中心とした遺跡としての認識が高いが、1983年に実施された済々黌高校内における新たな調査によって古代の竪穴住居址と土師器・須恵器・黒色土器などの関連遺物が出土し、その中には「寺門」銘の墨書土器が含まれているなど古代飽田郡における拠点的な性格をもった遺跡であることが予想された（『新熊本市史料編第１巻考古資料』新熊本市史編纂室1996）。古代官道や駅伝制の研究上、文献で推定されていた延喜式にみる「養蚕駅」、旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1975・1995）が、近年ではこれまでの周辺遺跡での発掘成果および文献資料の検討、そして本調査室による発掘成果を受けて、済々黌高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司郡建部公の居所であり、飽田郡家として比定するなどの積極的な意見が展開されている（鶴嶋1997）。このように、本遺跡は先史時代のみならず、古代律令制下の駅伝制を考える上できわめて重要なものである。本報告において３地点の発掘調査記録を収録している。

表１　熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表

No	地区名（学部名）	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区（法・文・教・大学センター） 黒髪北地区（教育学部附属養護学校）	熊本市黒髪２丁目40－１ 熊本市黒髪５丁目17－１	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
2	黒髪南地区（工・理）	熊本市黒髪２丁目39－１	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
3	京町地区（教育学部附属小・中学校）	熊本市京町本丁５－12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市城東５－９	熊本城址	城館址・熊本城関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部居屋敷240－１	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	合津マリンステーション	上天草市松島町大字合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査によって貝塚でないことが判明
7	本荘中地区（医学部）	熊本市本荘２丁目２－１	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	
8	本荘北地区（医学部附属病院）	熊本市本荘１丁目１－１	本庄遺跡（熊大病院敷地遺跡）	散布地・集落址・墓地	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近代	
9	本荘南地区（保健学科）	熊本市九品寺４丁目24－１	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	周辺遺跡
10	薬学部	熊本市大江本町５－１	大江遺跡群	官衙址	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市渡鹿４丁目１－１	大江遺跡	集落址	奈良・平安	
12	宇留毛地区（職員宿舎）	熊本市黒髪７丁目	宇留毛神社周辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・平安	



1	**黒髪町遺跡群**	28	桜山中学校校庭遺跡
2	**本庄遺跡**	29	**宇留毛神社周辺遺跡群**
3	池田山伏塚遺跡群	30	カブト山遺跡
4	永浦遺跡群	31	宇留毛A遺跡
5	打越遺跡群	32	宇留毛B遺跡
6	打越貝塚	33	渡鹿遺跡群
7	浄浦一ノ谷横穴群	34	辻遺跡
8	一ノ谷遺跡	35	新南部遺跡群
9	稗田横穴群	36	子飼遺跡
10	舟場遺跡	**37**	**熊本城跡遺跡群**
11	舟場山古墳	38	藤園中学校校庭遺跡
12	寺原横穴群	39	新屋敷遺跡
13	**京町台遺跡群**	40	大江白川遺跡
14	京町２丁目遺跡	**41**	**大江遺跡群**
15	伝大道寺遺跡群	42	南平上遺跡
16	内坪井遺跡	43	帯山遺跡群
17	宝園遺跡	44	山崎古墳
18	松崎遺跡群	45	辛島町遺跡
19	万石茶山古墳群	46	唐人町遺跡
20	立田山山頂遺跡	47	北水前寺遺跡
21	黒髪町下立田遺跡群	48	西水前寺町遺跡
22	万石茶山遺跡	49	水前寺廃寺跡
23	陳野遺跡	50	陳山廃寺跡
24	立田山東中腹遺跡	51	神水遺跡
25	宇留毛浦山市営墓地遺跡	52	国分寺跡
26	浦山第２横穴群	53	江津湖遺跡群
27	小峰遺跡	54	出水国府跡

図１　黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（１/25000）

医学部附属病院および医学部がある本荘地区は、本庄遺跡（熊本大学病院敷地遺跡）（熊本市埋蔵文化財地図№８－95）を包括する。本遺跡は黒髪町遺跡と同じく熊本平野を形成する扇状地形の中央を流れる白川の河岸堤防上に位置する遺跡であり、標高は13～12mである。附属病院の所在する白川寄りの地点が標高が高く、南東部（医学部側）へと緩やかに傾斜する地勢である。敷地内を白川より分岐した小河川が暗渠として流れており、古来この一帯は流道を変えながら幾本もの小河川が流れていた可能性が高い。『熊本市中央北地区文化財調査報告書』（熊本市教育委員会1980）によれば、1963年ごろ本大学医学部附属病院の敷地内から須恵器、土師器、布目瓦片類が採集されており、遺跡の存在が確実であるとされ、遺跡としての認定を受けている。しかし、その後本敷地内において学術的な発掘調査は一度も実施されておらず、遺跡の詳細な内容に関しては本調査室における調査が実施されるまで不明であった。しかし、先の報告の中では、東側に隣接する仙崇寺小松原墓地（現在の小松原公園）内においても須恵器片が採集され、遺跡の包含地がより広いことが想定されていた。このため、1995年に道路を挟んで隣接する医学部敷地内において計画されたRI総合センター遺伝子実験施設の建築に先立ち試掘調査を実施したところ、良好な状態で古代の遺構群が検出され、遺跡の広がりを確認することができた。よって、遺跡の範囲は東西500m、南北500mを超えるものと推定される。なお、本報告は本大学附属病院内で実施した発掘調査の記録を収録した。医学部保健学科の位置する九品寺地区は、この遺跡の範囲に入る。本格的な発掘調査が実施されていないため、詳細は不明であるが、敷地中央部における立会調査において古代の遺物包含層が確認されている。今回は附属病院敷地内で実施した発掘調査４件分の成果を収録した。

薬学部が所在する薬学部地区は、大江遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図№８－93）の南西端に位置する。また、本学大江総合運動場は本遺跡群の北東端に位置している。地形は本庄遺跡とほぼ同じで、白川河岸に隣接し、標高は13～20mである。本遺跡群は詫間郡家および渡鹿廃寺などの推定地を含む熊本市内でも有数の大規模（東西1.8km、南北1.7km）かつ貴重な古代を中心とした遺跡群であり、これまで60次にわたる調査が実施され、各種遺物を伴って、８・９世紀代を中心とした古代竪穴住居址群、掘立柱建物址、道路址、溝址などが検出されている（新熊本市史編纂室1996）。本学が実施した調査においては、大江総合運動場整備に伴う調査によって古代関連の遺物・遺構群が発見された他は、薬学部敷地の北西部において古代包含層の一部を確認しているにすぎない。薬学部敷地内においては大規模な建替えが最近実施されたが、この際の試掘によって、構内の東側では遺構や包含層は存在せず、北西部に絞られる様相が明らかになってきた。

附属中学校・小学校の所在する京町地区は京町台遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図№８－45）（東西400m、南北350m）に包括され、同遺跡群内には熊本市立京陵中学校と熊本営林局も含まれる。本台地は熊本平野の北部にある阿蘇４火砕流（凝灰岩）が形成した標高30～40mの平坦な台地であり、東西両側はそれぞれ坪井川と井芹川が流れて急峻な崖地を形成している。この天然の要害ともいうべき地の利を活かして台地の南端には熊本城が築かれており、周辺の台地上には武家屋敷が築かれていた。本遺跡における発掘調査の嚆矢は、1966年、営林署内の宿舎改築工事の際、遺構は検出されなかったが、重弧文をもつ弥生式土器、土師器、瓦器片が少量出土したことであり、現在では弥生時代遺跡として認定されている（熊本市文化財調査会1971）。これまでの発掘成果によると、構内の西側を中心として弥生時代～近世の遺構・遺物が確認されている。

理学部附属臨海実験所の占地する合津地区は、熊本県上天草市松島町合津に所在する。遺跡は本地区のある松島の南西部端、標高12mの丘陵端部に位置する。この松島を含めた一帯は有明海から不知火海へ抜ける海上交通の要衝にあたり、天草で唯一の形象埴輪を出土したカミノハナ古墳群や長沙連

古墳、大戸鼻古墳群など重要な古墳が密集しているように、古来より重要な拠点として意識されていたところでもある。また、縄文時代にはカルワ島遺跡や柳遺跡のように海岸部や海底に位置する遺跡群が数多く発見されている。理学部の臨海実験所は、1956年に天草で初めて発見された縄文時代遺跡として著名な前島貝塚（熊本県遺跡地図57－013）とその東部にある梅殿古墳（同014）の隣接地にあたり、同貝塚の広がりが実験所敷地内に残存する可能性も大きく、古墳関連の遺構の存在も予想されるような位置にある（熊本県教育委員会1968)。実際、1996年に実験所の北部丘陵斜面にある宿舎が建設された際、建設業者によって７本の石斧が発見されているし、実験所の船着場南側の海岸では本学考古学研究室の学生諸氏によって縄文時代早期～前期を中心とした土器や石器が採集されている。よって実験所内とその周辺は縄文時代の遺跡・遺構が存在する可能性がきわめて高いところとして周知されていたところであった。本地区においては、1995年に臨界実験所実験棟改築工事に伴う発掘調査によって、前島貝塚が貝塚ではなく、本丘陵上には縄文時代早期の縄文時代早期の遺物包含層や遺構群が存在することが明らかになった（熊本大学埋蔵文化財調査室1996・小畑2001)。

2．調査に至る経緯

熊本大学の校地は先に示したように８地区に分散しており、どの校地も狭隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区の医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成５年に現地再開発することが決定されたので、全学が現地再開発で取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などによって古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成５年10月から黒髪南地区において情報処理センターの建設工事が始まったところ、熊本市教育委員会文化課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ出向き確認したところ、平成５年４月１日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のような回答があった。

①国の機関（大学等）は考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成６年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いでも９月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中心となってもらうべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略する）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋

蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成６年４月７日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成６年５月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元眞之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成６年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。以下の経緯については『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』を参照されたい。

３．これまでの調査と本書収録の遺跡

以後平成22年３月末日現在まで、再開発計画に則り行われた事業の事前調査として、表２のような調査が実施されてきた。本書はこの中から1999～2001年度に実施した発掘調査の成果を報告する。試掘・立会調査などについては年報において既報告であるので、本書からは除外した。黒髪南地区においては、工学部実験プレハブ建設に伴う発掘調査（9907調査地点）、衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営に伴う発掘調査（9909調査地点）、黒髪団地南地区基幹・環境整備に伴う発掘調査（0102調査地点）の３箇所の成果を、本荘北地区においては、基幹・環境整備に伴う発掘調査（0006調査地点）、医学部総合研究棟新営工事に伴う発掘調査（0101調査地点）、基幹・環境整備（共同溝設置）に伴う発掘調査（0104調査地点）、医療用ガス供給設備室取設工事に伴う発掘調査（0119調査地点）の４箇所の成果を収録した。なお、本荘北地区においては1999年に西病棟新営工事に伴う発掘調査（9901調査地点）を実施しているが、今回は0006・0104・0119調査地点において濃密な遺構分布が認められ十分な整理の時間を費やすことができなかったため、次年度以降の報告とする。

表２　既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1994年度							
94・4・15～17	9401	（黒北）運動場整備（照明塔建設）工事	発掘調査	128㎡	古代	古代土師器・須恵器	年報１
94・4・21	9402	（黒北・南）基幹整備（教育学部エレベーター室取設）工事	発掘調査	47.5㎡	現代	ガラス・磁器片	年報１
94・4・25	9403	（黒北・南）地区基幹整備（工学部エレベーター室取設）工事	発掘調査	48㎡		包含層確認・土器片	年報１
94・5・13～14	9404	（黒北）福利施設建設予定地の樹木移植	立会調査	30㎡	古代		年報１
94・5・17～6・25	9405	（京町）附属中学校舎者建設工事	発掘調査	400㎡	弥生・近世	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・近世陶磁器・砥石・銅銭・瓦・ガラス瓶	本報告Ⅰ
94・5・20/23/24	9406	（黒北）武夫原運動場整備（集水枡埋設）工事	発掘調査	100㎡	古代		年報１
94・5・23～7・28	9407	（黒北）福利施設建設工事	発掘調査	1,290㎡	古代		本報告Ⅰ
94・8・1～8・10	9408	（渡鹿）グランド集水枡整備工事	発掘調査 立会調査	40.4㎡	古代	土師器	本報告１
94・8・11	9409	（黒北）武夫原器具庫新営工事・外灯基礎工事	立会調査	23.4㎡		包含層に達せず遺構なし，土師器片．	年報１
94・8・12	9410	（京町）附属中学校電気引き込み配線工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報１
94・8・22	9411	（黒北）基幹整備（附属図書館スロープ取設）工事	立会調査	25.5㎡		包含層に達せず．遺構・遺物なし．	年報１
94・9・12～10・31	9412	（黒南）工学部実験棟新営工事	発掘調査	743.6㎡	古代	古代竪穴住居址，古代土師器・須恵器・瓦・土製印・鉄器・縄文土器	本報告Ⅰ
94・11・14～12・22	9413	（渡鹿）グランド整備工事	発掘調査	200㎡	縄文・古代	古代竪穴住居址・道路址，古代土師器・須恵器・布目瓦・砥石・鉄器・縄文土器・石器	本報告Ⅰ
95・1・17～21	9414	（黒北）福利施設設備工事	立会調査	169㎡		遺構・遺物なし	年報１
95・1・9～11、1・26～2・1	9415	（黒南）工学部共同溝工事	立会調査	50㎡		遺構・遺物なし	年報１
95・2・27	9416	（城東）附属幼稚園排水管敷設工事替工事	立会調査	129.7㎡		遺構・遺物なし	年報１
95・3・15～23	9417	（黒南）福利施設設備工事	立会調査				

1995年度							
95・4・25～5・2	9501	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期共同溝建設工事	発掘調査	90㎡	古代～近世	古代竪穴住居址・柱穴・溝，縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告Ⅰ
95・5・9～10	9502	（黒南）工学部附属工学機器センター新営工事	試掘調査	20㎡	古代	包含層確認・古代土師器・須恵器	年報2
95・5・15～16	9503	（黒南）工学部RI研究実験棟建設及び基礎掘削	試掘調査	20㎡	古代	集石，古代土師器・須恵器	年報2
95・5・29/30・6・21	9504～06	（黒南）工学部研究実験棟新営電気設備（その2）に伴う高圧ケーブル埋設	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・8・21		（黒南）工学部通信設備埋設	立会調査	14㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・8・22	9508	（黒南）事務局前外灯配線改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・9・8～10・12	9509	（合津）理学部附属臨海実験所実験棟改築工事	発掘調査	298㎡	縄文	集石，縄文早期土器・石器	年報2
95・11・2	9510	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代包含層確認・古代土器片	年報2
95・11・6～8	9511	（本荘南）医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設及び外溝切り替え	試掘調査	200㎡	古代	古代包含層確認・竪穴住居址，古代土師器・須恵器	年報2
95・11・13～16	9512	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う排水桝設置	発掘調査	60㎡	古代	古代竪穴住居址・柱穴・包含層，縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告Ⅰ
95・11・17	9513	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95・11・17	9514	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	立会調査		古代	古代土師器・須恵器片	年報2
95・11・21～22	9503	（黒南）工学部RI研究実験棟建設に伴う基礎掘削	立会調査		古代	古代土師器・須恵器	年報2
95・11・22	9515	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報2
95・11・24	9511	（本荘南）医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設工事	立会調査			一部包含層確認・遺構・遺物なし	年報2
95・11・28～29	9516	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	発掘調査	72㎡	縄文～古代	包含層・柱穴，縄文土器片・古代土師器	本報告Ⅰ
95・12・1	9511	（本荘南）医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設に伴う外溝切替	立会調査			包含層確認・遺構・遺物なし	年報2
95・12・4	9517	（本荘南）医学部RI総合センター遺伝子実験施設に伴う樹木移植	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95・12・5	9518	（黒南）工学部RI研究実験棟建設に伴う外溝工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・12・12～14	9519	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代柱穴・溝，古代土師器・須恵器	年報2
95・12・18	9520	（黒北）教養部前道路改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・12・25～96・2・22	9511	（本荘南）医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設	発掘調査	976.9㎡	縄文・古代	古代竪穴住居址・掘立柱建物・溝・道路・方形竪穴遺構・土壙，縄文土器・石器・古代土師器・須恵器・鉄器	本報告Ⅰ
96・3・1	9521	（黒南）工学部校舎新営	試掘調査		弥生	弥生土壙・ピット，弥生中期土器	年報2
96・3・8	9522	（黒北）文法学部・第五高等学校記念館庭園植栽工事	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報2
96・3・21	9523	（城東）教育学部附属幼稚園水遊び場兼足洗い場設備寄贈受入	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
96・3・25～26	9524	（京町）教育学部附属小学校給排水管取替工事	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報2
1996年度							
96・4・19	9601	（本荘北）医学部校舎建設	試掘調査	33㎡	古代	古代包含層・溝，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・5・10	9602	（黒北）法文学部記念植樹	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報3
96・5・10～6・24	9603	（黒南）工学部校舎建設	発掘調査	1000㎡	縄文・弥生・古代	縄文後期包含層・古代竪穴住居址・溝・掘立柱建物・土壙・柱穴，縄文後期土器・弥生中期土器・古代土師器・須恵器・鉄器・瓦	本報告Ⅳ
96・5・13	9604	（黒北）教育学部ATMネットワーク付設工事	立会調査	40㎡	近代	遺構・遺物なし	年報3
96・5・14	9605	（京町）教育学部附属小学校ATMネットワーク付設工事	立会調査	14㎡		近代磁器	年報3
96・5・15	9606	（大江）薬学部ATMネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報3
96・6・17	9607	（黒北）法文学部外灯設置工事	立会調査	4㎡	古代	一部包含層確認，古代須恵器	年報3
96・6・19	9608	（黒南）工学部RI実験棟配線工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報3
96・8・5	9609	（黒北）入試保管庫建設工事（試掘）	発掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報3
96・8・6～9	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う樹木移植・貯水槽建設工事（1・2・3区）	発掘調査	45.7㎡	古墳・古代	古墳時代前期竪穴住居址・古代竪穴住居址，古墳時代土師器・古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・8・22～27	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設（4区）	発掘調査	37.4㎡	古代	竪穴住居址・柱穴，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・8・29～30	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設（5区）	発掘調査	28.2㎡	古代	竈址，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・9・6	9610	（黒北）教養部夏目漱石像建立	試掘調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報3
96・10・1～9	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（6区）	発掘調査	104.3㎡	古代	古代道路・竪穴住居址，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・10・11～97・1・17	9601	（本荘北）医学部校舎本体工事（本調査区）	発掘調査	1686㎡	縄文・古墳・古代	縄文包含層・古墳土壙・古代道路・竪穴住居址・掘立柱建物・土壙・近代墓地，縄文後期土器・古墳／古代土師器・須恵器・鉄器・石器	本報告Ⅳ
96・10・21～29	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（7・8・9区）	発掘調査	62.5㎡	古代	古代竪穴住居址・竈，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・11・12～13	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（10区）	発掘調査	21.8㎡	古代	古代竪穴住居址，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96・11・12	9611	（黒南）工学部外灯付設工事	立会調査	0.4㎡		遺構・遺物なし	年報3
96・12・18	9612	（黒南）工学部電線埋設工事	立会調査	74.8㎡		遺構・遺物なし	年報3
97・3・3～31	9613	（黒南）工学部研究実験棟Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	175㎡		遺構・遺物なし	年報3
97・3・7	9614	（黒南）工学部衝撃エネルギー実験所火薬庫取設工事	立会調査	109㎡		遺構・遺物なし	年報3

1997年度							
97・4・8	9701	（本荘南）医学部情報リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21㎡		一部包含層を確認・遺構なし，古代土器片	年報4
97・5・7	9702	（黒南）理学部ヘリウム棟増築・ヘリウム管埋設工事	立会調査	126.6㎡		遺構・遺物なし	年報4
97・5・28	9703	（本荘北）医学部外来臨床研究棟血液製剤管理室取設工事	試掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報4
97・7・28～11・4	9704	（黒南）工学部校舎新営工事	発掘調査	1783.3㎡	弥生・古代・近世	弥生時代甕棺墓・古代竪穴住居址・溝・掘立柱建物・柱穴・近世墓，弥生中期甕棺・土師器・鉄器・古代須恵器・近世陶磁器	本報告Ⅳ
97・10・29	9705	（京町）教育学部附属中学校女性立像建立	立会調査	2.6㎡		遺構・遺物なし	年報4
97・10・22	9706	（黒北）法文学部館南健児像建立	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報4
97・11・11～98・3・31	9707	（本荘北）医学部基礎研究棟屋外配線工事	立会調査	370㎡	古代・近代	近代墓地・古代土壙・柱穴，甕・人骨・墓石等・古代土器	年報4
98・1・30～2・12	9708	（黒北）法・文・教育学部外灯設備増設工事	立会調査	61.9㎡	古代	溝	年報4
98・2・3～2・13	9709	（黒南）管財係黒髪6号宿舎取り壊し工事	立会調査	116㎡	古代	一部包含層を確認・遺構なし，磨耗した古代土器	年報4
1998年度							
98・4・14	9804	（黒南）工学部校舎建設に伴う排水管撤去工事	立会調査	10㎡		掘削により遺構なし	年報5
98・6・26～7・2	9801	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営支障配管替工事	立会調査	2.4㎡	古代	遺構・遺物認められず	年報5
98・7・6	9801	（本荘南）同樹木伐採工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報5
98・7・13	9809	（黒南）工学部3号館電気設営工事	立会調査	3㎡	古代	遺物包含層を確認	年報5
98・7・28～9・10	9801	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営工事	発掘調査	972㎡	縄文・古代・近世	竪穴住居址・掘立柱建物・溝・土坑	本報告Ⅴ
98・9・21～22	9803	（黒北）文化部室取設工事に伴う樹木移植工事	立会調査	9㎡		遺物・遺構なし	年報5
98・9・25～11・6	9802	（黒北）文化部室取背設その他の工事	発掘調査	575㎡	縄文・弥生・近世	縄文土器・弥生土器・石器等・土壙・溝・縄文・弥生遺物包含層確認	本報告Ⅴ
98・9・28	9805	（本荘北）大学病院病棟新営工事	試掘調査	10㎡	古墳・古代	古墳・古代土器	年報5
98・9・29	9806	（本荘北）大学病院中央診療棟新営工事	試掘調査	5㎡		河成砂礫層を検出，遺構・遺物なし	年報5
98・9・30	9807	（本荘北）大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事	試掘調査	2㎡	古代	遺物包含層・柱穴検出，古代土器片	年報5
98・10・6	9808	（黒南）工学部1・9号館電気埋設工事	立会調査	30㎡		遺構面に達せず，遺物なし	年報5
98・10・28～11・20	9807	（本荘北）大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事	発掘調査	175㎡	古代	縄文土器・石鏃等 古代竪穴住居址・土壙・溝・近代溝	本報告Ⅴ
98・11・2	9801	医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター関連図書館解体工事	発掘調査	139㎡		削平のため存在せず	本報告Ⅴ
98・12・14～12・18	9810	（黒南）理学部自然科学等総合実験棟新営支障配管替工事	立会調査	35㎡	古代	遺物包含層・柱穴検出，古代土器片	年報5
98・12・16	9802	（黒北）文化部室新営排水管敷設工事	立会調査	35㎡	古代	遺構面確認・遺構・遺物はなし	年報5
98・12・17～99・1・10	9805	（本荘北）大学病院病棟新営に伴う支障配管替工事	立会調査	333㎡	古代	竪穴住居址，古代土器片	年報5
99・1・12	9811	（黒南）工学部実験室新設工事	試掘調査	14㎡	縄文後期	土器	年報5
99・1・21～3・25	9810	（黒南）理学部自然科学等総合実験棟新営工事	発掘調査	1,098㎡	縄文・古代・近代	縄文土器・石鏃等，古代竪穴住居址・柱穴・溝・近世溝	本報告Ⅴ
99・2・2	9802	（黒北）環境整備事業に伴う文化部室解体	立会調査	260㎡		遺構・遺物なし	年報5
99・2・10	9802	（黒北）環境整備事業に伴う建築工事	立会調査	40㎡		遺構面には達せず，遺物なし	年報5
99・2・18	9802	（黒北）環境整備事業に伴う植樹工事	立会調査	12.3㎡		地表下2mで弥生時代遺物包含層・遺構面を確認，遺構・遺物なし	年報5
99・2・9～3・9	9802	（黒北）環境整備事業に伴う電気配線工事	立会調査	4㎡		地表下90cmで水田土を検出，遺構・遺物なし	年報5
99・3・11～12	9812	（大江）渡鹿団地東側ブロック塀改修工事	立会調査	70㎡		包含層・遺構面確認，遺構・遺物なし	年報5
99・3・10～31	9801	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営に係る配管切替工事	立会調査	57.5㎡	古代	一部包含層・遺構面確認（ピット）・遺物なし	年報6
1999年度							
99・4・5～8・31	9901	（本荘北）病棟（軸）新営工事	発掘調査	2,405㎡	縄文・古墳・古代・近代	縄文時代石器・玉・古墳時代住居址・溝・土師器・古代住居址・柱穴溝・土壙墓・土師器・須恵器・鉄器・陸衣硯・土鏡・近代溝	年報6
99・6・14～7・14	9902	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営電設工事立会	立会調査	40㎡	古代	古代柱穴，溝，遺物を少量検出	年報6
99・6・17	9903	（黒南）工学部研究実験棟Ⅱ-2-2新営工事に伴う植樹立会	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報6
99・7・19/26	9904	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営基礎工事立会	立会調査	2㎡	古代	遺構・遺物なし	年報6
99・7・29～7・30	9905	（黒南）自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営ガス設営工事	立会調査	50㎡		遺物・遺構なし	年報6
99・7・2～8・7	9906	（黒南）自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営電気設営工事立会	立会調査	200㎡	古代	古代溝6条・柱穴2基，古代土器片少量を検出	年報6
99・9・22～10・5	**9907**	**（黒南）工学部実験用プレハブ新築工事**	発掘調査	136.5㎡	縄文前期～晩期	ピット群，縄文土器片出土	本書
99・11・24～11・25	9908	（黒東）附属養護学校給食室増改築工事	試掘調査	42㎡	近世以降	トレンチ2本設定して調査したが，遺構なし，近世磁器片	年報6
00・2・14～3・24	**9909**	**（黒南）工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事**	発掘調査	1,853㎡	近世・近代	畑址・墓地，近世陶磁器，煙管，銅・鉄銭	本書
00・1・25	9910	（本荘北）血液照射管理室増改築試掘	試掘調査	2㎡		攪乱著しく，遺構・遺物ともに確認できず	年報6

3．これまでの調査と本書収録の遺跡

00・3・6～14	9911	（黒南）水生動物飼育舎建築工事	発掘調査	70.9㎡		縄文土器・古代土師器・須恵器	年報7
00・3・14	9912	（黒南・東）外灯取設工事立会	立会調査	3㎡		遺物・遺構ともに確認できず	年報6
00・3・2	9913	医学部液化窒素供給設備新設工事立会	立会調査	7.84㎡		遺構・遺物なし	年報6
00・3・16～17	9914	（本荘南）さく井設備工事立会	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報6
2000年度							
00・4・7	0001	（黒南）水生動物飼育舎新営給水管設営工事	立会調査	6.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・4・11	0002	（黒南）水生動物飼育舎新営電気設営工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・4・17	0003	（本荘北）附属病院格納車移設工事	試掘調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・10・23	0004	（黒南）工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営電気設営工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・10・30	0005	（黒南）工学部植栽工事	立会調査	63㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・11・6～22	0006	**（本荘北）附属病院基幹・環境整備第3井戸入水槽設営工事（Ⅰ区）**	発掘調査	119.4㎡	縄文・古墳古代	縄文時代石器・古墳時代柱穴・住居址・土師器・須恵器	本書
00・11・22	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備第1井戸入水槽設営工事	試掘調査	4㎡	近・現代墓地	近・現代墓石・墓壙・遺骨	年報7
00・11・27～29	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	85.5㎡		遺構・遺物なし	年報7
00・12・4～13	0006	**（本荘北）附属病院基幹・環境整備排水管配管工事（Ⅱ区）**	発掘調査 立会調査	32㎡	縄文・古代	土壙状遺構・縄文時代石器・土師器・ガラス玉・鉄器・須恵器	本書
00・12・8～01・1・10	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備電気設営工事（Ⅳ区）	立会調査	31.5㎡	古代	遺構なし、土師器数点	年報7
00・12・19～20	0006	**（本荘北）附属病院基幹・環境整備排水管配管工事（Ⅲ区）**	発掘調査 立会調査	20.4㎡	古代	住居址・土師器	本書
00・12・26～28	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	100.7㎡	近・現代墓地	近代墓壙・墓石・遺骨	年報7
01・1・29	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備排水管配管工事（Ⅴ区）	立会調査	7㎡		遺物・遺構なし	年報7
01・1・22～30	0007	（京町）附属中学校体育器具庫新営工事	発掘調査	119.4㎡	弥生・古代	弥生・古代土師器・鉄器・土製紡錘車	年報7
01・2・5	0008	（黒北）生涯学習環境研究センタースロープ取設工事	立会調査	28㎡		攪乱のため遺物・遺構なし	年報7
01・2・6～9	0009	（黒南）理学部1・2号館身体障害者用設備整備工事	立会調査	70㎡	古代	包含層を確認、古代土師器・須恵器	年報7
01・2・16～19	0010	（黒北）体育系部室解体・新営工事	立会調査	372㎡		遺物・遺構なし	年報7
01・2・22	0011	（大江）旧食堂解体撤去工事・旧ボイラー室解体撤去工事	立会調査	132㎡		遺物・遺構なし	年報7
01・3・5～6	0012	（黒北）外灯取付工事	立会調査	3㎡		遺物・遺構なし	年報7
01・3・6	0013	（大江）屋内運動場〔鴻武館〕取り壊し工事	立会調査	500㎡		遺物・遺構なし	年報7
01・3・22	0014	（黒北）旧生活協同組合事務所解体撤去工事	立会調査	66㎡		遺物・遺構なし	年報7
2001年度							
01・4・9～7・3	0101	**（本荘北）附属病院医学部総合研究棟新営工事**	発掘調査	1733.75㎡	古墳・古代・近世・近代	住居址・溝・畑址・墓鉄鍛・土師器・須恵器	本書
01・5・14	0102	（黒南）基幹・環境整備	試掘調査	4.8㎡			本書
01・5・14	0103	京町団地高圧ケーブル改修工事	立会調査	59.5㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・7・9～26	0102	**（黒南）基幹・環境整備**	発掘調査	418.5㎡	縄文	縄文土器・寛永通宝・風倒木痕・防空壕	本書
01・7・4～10・29	0104	**（本荘北）附属病院基幹・環境整備（共同溝設置）**	発掘調査	1,023.8㎡	縄文・弥生・古墳・古代	住居址・溝・縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・石器・鉄鍛・青銅器	本書
01・7・13	0105	（京町）正門取設工事	立会調査	7.12㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・7・30～11・14	0106	（黒北）大学教育研究センター等改修工事	立会調査	3,907㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・7・31	0107	（大江）薬学部共同実験棟改修工事	立会調査	97.84㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・8・1/13	0108	（京町）キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・8・2/21	0109	（黒北）キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	58㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・8・27	0110	（大江）薬学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・9・4	0111	（本荘南）医学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	2.78㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・8・22/9・4	0112	（黒北）食堂南側テラス整備工事	立会調査	662㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・9・14/10・1	0113	（本荘南）医療技術短期大学キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	105㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・9・17	0114	（本荘北）附属病院キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・10・19	0115	（黒南）理学部2号館南側排水工事	立会調査	8.4㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・10・22～02・2・19	0116	（本荘北）附属病院基幹・環境整備（A～D地区・ボイラー設備更新等）	立会調査	426.4㎡		遺構・遺物なし	年報8
01・12・8～02・2・9	0117	（本荘北）医学部総合研究棟新営機械設備工事	立会調査	133.1㎡	古代	住居址・柱基礎 土師器・須恵器	年報8
01・12・12～02・2・4	0118	（黒南）基幹・環境整備（特高変電設備等・植栽その他）	立会調査	111.7㎡		遺構・遺物なし	年報8
02・2・25～3・20	0119	**（本荘北）医療用ガス供給設備室取設工事**	発掘調査	205.8㎡	縄文・古墳・古代	住居址・溝・掘立柱建物址・縄文土器・土師器・須恵器・鉄鍛	本書
02・3・18	0120	（本荘北）総合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1492.7㎡		遺構・遺物なし	年報8
02・3・18	0121	（本荘北）附属病院西病棟（仕上Ⅱ）新営工事	立会調査	1076.4㎡		溝？・遺物なし	年報8
02・3・22	0122	（本荘北）附属病院西病棟電気設備工事（仕上Ⅱ）	立会調査	54㎡		遺構・遺物なし	年報8
2002年度							
02・4・3～4	0201	（黒北）大学教育研究センターC棟空調機取設工事給排水及び室外機基礎工事	立会調査	29.3㎡		遺構・遺物なし	年報9
02・4・15～16	0202	（黒北）外灯設備工事	立会調査	199㎡		遺構・遺物なし	年報9
02・4・17	0203	（黒南）インキュベーション施設新営工事	試掘調査	3㎡			年報9
02・4・17	0204	（黒南）総合研究棟新営工事	試掘調査	4㎡			年報9
02・4・24	0205	（黒南）食堂裏エコクリーンソイル工事	立会調査	0.73㎡		遺構・遺物なし	年報9

02・5・20～29	0206	（黒南）総合研究棟新営に伴う樹木移植工事	発掘調査	28㎡		墓抗	年報9
02・5・30～8・2	0203	（黒南）インキュベーション施設新営工事	発掘調査	810㎡	近世	畑址	年報9
02・6・3	0207	（黒南）総合研究棟新営一次掘削に伴う電気工事	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9
02・6・12～8・14	0204	（黒南）総合研究棟新営工事	発掘調査	2,803㎡	縄文・古墳古代	住居址・溝・火葬墓・縄文土器・土師器・須恵器	年報9
02・7・2	0208	（黒北）図書館南側学生部駐車場拡張工事	立会調査	24㎡		遺構・遺物なし	年報9
02・8・29	0209	（京町）附属小学校スロープ取設工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報9
02・10・1～10・3・11・18	0210	（黒南）工学部樹木移植工事	発掘調査	61.19㎡		包含層・縄文土器・石鏃	年報9
02・10・7	0211	（本荘北）医学部総合研究棟新営工事（渡り廊下部分）	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9
02・12・3/5/11	0212	（黒南）通用門拡幅工事	立会調査	480㎡		遺構・遺物なし	年報9
	0213	（本荘北）総合研究棟新営電気設備工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・2・7	0214	（本荘北）幹線環境整備外灯工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・2・18	0215	（大江）薬学部実験動物慰霊碑建立工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・2・21	0216	（黒北）外灯設備工事	立会調査	18.5㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・3・7	0217	（本荘南）体育部室（プレハブ）新設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・3・10	0218	（黒北）外灯設備工事	立会調査	27㎡	古代	住居址・土師器・須恵器・砥石	年報9
03・3・11	0219	（本荘南）塀新設工事	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・3・26	0220	（新南部）教育学部新南部農場竹藪・畑地境界掘り	立会調査	40㎡	古代	住居址・柱穴・溝．古代土師器・須恵器	年報9
2003年度							
03・4・10	0301	（黒南）工学部薬品庫新設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・4・10	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事	試掘調査	9.6㎡		土師器	年報10
03・5・20	0303	（黒南）事務局排水管修理工事	立会調査	16.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・6・2～7・2	0304	（本荘北）基幹・環境整備工事	発掘調査	333.5㎡	縄文・古墳・弥生・古代	住居址・溝・縄文石器・弥生土器・土師器・近代磁器	年報10
03・7・18	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事	立会調査	296㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・8・19	0305	（京町）附属小・中学校フェンス取設工事	立会調査	44.3㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・8・6～9・12	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事（1区）	発掘調査	168.2㎡			年報10
03・9・4～9・8	0306	（本荘南）医療技術短期大学部北側駐車場環境整備工事	立会調査	539.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・9・5	0307	（薬）大江総合研究棟給排水管および電気工事	立会調査	7.54㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・9・29	0308	（宇留毛）小頓宿舎1棟揚水管漏水修理工事	立会調査	3.64㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・10・2	0309	（本荘南）動物慰霊碑新設工事	立会調査	4.02㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・10・1～10・10	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事	発掘調査	253.5㎡	近代・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器・弥生土器	年報10
03・10.27		（黒北）教室新築工事	試掘調査	13.75㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・11・6		（薬）記念館建設工事	試掘調査	7.4㎡	古代	土師器	年報10
03・11・17～28	0310	（本荘南）発生医学研究センター施設整備事業	立会調査	557㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・11・26	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事（ガス管）	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・12・9		（本荘南）発生医学研究センター整備事業本体工事	試掘調査	26.58㎡			年報10
03・12・10	0311	（本荘北）中央診療棟（軸）設営工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・13	0312	薬草園取設工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・14	0307	（薬）大江総合研究棟給排水管及び電気工事	立会調査	45.5㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・15～19	0313	（黒北）教室新築工事	立会調査	398.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・23～27	0314	（本荘南）医学部B棟・E棟・RI・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,567㎡	古代	溝・ピット・土師器	年報10
04・1・30	0315	（本荘北）東側駐車場整備工事	立会調査	30.7㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・2・9～2・16	0316	（黒南）理学部4号館周辺プレハブ等設置工事	立会調査	83㎡			年報10
04・2・23	0317	（本荘北）借樹の木移植	立会調査	16㎡			年報10
04・3・4	0318	（黒北）附属幼稚園門横市道水道修理工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
04・3・5～9	0314	（本荘南）医学部B棟・E棟・RI・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,567㎡	中世・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器	年報10
04・3・9	0319	（黒北）井戸改修工事	立会調査	23㎡		遺構・遺物なし	
04・3・9	0320	（黒北）福利施設空調設備取設工事	立会調査	13.19㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0321	（黒南）外灯設備工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0322	（黒南）総合研究棟外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0313	（黒北）教室新築工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0323	（黒北）教室新築工事（空調機取設）	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	
04・3・11	0324	（本荘南）外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・11	0325	（本荘南）外灯設備工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	
04・3・15	0326	（黒北）外灯設備工事	立会調査	3.54㎡		縄文土器片	
04・3・16	0327	（薬）外灯設備工事	立会調査	11.8㎡		遺構・遺物なし	
04・3・17	0323	（黒北）教室新築工事（植栽）	立会調査	8.92㎡	古代	土師器・須恵器片	
04・3・22	0328	（京町）教育学部附属小中学校街路灯設備工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	
04・3・19	0329	（黒北）消火栓応急処置	立会調査	1.08㎡		遺構・遺物なし	
2004年度							
04・4・7	0401	黒髪団地北地区教室新築工事（渡廊下設置）	立会調査	33.8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・4・9		本荘団地北地区中央診療棟（軸）設営工事	試掘調査	10.44㎡	古代	溝？・土師器	年報11
04・4・13～5・31	0402	本荘団地南地区発生医学研究センター建設工事	発掘調査	1241.75㎡	古代	土師器・須恵器・縄文土器	年報11
04・5・26		黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	試掘調査	7.76㎡	古代	ピット・土師器	年報11
04・5・14 04・10・14	0403	本荘団地北地区中央診療棟（軸）設営工事	立会調査	150㎡	古代	土師器	年報11
04・5・21	0404	薬学部地区植物園柵支柱ほか設置工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・6・25	0405	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	68.48㎡		遺構・遺物なし	年報11

3．これまでの調査と本書収録の遺跡

04・6・28		本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備工事	試掘調査	10㎡	古代・縄文	土師器・縄文土器・土壙	年報11
04・5・24 04・5・26 04・6・4 04・10・26～28 04・11・12 04・11・29	0406	薬学部地区富本記念館（仮称）建設工事（旧建物撤去・樹木撤去・電気配線・給水管配管・ガス管配管・樹木移植）	立会調査	1332.4㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・7・26	0408	宇留毛団地小礒宿舎揚水管漏水配管改修工事	立会調査	26.2㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・7・29 04・8・6 04・8・20	0409	黒髪団地北地区記念碑設置工事	立会調査	72㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・8・23		黒髪団地南地区理学部駐輪場取設工事	試掘調査	11㎡	古代	柱穴・須恵器・土師器	年報11
04・8・9 04・8・10～11 04・11・5 04・11・11	0410	黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	立会調査	370㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・8・17～19・23 04・9・3 04・9・14～22 05・1・27～	0411	本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備（ポンプ室・ＲＩ実験棟取壊・ガス切替・水道プラグ止・周辺設備関連）工事	立会調査 発掘調査	420㎡		土師器・須恵器・縄文土器・竪穴住居址・溝・ピット	年報11
04・9・16	0412	本荘団地北地区附属病院都市ガス漏配管修理工事	立会調査	5.7㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・16	0413	京町地区附属中学校台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・16	0414	黒髪団地南地区工学部台風被害による倒木起し	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0415	薬学部地区富本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0416-1	本荘団地北地区附属病院台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0416-2	本荘団地南地区医学部台風被害による倒木起し	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・12	0417	黒髪団地北地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・12	0417	黒髪団地南地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・19	0418	黒髪団地北地区夏目漱石記念碑標柱設置工事	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・22	0419	本荘団地北地区附属病院福利厚生施設引込配線工事	立会調査	2.23㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・11・1～28	0411	本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備	発掘調査	551㎡	縄文・古墳・古代	竪穴住居址・掘立柱建物址・溝・畑・土師器・須恵器・縄文土器・鉄滓・勾玉・石器	年報11
04・11・26	0420	薬学部地区テニスコート整備工事	立会調査	695㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・11・29	0421	黒髪団地南地区さく井設備工事	立会調査	43㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・12・6	0422	本荘団地北地区中央診療棟（軸）工事	立会調査	66.39㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・12・15		黒髪北地区情報ネットワーク館関連工事	試掘調査	18㎡	古代	住居址・柱穴・須恵器・土師器	年報11
04・12・24	0423	黒髪団地北地区記念館（木造）取壊工事	立会調査	754㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・1・11	0424	本荘団地北地区ボンベ庫取設工事	立会調査	14.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・1～2・7～9	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館事前工事（配管工事）	立会調査	160.08㎡	古代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05・2・21～3・30、5・9～6・10	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館建設工事	発掘調査	1170.4㎡	古代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05・2・4・8～9	0426	本荘団地北地区防火水槽取設工事	試掘・発掘調査	84㎡	中～近世	土師器・須恵器・馬骨・銅銭	年報11
05・2・4	0427	黒髪団地北地区資料館前水道管漏水修理工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・21～22	0428	黒髪団地南地区樹木移植工事	立会調査	19㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・21	0429	薬学部地区雨水設備工事	立会調査	4.25㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・28、3・14、4・1	0430	本荘団地南地区駐車場環境整備工事	立会調査	1,846㎡			
05・3・1	0431	黒髪南地区事務局倉庫新営工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	
05・3・1	0432	教育学部附属中学校卒業記念植栽等工事	立会調査	0.945㎡		遺構・遺物なし	
05・3・1	0433	教育学部附属幼稚園掲示板設置工事	立会調査	0.81㎡		遺構・遺物なし	
05・3・2	0434	黒髪南地区工学部危険薬品庫改修工事（仮称）	立会調査	192.5㎡		遺構・遺物なし	
05・3・9	0435	黒髪南地区さく井設備工事（追加分）	立会調査	5.6㎡		遺構なし・土師器	
05・3・10・15・16・18	0436	黒髪南地区事務局倉庫改修工事	立会調査	62.14㎡		遺構なし	
05・3・14・16	0437	大江地区薬学部外灯設備工事	立会調査	8.1㎡		遺構・遺物なし	
05・3・22	0438	教育学部附属幼稚園遊具取設工事	立会調査	4.14㎡		遺構・遺物なし	
05・3・23	0439	黒髪南地区樹木植栽工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0440	教育学部附属中学校洗濯機置き場新設工事	立会調査			遺構・遺物なし	
05・3・24	0441	教育学部附属小学校遊具取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0442	（本荘北）附属病院福利厚生ガス管工事	立会調査	9.18㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0443	（本荘北）中央診療棟連結棟Ⅱ管工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	
05・3・25	0444	黒髪東地区教育学部附属発達障害児学校給水管漏水改修工事	立会調査	1.74㎡		遺構・遺物なし	
05・3・28	0445	黒髪南地区事務局前樹木移植工事	立会調査	3.355㎡		遺構・遺物なし	
2005年度							
05・4・19～4・20	0501	本荘団地南地区駐車場環境整備工事（追加）	立会調査	28㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・4・27	0502	医学部附属病院排水貯留槽ポンプアップ排水管補修	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・2・4～6・10	0425	（黒髪）情報ネットワーク館本体工事	発掘調査	1065.2㎡	縄文・古代	竪穴住居址・掘立柱建物・縄文土器・土師器・須恵器・黒色土器	本報告Ⅲ
05・5・30. 6・4～ 6・5 6・14	0503	（本荘）発生医学研究センター施設整備事業（外構）	立会調査	2337.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・7 6・10	0504	小礒宿舎埋設ガス配管漏れ補修・新設工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報12

05・6・9～6・10 6・12	0505	（医病）基幹・環境整備（殺傷・曳き家前）	立会調査	55.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・20	0506	（大江）薬学部テニスコートフェンス取設	立会調査	2.28㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・21	0507	（本荘中）敷地境界ブロック改修工事	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・7・8	0508	（黒髪）情報ネットワーク館仮設進入路工事	立会調査	40.9㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・7・13～7・14 7・19～9・30	0509	（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動先）	発掘調査	1147㎡	縄文・弥生古墳・古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報12
05・7・19	0511	本荘団地北地区雨水配管補修	立会調査	7.6㎡	古代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05・8・1	0512	教育学部附属幼稚園物置設置	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・2～8・3	0513 工④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	9.7㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・8・2～8・25	0513 理②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	198.75㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・8・5	0514	医学部南地区テニスコート内給水設備工事	立会調査	19.94㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・5～8・10	0513 工⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	17.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・8～8・18	0513 工①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	80.88㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05・8・18	0515	本荘団地（南地区）駐車場環境整備工事(その２)、追加変更	立会調査	235.98㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05・8・18～8・23	0515 工⑥	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・19～8・29	0513 工⑬	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－4	立会調査	259.㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・24	0516	本荘団地中地区外灯設備工事	立会調査	11.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・23～8・29	0513 工⑫	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	17.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513 工⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513 工⑧	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	86.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513 理③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	65.㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513 理④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	120.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・29～8・30	0513 工⑩	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	24.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・30～9・1	0513 工⑪	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	20.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・1～9・13	0513 理①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	発掘調査	67.6㎡	縄文・古代	竪穴住居址・縄文土器・土師器・須恵器	年報12
05・9・1、9・20	0517	（医病）基幹・環境整備（曳き家・現在地）	立会調査	1337㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・4～9・5	0513 理⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	48.75㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・12～9・27	0513 工⑨	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	43.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・13	0518	附属病院都市ガス設備改修工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・14	0519	（黒髪北）学務部倉庫取設工事	立会調査	157.76㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・15	0513 工⑭	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－5	立会調査	0.79㎡		包含層・ピット	年報12
05・9・15	0513 工⑮	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業―1	立会調査	40.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・15	0520	本荘団地北地区入退院棟前スロープ取設工事	立会調査	17.18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・15	0521	本荘団地（北地区）台風倒木引起し	立会調査	2.355㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・16～10・2	0513 工②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	97.342㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・9・16	0522	医学部附属病院管理棟附外給水バルブ取替工事	立会調査	2.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・27	0523	（医病）中央診療棟（仕上）	立会調査	57.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・11～11・7	0513 工③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2、3	立会調査	150㎡	古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報12
05・10・11	0524	本荘団地（北地区）駐車ゲート整備工事	立会調査	261.33㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・13～10・14、10・17～10・18	0525	（黒髪）情報ネットワーク設備工事	立会調査	73.6㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報12
05・10・14	0526	埋文調査室内部改修機械設備工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・19～10・20	0527	（黒髪北）文法学部本館スロープ整備工事	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・21	0528	工学部ものづくり実習室新営工事	立会調査	810㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・25	0529	（医病）外来臨床研究棟玄関前環境整備工事	立会調査	381.12㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・26	0530	薬学部温床室（苗床温室）補修工事	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・4	0531	旧情報処理センター屋外階段取設工事	立会調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・7	0532	教育学部附属発達学校給水引き込み漏水補修	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・7	0533	（黒北）ボイラー室給水管補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・16、11・21	0534	黒髪南地区囲障改修工事	立会調査	124.3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・29 12・15	0513 工⑯	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	48㎡	古代	住居址・柱穴	年報12

05・11・29～12・5	0513 理⑥	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	24㎡	古代	住居址・溝・ピット・土師器・須恵器	年報12
05・12・4	0513 工⑰	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	117.4㎡	古代	土師器	年報12
05・12・7	0513 工⑱	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	87㎡	古代	ピット・土師器・須恵器	年報12
05・12・9	0513 工⑲	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	25㎡	古代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05・12・12	0513 工⑳	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2，5	立会調査	㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・12	0535	教育学部新南部農場竹藪抜根	立会調査	455.7㎡		柱穴	年報12
05・12・13	0513 工21	（黒髪南）工学部他校舎改修等施設整備事業－1	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513 工22	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513 工23	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	87.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513 工24	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・14	0513 理⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	86.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・14	0536	医学部弓道場設備工事	立会調査	82.73㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・15	0513 理⑧	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1，2	立会調査	286.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・16	0537	理学部プレハブ倉庫新営工事	立会調査	167㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・19～12・21，12・26 06・1・6～1・11，2・27～3・2	0538	（黒髪）情報ネットワーク館設備工事（追加）	立会調査	70.235㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・12・22	0539	本荘団地（中地区）ゴミ置場取設	立会調査	48.51㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・26	0513 理⑨	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・4～1・19	0513 理⑩	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	89㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06・1・5	0513 理⑪	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	70㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・10，1・25	0540	本荘団地（南地区）埋設ガス管改修工事	立会調査	61.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・17	0513 工25	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・20	0513 工26	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	708㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・26，2・2 2・10 2・27	0541	（黒髪南）理学部駐輪場整備工事（追加・再追加含む）	立会調査	1110.6㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
06・1・23	0513 工27	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	45.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・24	0513 工28	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・26	0513 工29	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・27	0542	（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動経路）	立会調査	1464㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・30	0513 工30	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－3	立会調査	656.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・13	0543	附属病院職員厚生施設園芸整備	立会調査	338.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・16，3・13	0544	（医病）基幹・環境整備（設備・曳き家後）	立会調査	39㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・17	0545	教育学部附属幼稚園プランコ用ゴムマット布設	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・24，3・7～3・8，3・13，3・16～3・17	0546	（黒髪）情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事	立会調査	1837㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06・3・10	0547	（黒髪）北地区学生会館西側バイク置場設置工事	立会調査	48㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・13	0548	本荘団地（中地区）渡り廊下設置	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・24	0549	（医病）外来化学療法センター屋外汚水配管工事	立会調査	1.92㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・30	0550	ぎ木補修工事	立会調査	0.91㎡		遺構・遺物なし	年報12
2006年度							
06・4・11	0601	教育学部附属中学校テニスコート移設	立会調査	5.94㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・11	0602	（黒髪北）接地工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・11	0603	（黒髪北）資料館改修工事	発掘調査	32.1㎡	古代	土師器	年報13
06・4・11～4・12	0604	（黒髪北）資料館改修工事（屋外排水）	発掘調査	25.12㎡	古代	土師器	年報13
06・4・12	0606	工学部研究実験用車庫取設工事	立会調査	49.05㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・13	0605	放送大学案内板取設工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・18～4・19	0607	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-9	立会調査	5.2㎡		遺構・遺物なし	年報13

06・4・21	0608	（黒髪北）前面歩道配管補修工事	立会調査	1.3㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・24	0609	理学部駐輪場ガス漏れ補修	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・2	0610	教育学部附属小学校遊具新設	立会調査	0.98㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・11	0611①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・22 5・25	0611 ②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	129㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・22	0612①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	1.1㎡	古代	柱穴・土師器	年報13
06・5・22～ 5・24	0612②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	24㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報13
06・6・12	0614	（黒髪）環境安全センター給水配管補修	立会調査	0.57㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・6・19	0613	附属病院中央診療棟新営電気設備工事	立会調査	72.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・6・22 6・28 7・3	0615	附属病院中央診療棟新営機械設備（衛生）工事	立会調査	153㎡	古代	土師器・須恵器	年報13
06・6・27 7・7	0612③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	21.98㎡	古代	土師器・須恵器	年報13
06・8・7	0616	教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・11	0617	（黒髪）プール附属家等環境配慮改修（アスベスト処理）工事	立会調査	0.59㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・11	0618	医学部附属病院駐車場舗装修理	立会調査	8.75㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・21	0619	教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他工事	立会調査	420.51㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・24～ 8・25	0611③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	20.7㎡			年報13
06・8・31～ 9・1	0611①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	64.1㎡	古代	溝・土師器	年報13
06・9・7	0620	教育学部附属小学校プール系統給水漏水補修工事	立会調査	2.8㎡			年報13
06・9・11	0611⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	49.64㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・12	0611⑥	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	140㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・14～ 9・15	0611⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	32.96㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・20～ 9・21	0611⑧	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	55.1㎡			年報13
06・10・2	0611⑨	黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・2	0621	（黒髪）プール附属家等環境配慮改修（アスベスト処理）工事その2	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・2 10・27 10・30 11・13	0622	（医病）環境整備（西側駐車場等）工事	発掘調査	8,077.5㎡ (50.68㎡)	古代	土師器・須恵器	年報13
06・10・10 10・12	0623	黒髪団地外灯取設その他工事	立会調査	26.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・13	0624	附属病院設備管理棟アキュームレータードレン管漏れ修理	立会調査	2.16㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・16	0625	（医病）基幹・環境整備（外灯）工事	立会調査	296.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・19	0626	（医病）基幹整備（ボイラー設備他更新）工事	立会調査	106.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・25	0627	（大江地区）排水設備工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・2	0628	医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事	立会調査	2.8㎡			年報13
06・11・17 11・27 12・4	0629	（本荘）医学部保健学科校舎改修電気設備工事	立会調査	239.4㎡	古代	土師器	年報13
06・11・20	0630	黒髪南地区工学部通用門周辺植栽	立会調査	15㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・30	0631	湊町団地防火用水撤去工事	立会調査	56.93㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・1	0632	事務局正門樹木植替え	立会調査	3.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・15 12・18～ 12・25 12・27～ 12・28 07・1・4～ 1・9	0612①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	162.7㎡	古代	土師器・須恵器・動物骨	年報13
06・12・19	0633	本荘北地区南側駐車場歩道環境整備工事	立会調査	2943.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・25 07・4・2	0634	（本荘）医学部保健学科校舎改修機械設備工事	立会調査	113.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・1・10～ 1・11 1・19	0635	附属養護学校ガス漏れ緊急立会	立会調査	13.45㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・1・18 1・22～ 1・23	0636	理学部4号館昇降路取設工事	発掘調査	30.35㎡	古代	土師器・須恵器・礫	年報13
07・1・30	0637	（本荘）医学部保健学科校舎改修工事	立会調査	341.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・1	0638	（宇留毛）ゴミ置き場取設工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・20	0639	（本荘）医学部保健学科校舎CT用接地工事	立会調査	4.35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・26	0640	黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査	立会調査	1.52㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・1	0641	（本荘中）医学部門衛所取り壊し工事	立会調査	52.42㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・6	0642	宇留毛団地災害復旧工事	立会調査	134.82㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・8	0643	（黒髪南）理学部温室取り壊し工事	立会調査	101.7㎡	古代	土師器	年報13
07・3・8	0644	（南地区）西側囲障改修工事	立会調査	55.28㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・12	0645	本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事	立会調査	763㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・20	0646	（医病）環境整備（救急棟改修）機械設備工事	立会調査	5.77㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・22	0647	（教）附属幼稚園囲障改修工事	立会調査	25.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・26	0648	（医病）環境整備（山崎記念館外部改修）工事	立会調査	1.15㎡		遺構・遺物なし	年報13

2007年度							
07・4・10	0701	（教）附属発達学校東門等改修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・12		（本荘）医学部図書講義棟新営工事	試掘調査		古代	溝・柱穴・土器	年報14
07・4・13	0702	教育学部附属幼稚園斜育小屋取設工事	立会調査	18.21㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・16 4・20	0703①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	61㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・5・7～ 5・8	0704	（黒髪南）新営工事に伴う樹木移植工事	立会調査	446㎡	古代	土師器・須恵器	年報14
07・6・7		（医病）東病棟新営工事	試掘調査				
07・6・13	0705	（医病）東病棟新営に伴う支障配線等工事（電気設備）	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・19 6・21 6・27	0703②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	469.2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20	0706	本荘南地区保健学科通用門整備	立会調査	17.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20		黒髪北地区総合研究棟新営工事	試掘調査			柱穴・土器	年報14
07・6・25	0703③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	31.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・26 6・29 7・10 7・18～ 7・19	0707	（本荘）医学部図書講義棟新営工事	立会調査			（一次掘削立会）	年報14
07・6・28	0708	大教センター南側雨水管つまり修理	立会調査	1.50㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・29	0709	（本荘北）仮設渡り廊下取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・3	0703④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6,14	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・4	0710	（京町）教育学部附属小中学校仮設校舎取設工事（変更）	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・9～ 7・10	0703⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	58.75㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・17	0711	（医病）基幹・環境整備（旧中央診療棟取り壊しに伴う電気設備）工事	立会調査	8.34㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・17	0703⑥-1	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	1,576.6㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・19	0703⑥-2	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	300.08㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・30～ 9・3	0707	（本荘）医学部図書講義棟新営工事	発掘調査	1,590㎡	縄文・古代	縄文時代石器・縄文土器・土師器・須恵器・古代鉄器	年報14
07・8・7	0712	（医病）東病棟新営工事	立会調査	24㎡		（一次掘削）	本報告V
07・8・10	0713	薬学部屋外給水管漏水修理工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・22	0714	（黒髪南）理学部1.2号館掲示板取設工事	立会調査	15.7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・23	0715	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-19	立会調査	2.09㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・27～ 10・25	0712	（医病）東病棟新営工事	発掘調査	589.29㎡	縄文・古墳・古代・近世	縄文土器・土師器・須恵器・石器・古代鉄器・銅製拵帯・馬骨・宋銭	本報告V
07・9・3	0716	本荘南地区駐車場出入口整備	立会調査	294.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・14 10・3	0717	（医病）基幹・環境整備（旧中央診療棟取り壊しに伴う機械設備）工事	立会調査	93.7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・25～ 9・27 10・2	0703⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6,16	発掘調査	275.5㎡	古代	住居址・ピット・土師器・須恵器	年報14
07・9・27 10・1～ 10・2	0718	（大江）薬学部本館耐震改修工事	発掘調査	264.32㎡	古代	溝・土師器	年報14
07・10・4 10・15～ 10・16 10・22 10・25	0719	（京町）教育学部附属小中学校校舎等改修工事	立会調査	308.68㎡	弥生・古代	ピット・弥生土器・土師器	本報告V
08・1・30～ 1・31 2・13							
07・10・19	0720	事務局南側等屋外給水管補修工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・10・26～ 11・28	0719	（京町）教育学部附属小中学校校舎等改修工事	発掘調査	230.3㎡	弥生・古代	竪穴住居・ピット・溝・弥生土器・土師器・須恵器・打製石鏃	本報告V
07・12・3～ 12・4 12・6～ 12・7 08・1・18	0721	（京町附属小中）校舎等機械設備改修	立会調査	1,309.05㎡	弥生・古代・近世・近代	竪穴住居・ピット・弥生土器・土師器・須恵器・近世、近代陶磁器	本報告V
07・12・5	0722	（黒髪）工学部8号館内部改修その他工事	立会調査	97㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・5 12・11	0723	（黒髪）工学部8号館内部改修電気設備工事	立会調査	14.1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・7 12・10 12・12	0724	（本荘中）医学部基礎研究棟（C棟とりこわし）工事	立会調査	1,000㎡	古代	土坑・ピット・土師器	年報14
07・12・7	0725	（京町）教育学部附属小・中学校校舎等改修電気設備工事	立会調査	90㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・10 12・17～ 12・18 08・1・16～ 1・17	0703⑧-1	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6,18	立会調査	148.75㎡	古代？	ピット	年報14
07・12・14～ 12・27	0721	（京町附属小中）校舎等機械設備改修	発掘調査	112.65㎡	弥生・古代・近世・近代	竪穴住居・ピット・近代土坑・弥生土器・土師器・須恵器・近世、近代陶磁器	年報14
07・12・19	0726	医学部基礎研究棟北側喫煙所	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・16	0703⑨	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-20	立会調査	94.5㎡		遺構・遺物なし	年報14

08・1・22	0727	（黒髪）工学部８号館耐震改修機械設備工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・1・22	0728	（黒髪）工学部８号館内部改修機械設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・1・23	0703⑧-2	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6,18	立会調査	89㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・1・25	0703⑩	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	2.01㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・1・29～1・30	0703⑧-3	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6,18	立会調査	96.7㎡	古代	土師器	年報 14
08・2・1 2・4	0703⑧-4	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6,18	立会調査	53.02㎡	古代	土師器	年報 14
08・2・14	0729	（黒髪南）ボイラー等撤去工事	立会調査	38.8㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・2・25	0730	（黒髪北）教育学部附属特別支援学校防火用水槽撤去工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・2・27	0731	（黒髪南）旧情報処理センター改修	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・2・29	0732	（本荘）特別高圧受電棟増築工事	立会調査	9㎡	土師器		
08・3・11 3・26	0733	（医病）旧中央診療棟とりこわし工事	立会調査	84㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・3・17	0734	（黒髪北）排水路開口部フェンス設置工事	立会調査	50.3㎡			
08・3・21	0735	医学部保健学科ボイラー用地下重油タンク撤去工事	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・3・21	0736	（大江北）薬学部消防用水槽撤去工事	立会調査	73.3㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・3・25	0737	（黒髪南）ボイラー煙突撤去工事	立会調査	208㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・3・27	0738	（本荘南）医学部保健学科記念碑取設工事	立会調査	36.5㎡		遺構・遺物なし	年報 14
08・3・31	0739	（黒髪北）出麻注意灯取設工事	立会調査	10.135㎡		遺構・遺物なし	年報 14
2008年度							
08・4・2	0801	（医病）旧中央診療棟とりこわし工事（追加）	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・5・7	0802	附属中学校散水復旧工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・5・20	0803	薬学部薬草園管理舎ガス管改修工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・5・26	0804	（本荘北）駐輪場取壊し工事	立会調査	11.1㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・6・5	0805	（黒髪南）ボイラー室南側給水管漏水修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・6・6 6・19 6・23 6・26 7・4 7・10 7・18 7・28 8・25 12・1 12・8	0806	（黒髪）南地区福利施設支障配管替工事	立会調査	306.46㎡	古代	土師器	年報 15
08・6・20 6・25～7・1 7・28～7・30 12・4 12・18～12・19	0806	（黒髪）南地区福利施設支障配管替工事	発掘調査	125.2㎡	古代	溝・ピット・土師器・須恵器・近代陶磁器・石器	年報 15
08・6・9～6・10	0807	（本荘）医学部図書講義棟新営機械設備工事	立会調査	29.7㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・6・18	0808	（黒髪北）有機系廃液処理施設東側給水管漏水修理	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・6・23 7・1 7・3～7・4 7・15～7・16	0809	（黒髪南）福利施設樹木移植工事（追加）	立会調査／発掘調査	23.5㎡	古代	溝・住居址・土師器・石器	年報 15
08・7・10	0810	宇留毛団地給水管補修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・7・11	0811	（黒髪南）共用棟Ⅱ４階改修電気設備工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・7・14	0812	（黒髪南）掲示板移設工事	立会調査	41.1㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・7・15	0813	（本荘中）医学部基礎棟内都市ガス配管漏れ修理	立会調査	2.42㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・8・18	0814	（医病）東病棟新営工事	立会調査	8㎡	弥生	溝発見	年報 15
08・8・20～8・22	0814	（医病）東病棟新営工事	発掘調査	212㎡	弥生・古代	弥生土器・土師器・須恵器	年報 15
08・8・21	0815	（本荘南）こばと保育園支障基礎等撤去工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・8・21	0816	（本荘中）医学部基礎棟内市水道配管漏れ修理	立会調査	1.77㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・8・29	0817	宇留毛団地油タンク警報線補修工事	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・9・1	0818	（黒髪北）ポンプ室西側給水管漏水修理	立会調査	2.1㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・9・9～9・10	0820	（黒髪北）文法学部本館改修南側支障物撤去工事	立会調査	80.2㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・9・9	0821	本荘団地（北地区）看護師宿舎埋設ガス管修理	立会調査	7.4㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・10・6	0822	本荘南地区保健学科東側擁壁整備	立会調査	30㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・10・9 10・10～11・28	0819	（湊町）体育館耐震改修その他工事	一次掘削／発掘調査	694.95㎡	縄文・古墳・古代	縄文土器・石器、古墳時代玉、土師器・石器・人骨	年報 15
08・10・10	0823	教育学部附属特別支援学校漏水調査補修工事	立会調査	4.8㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・10・15	0824	（本荘南）医学部保健学科喫煙所取設工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・10・28	0825	（医病）電力工事負担金	立会調査	120.5㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・10・29	0826	（黒髪南）共用棟黒髪３樹木伐採・移植工事	立会調査	44.55㎡			年報 15
08・11・4	0827	五高開校 120 周年記念植樹	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・11・6	0828	（本荘）こばと保育園改築電気設備工事	立会調査	10.7㎡			年報 15
08・11・10	0829	（黒髪北）学務部プレハブ倉庫改修機械設備工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報 15
08・10・10	0823	教育学部附属特別支援学校漏水調査補修工事	立会調査	4.8㎡		遺構・遺物なし	年報 15

08・10・15	0824	（本荘南）医学部保健学科煙道所取設工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・28	0825	（医病）電力工事負担金	立会調査	120.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・29	0826	（黒髪南）共用棟黒髪3樹木伐採・移植工事	立会調査	44.55㎡			年報15
08・11・4	0827	五高開校120周年記念植樹	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・6	0828	（本荘）こばと保育園改築電気設備工事	立会調査	10.7㎡			年報15
08・11・10	0829	（黒髪北）学務部プレハブ倉庫改修機械設備工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・18 11・19～ 11・21	0830	（本荘）こばと保育園新営機械設備工事（変更2）	一次掘削／ 発掘調査／ 立会調査	5㎡	古代	土師器・石器	年報15
08・11・18 11・20 12・24	0831	（渡鹿）体育館耐震改修機械設備工事	発掘調査	113.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・1	0832	文法学部講義室北側給水管漏水調査	立会調査	1.04㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・3	0833	（黒髪北）教育学部本館東側汚水枡補修工事	立会調査	1.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・10	0834	（本荘中）共用研究棟新営工事（変更）	立会調査	14.13㎡		黒曜石	年報15
08・12・11 12・15～ 12・19 09・1・13～ 2・19	0835	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）	一次掘削／ 発掘調査	580㎡		ピット・住居址・土師器・須恵器・弥生土器・縄文土器・石器・鉄器	年報15
08・12・22 12・24～ 12・25 09・1・5～ 3・10	0836	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（変更その1、その2）	一次掘削／ 発掘調査	456.54㎡	古代	溝・住居址・ピット・土師器・須恵器・石器	年報15
08・12・24	0837	五高開校120周年記念植樹（追加）	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・26	0838	（黒髪北）教育学部本館改修南側耐震補強工事	立会調査	60㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・20	0839	（黒髪南）備蓄倉庫取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・22	0840	（黒髪南）南地区ボイラー室改修工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・2	0841	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営に伴う支障樹木伐採・移植工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・4	0842	（本荘）医学部図書講義棟増築機械設備工事	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・5	0843	（黒髪北）ボイラー煙突撤去工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0844	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修電気設備工事（変更）	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0845	（黒髪南）福祉施設新築工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13	0846	（城東町）附属幼稚園北門改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13～ 2・19	0847－1 ～2	（黒髪北）教育学部本館改修（変更）	立会調査	130.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23～ 24 2・27 3・4～ 3・5 3・13	0848－1 ～5	（黒髪北）文法学部本館改修（変更）	立会調査	138.17㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0849	黒髪団地（北地区）外灯増設その他工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0850	（渡鹿）体育館耐震改修機械設備工事（追加）	発掘調査 （立会調査）	13.32㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・17	0851	（医病）水路蓋改修工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0852	（黒髪南）排水ポンプ電源工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0853	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23	0847－3	（黒髪北）教育学部本館改修（変更その2）	立会調査	244.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・24	0854	（黒髪北）北地区ボイラー室改修工事	立会調査	12㎡		土師器・須恵器	年報15
09・2・26～ 3・12	0854	（黒髪北）北地区ボイラー室改修工事	発掘調査	106㎡	古代	ピット・竪穴住居址・道状遺構・土壙墓・竈・土師器・須恵器・土製紡錘車	年報15
09・2・26	0855	（黒髪南）旧情報処理センター改修電気設備工事	立会調査	20.85㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・27	0856	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営工事	立会調査	60.99㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・3	0857	（黒髪南）旧情報処理センタースロープ取設工事	立会調査	33.114㎡ （内1.12㎡）		遺構・遺物なし	年報15
09・3・4～ 3・6 3・11	0858	（黒髪北）教育学部本館改修東側植栽工事	立会調査	117㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・6	0859	（黒髪南）共用棟黒髪3耐震改修機械設備工事	立会調査	3.6㎡ （0.32㎡）		遺構・遺物なし	年報15
09・3・6 3・13	0860	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	115.54㎡ （17.74㎡）		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9～ 3・11 3・17	0861	（黒髪北）文法学部本館改修東側植栽工事	立会調査	336㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9	0862	（黒髪南）共用棟黒髪3耐震改修電気設備工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・10～ 3・11	0863	（黒髪南）ボイラー室他改修機械設備工事	立会調査	98.5㎡ （4.86㎡）		遺構・遺物なし	年報15
09・3・16 3・23	0864	（黒髪北）環境整備（排水等）工事	立会調査	119.99㎡		住居址・ピット・土師器	年報15
09・3・17	0865	（黒髪南）南地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	393.78㎡ （1.12㎡）		遺構・遺物なし	年報15
09・3・23	0866	（黒髪北）学生会館北側排水等工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・27	0867	（黒髪北）北地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	37.24㎡ （16.1㎡）		遺構・遺物なし	年報15
09・3・31	0868	（医病）カーブミラー取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15

2009年度						
09・4・15 4・17	0901	（黒髪南）西門改修植栽移植工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし
09・4・20 4・22 4・24 4・27 4・30 5・1 5・25 5・27 5・28	0902	（黒髪南）西門改修工事	立会調査	422㎡		内堀・塀新設に際し黒褐色の住居址らしき遺構検出 それ以外遺構・遺物なし
09・4・23	0903	（本荘中）中地区構内カーブミラー取設工事	立会調査	1.19㎡		遺構・遺物なし
09・5・8	0904	（宇留毛）学生寄宿舎駐輪場新営工事	立会調査	115.6㎡ (16㎡)		遺構・遺物なし
09・5・8	0905	（黒髪南）屋外雨水管改修工事	立会調査	5.8㎡		遺構・遺物なし
09・5・27	0906	（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他工事	立会調査	191.1㎡ (0.8㎡)		遺構・遺物なし
09・5・28	0907	（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事　その1（変更）	立会調査	179.2㎡ (11.48㎡)		遺構・遺物なし
09・6・5	0908	（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事　その2	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし
09・6・4	0909	（大江）薬学部樹木伐採・移植工事	立会調査	42.7㎡ (10.48㎡)		遺構・遺物なし
09・6・11	0910	（黒髪北）ガス配管修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし
09・7・3 7・22	0911	（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他電気設備工事	立会調査	3.24㎡		遺構・遺物なし
09・7・6	0912	熊本大学黒髪団地（東地区）インフラ整備	立会調査	403.5㎡ (1.2㎡)		遺構・遺物なし
09・7・8	0913	（黒髪北）非常勤講師宿泊施設屋外給水管漏水修理	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし
09・7・8	0913	（黒髪北）特別支援学校屋外給水管漏水修理	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし
09・7・13	0914	（黒髪北）文法学部本館耐震ブレース基礎まわり工事	立会調査	7㎡ (3.5㎡)		遺構・遺物なし
09・7・28	0915	（宇留毛）留学生宿舎新営電気設備工事（追加その5）	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
09・8・7	0916	（本荘中）動物資源開発研究施設棟南側屋外配管漏水修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし
09・8・10	0917	（本荘中）構内通路屋根取設工事	立会調査	8.06㎡ (0.44㎡)		遺構・遺物なし
09・9・4	0918	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	50.37㎡		遺構・遺物なし
09・9・4	0919	（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修外構工事	立会調査	464.8㎡		遺構・遺物なし
09・9・4 10・2・24	0920	（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	3.56㎡		遺構・遺物なし
09・9・29	0921	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修電気設備工事	立会調査	8.26㎡		遺構・遺物なし
09・10・6	0922	（黒髪南）工学部研究実験棟準備室A増築地工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし
09・10・13 10・30 11・12 11・13	0923	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）	立会調査／発掘調査	工区 ①30㎡ （0㎡） ⑨15㎡ ⑤⑥50㎡		ピット・住居 土師器坏・須恵器蓋
09・10・19 10・23 10・27～28	0924	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）	立会調査／発掘調査	工区 ③39㎡ ④54㎡ ⑦25.5㎡		ピット
09・10・27～29 11・18 11・19 11・24～ 11・26 12・1～ 12・3	0925	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事　追加その1	立会調査／発掘調査	工区 ⑨9㎡ ⑥7.2㎡		溝・土師器・高坏 土師器・須恵器
09・10・13 10・28	0926	（医病）基幹整備（自家発電設備更新）工事	立会調査	64㎡	古代	土師器
09・10・20	0927	（黒髪南）ゴミ集積場取設工事	立会調査	75.1㎡ (9.19㎡)		土師器
09・10・21	0928	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	46.4㎡ (3.3㎡)		遺構・遺物なし
09・10・29	0929	（医病）第6病棟スロープ取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
09・11・4	0930	（本荘北）基礎研究棟北側プレハブ小屋改修工事	立会調査	0.9㎡		磁器
09・11・10 11・18	0931	（医病）東病棟北側排水管等取設工事	立会調査	57.17㎡	縄文後期 古代	A・C遺構・遺物なし B住居址・縄文後期土器・古代土師器・須恵器
09・11・10 11・30～ 12・3 12・14	0932	（黒髪南）旧図書館工学部分室改修工事	立会調査／発掘調査	地中梁試掘・ピット試掘 0.98㎡ 外構工事 230㎡	古代	溝 古代土師器・須恵器
09・12・9	0933	（京町）附属小学校プール他改修機械設備工事	立会調査	62.04㎡ (1.8㎡)		遺構・遺物なし
09・12・9	0934	（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修電気設備工事	立会調査	14.64㎡		遺構・遺物なし

10・1・7 1・12 1・19 1・22 1・28 2・2	0935	(黒髪北) 体育館改修電気設備工事	立会調査 ／発掘調査	423.21㎡	ピット 土師器甕・坏・須恵器 磨耗した瓦・磁器
10・1・12	0936	(医病) 旧こばと保育園駐車場整備	立会調査	12㎡	埋甕
10・1・13 2・23	0937	(黒髪南) 旧図書館工学部分室他改修機械設備工事	立会調査	56㎡	遺構・遺物なし
10・1・14 2・17～ 2・19	0938	(黒髪南) エコロジーシステム実験室接地工事	立会調査／ 発掘調査	10㎡	溝 縄文土器片・白石・弥生土器片
10・1・15	0939	(黒髪北) 教育学部本館Ⅱ期改修西側外構工事	立会調査	12㎡	遺構・遺物なし
10・1・26	0940	(黒髪南) 生物生息環境音響解析室新営工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし
10・1・29	0941	(黒髪北) 体育館屋外階段改修工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし
10・1・29	0942	(黒髪北) 体育館屋外配水管改修	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし
10・2・2	0943	(黒髪南) 旧図書館工学部分室外構工事	立会調査	7㎡	V字型遺構（溝？）
10・2・8	0944	(黒髪北) 教育学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし
10・2・8	0945	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）	立会調査	3㎡	遺構・遺物なし
10・2・8	0946	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）追加	立会調査	7.2㎡	遺構・遺物なし
10・2・12	0947	(大江) 薬学部講義棟前外灯工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし
10・2・15	0948	(黒髪北) 教育学部東教室既設駐輪場撤去・新設他工事	立会調査	45㎡	遺構・遺物なし
10・2・15	0949	(黒髪北) 教育学部東教室外構工事	立会調査	0.5㎡	遺構・遺物なし
10・2・15	0950	(黒髪北) 教育学部東教室耐震改修機械設備工事	立会調査	4㎡	遺構・遺物なし
10・2・15	0951	(黒髪北) 教育学部東教室耐震改修電気設備工事	立会調査	0.5㎡	遺構・遺物なし
10・2・22	0952	(黒髪南) 生物生息環境音響解析室新営機械設備工事	立会調査	1.5㎡	遺構・遺物なし
10・2・22	0953	(黒髪南) 生物生息環境音響解析室新営電気設備工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし

Ⅱ　黒髪南地区の調査

1．工学部実験用プレハブ新築工事に伴う発掘調査（9907調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

本学の文学部・法学部・教育学部・大学教育センター（旧教養部）・工学部・理学部の所在する黒髪地区は、周知の黒髪町遺跡群（熊本市遺跡地図No. 8 －88）内にある。阿蘇南郷谷に発した白川は永年の土砂運搬と増水・氾濫を繰り返して熊本平野を形成し、中流域では両岸に河岸段丘を発達させている。白川は大学付近で小刻みに蛇行しやがて穏やかに下流域へと下る。本遺跡は白川右岸に展開する河岸低位段丘上（標高18～25m）、立田山（標高151.6m）の南山麓部に位置する。周辺遺跡としては、小峰遺跡、黒髪町下立田遺跡群、カブト山遺跡、龍田陳内遺跡などが、白川を挟んだ対岸には渡鹿遺跡群や新屋敷遺跡、大江遺跡群が所在している（図1）。

本工事は、年度当初には計画されていない事業であった。前年の平成10年11月初めに工学部より、実験用プレハブを取設したいと依頼があった。しかし、年度末についた補正予算により1月～3月の間に急遽理学部自然科学等総合実験棟新営に係る調査（9810）を優先して行い、この調査終了後には医学部附属病院病棟新営工事に係る調査（9901）を実施することとなった。理学部の調査は年次報告書の作成期間中であったため一部の業務を委託して小畑が調査にあたり、また病棟新営工事は調査面積から推して調査員一人では半年以上かかると予測され、調査期間短縮のため小畑・大坪が二人で現場に係らなければならず、プレハブ取設に伴う調査は上記の調査が終了するのを待って実施された。

9月17・20日両日で一次掘削を終了し、9月22日より作業を開始した。期間中、大きな被害をもたらした台風の通過があった。そのような困難のなか参加して頂いた作業員の皆様には感謝いたします。

b．調査の経過

1999年9月22日　作業開始。撹乱撤去、包含層掘削。
1999年10月5日　調査終了。

c．調査の組織

調　査　員：大坪志子
事 務 担 当：松嶋木綿子
発掘作業員：岡田イツ代・押方富江・河野義勝・小細工洋子・白石亜紀・白石美智子・高松北子・溜渕俊子・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・村上幸子・森田ミドリ
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・土田ちえみ・長谷智子・林田恵子・増井弘子・山嵜早苗・早川　翔

（2）調査区の基本層序

今回調査したのは、白川右岸の標高19m前後の地点にあたる。調査地点は、熊本高等工業学校（前第五高等学校工手部）の寄宿舎「工友寮」があった場所である。工友寮は昭和55年3月31日に、建物の老朽化と白川河川敷拡幅工事のため閉鎖となった。南側には堤防が控え、すぐに白川の流れとなる。基本層序は以下のとおりである（図3）。

東壁では、1層（黒褐色10YR 2 / 3）・2層（黒褐色10YR 2 / 2）は現代埋土および跡地整備時

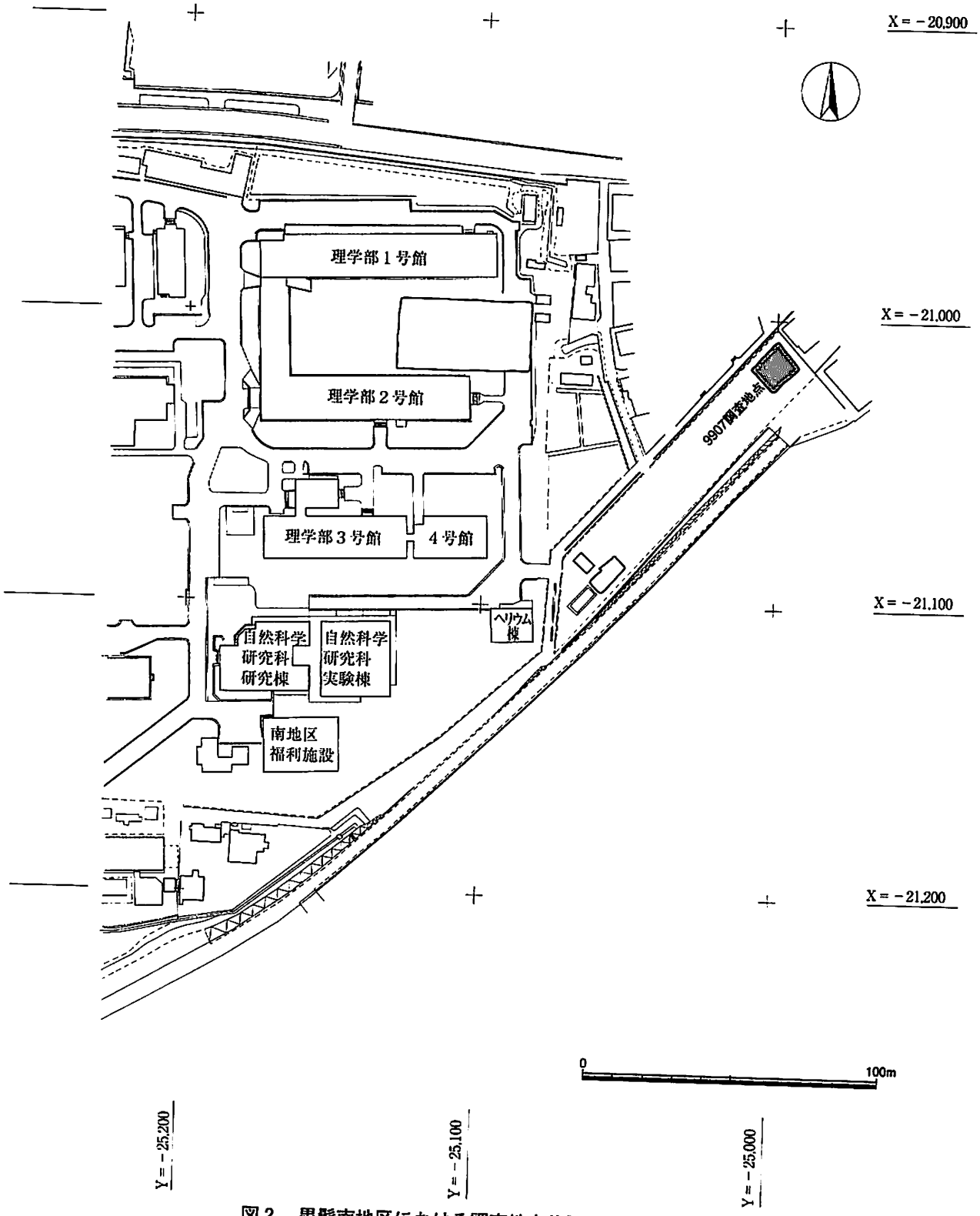


図２　黒髪南地区における調査地点位置図（１/2000）

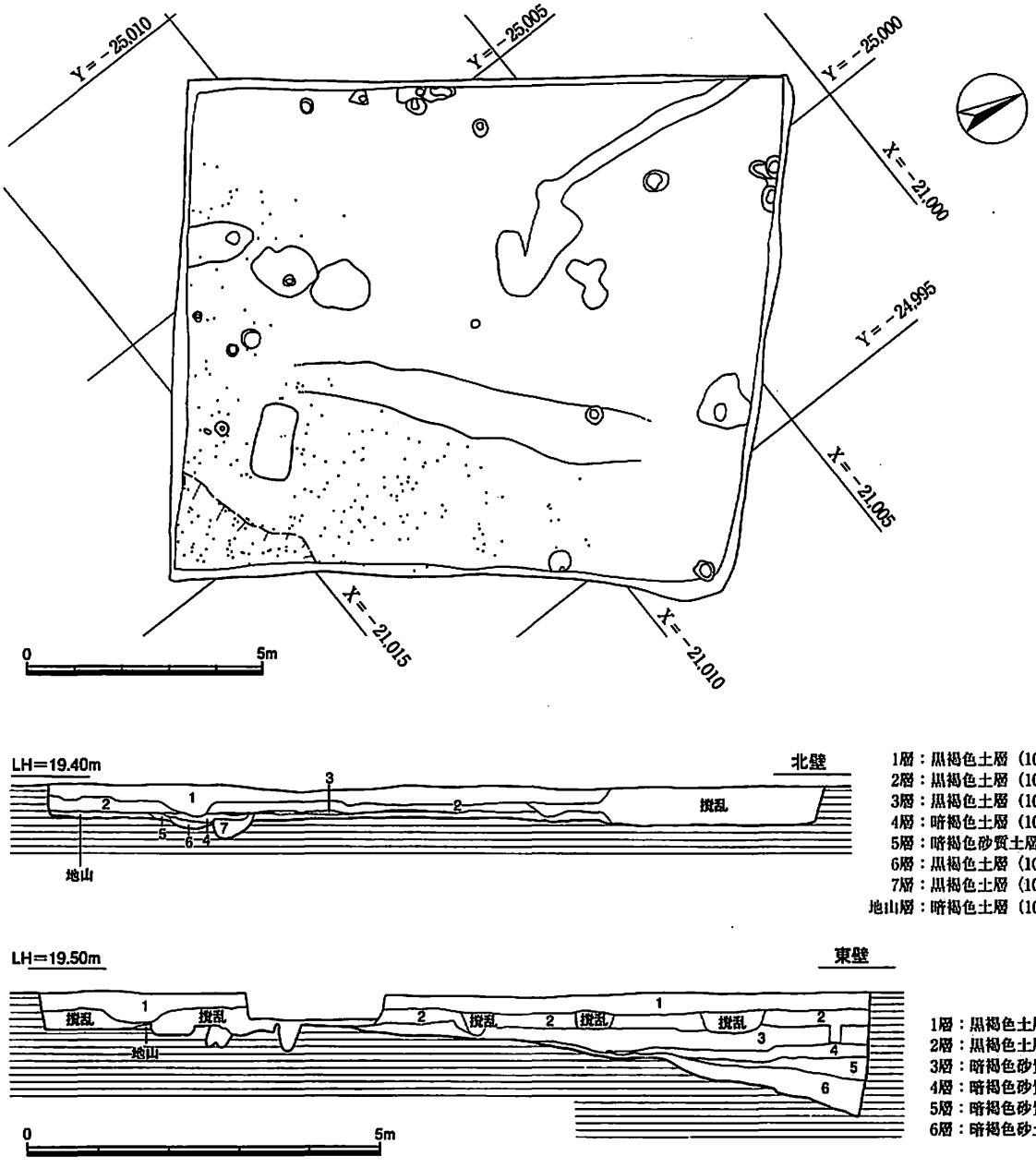


図３　9907調査地点遺構配置実測図・壁土層断面実測図（/150・１/100）

の客土であろう。３層（暗褐色10YR ３／４・厚さ30cm）は他の調査地点において通常地山層と呼称している遺構が掘込まれる層である。きめ細かく粘性の少ないきれいな土である。縄文時代の遺物包含層でもある。４層（暗褐色10YR ３／４・厚さ20cm）は土の質は３層と同じである。色調の表記では同一となるが、３層と比べると赤味が強く鮮やかなオレンジ色という感じである。縄文時代の遺物も若干含まれていた。５層（暗褐色10YR ３／４・厚さ30cm）は３・４層に似た土に砂岩ブロック（にぶい黄褐色10YR ４／３・厚さ10～30cm）が入る。遺物は含まれない。６層は５層の土に多量の川砂が入る。

地山はⅤ層に入るブロックが基盤となる土で、黒髪北地区の9802地点において、調査区の南側半分で検出された地山（遺構面）と同じである。9802調査地点では、この地山直上で縄文時代早期の押型文土器が多量に出土した。

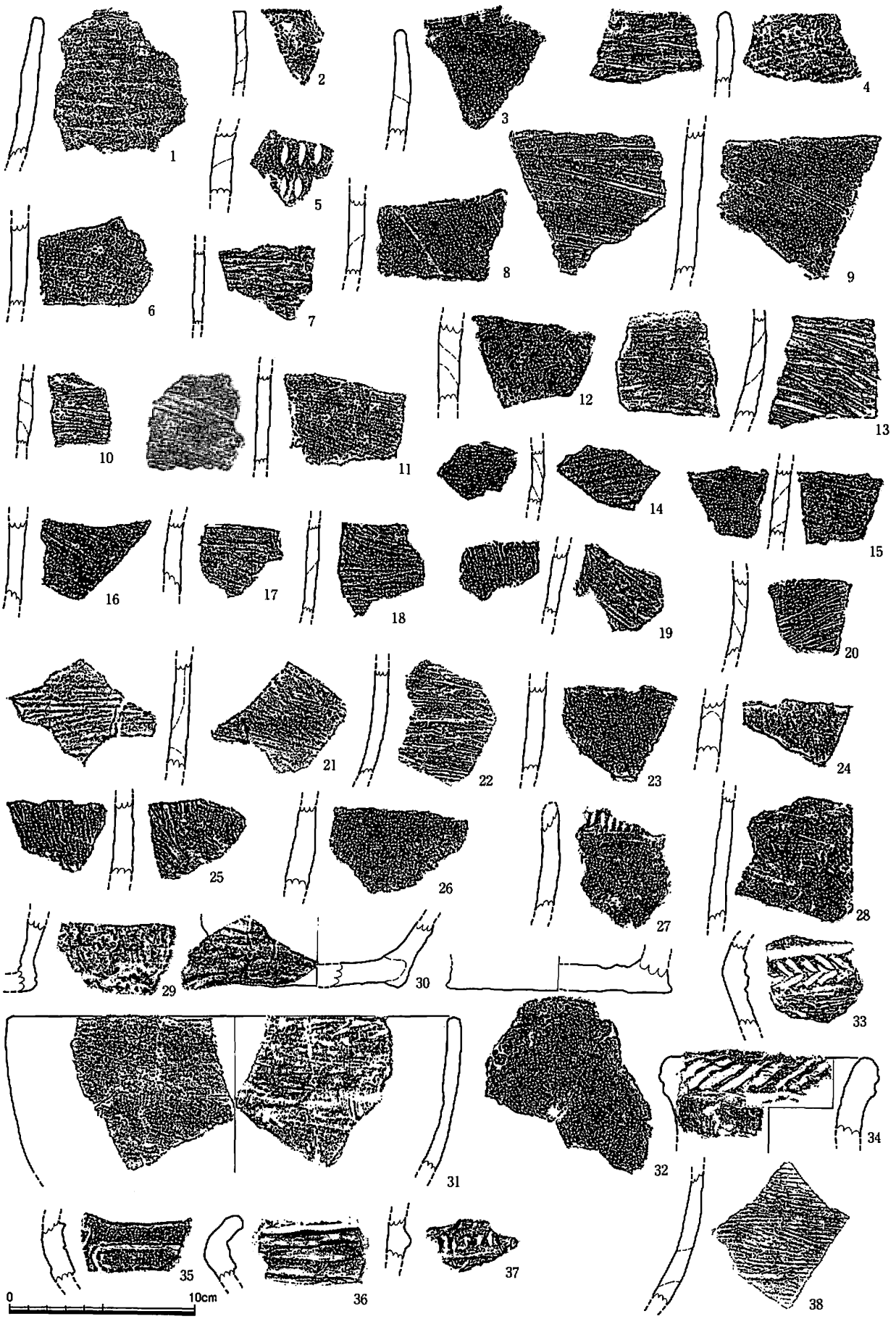


図4　9907調査地点出土遺物実測図（1 / 3）

本調査地点では一部を除くと地表面下50cmで地山となり、これまで調査された黒髪南地区の様子と比較すると非常に浅い。

（3）検出遺構

本調査地点は、地山の遺構検出面までの土が現代埋土であり、工友寮の建設と解体・整地の際に削平をうけたようで、地山は本来もう少し高かったものと思われる。今回の調査では、10個程度のピットと旧河川敷につながるかと思われる落ち込みを一部確認したほかは、遺構は検出されなかった（図3）。地山は調査区の南隅にむかって傾斜しており、Ⅲ層・Ⅳ層はこの落ち込み部に堆積していた。遺物が分布する範囲を境に白川に向かって緩やかに傾斜し、図3中に示した傾斜変換線から急激に深く落ち込んでいた。

Ⅳ層以下は川砂と円礫が多量に入っており、周囲に一様に広がっていたことからこれらは炉などの遺構ではないと思われる。遺物は縄文土器が出土した。図中に遺物の出土地点をドットで示したように、包含層であるⅢ層とⅣ層の広がりに対応して調査区の南隅に集中して分布している。

（4）出土遺物（図4：1～38）

出土した土器は砕片が多く、部位や器種まで判別できるような良好な資料は少ない。ほとんどが後期の土器と思われる。

図4の1～4・6～27・29～33は無文の土器である。1～4は口縁部である。2は器壁が薄く、ナデも丁寧で後晩期の土器と思われる。4は内面のナデによる粗い条痕が著しい。5は丁寧にナデを施し、爪形の模様をつけている。6・8は胎土に粗い砂が混入するが、1・2・4に比べ内外面とも表面は丁寧にナデ調整している。7・10・11・13は顕著な粗い条痕が残る。9は内面に特に、細いヘラ状のものでなでたような調整痕が顕著である。12は丁寧になでている。1に近い。14・15・17・18・31は細いヘラ状のもので調整した痕が内外面ともに顕著である。15・17も14のような器面調整を施す。16は丁寧なナデ、19は4と同じでナデ調整で、器面は非常に荒れている。20～22は、刷毛条の調整具の条痕が顕著である。23・24・27は丁寧なナデ、26は粗いナデを施す。27は4や19に類似し、凹線文が入る。28～30・32は粗いナデ調整である。33・34は北久根山式系の土器であろう。34は口縁径が小さく壷の頸部のような形態である。35は三万田式か太郎迫式であろう。36は口縁部内面は丁寧に磨いている。外面は調整画や粗い。37は刻目突帯の部分である。38は弥生土器で、刷毛目調整が顕著である。

（5）まとめ

今回の調査では、遺構の検出がピット以外になく、遺物の出土も少なかった。

9802調査地点では、地山層と認識している黄褐色土層に縄文土器が含まれることを確認し、砂岩ブロックを含む基盤の層の上に堆積している黄褐色土層の上部には縄文晩期の土器が含まれ、また下方（基盤の層の直上）では縄文早期押型文土器が多量に出土した。本調査区でも同様であった。0302調査地点Ⅰ区では、Ⅲ・Ⅳ層に相当する層から、早期の押型文土器が出土し後晩期の土器は少なかった。同じ層でありながらが、包含される遺物の時代が大きく違う結果となった。白川沿い以外の地点では、Ⅲ層上面（上位）に後晩期の土器が含まれ、基盤の層は数十cm下である。本調査地点は、Ⅲ・Ⅳ層のレベルが高く、削平や撹乱などの改変を受けやすい状態にあり、傾斜地に後晩期の土器を含むⅢ・Ⅳ層が堆積したと考えられる。中期以前の遺物は、さらに白川側の低地にあるのかもしれない。

表3　9907調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類（器種）	法量（cm）	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
4	1	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7．5YR 4 ／ 6 外：Hue　7．5YR 3 ／ 4	番号50215	
	2	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y 6 ／ 3 外：Hue　7.5YR 5 ／ 4	4号ピット	
	3	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10Yr 5 ／ 3 外：Hue　7.5YR 6 ／ 4	番号50107	口唇部に刻目文
	4	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：カキ目 外：カキ目	内：Hue　7.5YR 5 ／ 3 外：Hue　10YR 2 ／ 2	番号50171	
	5	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 7 ／ 4 外：Hue　10YR 5 ／ 4	包含層50005	外面に爪形文
	6	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 7 ／ 6 外：Hue　2.5Y 3 ／ 1	番号50143	
	7	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 7 ／ 6 外：Hue　10YR 6 ／ 4	番号50175	
	8	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 6 ／ 6 外：Hue　10YR 2 ／ 2	番号50136	
	9	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　7.5YR 6 ／ 6 外：Hue　10YR 6 ／ 6	包含層（番号50043）	
	10	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　7．5YR 3 ／ 1 外：Hue　10YR 2 ／ 2	包含層（番号50060）	
	11	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ヘラナデ 外：ヘラナデ	内：Hue　10YR 5 ／ 1 外：Hue　10YR 2 ／ 1	番号50238	
	12	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y 7 ／ 4 外：Hue　10YR 6 ／ 4 ～ 6 ／ 6	包含層（番号50027）	
	13	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ヘラナデ，磨き 外：ヘラナデ	内：Hue　10YR 3 ／ 2 外：Hue　10YR 3 ／ 1	番号50162	
	14	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　7.5YR 4 ／ 3 外：Hue　10YR 5 ／ 3	赤色土層	
	15	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　7.5YR 4 ／ 1 外：Hue　10YR 5 ／ 3	包含層（番号50011）	
	16	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 4 ／ 1 外：Hue　7.5YR 4 ／ 3	番号50152	
	17	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ヘラナデ，磨き	内：Hue　10YR 4 ／ 1 外：Hue　5 Y 2 ／ 1	赤色土層	
	18	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 7 ／ 6 外：Hue　7.5YR 6 ／ 6	赤色土層	
	19	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 4 ／ 1 外：Hue　10YR 3 ／ 1	包含層（番号50102）	
	20	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 5 ／ 3 外：Hue　10YR 4 ／ 6	包含層（番号50089）	
	21	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　2.5Y 6 ／ 2 外：Hue　2.5Y 7 ／ 6	番号50063	
	22	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ヘラナデ	内：Hue　10YR 5 ／ 3 外：Hue　7.5YR 4 ／ 3	包含層（番号50078）	
	23	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 5 ／ 4 外：Hue　7 5YR 5 ／ 4	包含層（番号50030）	
	24	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 5 ／ 2 外：Hue　10YR 4 ／ 3	番号50220	
	25	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 6 ／ 4 外：Hue　7.5YR 4 ／ 6	包含層（番号50035）	
	26	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 6 ／ 4 外：Hue　10YR 5 ／ 3	包含層（番号50037）	
	27	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 4 ／ 1 外：Hue　7.5YR 4 ／ 3	包含層（番号50150）	
	28	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 5 ／ 1 外：Hue　10YR 6 ／ 2	包含層（番号50059）	
	29	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 4 ／ 1 外：Hue　10YR 4 ／ 2	包含層（番号50042）	
	30	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径　8.8 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 6 ／ 4 外：Hue　10YR 6 ／ 4	番号50192	
	31	縄文土器	深鉢型土器	口径　24.5 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 3 ／ 2 外：Hue　10YR 2 ／ 1	番号50167	
	32	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径　12.3 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 4 ／ 1 外：Hue　10YR 6 ／ 4	包含層（番号50101）	
	33	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　7.5YR 7 ／ 4 外：Hue　10YR 7 ／ 4	番号50190	外面にくの字状の沈線文
	34	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 6 ／ 4 外：Hue　7 5YR 4 ／ 6	包含層（番号50082）	口縁部外面に斜位の沈線文
	35	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　5 Y 4 ／ 1 外：Hue　5 Y 2 ／ 1	撹乱	外面に沈線文 黒色磨研
	36	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　7.5YR 6 ／ 6 外：Hue　5 Y 2 ／ 1	包含層（番号50028）	外面に条痕文 黒色磨研
	37	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 5 ／ 3 外：Hue　10YR 4 ／ 1	赤色土層	刻目突帯文
	38	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　10YR 8 ／ 3 外：Hue　10YR 5 ／ 4	5号ピット	

2．工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事に伴う発掘調査（9909調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

本学の法学部・文学部・教育学部・大学教育センター（旧教養部）・工学部・理学部の所在する黒髪地区は、周知の黒髪遺跡群（熊本市遺跡地図№８－88）内にある。遺跡は熊本平野北西部に聳える立田山（標高151.6m）の南山麓部、白川右岸に展開する河岸低位段丘（標高18～25m）上に位置する。熊本平野南部は、阿蘇南郷谷に水源をもつ白川の運搬した土砂が扇状地形に堆積した砂礫層を基盤としており、本遺跡は位置的にその扇状地の要の部分に相当する。

周辺遺跡としては、背後の立田山裾に小峰遺跡、黒髪町下立田遺跡群、カブト山遺跡、龍田陳内遺跡などが、白川を挟んだ対岸に、渡鹿貝塚・北原甕棺遺跡を擁する渡鹿遺跡群や新屋敷遺跡、大江遺跡群などがある（図１）。本調査区は黒髪南地区の南西端で自然堤防が白川に最も突き出した部分にあたる。

今回の調査は平成９年度補正予算によって年末に急遽浮上した事業である。建築課と協議の上１月７日に試掘調査を実施し、その結果畑跡の存在が確認され、要調査との回答を行った。１・２月は年次報告書作成のため調査の実施が困難であったが、２月中旬より調査を開始することとした。

遺構面までの掘削作業の終了を待って、２月14日より重機による遺構面検出・攪乱除去を行い、次いで作業員を投入した。調査は３月24日をもって終了した。

b．調査の経過

2000年２月14日　調査開始・遺構検出。
2000年２月28日　清掃および中央部墓群掘り下げ。
2000年３月６日　現地説明会。
2000年３月15・16日　畑土壌サンプル採取・下層試掘トレンチ入れ。
2000年３月24日　調査終了。

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己
事 務 担 当：松嶋木綿子
発掘作業員：内田美穂・外野木亜紀・岡田イツ代・岡村久美子・押方富江・河野義勝・熊本茂仁・黒木重信・黒木タケ子・古賀敬子・小細工洋子・坂口三輝子・坂元紀乃・白石美智子・鈴木笙子・高橋久美・高松北子・田代理恵・溜渕俊子・橋口剛士・早田咲百合・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・丸山愛・三浦和之・水上順子・宮本千恵子・村上幸子・森川征子・森川護・森田ミドリ・安武寛文・矢羽田幸宏
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・土田ちえみ・長谷智子・林田恵子・増井弘子・山嵜早苗・早川　翔

（2）調査区の基本層序

調査地は駐車場として利用されていた。このため調査区は旧建物の基礎部分を除き、きわめて遺構

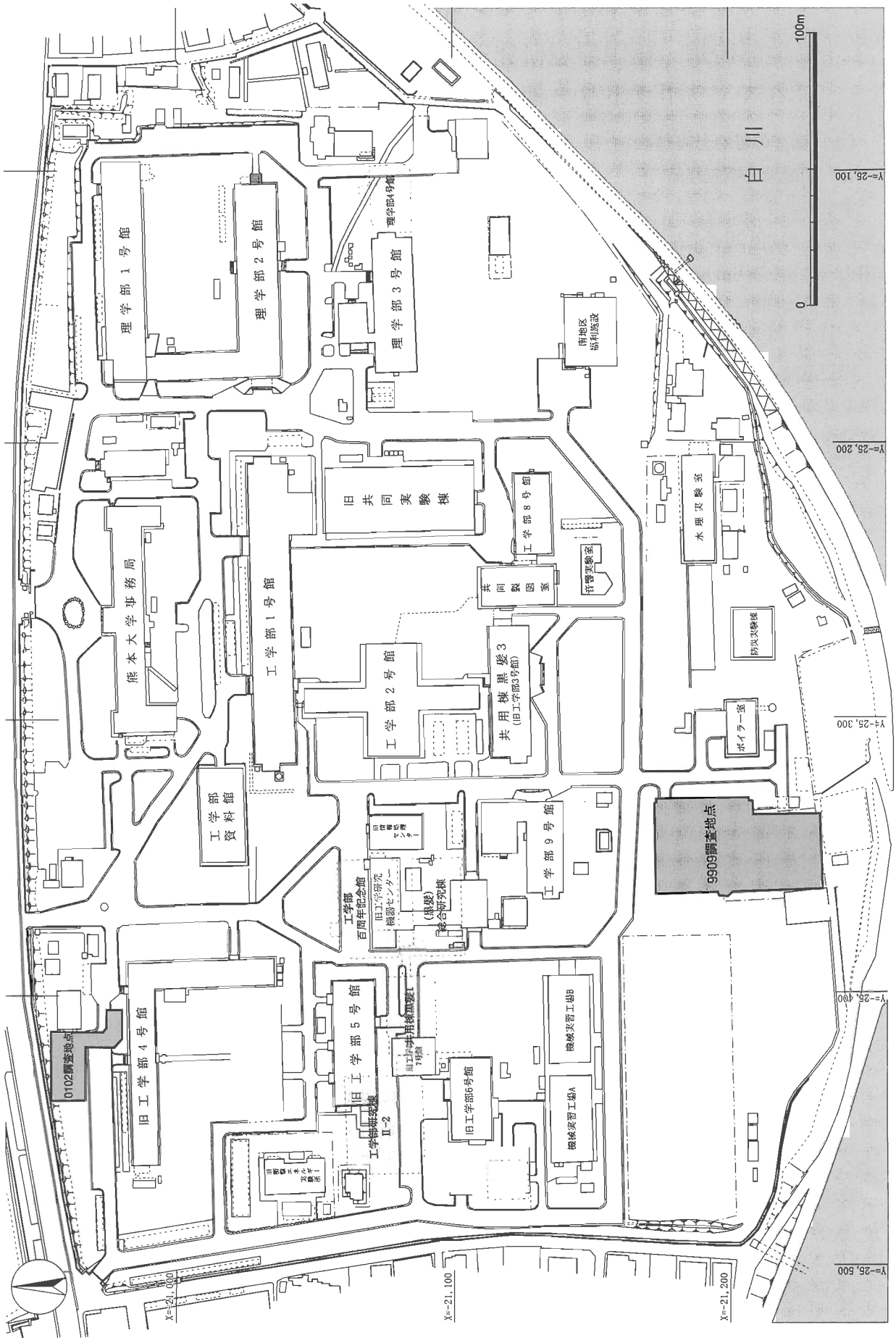


図５　黒髪南地区における調査地点位置図（１/2000）

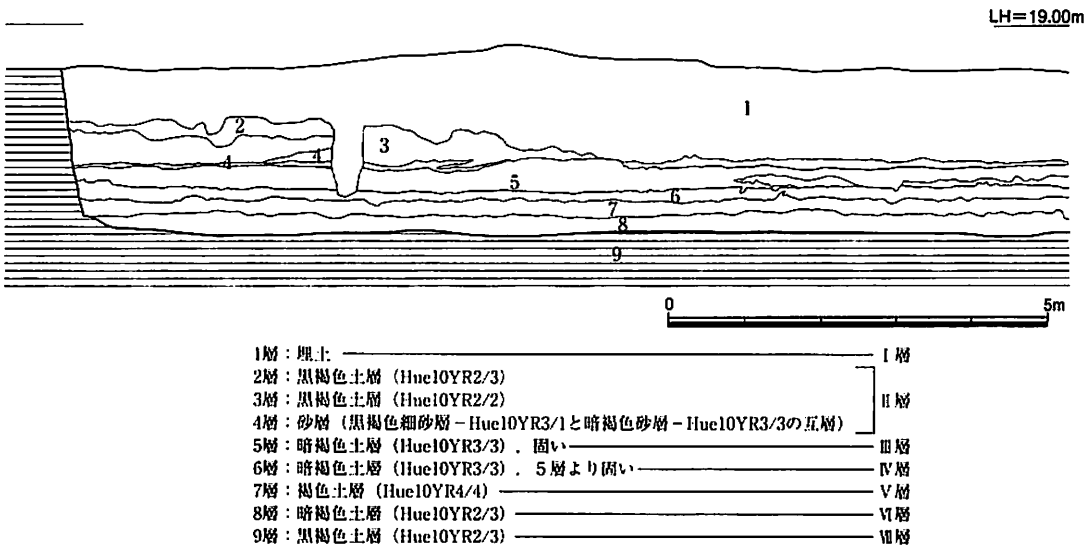


図6　調査区北壁土層断面実測図（1/100）

の残り具合が良好であった。土層は大きく15枚に分けられる。河川に近い位置にあるため、土層の堆積が著しく、最初の遺構検出面Ⅶ層上面までの深さがおよそ2mに達する（図7）。

Ⅰ層（厚さ1m）…現代埋土およびバラス

Ⅱ層（厚さ60cm）…昭和28年白川洪水の際の砂層

Ⅲ層（厚さ40cm）…暗茶褐色土層（近代埋土層）

Ⅳ層（厚さ20cm）…灰暗褐色土層（近代耕作土層1）

Ⅴ層（厚さ20cm）…暗茶褐色土層（近世後期耕作土層）

Ⅵ層（厚さ10cm）…淡緑灰色砂層（近世中期洪水砂層）

Ⅶ層（厚さ40cm）…茶褐色土層（近世中期耕作土層）

（3）検出遺構

Ⅰ区とした南側はその半分が旧建物によって攪乱されており、またこの地区はⅥ層の被覆がなかったため、畑の畝を明確に捉えることができなかった。よって北側のⅡ区（1,200㎡）においてのみ良好な畑の畝遺構を検出できた。

Ⅶ層面が近世の畑の面であり、畝200条余りを検出した。このⅦ層面は洪水によるものと思われる砂層（Ⅵ層）に覆われており、遺構の検出は比較的容易であった。畝はおよそ30～50cm幅で、長い部分で19mほど、短いもので5mほどである。畝の高さは深いもので30cmほどであり、山部分の幅が狭いのが特徴である。単位としては南東部に5mの短いタイプが30条ほど3列に並び、その他の地区が長いタイプで構成されている。

（4）出土遺物

Ⅵ層およびⅦ層から近世陶磁器片、釘、煙管、銅銭などがコンテナ4箱ほど出土している。近世陶磁器は大橋編年のⅣ期（1690～1740年代）を中心とするもので、煙管が泉編年ⅣもしくはⅤタイプ（18世紀代）、銅銭は新寛永および寛永通寶鉄銭であり、これが示す年代は1739年以降であることから、18世紀後半の洪水によって埋没した畑と思われる。この時期の肥後藩内で発生した洪水の履歴を参考

資料（表４）として付けているが、遺物の年代観からみておそらく寛政～文化・文政年間のものが該当する可能性が高い。文化年間には、当地は畑として利用されている（図８）。

これに続くものとして、近世墓53基余がある。調査区の西よりほぼ中央に直線状をなすように配置している。以前の時期の遺構であるⅦ層の畑の畝境に沿って配置していること、埋土の質からⅤ層からの掘り込みと考えられ、水没後さほど時期を経ずに形成されたものと考えられる。

最後に調査区の西側に畑とは少し方位を違えて、近代墓が形成されている。掘り込み面はⅣ層面であり、最も古い（確認できる限りの範囲で。）もので嘉永６年の年号をもつ。ただし、この墓地は調査を行っていない。この西側の墓地は調査区の南西にある旧熊本刑務所の墓地の前身であろう。

（５）まとめ

今回は調査途中であり、Ⅶ層面以下の状況についてはいまのところ不明である。ただし、Ⅶ層で検出した近世中期の畑遺構は、考古学的にあまり状況が把握されていない近世の畑の状況を知る上で、さらに当時の災害史を考える上で貴重な資料を提供するものといえよう。

耕作作物に関しては、耕作土の土壌サンプルを水洗選別しているが、ムギ・マメ類が少量検出されている。種子選別が一部が手についた段階であり、その全体的な成果については、別の機会に報告することとする。

図７　9909調査地点遺構配置実測図（１/300）

表4　肥後における江戸中期～後期（元禄～嘉永年間）の水害記事

（『熊本藩年表稿』細川藩政史研究会編1974より抜粋）

年号	西暦	月日	記録の内容	地域
元禄4	1691	6.12	小川町のみ洪水、米穀多く流出（気）。	小川町
元禄9	1696	6.18	洪水、人々流出（気）。	
元禄12	1699	6.9	洪水（「玄察」に此年当国北目大洪水、大津町かしらの土手山水にて切れ町々損ずる。南目は小洪水。右の熊本古町にて3尺水揚がるとあり。本文に該当するか）	北目 古町
元禄13	1700	5.15	甲佐川30年来の洪水（玄察）	甲佐川
元禄15	1702	6.10	小川町洪水（気）。	小川町
		是年	国中水損洪水大変あり（「福岡県災異誌」に5月、6月及び8月同方面大風雨洪水の記事あり、本藩の分もその何れかに関係あるか）（肥・本）。	肥後
宝永3	1706	6月	肥後洪水（肥）。	肥後
正徳2	1712	6月	所々に洪水、長六橋落つ（覚）。	白川
正徳5	1715	2.2	風雨強く塘破る（気）。	不明
享保4	1719	5.22	肥後洪水田畑13万石余損毛（肥）。	肥後
享保14	1729	8.19	矢部大洪水沓村白谷社後の山崩れ神殿拝殿流失（郷歴）。	矢部
享保17	1732	5.7	是日より洪水、13日迄減水せず、そのため田畑腐れ害虫発生被害甚大（実紀・肥）。	不明
享保19	1734	5.10	是日より15日迄肥後強雨洪水（家譜続）。	肥後
元文1	1736	5.29	是夜より翌晦日にかけて強雨洪水、水損田畑5,062町2反余（高56,918石余）塩浜46町4反余、川塘6,370間余、破所9,960間余、潰家43軒、死者22人（肥）。	不明
		是月	白川洪水にて長六橋下で馬船流れるのを繋留した者共へ心付を与う（年覚）。	白川
元文2	1737	7月	諸国大洪水、本藩にて田畑6万7,000万余損毛（肥）。	肥後
		10月	鶴崎洪水にて損高荒積の書付岡田庄大夫へ遣（年覚）。	鶴崎
天文4	1739	6.17	21日まで川尻方面大洪水、男女大小79人4日間西蓮寺にて養う（川尻史291）。	川尻
天文5	1740	3月	甲佐手永洪水に付、請載荒畝分去1ヶ年代米上納御免のこと（覚）。	甲佐
延享3	1746	6.14	洪水（年）。	不明
宝暦5	1755	6.1	此日より9日迄強雨洪水、山崩、破損、流家死人多し、稲津弥右衛門活躍す（家譜続）。	不明
		8.5	去6日の強雨洪水の損毛23万560石と幕府に届く（家譜続・新続跡覧）。	不明
宝暦6	1756	4.17	翌18日迄強雨出水（肥）。	不明
宝暦9	1759	3.25	大雨出水（肥）。	不明
		7.22	是日より24日迄強雨、諸川出水（肥）。	不明
宝暦13	1763	5.28	強雨にて諸川出水（肥）。	不明
明和3	1766	5.25	強雨洪水、球磨川1丈9尺、水俣川1丈3尺出水、田畑浸水469丁6反余、萩原塘破損1,255間、修覆人夫数19,507人（肥）。	南部
安永1	1772	8月	雨降り続き田畑冠水す、為に玉名郡6手永急に飢え、救助として樋方より銭60貫目、云々（肥）。	玉名郡
安永7	1778	7.10	肥後大風雨、洪水（本）。	肥後
天明6	1786	6月	6月下旬より7月にかけ藩内（内田・中富・坂下・矢部手永）洪水（覚）。	矢部他
		6.29	強雨増水、白川1丈7尺、長六橋流失（肥・町日目）。	白川
		7.28	夜大洪水（気・川尻史291）。	川尻？
天明7	1787	4.12	諸郡水害（寺例続）。	肥後
		8月	大風洪水（気・川尻史291）。	川尻？
寛政1	1789	6月	熊本地方渇水（本）。然るに6月14日より玉名方面強雨、洪水、高瀬御蔵浸水、米1,767俵潰米となる（肥・覚）。	玉名・高瀬
寛政2	1790	6月	五町手永、沼山津手永洪水（覚）。	五町・沼山津
寛政3	1791	5.13	6月12日まで大雨降続川々洪水（損）。	不明
		6.9	是日より12日迄大雨、莫大の荒地出来（肥・本）。高瀬御蔵浸水（覚）。	高瀬
寛政4	1792	6.20	高瀬方面洪水（本）。	高瀬
寛政7	1795	6.11	大洪水、京町山崎のほか一切水浸（本）。	白川
		6.12	阿蘇山出水、熊本洪水（気・肥後の風土史・熊本県災異誌）。	熊本
寛政8	1796	5月	15日頃より雨降続、度々洪水（損）。	不明
		6.11	大雨降る、熊本大洪水（郷歴）。	熊本
		6.12	洪水1丈6尺、緑川・加勢川筋35ヶ所塘切れ、藤富村権藤「古ボケ」を生ず、俗に「辰の年の大水」（川尻史291）。	緑川・加勢川
		10月	五町手永、宇留毛村懸竜田山洪水で諸木根こげになったものの処置について（年覚）。	竜田山
享和2	1802	4.8	是日より10日まで強雨、諸川満水（肥）。	不明
享和3	1803	4.22	是日より5月23日まで降雨諸川増水（肥）。	不明
文化1	1804	4.23	所々洪水（肥）。	不明
		5.14	大雨、白川満水（肥）。	白川
文化7	1810	3.5	大雷雨にて白川石塘切れる（度譜・肥）。	白川
		3.7	強雨、諸川満水、白川1丈5尺、球磨川1丈8尺、佐敷川1丈7尺（肥）。	肥後

年号	西暦	月日	記録の内容	地域
		5.18	是日より20日迄強雨大水（肥）。	不明
		6月	是月初旬より強雨大水（本）。	不明
文化12	1815	7.6	是日より8日まで強雨、諸川満水、球磨川1丈1尺（肥）。	球磨川
		8.12	強雨にて球磨川1丈1尺、山鹿川1丈2尺出水（肥）。肥後	
文化13	1816	3月	月初より強雨、諸川満水、就中6月14・19両日増水甚しく、田畑7,819町余水浸荒地、塘2,234ヶ所、27,058間破損、溺死男女17人、8月23日同断、溺死男女6人、ために田畑荒地5,227町余、塘破損520ヶ所（肥）。	不明
		6.13	強雨のため大津御蔵裏手岸崩あり、四五六番御蔵打崩、球磨川も大増水（肥）。大津・球磨川	
		8.23	強風雨、虫入（損）。	不明
文政3	1820	6.17	大雨諸川満水、白川1丈2尺、緑川1丈5尺、高瀬川1丈6尺、田畑8,466町9反余砂入水浸荒崩塘5,575ヶ所破損56,569間、寺1ヶ所倒潰、家7軒流失、倒家108軒、溺死男女12人、牛馬5疋、12月3日此の損害を幕府に届け出づ（肥・本）。	肥後
文政4	1821	5.19	是日より27日迄大雨、諸川満水田畑3,151町余砂入浸水、塘1,420ヶ所破損28,881間、家13軒倒潰、溺死男女2人（肥）。	不明
文政7	1824	6.26	是日より28日まで強風雨、大木折れ、家根、垣根破損す、白川1丈2尺余出水（肥）。	白川
文政8	1825	8.13	強風雨被害、浸水田畑2,371丁、流失倒潰347軒（肥）。	不明
文政9	1826	5.21	前日より大雨、高瀬川、球磨川出水（肥）。	肥後
文政10	1827	5.19	20日迄大雨、諸川満水（肥）。	不明
		6.4	強雨、水損多し（肥）。不明	
文政11	1828	5.5	大雨洪水、球磨川増水（肥）。	球磨川
		5.20	雷雨、翌日大雨、緑川、球磨川増水（肥）。	南部
		5.29	29・30日大雨満水、白川・菊池川・緑川など（肥）	肥後
		6.7	大雨、白川・菊池川・御船川・緑川・合志川など大洪水（本・肥）。鞍嶽山湖、長六橋流失、田畑水損7,083丁1反余（本・肥）。	肥後
		6.17	大雨、白川・球磨川洪水（肥）。	肥後
		7.2	強風雨、白川・御船川・緑川・河江川・高瀬川などで出水（肥）。	肥後
		7.12	強風雷鳴白川増水、長六仮橋又々流失（肥）。	白川
天保1	1830	4.22	強雨、白川出水（肥）。	白川
		6.15	大雨球磨川出水2丈余（肥）。加勢川・緑川出水（川尻史291）。	南部
		7.8	昨夜より大風雨、八代洪水、鶴崎強風（肥）。	八代
天保2	1831	5.19	上旬より梅雨、この日強雨にて八竜塘切れ、鯰・沼山津方面浸水（肥）。	鯰・沼山津
		5.26	川尻地方大洪水（天明誌484）。	川尻
		5.29	28・29両日の大雨で八竜塘更に切れ、野田村延寿寺裏新塘外4ヶ所切れ、川尻町野田杉島両村は57日、横手・銭塘・沼山津は3～13日、鯰手永は20日水浸しとなる。田畑水損12,850丁、潮塘453間、川塘48,633間、井手塘27,392間破損。諸官宅20軒、侍屋敷11軒、軽罪屋敷219軒、町屋904軒、百姓家2,545軒流失破損、橋565流失、死者17人（度譜・肥）。川尻蔵米10,800俵浸水（1本に8,250俵ともいう）（肥・川尻史316）。	南部
		6.1	球磨川出水（肥）。暁方延寿寺洪水のため倒壊流失す（気・川尻史315）。	球磨川
天保3	1832	6.10	洪水、加勢川塘破損、田畑水損7,463丁4反余、倒潰水損家数1,272軒、塩浜38丁5反余水洗剥、溺死3人（肥）。	加勢川
		6月	川尻地方大洪水、加勢川掘切旧にかえる（本）。	川尻・加勢川
天保4	1833	7.20	この頃菊池・合志地方強雨、諸川満水（肥）。	北部
		8.22	この夜より翌日迄強雨、鯰手永312丁1反余水浸その他被害（肥）。	鯰
天保5	1834	5.8	9日迄大雨洪水、白川・球磨川出水（肥）。	肥後
天保6	1835	4.21	24日迄諸川満水（肥）。	不明
		5月	下旬諸川出水、水浸田畑12,854丁2反余、死者17人（肥）。	不明
		6.10	洪水、水浸田畑7,463丁4反余、溺死圧死3人（肥）。	不明
		8.22	此夜より翌日にかけ強雨、鯰手永低地の村、田畑312町1反水浸、其の他被害あり（気・熊本県災異誌）。	鯰
天保7	1836	12月	諸国洪水、諸物価騰貴、至貧の者を救恤す（本・肥）。	不明
天保8	1837	1.23	大雨洪水にて麦作数数百丁水浸し（肥）。	不明
		3.14	大雨出水（肥）。	不明
		3.24	大雨出水（肥）。	不明
天保9	1838	4月	下旬より5月下旬にかけて時々強風雨出水あり（本・肥）。	不明
天保10	1839	5.28	洪水（肥）。	不明
天保11	1840	5.17	大雨洪水（肥）。	不明
		6月	数回大雨、出水（肥）。	不明
天保12	1841	4.24	強雨、諸川満水（肥）。	不明
弘化3	1846	閏5.9	強雨、諸川満水、白川1丈2尺（肥）。	白川
		8.4	大津地方強雷雨、田畑並びに町内水溢れ、往還筋増水4尺余（肥）。	大津

年号	西暦	月日	記録の内容	地域
嘉永２	1849	5. 13	川尻方面大風洪水１丈３尺､19日洪水１丈１尺正中島町56軒のうち40軒庭入床あげ（川尻史293)。	川尻
嘉永３	1850	8. 7	肥後強風雨、田畑618丁５反７畝水浸、川塘1, 747間根切破損、百姓家9, 779軒倒破（本・肥)。	肥後
嘉永４	1851	2. 21	強風にて鯰手永田畑浸水、同29日強雨、内田・中富・南関・坂下、翌晦日鯰・大津・中村・山鹿諸手永諸川満水、田畑浸水す（肥)。	肥後
		4. 22	強雨、鯰手永田畑浸水（肥)。	鯰
		５月	洪水６尺（気・川尻史293)。	不明
嘉永５	1852	8. 22	肥後大風雨、田畑浸水（肥)。	肥後

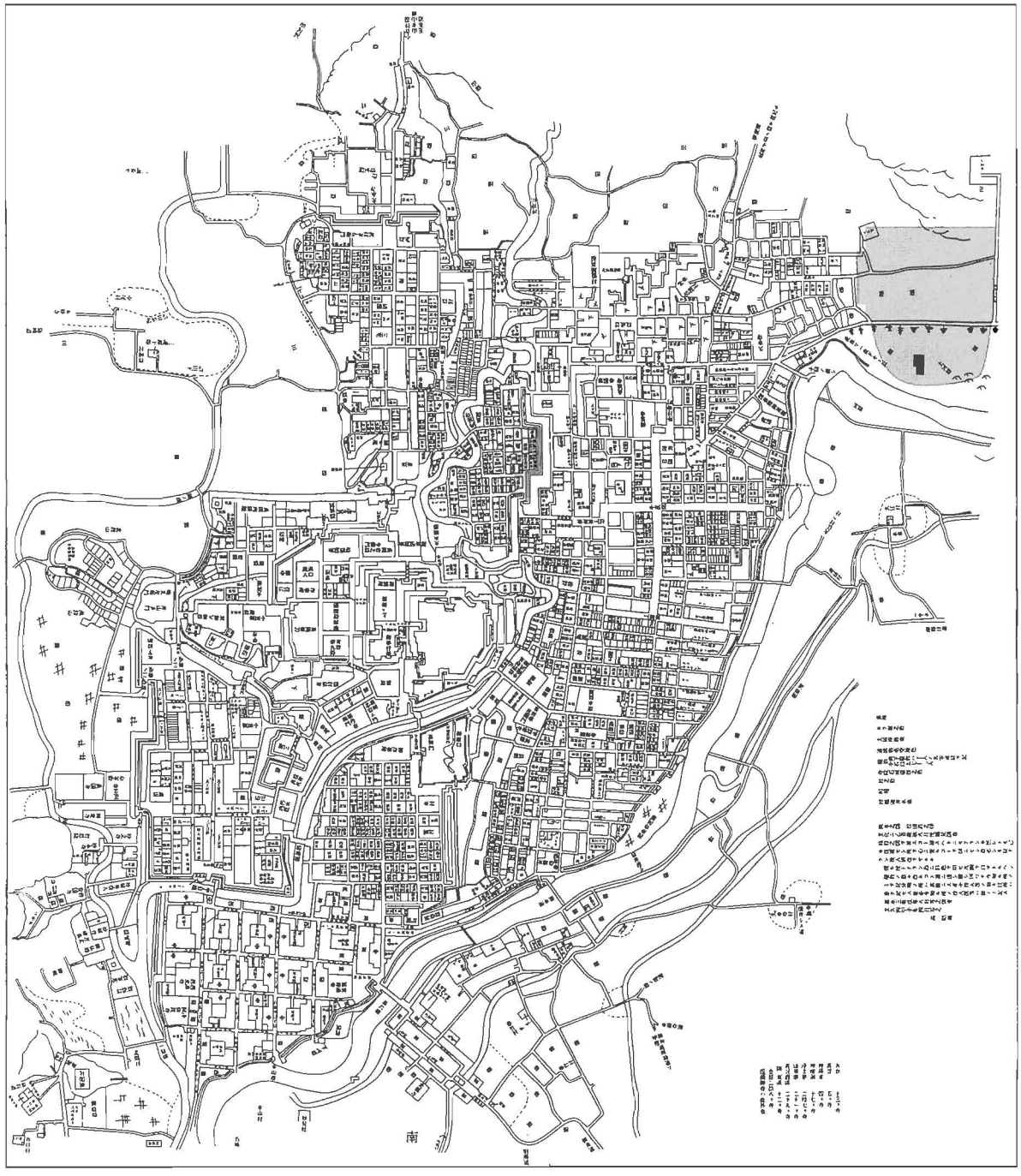


図８　『熊本之図』文化二年（1805）に見る調査地点の位置（アミは熊本大学、黒ベタが調査地点）
（『新熊本市史別巻第一巻絵図・地図』上　中世・近世の解説図 P28を改変）

3．黒髪団地南地区基幹・環境整備に伴う発掘調査（0102調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

本地点は本学黒髪南地区の北西部に位置し、隣接する既往の調査地点には9603地点と9704地点、9802地点がある。本調査地点の南100mに位置する9603と9704地点では古代の堀で囲まれた掘立柱建物群と弥生時代甕棺群などが検出されているが、道路（県道337号線）を隔てた9802地点では縄文時代早期～弥生時代中期の遺物包含層および近代の東西方向の堀が検出されており、若干様相を異にしている。本地点も大正期に運動場として利用されていたため、２m余り削平されている。

上記のような状況から試掘調査を５月14日に実施し、１次掘削の深度を決定し、１次掘削終了後の７月９日より発掘調査を開始した。梅雨時期にあたり、雨天には悩まされた。削平が著しいため、鋭意遺構の検出に努めたが、古代以前の遺構はほとんど残っておらず、撹乱の除去に終始した。防空壕（塹壕）６基と撹乱土坑を掘り下げた後、風倒木痕の調査を開始した。遺物は撹乱層およびこの風倒木痕跡からのみ出土した。

b．調査の経過

2001年５月14日　試掘。
2001年７月９日　防空壕（塹壕）６基　検出・掘削。
2001年７月14日　風倒木（１号・３号・５号）検出。
2001年７月18日　風倒木１・２・４号完掘。
2001年７月25日　風倒木３・５号完掘、空中撮影。
2001年７月26日　測量。調査終了。

c．調査の組織

調　査　員：小畑弘己・大坪志子
事 務 担 当：冨永明子
発掘作業員：岡田イツ代・河野義勝・黒木重信・黒木タケ子・白石美智子・鈴木笙子・溜渕俊子・高松北子・林田恵子・早田咲百合・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・宮村邦子・森川征子・森川護・森田登
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・泗水直子・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・長谷智子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山嵜早苗・早川　翔

（2）調査区の基本層序

削平のため包含層は残存していない。削平面の上はすべて昭和28年の洪水砂およびその後の埋め立ての際の造成土である。

（3）検出遺構

＜防空壕（塹壕）＞

調査区の北半で６基検出した。並行するように５mほど離れて２列に掘られている。幅１m、長さ5.5～６m、深さ１mで短辺に３段ほどの階段が付けられている。使用時の状況を示す遺物は出土し

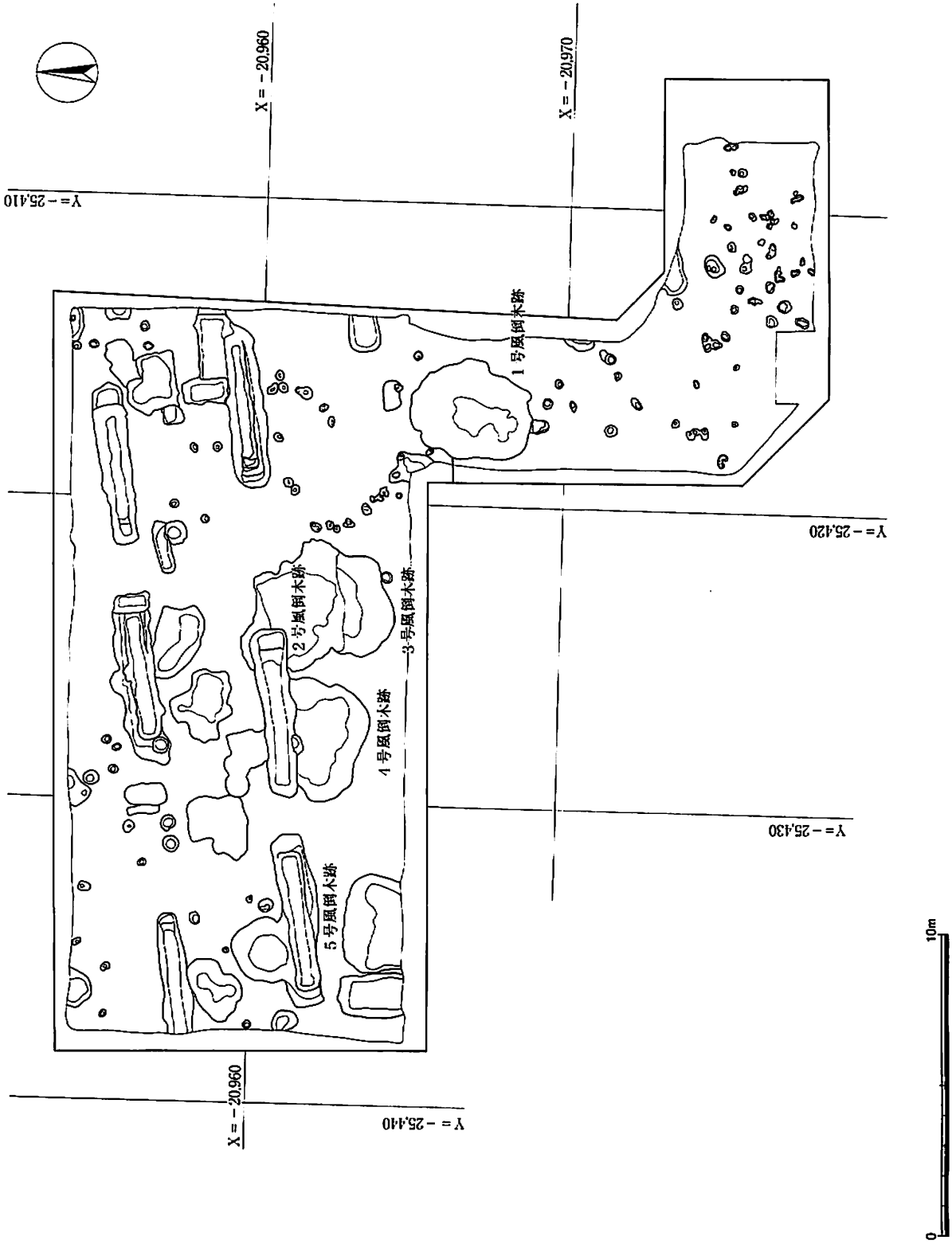


図９　0102調査地点遺構配置実測図（１/200）

ていない。

＜風倒木痕＞

５基を検出した。幅３～４ｍほどの不整楕円形を呈し、深さは0.8ｍで、断面形はロート状をなす。１号風倒木痕（図10）を中心に覆土内から縄文時代早期～晩期の土器片10点が出土した。早期には山形・楕円文の押型文土器片（図11－１～３）、条痕文土器片（同４・５）、無文（同６）、晩期の土器

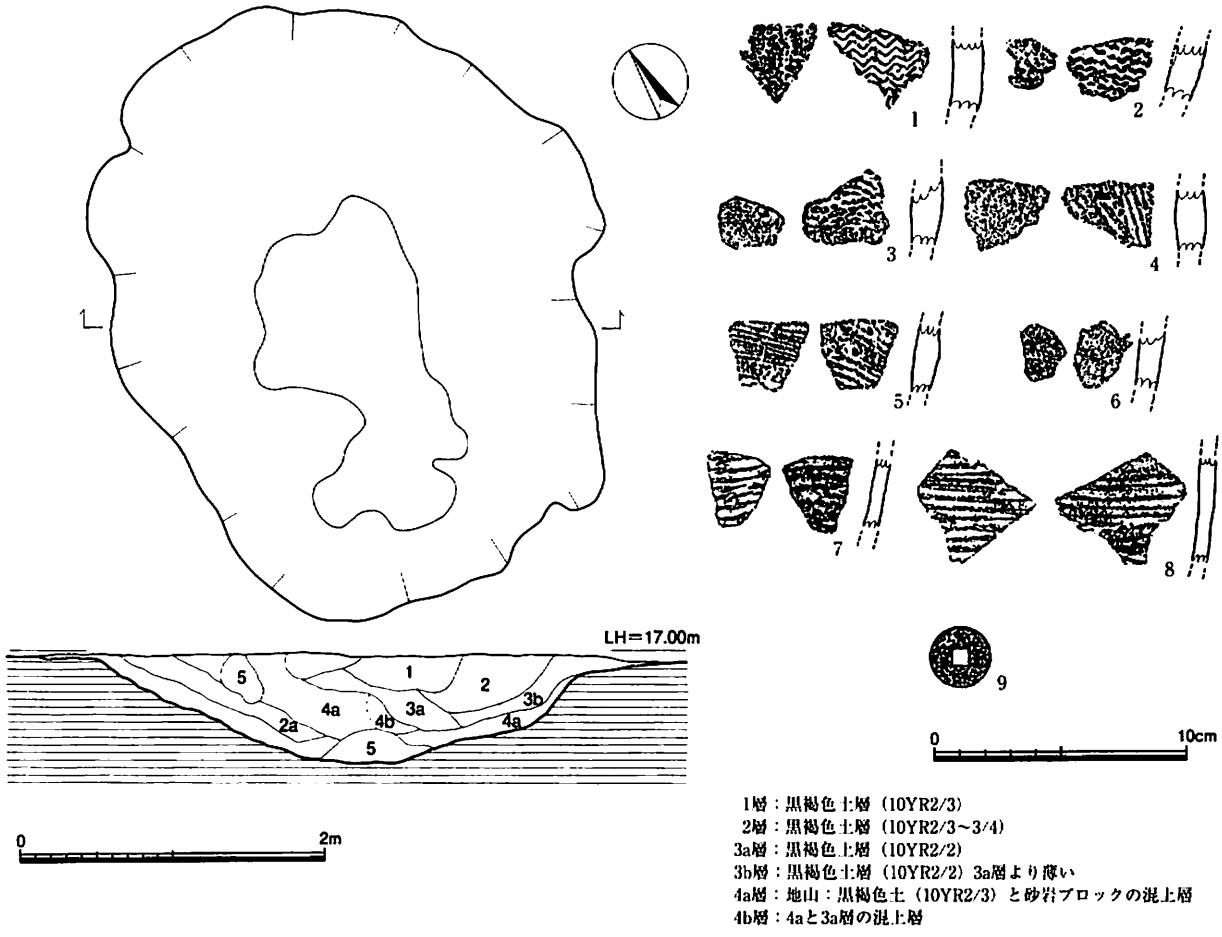


図10　1号風倒木痕および各遺構出土遺物実測図（1/50・1/3）

には条痕文の粗製土器（同7・8）がある。

＜その他の遺物＞

撹乱土からは磨耗した須恵器や土師器の土器片が少量発見された。寛永通寶1枚も出土した（図11－9）。

（4）出土遺物（図10：1～8）

先述したように、遺構面までの削平のため、遺物は風倒木痕の埋土からの出土が主である。風倒木痕からは、縄文時代の早期から晩期の土器が出土した。1・2は山形文、3は楕円文の押型文土器である。4・5は条痕文土器、6は無文土器である。6までが早期の土器である。7・8は晩期の条痕文土器であろう。土器類は、この他に撹乱から古代の土師器や須恵器の砕片が出土している。9は寛永通宝である。

（5）まとめ

本地点は削平が著しく調査で得た成果は多くない。しかし、削平される前の旧地形については情報を得ることができた。本地点より南側に位置する9603地点や9704地点はほぼ同じレベルに削平されていながら、遺構の残りが良好であったことは、それらの地点が斜面の低い部分に相当するためであって、本地点はそれらよりより高い位置にあり、ほとんど削平されてしまったものと思われる。9704調

査地点では、微高地形の周辺部に甕棺墓が築造されていたことが指摘されたが、この微高地が本地点まで続いていた可能性を示している。

白川沿いの9907調査地点（本書）や9911調査地点（熊本大学埋蔵文化財調査室年報７）では、今回調査を行った基盤層まで調査を行い、縄文土器資料を得ているが、その他の地点では基盤層まで掘削することは少なかった。しかし、9802・9907・9911調査地点の調査成果を受け、遺構面としている地山土層について縄文時代の遺物について確認作業を行うよう努めてきた。0302調査地点Ⅰ区では、地山層中で基盤層よりは上位において、縄文早期の土器資料を得た。この地山層に遺物が含まれることは少ないが、留意しておくべき点であることを再確認した。

表５　0102調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
10	1	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：山形文	内：Hue　10YR 6 / 1 外：Hue　7.5YR 6 / 6	1号風倒木痕	
	2	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：山形文	内：Hue　10YR 7 / 2 外：Hue　2.5YR 6 / 6	1号風倒木痕	
	3	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：楕円文	内：Hue　5 YR 5 / 4 外：Hue　5 YR 5 / 4	1号風倒木痕	
	4	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：条痕文	内：Hue　2.5YR 5 / 6 外：Hue　2.5YR 5 / 6	1号風倒木痕	
	5	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：条痕文 外：条痕文	内：Hue　2.5YR 5 / 6 外：Hue　2.5YR 5 / 6	1号風倒木痕	
	6	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue　7.5YR 4 / 3 外：Hue　7.5YR 5 / 4	1号風倒木痕	
	7	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：条痕文 外：条痕文	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 7 / 4	1号風倒木痕	外面スス付着
	8	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：条痕文 外：条痕文	内：Hue　10YR 6 / 3 外：Hue　10YR 6 / 3	1号風倒木痕	外面スス付着
	9	銅銭		長さ　2.3 幅　2.4 厚さ　1.5	完形		緑青色	1号風倒木痕	寛永通寶

Ⅲ　本荘北地区の調査

1.（医病）基幹・環境整備に伴う発掘調査（0006調査地点）

（1）調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

本荘北地区は、校舎・病棟の新営などにより規模の大きな調査を行ってきた地区である。これまでの発掘調査では、まず8世紀～9世紀の古代の集落址が調査され（9601調査地点）、「田井」「枌本寺」などのヘラ書きや墨書をもつ土器が大量に出土している。本遺跡の上流にはこれらと類似した「田井」のヘラ書き土器が出土している大江遺跡群や新屋敷遺跡など奈良・平安時代の集落址がある。また古墳時代前期の住居址が、付近一帯としては初めて確認され、古墳時代から古代にかけての複合的な遺跡の広がりを示している（熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集）。また1998年度の発掘調査（9807調査地点）では、7世紀後半から9世紀初頭にかけての竪穴住居址や掘立柱建物を検出した（熊本大学埋蔵文化財調査報告書第5集）。さらに1999年の調査（9901調査地点）では古墳時代初に遡る時期の住居址や溝などが検出され、古墳時代前期から古代にかけての集落を確認した。本遺跡の営みは縄文時代に始まり、また古墳時代前期からの集落が広がることが明らかとなっている。

本事業は平成10年の年度当初、計画にあげられていた事業である。当時の計画では西病棟の新営工事とそれに付随する共同溝があげられ、平成10年度に発掘調査の申請も行っている。そのうち西病棟新営工事に伴う発掘調査は1999度に実施した（9901調査地点）。共同溝の敷設に伴う支障配管替え工事に関しては、前年度から2000年7月に調査を実施する予定とされていたが、施設部より具体的な日程調整の打診と病院からの許可を受け調査に入ったのは11月上旬である。実施した調査は、共同溝敷設に伴う支障配管替えと第1井戸・第3井戸受水槽建設、それに伴う給・排水管配管工事に伴う調査である。Ⅰ区として、第3井戸受水槽建設予定地より調査を実施した。病院敷地の北西隅に位置する。一次掘削の際は、撹乱が多く遺構の大半が破壊されていると予想されたが、遺構面を検出・精査したところ調査区全面に遺構が残っており、9901調査地点で確認した集落は現在の白川堤防まで及ぶことを確認した。住居址等の破壊が少なかったこともあり、遺物の保存状況にも恵まれた。なお、調査区の南西隅に高圧ケーブルがあり、これより相当強い電波が発せられ測量機械に影響が出た。高圧ケーブルの撤去や通電を止めることができないとのことで、本地点の遺構測量は手作業となった。また、週末の休日に、実測用具や土層ベルトを壊すなどの悪戯を受けた。Ⅰ区終了後、12月より病院敷地の東側の第1井戸受水層建設地の試掘を行った。試掘を行ったところ、近代・現代の墓石・墓壙・遺骨が検出された。熊本大学附属病院の敷地となる前は、小松原墓地であったところである。熊本県教育委員会と協議した結果、調査不要となった。これらより下位においても、遺構が認められず受水槽建設による文化財への影響はないと判断した。第3井戸受水槽建設を建設する間、Ⅰ区からの給水管配管工事の、立会調査を行った。ここでは、掘削が包含層や遺構面には及ばず、本調査はなかった。続いて12月より、Ⅱ区の調査を行った。旧第5号病棟北側沿いに排水管を敷設する工事に伴う調査である。既設枡に排水管を接続するもので、既設枡のある西側から掘削を開始した。多量の土器が出土し、掘削予定の東側も同様と思われ、本調査に切り替えた。配管工事は西側の方が深く、この部分は掘削予定深度が遺構面より深かったため、掘削予定範囲を一度に掘削し本調査に切り替えることにした。数か所で遺物が集中する個所があり、それらの記録を行った。面積に比して、検出した遺構や遺物の量が多く、時間を要した。掘削深度が遺構面に達しない東側については、工事に必要な深度まで掘削を行い、現状保存とした。Ⅱ区の調査の間にⅣ区の立会調査を実施した。Ⅳ区はポンプ室周囲のフェンス沿いに電気配線する工事であり、掘削深度が文化財には達しなかった。Ⅱ区終了後、Ⅲ区の調査

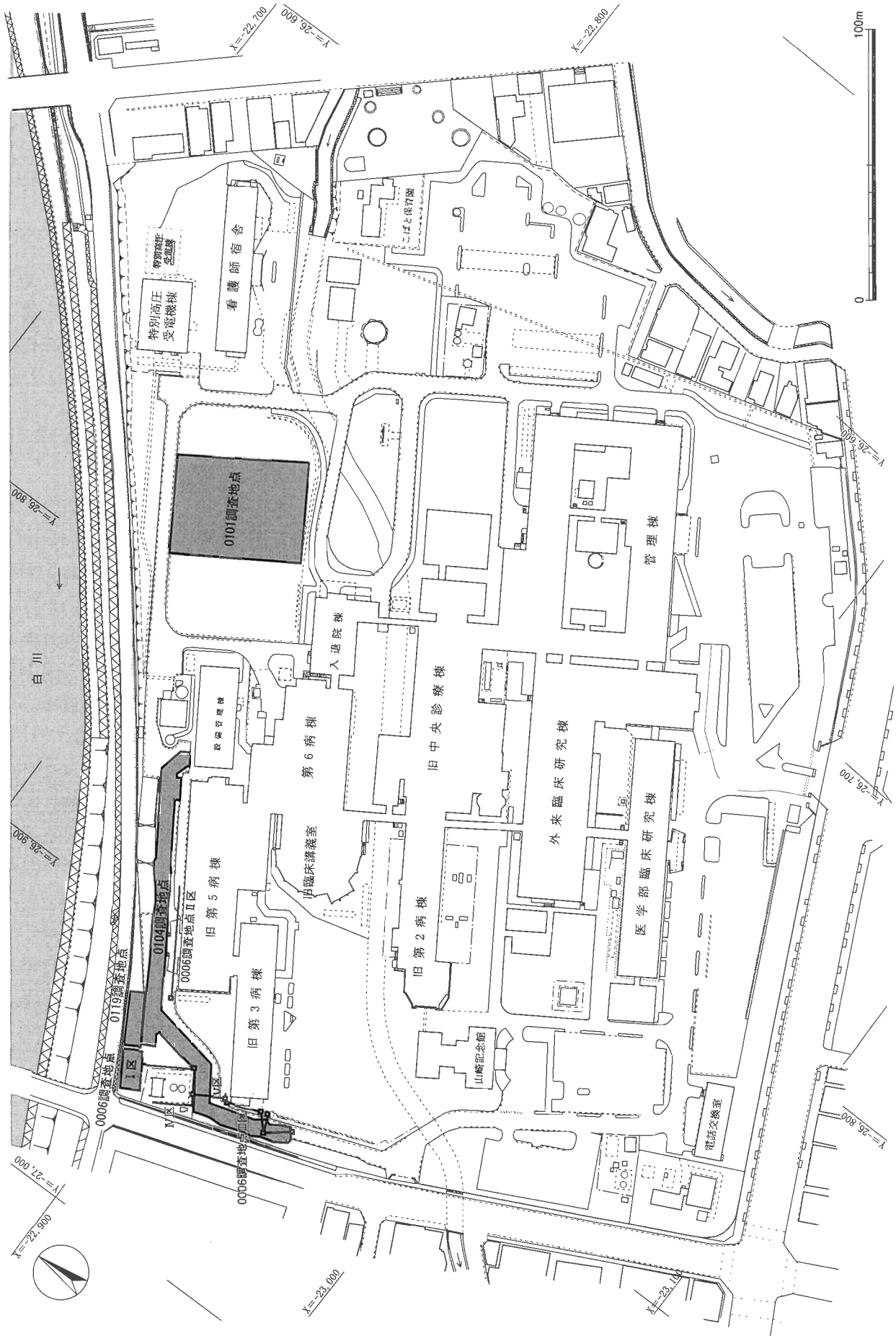


図11　本荘北地区における調査地点位置図（1 /2000）

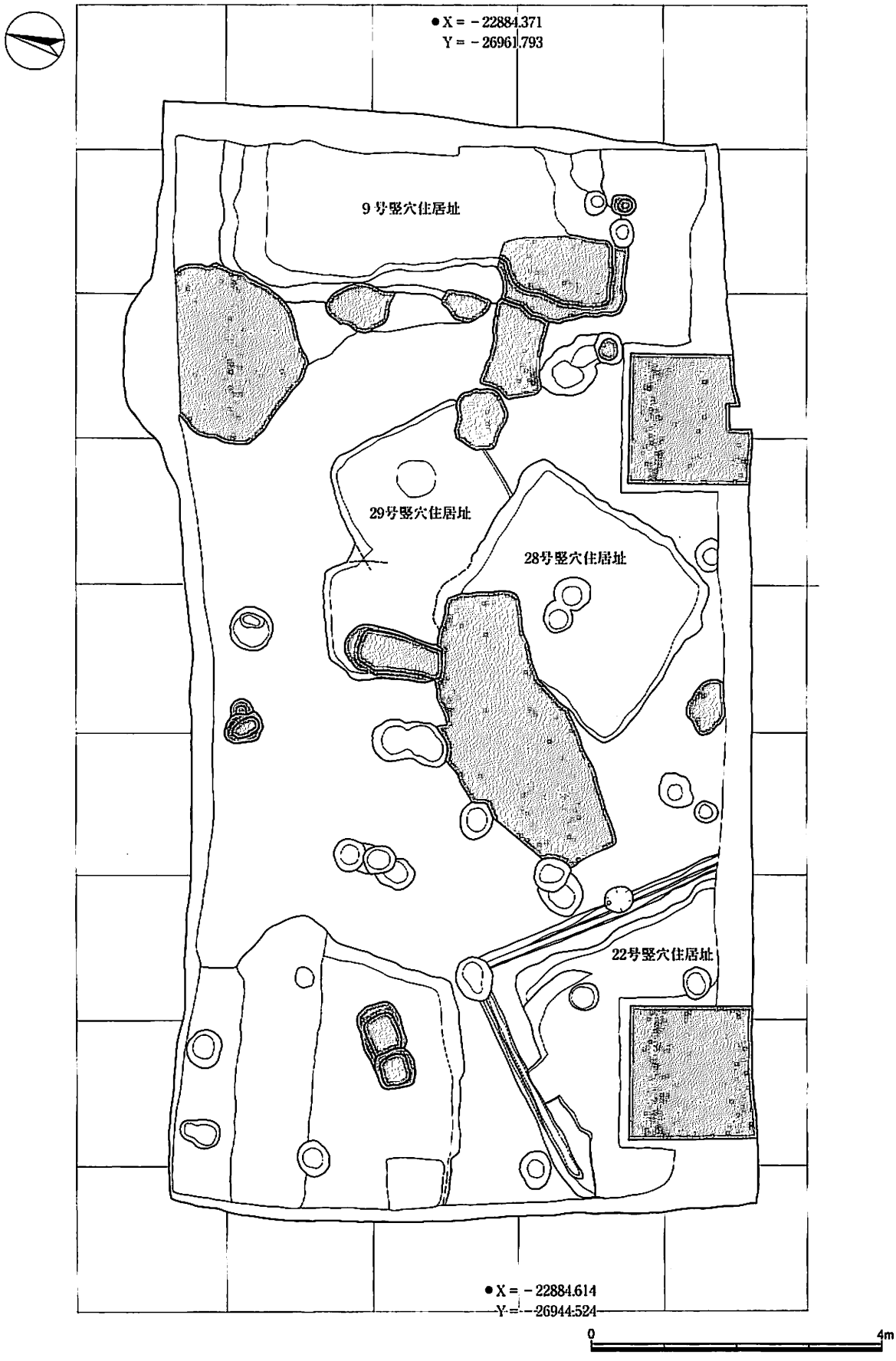


図12　0006調査地点Ⅰ区遺構配置実測図（1 /80）

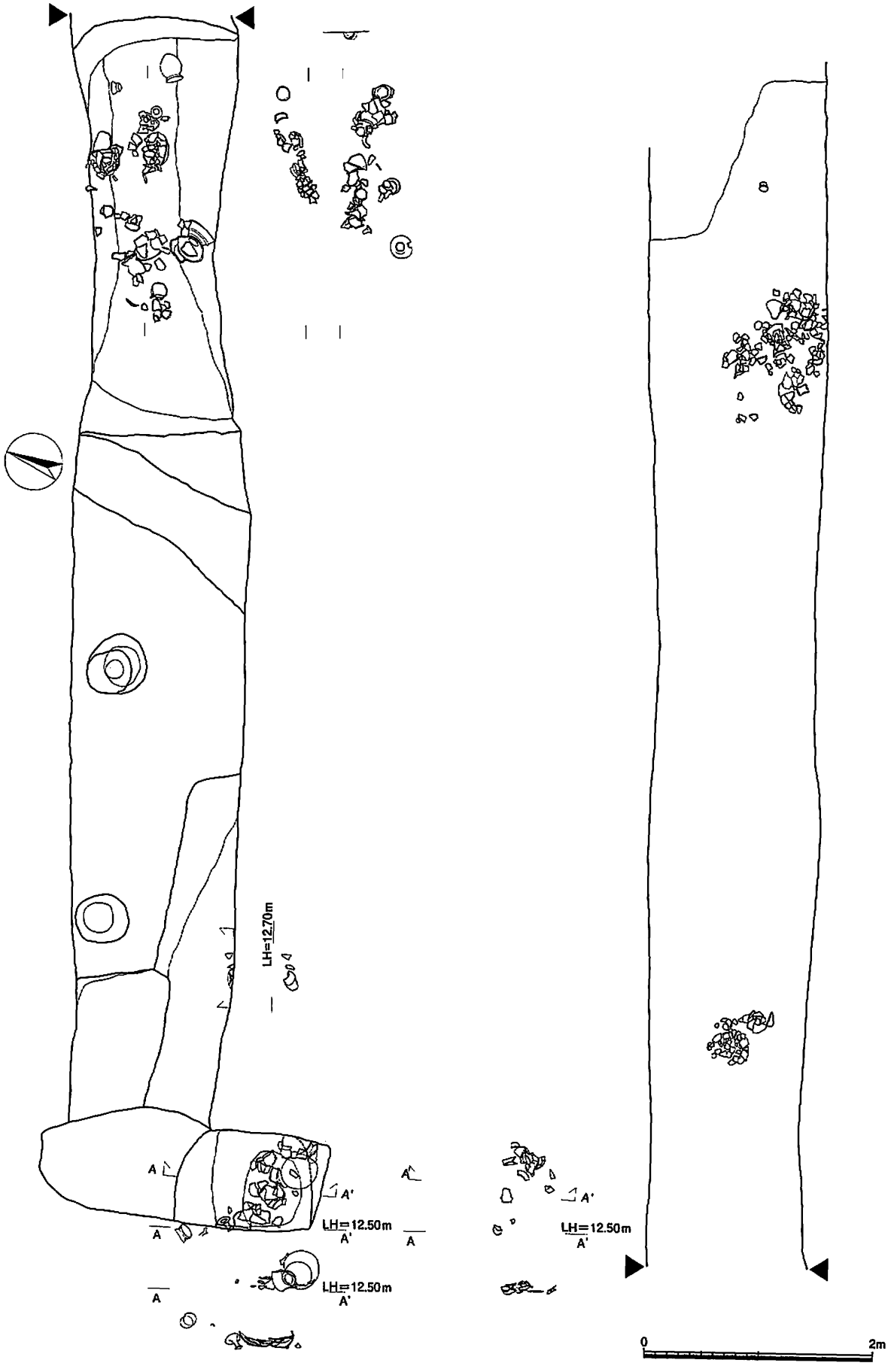


図13　0006調査地点Ⅱ区遺構配置実測図（1 /50）

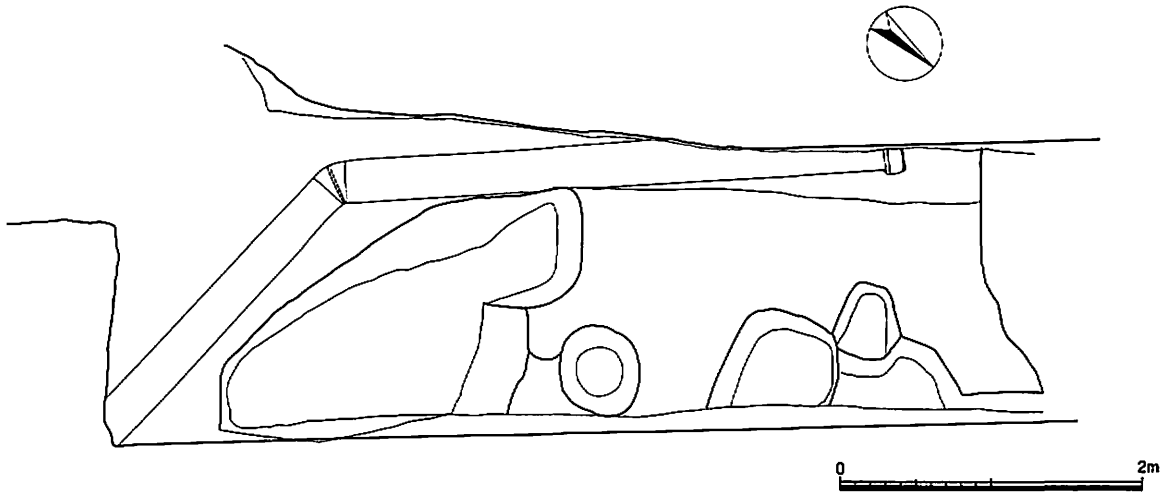


図14　0006調査地点Ⅲ区遺構配置実測図（1 /50）

に入った。Ⅲ区は旧第3病棟西側にポンプ室からの配水管を配管する工事である。ここでも遺物・住居址を確認した。Ⅲ区の終了後、東側第1井戸の給水管配管工事の立会調査を行った。旧墓地内においては、受水槽本体部と同様であり、その他の箇所でも文化財の検出はなかった。最後にⅤ区調査を行った。Ⅴ区はポンプ室とⅢ区の中間にあり、構内道路を横断する。ここでは、遺物を収集したが、遺構を把握できなかった。

これら一連の調査で古墳時代前期から古代にかけての住居址等の遺構と遺物を確認した。文中・図面中の遺構の番号については、遺構の種類によらず検出順に一連の番号を与えている。

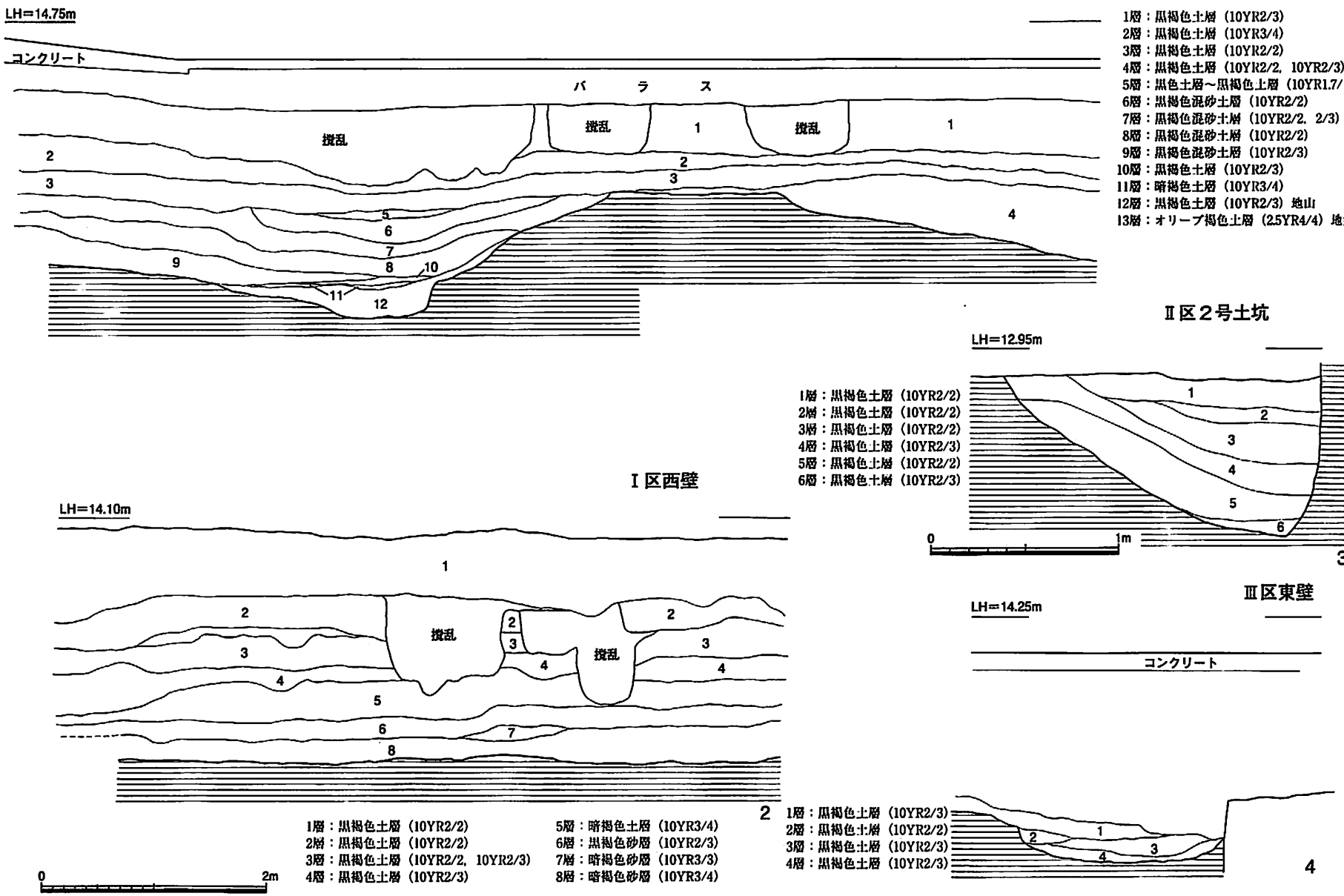
b．調査の経過

2000年10月30日　Ⅰ区の一次掘削開始。
2000年11月6日　Ⅰ区（119.4㎡）、調査開始。
2000年11月22日　Ⅰ区、調査終了。第1井戸受水槽試掘。
2000年11月27日～同年11月29日第3井戸（Ⅰ区）給水管配管工事、立会調査。
2000年12月4日　Ⅱ区（97.6㎡）立会調査実施。本調査切替え、調査開始。
2000年12月13日　Ⅱ区、調査終了。
2000年12月8日～2001年1月10日　Ⅳ区電気配線工事、立会調査。
2000年12月19日　Ⅲ区（20.4㎡）立会実施、本調査切替え、調査開始。
2000年12月20日　Ⅲ区、調査終了。
2000年12月25日～12月28日　第1井戸給水管配管工事、立会調査。

c．調査の組織

調　査　員：大坪志子
事 務 担 当：冨永明子
発掘作業員：岡田イツ代・岡村久美子・河野義勝・黒木タケ子・早田小百合・髙松北子・水上順子・宮村邦子・村上幸子・森川征子・森川護・森田ミドリ
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・長谷智

図15　0006調査地点Ⅰ区西壁・Ⅱ区南壁・Ⅱ区２号土坑・Ⅲ区東壁土層断面実測図（1/30・1/50）



子・林田恵子・番山明子・増井弘子・山嵜早苗・早川　翔

（2）調査区の基本層序（図15・16）

Ⅰ区は本荘北地区の西北端に位置する。以前この付近には建築物があったのか、調査区周囲の土層はほとんど撹乱を受けていた。調査区の西壁で確認した土層（図15－2）は次のとおりである。

1層は現代埋土で、以前にあったと思われる建物の基礎も観察された。茶碗等のゴミが投棄されている。建物撤去後の整地のための客土か、黒色の砂が上部に堆積している。2層は近世・近代の耕作土である。3層－黒褐色土（10YR 2 / 2－2 / 3、厚さ20～35cm）、4層－黒褐色土（10YR 2 / 3、20cm）が古墳～古代の遺物包含層および遺構の覆土である。5層－暗褐色土（10YR 3 / 4）はいわゆる地山であり、遺構検出面である。4層は3層と5層の漸移層である。黒髪北地区の調査（9802調査地点）ではこの5層に縄文時代前期の土器が包含されることが確認されており、本荘北地区においても今回の調査地点に近接する9901調査地点で縄文時代の黒曜石製の石器が遺構検出面（5層）に含まれる様相がうかがえた。そこで今回遺構の実測を終了した後この遺構検出面以下を一部掘り下げてみた。6層以下はすべて砂層であり、8層の下は砂質の礫からなる基盤層である。この試掘による縄文時代の遺物の出土はなかった。

Ⅱ区では、西端で地表下0.6m程で古代の遺物包含層が出始め、0.85mで地山を確認している。図15－1では地表はアスファルトに覆われており地表下40cm程度まではバラスである。1層－黒褐色土（10YR 2 / 3、厚さ40～70cm）及び2層－暗褐色土（10YR 3 / 4、厚さ10～30cm）は近・現代埋土である。3層－黒褐色土（10YR 2 / 2、厚さ10～30cm）は古代の遺物包含層と認識している層であり、以下は古墳時代の遺物包含層および遺構埋土である。古代の遺物包含層が非常に薄い。隣接する0104調査地点では、この辺りは0.5～0.6mで包含層を検出しており、0006調査地点では包含層の削平が著しいと思われる。図16は既設枡より20mほど東側の地点の南壁土層断面実測図であるが、ここでも包含層は地表下1.1～1.2m程度まで削平されている。

Ⅲ区（図15－4）では、1層まではアスファルト・バラス・現代埋土（撹乱）である。2層－黒褐色土（10YR 2 / 2）が古代の遺物包含層と認識している土層であり、1層－黒褐色土（10YR 2 / 3）はそれ以降の土層である。2層～4層が堆積している部分が、Ⅲ区で唯一遺構と思われる部分で

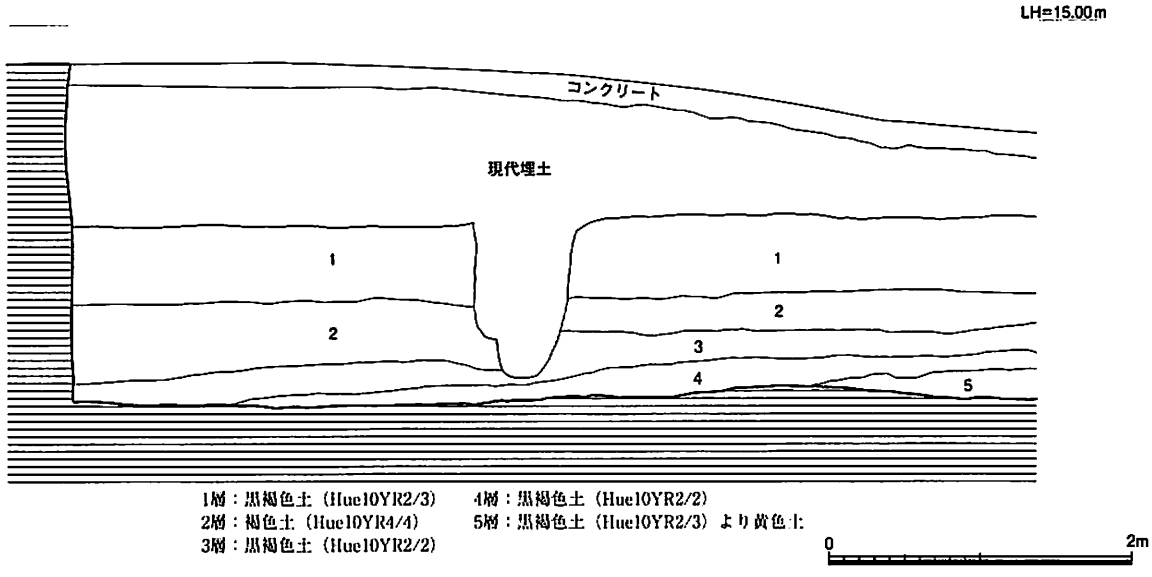


図16　0006調査地点Ⅱ区南壁土層断面実測図（1 /50）

ある。

（3）検出遺構

Ⅰ区（図12）

今回調査で検出した遺構は、古墳時代前期の竪穴住居址４基、柱穴と考えられるものも含めピットが29である。

＜竪穴住居址＞

9号竪穴住居址（図17）

調査区の東で検出された。東壁にかかっており、今回調査した範囲は、全体の１／３～半分ほどであろう。南側は撹乱を受けていたが一部は撹乱が下まで達しておらず、調査区東壁から１ｍ程度の範囲は南壁の立ち上がりとみられる。現在の長さは5.3m×４mであり、主軸は南北より若干西に振れている。本調査区内では最も深い住居址で、深さは約0.7mである。壁は垂直ではないが実際はやや急に立ち上がり、上方は緩やかに上る。図中の段差は掘り過ぎたためでる。当初、北壁のプランを捉えられず南北に走る溝と考えていたが、東側半分を掘り下げた結果、深さ0.3mほどから礫や遺物が出土し始め、北壁の立ち上がりも確認できた。この住居址で、硬化面や柱穴などは検出されなかった。

遺物は住居址中央やや北に集中し全体では30cm程度の厚さに堆積していた。散乱した様子もなく、そのまま潰れた状態の土器もあった。この住居址からは多くの円礫が出土したが、土器とともに範囲が限られており、白川の洪水などによる埋没等は考えられない。しかし、土器とも複雑に混在しており、通常の使用状態とも考えられず、住居を遺棄する際の行為によると考えられる。土器の集中部分では焼土の広がりを確認した。焼土は北壁斜面から広く分布していたが、この住居址で炉址は検出されなかった。

22号竪穴住居址（図17）

調査区の南西隅で検出された。西壁と南壁にかかっており、全体の規模は不明である。現在の長さは3.8m×3.9mであり、主軸は南北から45°程度東に振れている。当初、プランを確認してのち30～35cm程度掘り下げ地山と認識している暗褐色土を検出し、土師器甕と小形丸底壷の２点が出土したためここを床面とした。しかし、建物基礎による撹乱部分を清掃していた際、下方より土器が出土し、断面観察から床と認定した暗褐色土層下に別の黒色土の層があることが分かった。黒色土層の広がりに従い床面と思われた暗褐色土を除くと、黒色土層下に地山が検出された。その結果、完掘状況としては壁の下が幅20～30cmのテラス状になり、テラスには幅10cm程度の壁溝が廻る。そして住居の中央が一段下がる。これは、1999年度の調査において検出された住居址（9901調査地点：352・353号住居址）と類似しており、主軸方向も同一である。いずれも同じような建物基礎によって破壊を受けているが、包含層（遺構覆土）と思われる黒色土層が良く残っており、遺物もその中から比較的破損の少ない状態で出土している。ベッド状遺構を持つ住居址のようであるが、最初に検出した暗褐色の層は壁の崩落・流れ込み、あるいは撹乱によるもののような様子もなく、床面である可能性も考えられる。

28号竪穴住居址（図18）

調査区の中央やや南で検出された。一部を撹乱によって破壊されている。ほぼ方形プランで、約3.1m×2.7mである。住居址の中央でピットが二つ検出された。40cm弱の深さがあり炉の可能性も考えられるが、焼土は検出されなかった。28号住居址の埋土は黒色のものと、暗褐色の地山土が混

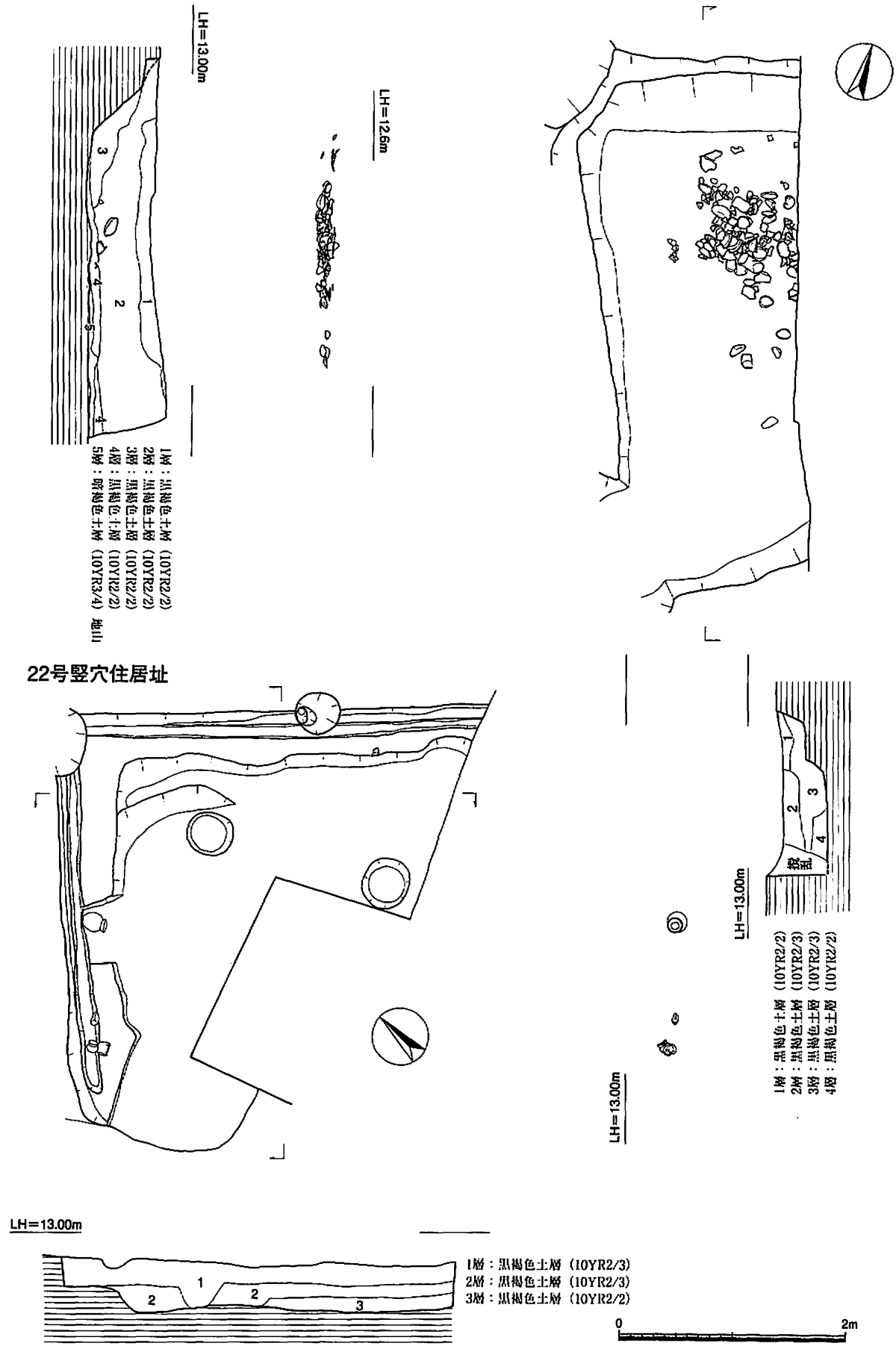


図17　9・22号竪穴住居址実測図（1/50）

ざったものとがありそれらの範囲確認が困難であった。明らかに現代の撹乱と思われる部分は最初に除去した。地山の混土は住居址の東半分程度に広がっていたが、この土も一度掘削した撹乱土と判断して除去した。近・現代の撹乱であることを示すようなものはなく住居プランへの影響は全く無かった。古代～近世の撹乱であったのかも判然としない。遺物はこのような過程のため、厳密に峻別できているとは言い難く、古墳時代から中世にかけてのものが埋土中から出土している。床面からの出土は土師器片が２点あったのみである。年報（熊本大学埋蔵文化財調査室年報７、2001）では、この住居址を古代の住居址と報告したが、古代の住居址であるならば本来備えてあるはずの竈がなく、遺物を再度考察した結果、古墳時代の可能性が高いと判断した。

29号竪穴住居址（図18）

調査区の中央で検出された。28号住居址と撹乱土壙により南西部を破壊されている。現在長2.2m×2.16m 程である。主軸は22号住居址と同じで、東に45° 程振れている。これは前年度に確認した古墳時代前期の住居址と同様で、条里制が施行される以前は、この一帯の住居址は主軸を北東一南西にとっていたことを示している。プランを検出した時には、既に上面がかなり削平されており、深さは15cm 程度しか残っていなかった。住居址中央のやや南西部で、焼土の広がりを確認した。

南西部の突出した部分との切りあいは、現場で正確に把握する事が出来なかった。しかし、この部分がほぼ南北に主軸をとっており周辺の遺構の在り方からしても、この南北に主軸をとる土壙状遺構が時期的に新しく29号住居址を切っていると思われる。29号竪穴住居址も、28号竪穴住居址同様に竈の痕跡がなく、中央から炉の跡と思われる焼土を検出したことから、古墳時代と考えられるが、周辺での調査結果を照合すると、古墳時代の住居址としてはかなり小型になりそうである。遺物は、土師器片が10数点出土したにすぎない。甕の口縁部や高坏の脚部などがあるが、いずれも砕片である。

＜その他の遺構＞

柱穴らしいピットがいくつか検出されたが、建物が並ぶようなものはなかった。出土した遺物は土師器・須恵器等で、古代～中世にかけてのものである。

Ⅱ区（図13）

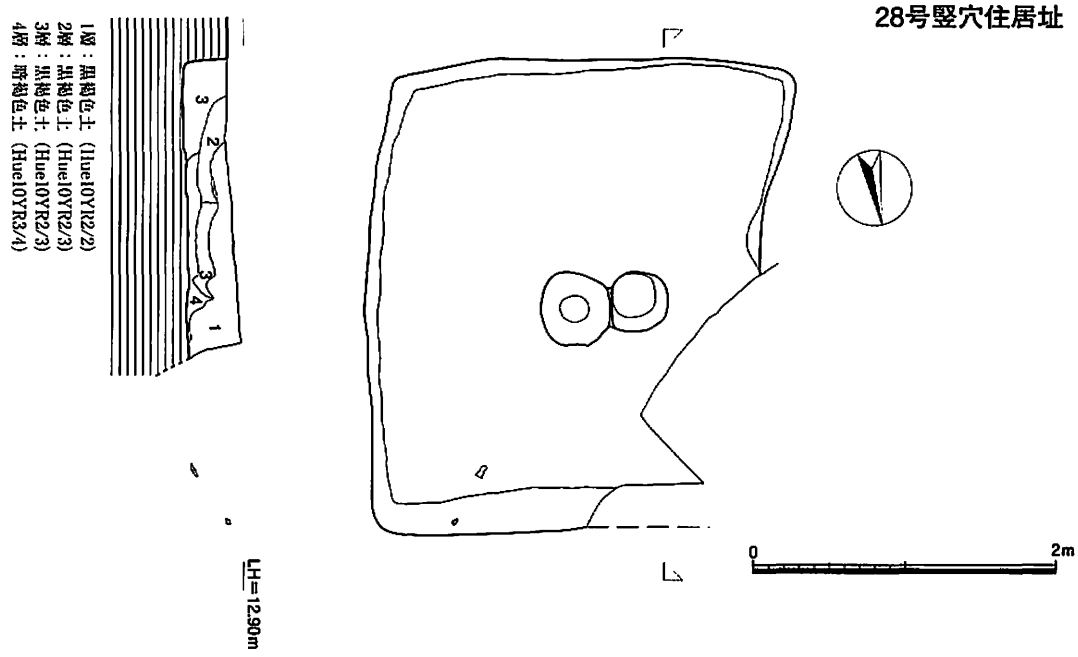
Ⅱ区は調査範囲が非常に狭長で、遺構の全体を把握することは困難であった。幅1.5m、長さ21mの調査区である。調査区の一部が病棟への給食食材搬入路（スロープ）の脇であるため周囲が高くなる。最も高くなる部分では２層が撹乱土で両壁が脆弱なため崩落の危険があり、工事業者の協力を得て急遽矢板を打った。しかし、検出された溝状の遺構を掘り下げることは危険であり、またスロープ部分は工事による破壊等の影響は受けないため、現状保存できる部分については保存とした。そして工事によって破壊を受ける部分と安全性を保てる部分についてのみ調査を行った。

Ⅱ区で確認した遺構と思われ掘り込みは、土坑状遺構３基がある。

＜土坑状遺構＞

１号土坑状遺構（図13）

調査区の西端、既設枡東側を北に長さ3.2m、幅約２mのトレンチ状に掘削したところ、包含層を確認したので重機による掘削を止め、人力による掘削にした。地山を検出すると、南側へ傾斜して落ち込み土坑状になった。深さは0.4m程である。ここで遺物が集中して出土した。南壁が立ち上がるため、南北の幅は0.8m程度と思われる。東西に広がり、溝状になるかは不明である。多量の古式土師器が出土した。



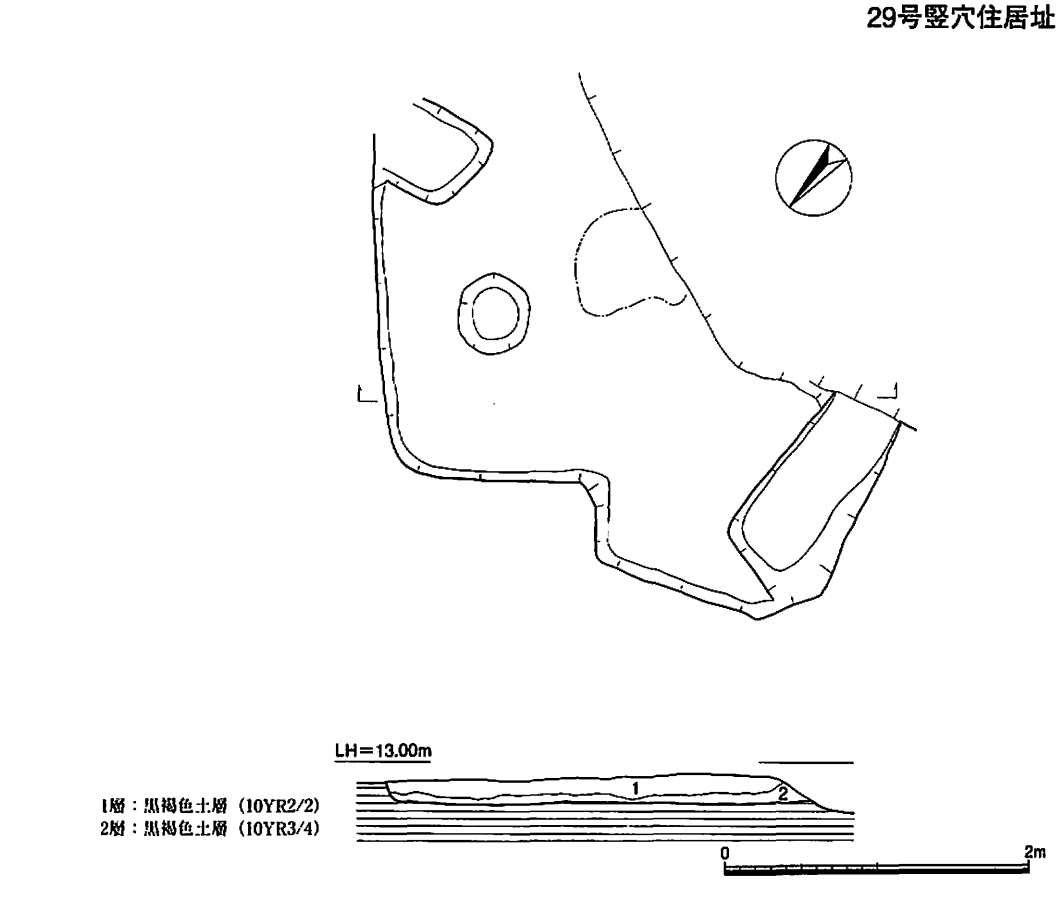


図18　28・29号竪穴住居址実測図（1 /50）

2号土坑状遺構

西端から5.4～6.4mで、南北に調査区を横切る遺構ラインを検出した。当初は南北に走る溝と考えたが、20m先まで遺構埋土と思われる黒色土が続き、これに対応する遺構の立ちあがりを確認することができなかったため、東を全面的に徐々に下げたところ、0.4m下で東側の遺構ラインが検出した。掘削した結果、最も深い所では遺構検出面より1.1m程下がる。壁は、西側は緩やかな傾斜で下り、底の20cm付近で急に落ち込む。形状は竪穴住居址のようであるが、ちょうど検出した部分の中央が、東西方向に溝状になっており竪穴住居址とは考えにくい。

3号土坑状遺構

1号土坑状遺構の東側、調査区がT字になったその交差部の南壁沿いにある、東西約3.1mの落ち込みである。深さは0.5m程度である。南壁では土器が若干出土した。おそらく中心部となるのは、調査区南外であろう。遺構面（地山）の状況から、1号土坑状遺構とは繋がらないと思われる。

＜その他の遺構＞

保存した部分については、図16の3層上面まで掘削した段階で、土器が集中して2箇所検出された。それぞれ、記録をとり取り上げた。

Ⅲ区（図14）

Ⅲ区は撹乱による破壊が著しく、遺構の全容は不明である。硬化面を検出したため住居址かと思われる掘り込みがあるほかは、ピットである。

＜住居址（？）＞

調査区の南西で住居址らしい土坑状の遺構を検出したが、既設管や撹乱土坑によって破壊され、ほとんど遺存しておらず、本来のプランや規模は把握し得ない。深さは50cm程度である。硬化面は一部確認された。

（4）出土遺物

本調査区で検出した遺構は古墳時代の遺構が主体であり、遺物も古式土師器が多量に出土した。本書では、出来る限り多くの器種を載せることを優先した。掲載できなかった遺物については、別の機会に紹介したい。

Ⅰ区

9号竪穴住居址出土遺物

Ⅰ区で最も多くの遺物が出土した遺構は9号竪穴住居址である。古墳時代前期、4世紀ごろの古式土師器が出土した（図19・20：1～31）。小型丸底壷・高坏・甕・直口壷等がある。後世に混入したと思われる遺物として、図24：118～119の須恵器蓋と坏がある。

22号竪穴住居址出土遺物

22号竪穴住居址からも、古式土師器が出土した（図20・21：32～43）。9号竪穴住居址と同じく、小型丸底壷・高坏・甕が出土している。

28号竪穴住居址出土遺物

28号竪穴住居址からは古墳時代前期の古式土師器と、古代の土師器・須恵器等が出土している（図21：46～62）。住居址の床直上で出土した土器は、図21－58である。遺構の形態と、この土器から、本住居址の時期を古墳時代とした。

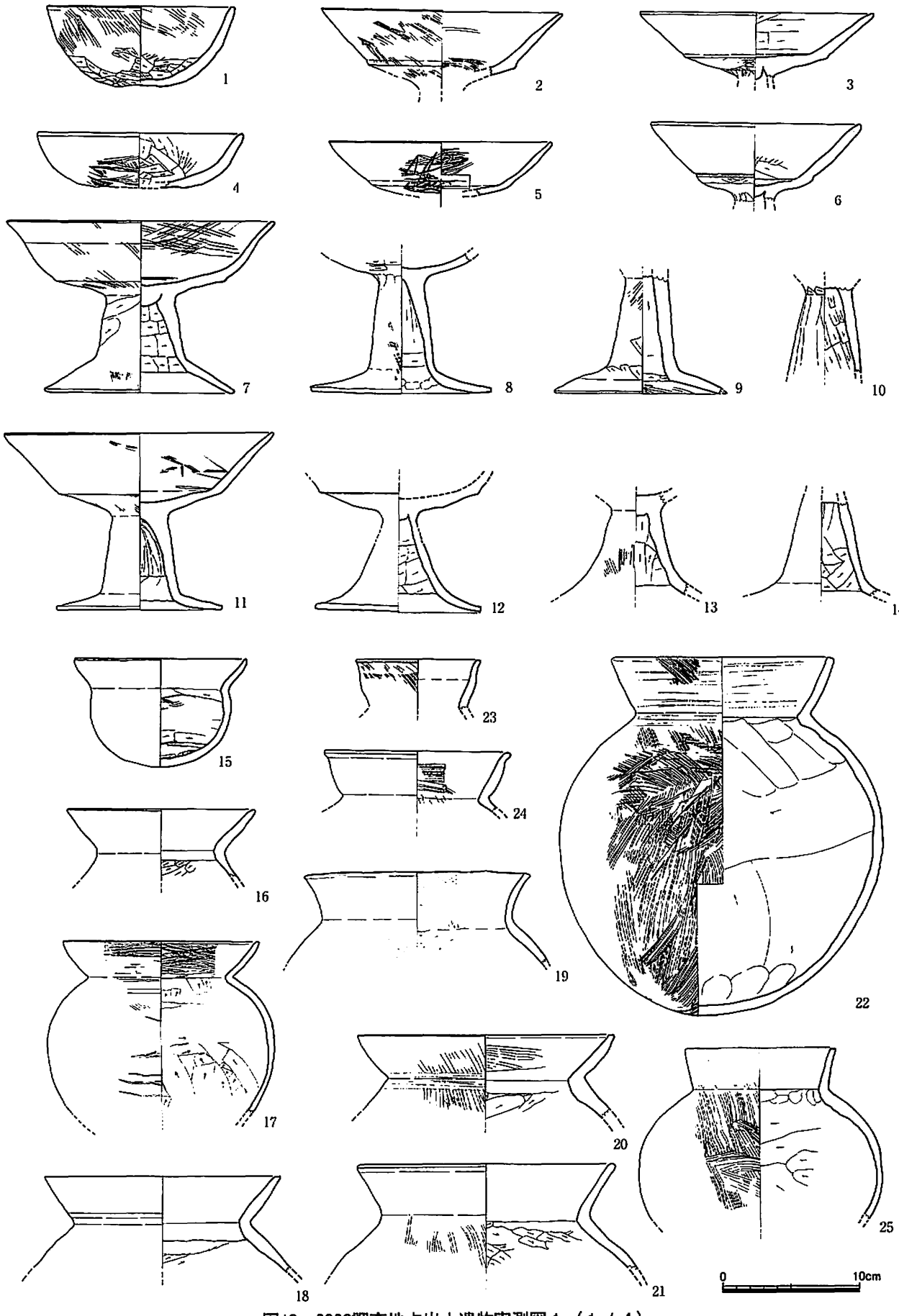


図19　0006調査地点出土遺物実測図１（１／４）

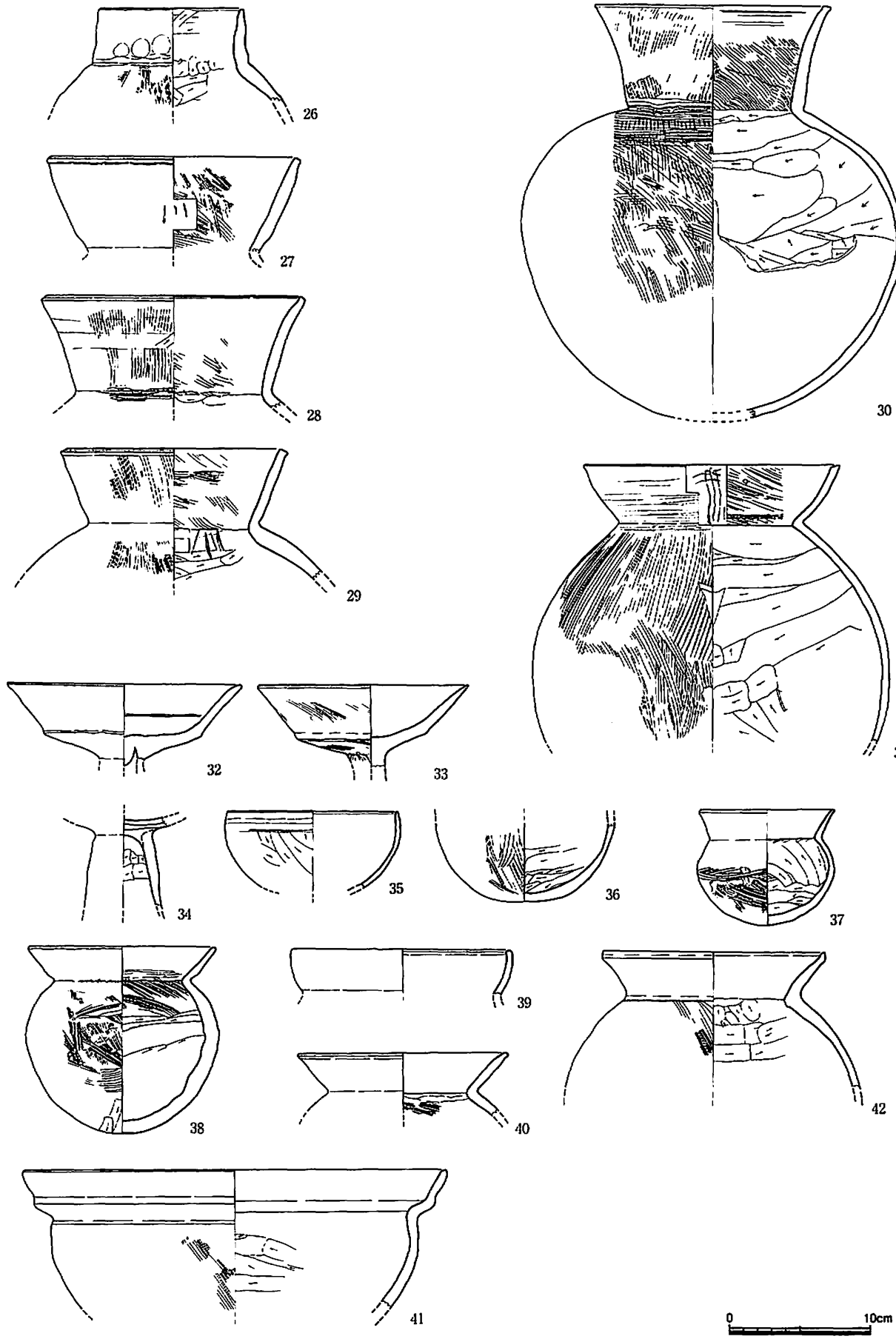


図20　0006調査地点出土遺物実測図２（１／４）

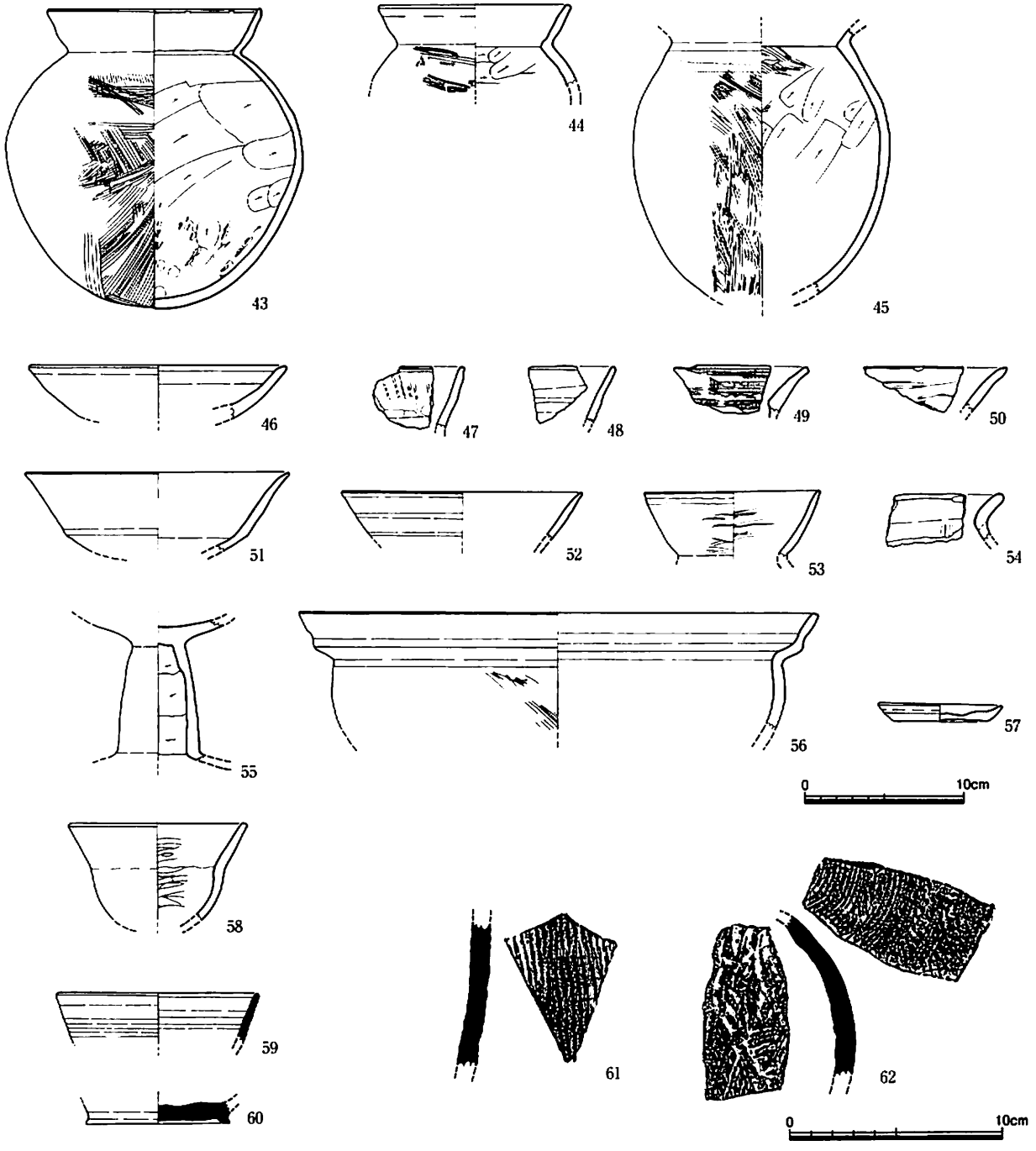


図21　0006調査地点出土遺物実測図３（１／４・１／３）

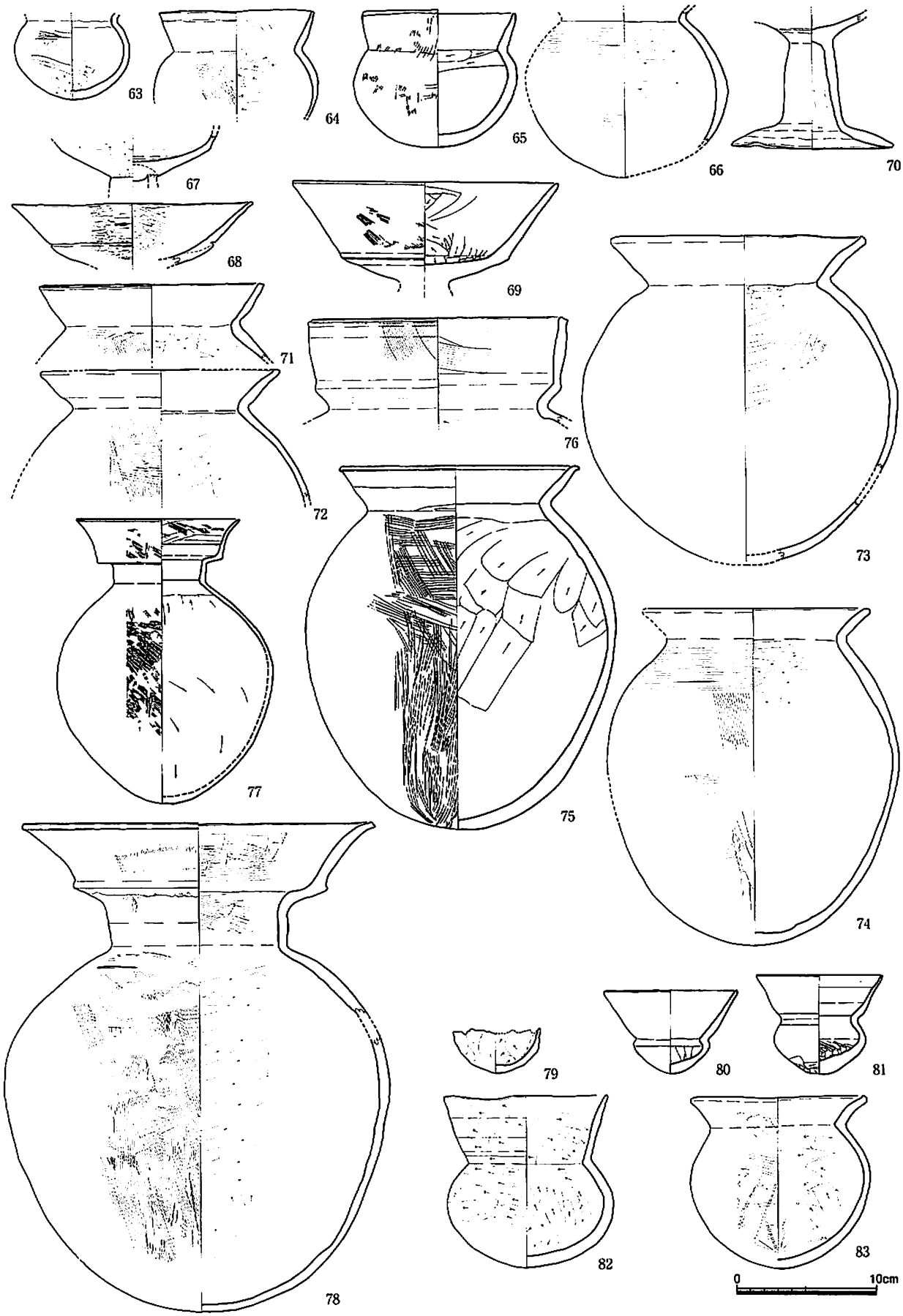


図22　0006調査地点出土遺物実測図４（１／４）

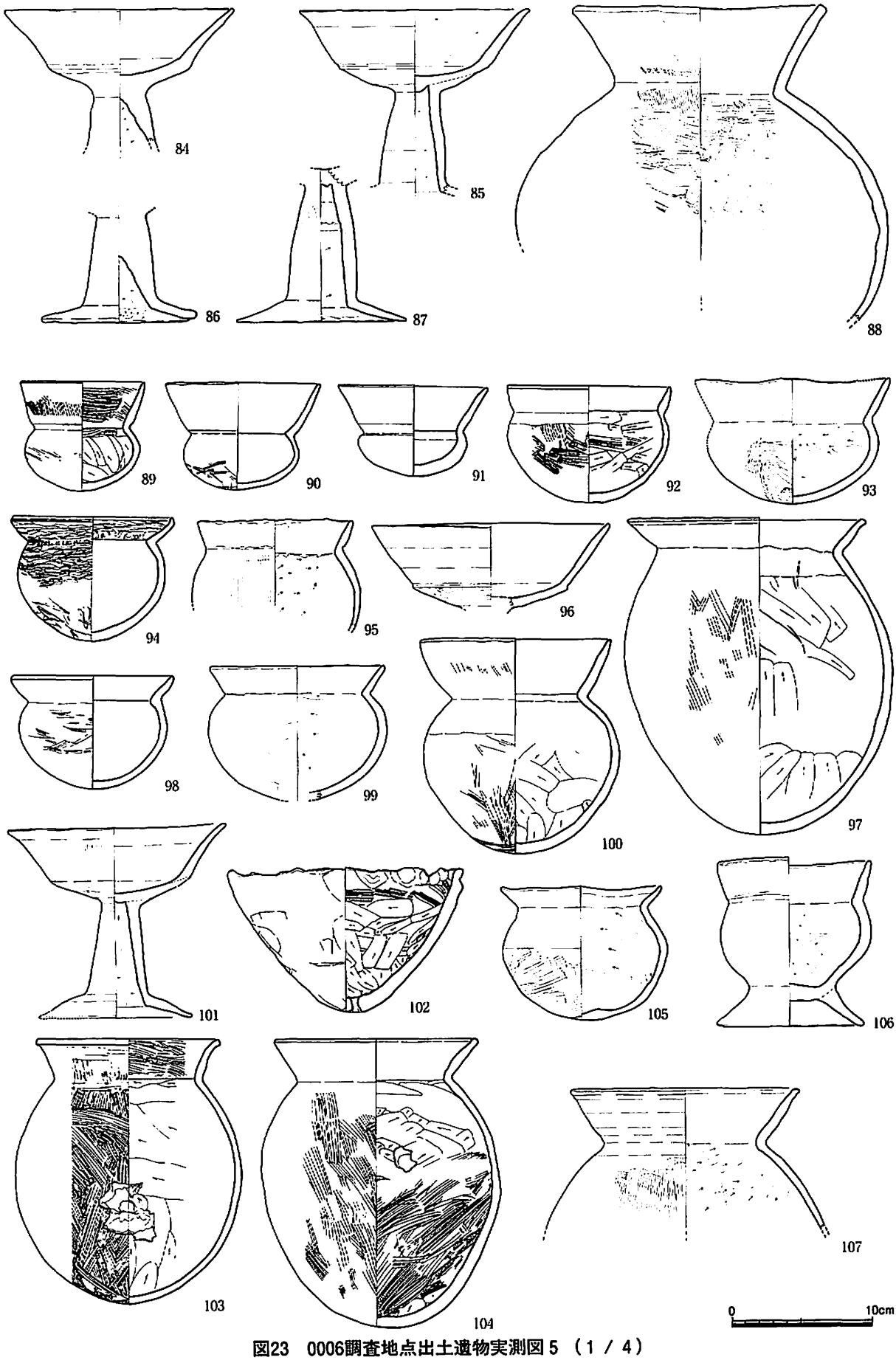


図23　0006調査地点出土遺物実測図５（１／４）

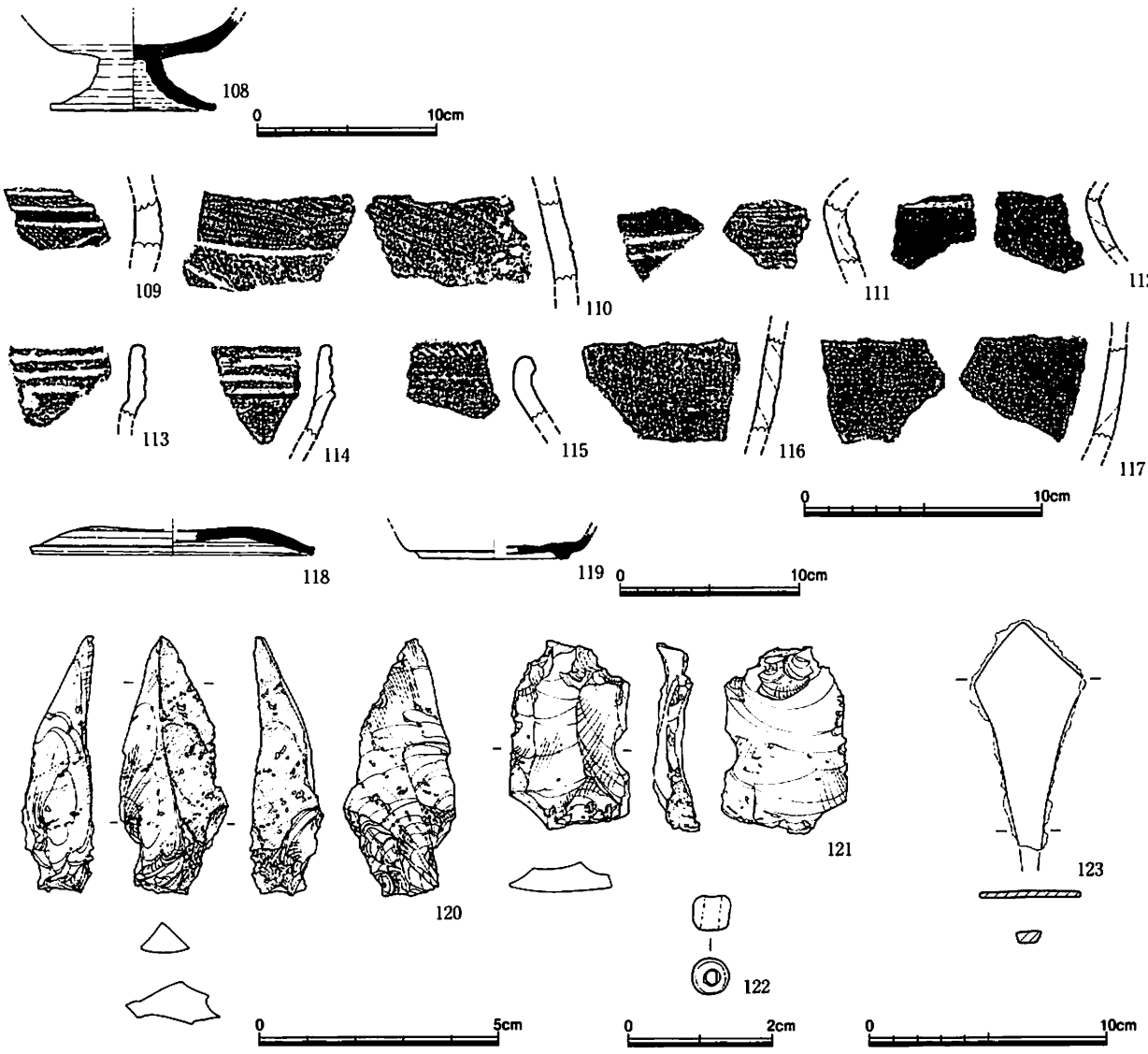


図24　0006調査地点出土遺物実測図６（１／４・１／３・２／３・１／１）

その他の遺物

図24：109～117は縄文土器である。111・112・116・117は28号竪穴住居址から出土し、他は包含層からの出土である。109・110は縄文時代後期後葉の磨消縄文であり、他は後期末～晩期の土器である。

このほか、包含層やピットなどから古式土師器・古代の土師器・須恵器が出土している。

Ⅱ区

Ⅱ区では、狭い面積に比して、Ⅰ区を凌ぐ量の遺物が出土した。Ⅱ区西端部、１号土坑と中央部の２号土坑から集中して古式土師器が出土した。特に２号土坑は遺物が重なって出土した。１号土坑以外の区間では、包含層を掘削しながら土器群を検出したため、東側より土器群１・土器群２・土器群３とした。２号土坑上面で検出した一群が土器群３に相当する。遺構を掘削して出土した分について２号土坑出土としている。いずれの土坑・土器群も古墳時代前期の古式土師器である。

小型丸底壷・高坏・甕・二重口縁壷・直口壷・ミニチュア土器が出土した。75の二重口縁壷は１号土坑出土であるが、中の土に骨粉が混入していた。また付近からベンガラの塊が少量検出された。

土器以外には、黒曜石製の石器２点と、鉄鏃１点、ガラス玉１点がある。

Ⅲ区

出土遺物は土師器片が出土したのみである。

（５）まとめ

1999度の調査において確認した集落が、病院敷地の端まで存在することが判明した。白川を眼前に控えた堤防の直下であるため、遺跡の存在の可能性はそう高くはないと考えていたが予想に反する結果であった。Ⅱ区やⅢ区は旧３号・５号病棟の脇であったが、病棟建設に伴う周辺への影響は非常に少ない事もわかった。本調査地点は本荘北地区の北西隅であったが、以前の建物基礎などの攪乱を一部受けていたものの遺構が検出されたことは、少なくとも病院敷地の北西側一帯に古墳時代からの集落が遺存している可能性が強いことを示す調査結果となった。県下において、また特に白川流域における当該期の土器資料出土例は少ない。Ⅱ区で出土した土器は、器種や数量もある程度揃っており貴重な資料となろう。

後述する、0104調査地点と比較すると遺構の密度は低く、集落の端部に近いのかもしれない。

表6　0006調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量（cm）	残　存　量	特　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
19	1	土師器	碗	口径　13.6 底径　3.1 器高　6.0	1／3	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，ハケ目，削り	内：Hue　7.5YR 6／4 外：Hue　10YR 6／4	9号竪穴住居址	
	2	土師器	高坏	口径　17.6 底径 器高	約1／3	内：回転ナデ，ハケ目，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，削り	内：Hue　10YR 7／3 外：Hue　10YR 6／2	9号竪穴住居址	破損後一部こげ痕？
	3	土師器	高坏	口径　17.0 底径 器高	約1／4	内：回転ナデ，ハケ目 外：回転ナデ，削り	内：Hue　7.5YR 7／6 外：Hue　10YR 6／4	9号竪穴住居址	外面一部に黒斑
	4	土師器	碗	口径　15.0 底径　9.2 器高　4.2	1／3	内：回転ナデ，不定方向ナデ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 6／4 外：Hue　7.5YR 6／4	9号竪穴住居址	
	5	土師器	高坏	口径　16.2 底径 器高	約1／4	内：回転ナデ，ヘラ磨き 外：回転ナデ，ヘラ磨き	内：Hue　7.5YR 6／6 外：Hue　7.5YR 5／4	9号竪穴住居址	内面一部に黒斑
	6	土師器	高坏	口径　15.4 底径 器高	1／4	内：回転ナデ，ハケ目後磨き 外：回転ナデ，削り，磨き	内：Hue　7.5YR 7／6 外：Hue　5 YR 6／6	9号竪穴住居址	
	7	土師器	高坏	口径　19.4 底径　13.8 器高　12.6	2／3	内：回転ナデ，ハケ目，回転ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 7／6 外：Hue　7.5YR 7／6	9号竪穴住居址	焼きむらあり
	8	土師器	高坏	口径 底径　13.2 器高	約1／2	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，ハケ目，削り	内：Hue　2.5Y 6／3 7.5YR 6／6 外：Hue　7.5YR 7／6	9号竪穴住居址	外面一部に黒斑
	9	土師器	高坏	口径 底径　12.8 器高	脚部のみ	内：ハケ目，削り，回転ナデ 外：ハケ目，削り，回転ナデ	内：Hue　10YR 6／3 外：Hue　10YR 6／3	9号竪穴住居址	外面一部にスス付着
	10	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部1／2	内：削り 外：削り後磨き	内：Hue　10YR 6／3 外：Hue　10YR 6／3	9号竪穴住居址	
	11	土師器	高坏	口径　19.5 底径　12.0 器高　13.1	ほぼ完形	内：回転ナデ，ハケ目 外：回転ナデ，ハケ目，削り	内：Hue　2.5YR 5／8 外：Hue　2.5YR 5／8	9号竪穴住居址	外面に焼きむら
	12	土師器	高坏	口径 底径　12.0 器高	約1／2	内：回転ナデ，回転ヘラ削り 外：回転ナデ，磨き	内：Hue　7.5YR 4／3 外：Hue　7.5YR 4／3	9号竪穴住居址	
	13	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部2／3	内：削り，ナデ 外：ハケ目，削り，磨き	内：Hue　10YR 6／3 外：Hue　10YR 6／3	9号竪穴住居址	
	14	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部2／3	内：回転ナデ，削り 外：削り，磨き	内：Hue　5 YR 6／6 外：Hue　10YR 6／4	9号竪穴住居址	
	15	土師器	小型丸底壺	口径　12.5 底径 器高　8.0	約1／2	内：回転ナデ，ナデ，醒り，磨き 外：ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7／3 外：Hue　10YR 6／3	9号竪穴住居址	内外面に一部スス付着
	16	土師器	甕	口径　13.4 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ヘラ醒り 外：回転ナデ	内：Hue　2.5YR 6／6 外：Hue　10YR 6／4	9号竪穴住居址	外面に黒斑
	17	土師器	甕	口径　14.3 底径 器高	1／3	内：ヘラ磨き，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 6／4 外：Hue　10Yr 6／4	9号竪穴住居址	外面スス付着 口縁部に緑色
	18	土師器	甕	口径　17.0 底径 器高	口縁部1／2	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，磨き	内：Hue　10YR 5／4 外：Hue　10YR 5／4	9号竪穴住居址	内外面に黒斑
	19	土師器	甕	口径　16.4 底径 器高	口縁部1／4	内：ハケ目，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 6／4 外：Hue　7.5YR 6／4	9号H黒1・包含層	外面スス付着 粘土紐積み上げ
	20	土師器	甕	口径　18.7 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：ハケ目後回転ナデ，ハケ目	内：Hue　5 YR 6／6 外：Hue　5 YR 7／4	9号竪穴住居址	外面スス付着
	21	土師器	甕	口径　18.9 底径 器高	口縁・頸部片	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 6／4 外：Hue　10YR 6／4	9号竪穴住居址	吹きこぼれ
	22	土師器	甕	口径　15.6 底径 器高　26.3	ほぼ完形	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7／4 外：Hue　2.5Y 7／3	9号竪穴住居址	外面にスス付着 吹きこぼれ
	23	土師器	小型丸底壺	口径　9.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：ハケ目後回転ナデ	内：Hue　10YR 7／4 外：Hue　10YR 7／4	9号竪穴住居址	外面黒斑
	24	土師器	甕	口径　13.6 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ハケ目 外：回転ナデ	内：Hue　10YR 4／3 外：Hue　10YR 5／3	9号竪穴住居址	吹きこぼれ
	25	土師器	甕	口径　11.0 底径 器高	約1／3	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 8／2 外：Hue　10YR 6／3	9号竪穴住居址	内外面に赤色化粧土 外面スス付着，吹きこぼれ
20	26	土師器	直口壺	口径　10.0 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，ハケ目，指オサエ	内：Hue　10YR 7／4 外：Hue　10YR 7／4	9号竪穴住居址	

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
20	27	土師器	壺	口径 18.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ハケ目 外：回転ナデ，指オサエ	内：Hue 10YR 5 / 3 外：Hue 7.5YR 6 / 6	9号竪穴住居址	
	28	土師器	壺	口径 18.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目 外：ハケ目後回転ナデ・ヘラ削り	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 10YR 7 / 4	9号竪穴住居址	
	29	土師器	壺	口径 15.0 底径 器高	約1 / 4	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5YR 4 / 6 外：Hue 2.5YR 4 / 6	9号竪穴住居址	赤色顔料
	30	土師器	壺	口径 16.8 底径 器高 29.9	2 / 3	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 8 / 4	9号竪穴住居址	外面底部に黒斑
	31	土師器	甕	口径 18.0 底径 器高	口縁・胴部の一部	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 3	9号竪穴住居址	外面スス付着 吹きこぼれ
	32	土師器	高坏	口径 16.6 底径 器高	1 / 2	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，削り後ナデ	内：Hue 10Y R 8 / 4 外：Hue 10Y R 8 / 3	22号竪穴住居址	焼きむら
	33	土師器	高坏	口径 14.9 底径 器高	1 / 2	内：ナデ，ハケ目 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	22号竪穴住居址	焼きむら
	34	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部1 / 3	内：回転ナデ，指ナデ，回転ヘラ削り 外：回転ナデ，ヘラ磨き	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 6 / 3	22号竪穴住居址	
	35	土師器	碗	口径 11.9 底径 器高	1 / 3	内：回転ナデ，削り後磨き 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 7 / 3	22号竪穴住居址	焼きむら
	36	土師器	碗	口径 底径 器高	底部のみ残存	内：ナデ 外：ハケ目	内：Hue 10YR 5 / 3 外：Hue 10YR 4 / 2	22号竪穴住居址	外面スス付着
	37	土師器	小型丸底壺	口径 9.6 底径 器高 8.3	ほぼ完形	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	22号竪穴住居址	内面下半黒色磨研のように磨いている。
	38	土師器	小型丸底壺	口径 13.2 底径 器高 13.5	口縁部一部破損	内：ヘラ削り，ハケ目 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 7 / 3	22号竪穴住居址	外面全体にスス付着　口縁部一部に黒斑
	39	土師器	甕	口径 15.2 底径 器高	口縁部片	内：削り，回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 4 外：Hue 5 YR 6 / 4	22号竪穴住居址	外面にスス付着
	40	土師器	甕	口径 15.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ハケ目，ヘラ削り後ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	22号竪穴住居址	外面にスス付着
	41	土師器	浅鉢	口径 30.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：ハケ目，回転ナデ	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 2	22号竪穴住居址	外面にスス付着
	42	土師器	甕	口径 15.6 底径 器高	口縁・胴部片	内：回転ナデ，ヘラ削り，指オサエ 外：回転ナデ，ハケ目，削り	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 3	22号竪穴住居址	外面一部にスス付着
21	43	土師器	甕	口径 13.0 底径 器高 19.1	完形	内：回転ナデ，削り，指オサエ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 6 / 4 外：Hue 7.5YR 7 / 4	22号竪穴住居址	内外面にスス付着
	44	土師器	甕	口径 12.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 7.5YR 5 / 4	23号竪穴住居址	外面にスス付着
	45	土師器	甕	口径 底径 器高	約1 / 5	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	23号竪穴住居址	外面一部に黒斑
	46	土師器	高坏	口径 16.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 8 / 4	28号竪穴住居址	
	47	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ハケ目 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 4	28号竪穴住居址	外面スス付着
	48	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	28号竪穴住居址	
	49	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 6 / 2 外：Hue 2.5Y 7 / 2	28号竪穴住居址	外面スス付着
	50	土師器	甕？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，回転ヘラ磨き 外：回転ナデ後ヘラ磨き	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 2	28号竪穴住居址	外面に黒斑
	51	土師器	高坏	口径 16.5 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	28号竪穴住居址	
	52	土師器	坏	口径 15.1 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 8 / 4 外：Hue 5 YR 7 / 6	28号竪穴住居址	
	53	土師器	壺	口径 11.5 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ヘラ磨き 外：回転ナデ，ヘラ磨き	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 5 / 6	28号竪穴住居址	

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
21	54	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ハケ目，削り 外：回転ナデ， ハケ目	内：Hue　10YR 6 / 3 外：Hue　10YR 6 / 4	28号竪穴住居址	
	55	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部 1 / 2	内：回転ナデ，回転ヘラ削り 外：回転ナデ，ヘラ磨き	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 4	28号竪穴住居址	外面黒斑・焼きむら
	56	土師器	浅鉢	口径　32.5 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ヘラナデ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 5 / 2 外：Hue　10YR 6 / 4	28号竪穴住居址	内面黒色
	57	土師器	皿	口径　7.8 底径　6.0 器高　1.1	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，ヘラ切り	内：Hue　7.5YR 6 / 6 外：Hue　7.5YR 6 / 4	28号竪穴住居址	
	58	土師器	小型丸底壺	口径　11.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ヘラナデ 外：回転ナデ	内：Hue　10YR 7 / 3 外：Hue　10YR 7 / 3	28号竪穴住居址	内外面スス付着
	59	須恵器	碗	口径　12.8 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue　5 GY 3 / 1 外：Hue　N 2 / 1	28号竪穴住居址	外面に自然釉
	60	須恵器	碗	口径 底径　9.0 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り，回転ヘラ切り	内：Hue　5 Y 6 / 1 外：Hue　2.5Y 3 / 1	28号竪穴住居址	底面に自然釉
	61	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：タタキ 外：タタキ	内：Hue　7.5Y 4 / 1 外：Hue　5 GY 3 / 1	28号竪穴住居址	
	62	須恵器	壺？	口径 底径 器高	肩部片	内：タタキ 外：タタキ，ヘラ磨き？	内：Hue　10GY 4 / 1 外：Hue　N 3 / 0	28号竪穴住居址	
22	63	土師器	小型丸底壺	口径 最大径　8.2 器高	2 / 3	内：ヘラ調整後指ナデ 外：ハケ目，ヘラ磨き，ヘラ削り	内：Hue　5 YR 6 / 6 外：Hue　7.5YR 6 / 6	Ⅱ区1号土坑・Ⅱ区2号・Ⅱ区土器群3－Q	粘土紐積み上げ 遺構はⅡ区1号土坑
	64	土師器	小型丸底壺	口径　11.0 最大径　11.7 器高	1 / 2	内：回転ナデ，ハケ目，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 6 / 6 外：Hue　10YR 7 / 4	Ⅱ区1号土坑	粘土紐積み上げ
	65	土師器	小型丸底壺	口径　11.0 底径 器高　10.0	完形	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 4	Ⅱ区1号土坑　No. 8	外面底部にスス付着
	66	土師器	甕	口径 最大径　14.8 器高	1 / 2	内：ヘラ削り，磨き，指ナデ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　2.5YR 6 / 8 外：Hue　2.5YR 6 / 8	Ⅱ区2号土坑・Ⅱ区1号土坑	粘土紐積み上げ 外面に黒斑
	67	土師器	高坏	口径 底径 器高	1 / 4	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，ヘラ削り	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 3	Ⅱ区1号土坑	
	68	土師器	高坏	口径　19.2 底径 器高	坏部 1 / 4	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，磨き	内：Hue　10YR 3 / 1 外：Hue　10YR 7 / 4	Ⅱ区1号土坑	内面に黒斑
	69	土師器	高坏	口径　19.0 底径 器高	1 / 4	内：回転ナデ，ヘラナデ 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　7.5YR 6 / 6 外：Hue　10R 5 / 8	Ⅱ区1号土坑	外面赤色顔料・スス付着
	70	土師器	高坏	口径 底径　11.6 器高	1 / 2	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue　10YR 8 / 3 外：Hue　10YR 8 / 3	Ⅱ区1号土坑	脚部底面に指痕あり
	71	土師器	甕	口径　16.0 底径 器高	口縁部2 / 3	内：回転ナデ，ヘラ削り，指おさえ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　2.5YR 6 / 8 外：Hue　2.5YR 5 / 8	Ⅱ区1号土坑	粘土紐積み上げ 外面スス付着
	72	土師器	甕	口径　17.1 底径 器高	1 / 3	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 6 / 4 外：Hue　7.5YR 7 / 3	Ⅱ区1号土坑・Ⅱ区2号土坑包含層	粘土紐積み上げ 内面スス付着
	73	土師器	甕	口径　17.7 最大径　22.0 器高	3 / 4	内：回転ナデ，ヘラ削り，ヘラ磨き 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 4	Ⅱ区1号土坑	粘土紐積み上げ 外面スス付着
	74	土師器	甕	口径　16.8 最大径　20.9 器高　24.3	4 / 5	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 8 / 3 外：Hue　10YR 7 / 2	Ⅱ区1号土坑・Ⅱ区2号土坑包含層	粘土紐積み上げ 煮炊き痕あり
	75	土師器	甕	口径　17.2 底径 器高　26.2	完形	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 7 / 4	Ⅱ区1号土坑 No. 2	内外面にスス付着
	76	土師器	二重口縁壺	口径　18.6 底径 器高	口縁部1 / 4	内：回転ナデ，ヘラ削り，ハケ目 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 7 / 4	Ⅱ区1号土坑・Ⅱ区包含層	粘土紐積み上げ
	77	土師器	二重口縁壺	口径　23.4 底径 器高　40.7	ほぼ完形	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　5 YR 6 / 6 外：Hue　7.5YR 7 / 4	Ⅱ区1号土坑　No. 1	外面に黒斑・スス付着
	78	土師器	二重口縁壺	口径　25.2 最大径　27.6 器高　35.2	ほぼ完形	内：回転ナデ，ナデ，ヘラ削り，ハケ目 外：回転ナデ，ナデ，ハケ目	内：Hue　N 2 /0，10YR 7 / 2 外：Hue　10YR 7 / 2	Ⅱ区2号土坑包含層・Ⅱ区1号土坑	内外面に煮炊き痕 粘土紐積み上げ 遺構はⅡ区2号土坑

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
22	79	土師器	手捏ね土器	口径 底径　6.25 器高　3.2	ほぼ完形	内：指ナデ 外：指オシ	内：Hue　10YR 7 / 3 外：Hue　10YR 6 / 3	Ⅱ区2号土坑	底部に黒斑
	80	土師器	小型丸底壺	口径　9.5 底径 器高　6.0	完形	内：回転ナデ，ヘラナデ 外：回転ナデ，指ナデ	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 3	Ⅱ区2号土坑　4層	外面に焼きむら
	81	土師器	小型丸底壺	口径　9.0 底径 器高　7.2	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ヘラ削り	内：Hue　7.5YR 6 / 6 外：Hue　7.5YR 6 / 6	Ⅱ区2号土坑　4層	外面底部に黒斑
	82	土師器	小型丸底壺	口径　12.65 底径 器高　12.4	9 /10	内：ヘラ削り，ナデ，磨き？ 外：ヘラ削り，ナデ	内：Hue　7.5YR 6 / 6 外：Hue　7.5YR 7 / 6	Ⅱ区2号土坑・Ⅱ区土器群3－F	焼きむら
	83	土師器	小壺	口径　12.7 最大径　12.9 器高　12.4	7 / 8	内：ナデ，ヘラ削り，磨き？ 外：ハケ目，磨き	内：Hue　2.5Y 7 / 3 外：Hue　10YR 8 / 4	Ⅱ区2号・Ⅱ区土器群3－Q・Ⅱ区トレンチ	外面にスス付着
23	84	土師器	高坏	口径　16.3 底径 器高	1 / 2	内：ナデ 外：ナデ後磨き	内：Hue　5 YR 6 / 8 外：Hue　5 YR 4 / 6	Ⅱ区2号土坑5層	
	85	土師器	高坏	口径　16.2 底径 器高	2 / 5	内：回転ナデ，脚内ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7 / 3 外：Hue　10YR 8 / 3	Ⅱ区2号土坑	焼きむら
	86	土師器	高坏	口径 底径　11.0 器高	1 / 2	内：ヘラ削り，脚内ヘラ削り 外：ナデ，磨き	内：Hue　5 YR 5 / 6 外：Hue　2.5YR 5 / 8	Ⅱ区2号土坑	
	87	土師器	高坏	口径 底径　12.0 器高	脚部	内：ハケ目，回転ナデ，削り 外：ハケ目，回転ナデ	内：Hue　7.5YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 4	Ⅱ区2号土坑	
	88	土師器	壺	口径　18.2 底径 器高	1 / 2	内：回転ナデ，ハケ目，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 6 / 6 外：Hue　10YR 6 / 4	Ⅱ区2号土坑　3層・Ⅱ区土器群3－N	外面に黒斑・スス付着 ここまで
	89	土師器	小型丸底壺	口径　8.8 底径 器高　7.8	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 4	Ⅱ区土器群2－A	内面口縁部にスス付着 遺構は土器群2
	90	土師器	小型丸底壺	口径　11.1 底径 器高　7.7	完形	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　2.5YR 5 / 6 外：Hue　5 YR 5 / 6	Ⅱ区土器群3－H	外面底部に黒斑 内面口縁部にスス付着 遺構は土器群3
	91	土師器	小型丸底壺	口径　10.7 底径 器高　6.6	完形	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 3	Ⅱ区土器群3－J	外面にスス付着
	92	土師器	小型丸底壺	口径　11.6 底径 器高　8.4	ほぼ完形	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 5 / 4 外：Hue　7.5YR 5 / 4	Ⅱ区2号土坑　3層 Ⅱ区土器群3－Q	内外面にスス付着
	93	土師器	小型丸底壺	口径　14.0 底径 器高　9.0	2 / 3	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 5 / 3 外：Hue　10YR 7 / 4	Ⅱ区1号土坑・Ⅱ区2号土坑・Ⅱ区土器群3－F	内面にヘラ押し痕 外面に黒斑
	94	土師器	小型丸底壺	口径　11.6 底径 器高　8.9	完形	内：ナデ，ヘラ磨き 外：ナデ，ハケ目，ヘラ磨き，削り	内：Hue　10YR 8 / 4 外：Hue　10YR 8 / 4	Ⅱ区土器群3－M	外面口縁部にスス付着
	95	土師器	小壺	口径　11.0 最大径　12.0 器高	1 / 2	内：ヘラ削り，ナデ 外：ハケ目，ナデ，指おさえ	内：Hue　5 YR 7 / 8 外：Hue　7.5YR 8 / 6	Ⅱ区土器群3－R	黒斑部分，赤斑部分あり 外面スス付着
	96	土師器	高坏	口径　16.9 底径 器高	坏部4 / 5	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 8 / 4 外：Hue　10YR 8 / 4	Ⅱ区2号土坑4層・土器群3－C・土器群3－A	焼きむら
	97	土師器	甕	口径　17.0 底径 器高　22.9	完形	内：回転ナデ，ヘラナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 7 / 4	Ⅱ区土器群3－I	内外面にスス付着 ここまで
	98	土師器	小型丸底壺	口径　11.5 底径 器高　8.1	完形	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 4	Ⅱ区壁	外面底部に黒斑 内面に圧痕 遺構は調査区壁
	99	土師器	小型丸底壺	口径　12.4 最大径　12.6 器高	1 / 2	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue　10YR 7 / 3 外：Hue　10YR 7 / 4	Ⅱ区壁	外面風化 外面スス付着
	100	土師器	壺	口径　13.6 底径 器高　15.5	完形	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 6 / 4 外：Hue　7.5YR 6 / 4	Ⅱ区壁	頸部に穿孔か 内外面スス付着
	101	土師器	高坏	口径　15.5 底径 器高　13.85	ほぼ完形	内：回転ナデ，ハケ目，脚内ヘラ削り 外：回転ナデ	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 8 / 4	Ⅱ区壁	焼きむら
	102	土師器	鉢形土器	口径　16.6 底径 器高　10.3	完形	内：指ナデ，ハケ目，ヘラ削り 外：指ナデ，指オサエ	内：Hue　10YR 7 / 3 外：Hue　10YR 7 / 3	Ⅱ区壁	底部先端に穿孔 外面に黒斑・圧痕
	103	土師器	甕	口径　13.0 底径 器高　19.0	ほぼ完形	内：ハケ目，削り 外：ハケ目，回転ナデ	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 4	Ⅱ区壁	穿孔あり 内外面スス付着
	104	土師器	甕	口径　14.5 底径 器高　20.7	完形	内：回転ナデ，ハケ目，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　2.5Y 7 / 3 外：Hue　10YR 8 / 3	Ⅱ区壁	外面にスス付着

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
23	105	土師器	小甕	口径　11.4 底径　4.45 器高　9.6	7 / 8	内：ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　2.5Y 5 / 2 外：Hue　5 YR 6 / 8	Ⅱ区包含層	焼きむら 遺構はⅡ区包含層
	106	土師器	有付壺	口径　11.0 底径　10.5 器高　12.1	ほぼ完形	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目，ヘラ削り	内：Hue　7.5YR 7 / 3 外：Hue　7.5YR 7 / 4	Ⅱ区包含層	外面に黒斑
	107	土師器	甕	口径　16.4 底径 器高	口縁部 1 / 3	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 7 / 3	Ⅱ区	遺構はⅡ区
24	108	須恵器	高坏	口径 底径　9.2 器高	脚部 1 / 3	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ヘラ削り	内：Hue　7.5YR 7 / 6 外：Hue　7.5YR 7 / 6	Ⅲ区撹乱・包含層	遺構はⅢ区撹乱・包含層
	109	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 6 / 6 外：Hue　10YR 6 / 6	不明	外面に沈線文・縄文 黒色磨研
	110	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	頸部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 5 / 4 外：Hue　10YR 5 / 4	包含層	外面に沈線文・縄文 黒色磨研
	111	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　7.5YR 6 / 4 外：Hue　7.5YR 6 / 4	28号竪穴住居址	外面に沈線文 黒色磨研
	112	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue　7.5YR1.7/ 1 外：Hue　7.5YR1.7/ 1	28号竪穴住居址	外面に沈線文 黒色磨研
	113	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 6 / 3 外：Hue　10YR 5 / 2	9号竪穴住居址	外面に沈線文
	114	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 5 / 2 外：Hue　10YR 5 / 3	包含層	外面に沈線文
	115	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　7.5YR 5 / 6	包含層	口唇部に縄文
	116	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	頸部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue　2.5Y 6 / 3 外：Hue　10YR 2 / 1	28号竪穴住居址	黒色磨研
	117	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue　10YR 4 / 1 外：Hue　10YR 5 / 2	28号竪穴住居址	黒色磨研
	118	須恵器	蓋	口径　16.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue　7.5Y 6 / 1 外：Hue　7.5Y 6 / 1	9号竪穴住居址	口縁部内外面に自然釉
	119	須恵器	坏	口径 底径　8.4 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue　7.5Y 6 / 1 外：Hue　7.5Y 6 / 1	9号竪穴住居址	
	120	石器	ナイフ形石器	長さ　5.5 幅　2.3 厚さ　1.55				4層	重量10.0ｇ　黒曜石
	121	石器	二次調整剥片	長さ　4.0 幅　2.5 厚さ　0.95				2号土坑上	重量6.9ｇ　黒曜石
	122	ガラス製品	ガラス玉	長さ　0.5 幅　0.55 厚さ　0.5				包含層	重量0.2ｇ　青緑色ガラス
	123	鉄器	鏃	長さ　9.8 幅　4.8 厚さ　0.45				Ⅱ区	

2．(医病)医学部総合研究棟新営工事に伴う発掘調査(0101調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

本地点は白川左岸河岸堤防上に位置する本庄遺跡内にある。調査地点の標高は13mである。本地点周辺では既往の調査により古墳時代前期～古代にかけての集落址および古代の寺院址などが確認されている。

本調査地点は、医学部総合研究棟新営工事に伴って発掘調査を行った。周辺の調査結果から、遺構検出面が地表下70cm前後で検出されることが予想されるため、重機による1次掘削は－75cmの深さで実施した。1次掘削の終了を待って、4月9日より埋蔵文化財の調査を実施した。1次掘削の結果、調査区を取り囲むように以前の建物の基礎址が巡っており、その部分を避けて内部を調査した。

本調査地点の性格もほぼ既往の調査結果と似た状況を示すが、本地点は大学病院内を流れる小河川沿いに位置するため、若干他地点と様相を異にしている。それは、本地点の南側を中心とした部分に近世～近代の畑址が広がっている点である。これらは時期的には厳密に規定できないが、おそらく18世紀～19世紀ごろのものと考えられる（Ⅰ・Ⅱ面)。中世以前の遺構構築面（とくに北側）はこの近世の耕地造営に伴い削平を受けている（Ⅲ面)。

調査はこの畑址を中心に2回、畑址を除去して1回の3面を調査し、7月3日をもって終了した。調査の途中、6月18日に埋蔵文化財調査委員会および関係者の参席を得て、現地説明会を実施した。

b．調査の経過

2001年4月9日　調査開始・撹乱掘り・廃土移動。
2001年4月16日　Ⅰ面畑遺構検出。
2001年4月17日　Ⅰ面写真撮影。
2001年5月14日　Ⅱ面目掘り下げ開始・畑遺構検出。
2001年5月22日　Ⅲ面目掘り下げ。
2001年6月18日　現地説明会開催。
2001年6月25日　台地上遺構掘り上げ開始。
2001年7月3日　調査終了。

c．調査の組織

調　査　員：大坪志子・小畑弘己
事務担当：冨永明子
発掘作業員：呉判錫・岡田イツ代・押方富江・河野義勝・黒木重信・黒木タケ子・小細工洋子・白石美智子・鈴木笙子・溜渕俊子・高松北子・橋口剛士・林田恵子・早田咲百合・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・宮村邦子・森川征子・森川護・森田登
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・泗水直子・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・長谷智子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山嵜早苗・早川　翔

（2）調査区の基本層序（図25）

本調査地点は先に述べたように耕地化にともなって削平を被っているため、旧来の遺構の残りはさほどよい状態ではなかった。さらに、耕作土も旧建築物建設のためとくに北半部が削平を受けており、本来は北側（白川側）に高まる地形であったものと考えられる。

以上より、北半部においては耕作土の下はいわゆる地山面であり、南半部にかけてこの地山が次第に傾斜下降していく。このため、南側は旧耕作土（畑址）の面が2枚以上存在し、その下部は古代以前の溝および旧河道が重なった状態で認められた。

基本層序は、北半部が表土（厚さ70cm）－現代撹乱土の下が地山面、南半分が近世畑面耕作土およびその水成被覆砂・シルト層（厚さおよそ1m）の下が古代包含層（Ⅱ面畑土耕作土）（厚さ20～30cm）・古代溝・旧河道堆積物（厚さ2m）となっている。

（3）検出遺構

今回の調査で検出した主な遺構は、近世の畑址、古代溝3条および竪穴住居址2基、掘立柱建物址1基、古墳時代前期の竪穴住居址1基である。

＜畑　址＞

北側台地上にもわずかな畝址が認められるが、ほぼ流出および削平されており、残り具合は南半部が良好であった。南半部では2枚の畑面を検出したが、その間および最上部にさらに1～2枚の耕作面が存在した可能性が高い。この2枚の畑面は畝間に固く密なシルト層が厚さ5cmあまり堆積し、その上部を粗砂が覆っており、比較的検出は容易であった。これは本調査地点のさらに南側に存在したと考えられる（調査区南端で検出した現代の堀によって改修されている可能性もある）白川の支脈である小河川の氾濫による堆積物で畑面が覆われたために、引き起こされた堆積状況であり、このような厚い砂層に覆われなかった小規模な浸水が幾度か起こっており、耕作面の作り替えはさらに幾度となく行なわれた可能性が高い。畝の幅は30～40cmほどである。地形の傾斜に直交する河道に並行する方向に畝立てされている。

畑の耕作土からはほとんど遺物が出土していないが、数点の陶器片および1点の銅銭（元祐通寶：図31：3）がある。遺構の時期は、出土陶磁器片より18世紀～19世紀以降のものと考えられる。

＜土壙墓＞

調査区中央部東にかけて2基の土壙墓を検出した。

72号土壙墓

13号溝を掘り下げ中に検出した方形の土坑墓である。平面形は70×60cm台形状で、人骨を検出した時点で遺構として認識したことから、墓壙底から25cmほどしか残存していない。遺骸は座位の状態で、人骨は墓底に崩落した状態で出土した。釘などは出土していない。副葬遺物も発見されなかった。埋葬姿勢などから、近世以降のものである可能性が高い。

23号土壙墓

72号土壙墓の北側1mほどのところで検出した。遺骸は側臥屈葬の姿勢で西側を向いていた。腕は肘を曲げ顎下で掌を合わせたような状態であった。その先に短刀と砂岩製の砥石が重なった状態で副葬されていた（図29）。人骨の性別は不明であるが、下顎の前歯・犬歯はなく、歯槽閉鎖の状態であった。72号と埋葬姿勢の形状が異なるため、時期が異なると考えられる。畑址の畝部には墓壙を掘った痕跡は認められなかったので、畑址以前であるのは確実である。中世末～近世初期のものと考えられる。

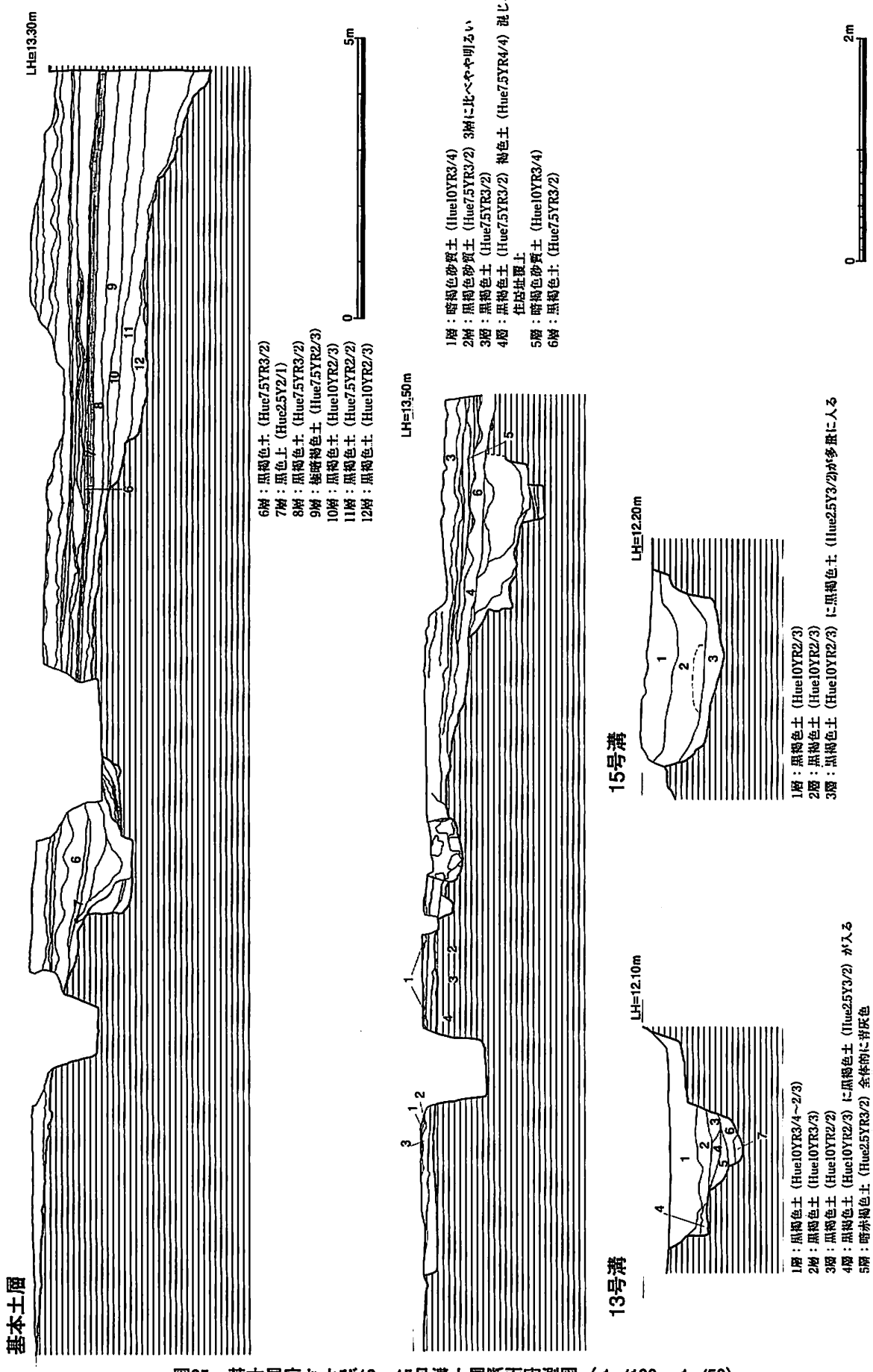


図25　基本層序および13・15号溝土層断面実測図（1 /100・1 /50）

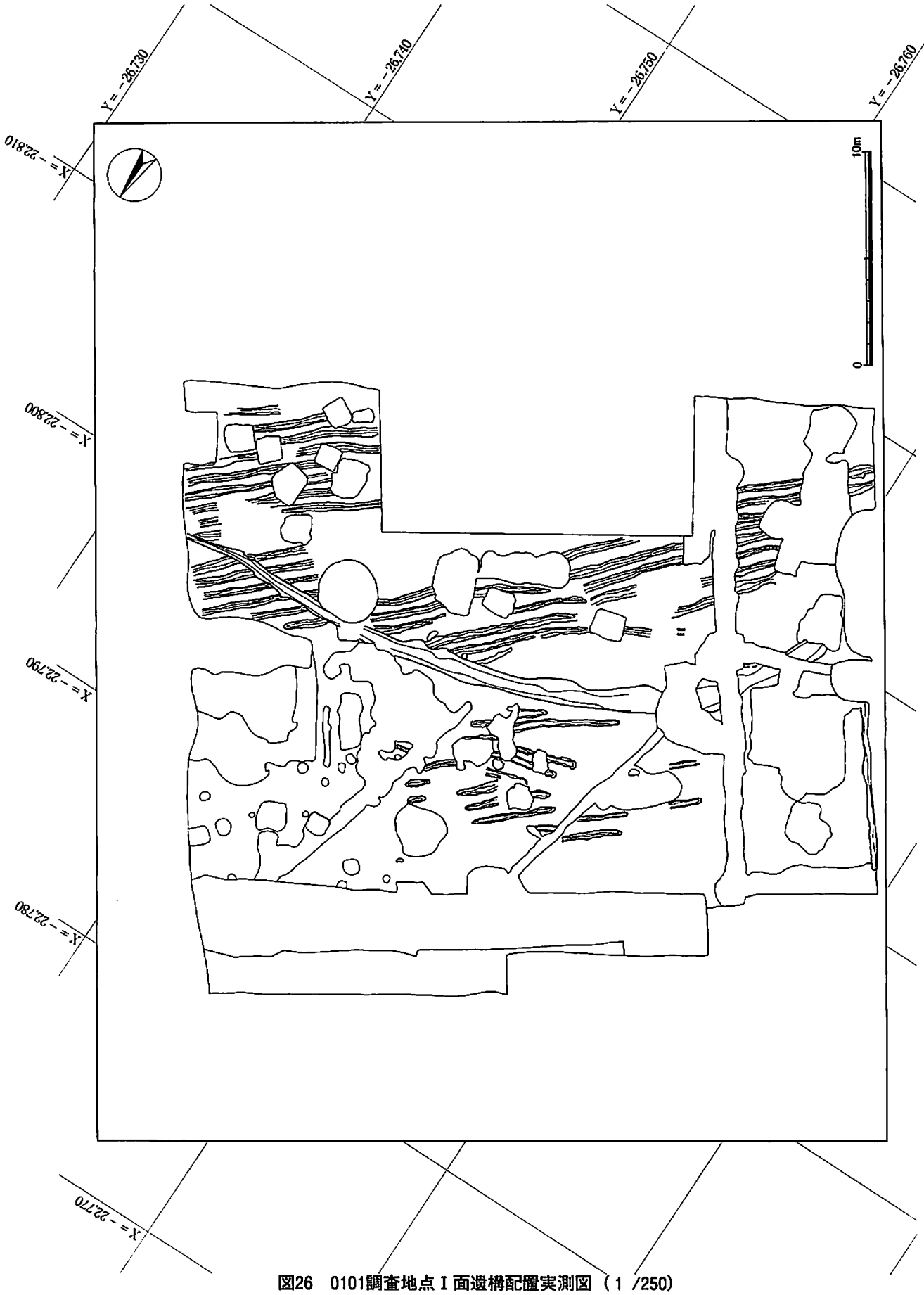


図26　0101調査地点Ⅰ面遺構配置実測図（1／250）

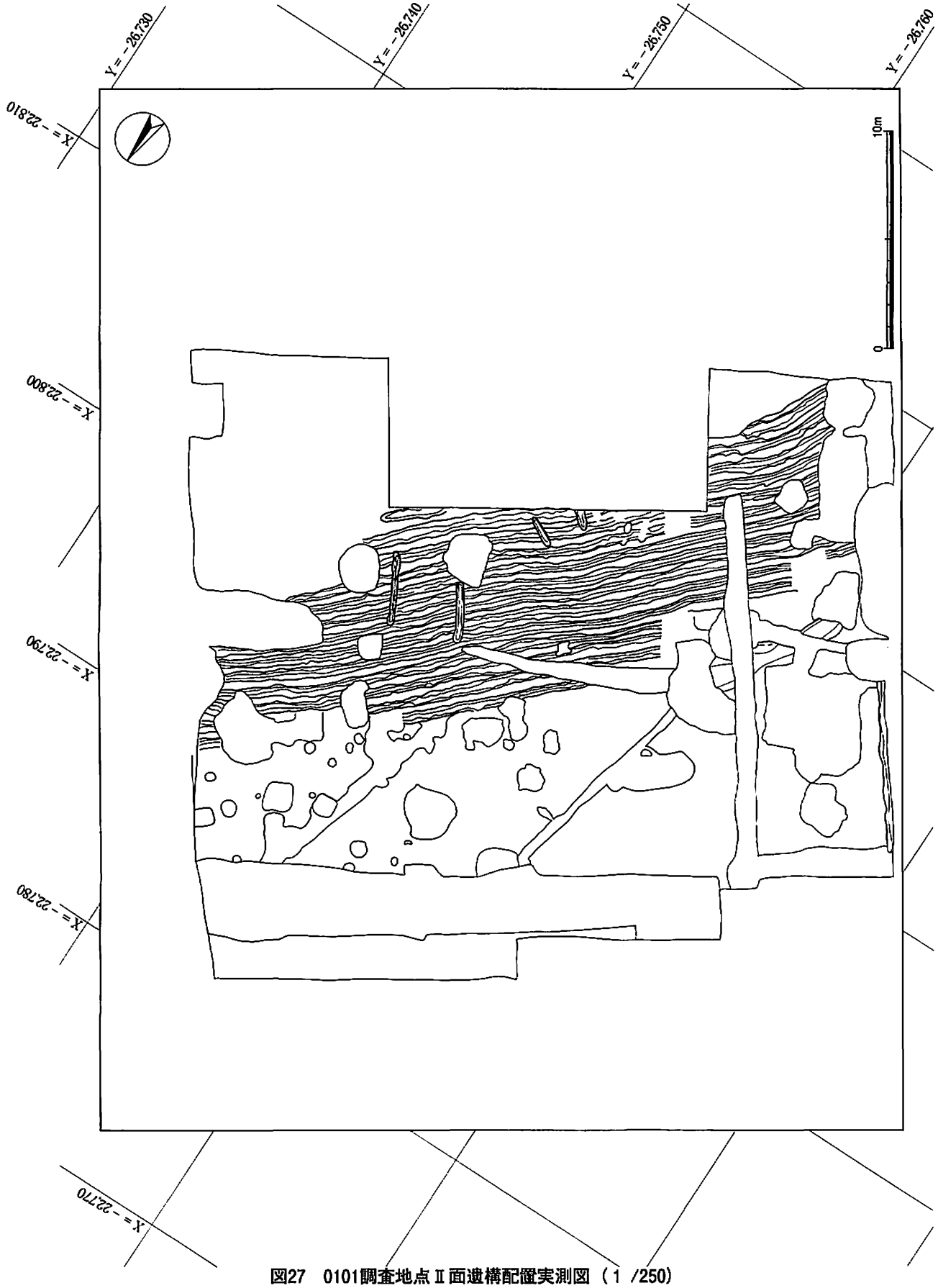


図27　0101調査地点Ⅱ面遺構配置実測図（1 /250）

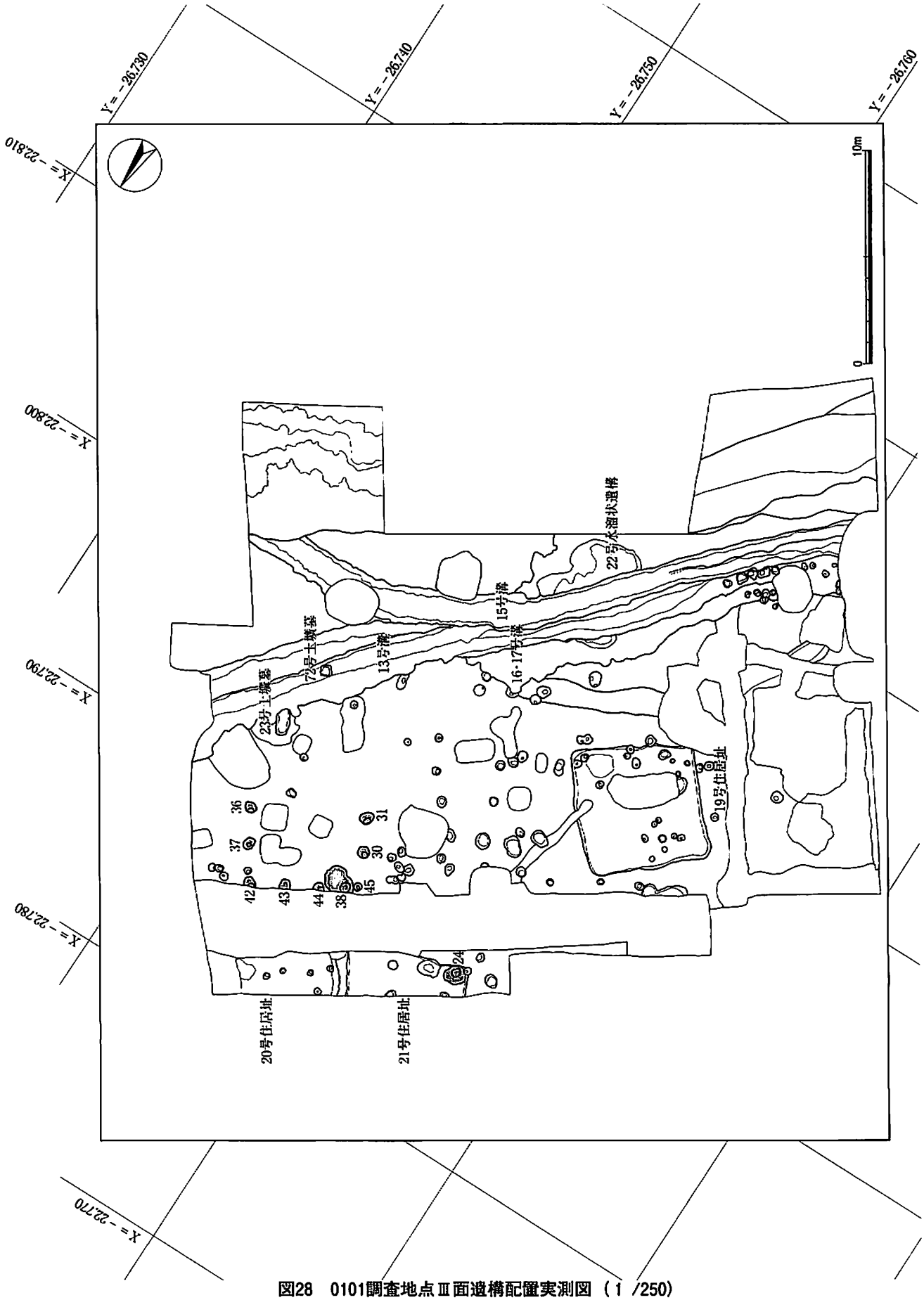
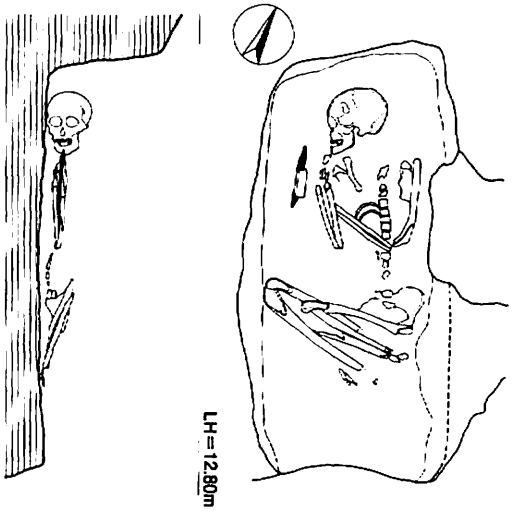
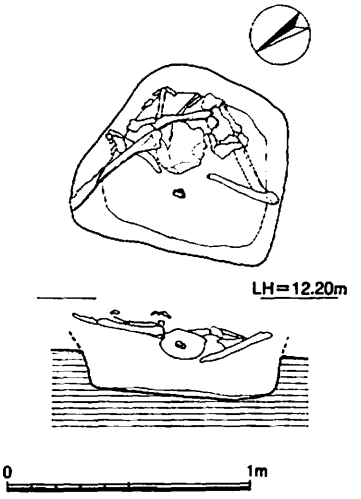


図28　0101調査地点Ⅲ面遺構配置実測図（1／250）

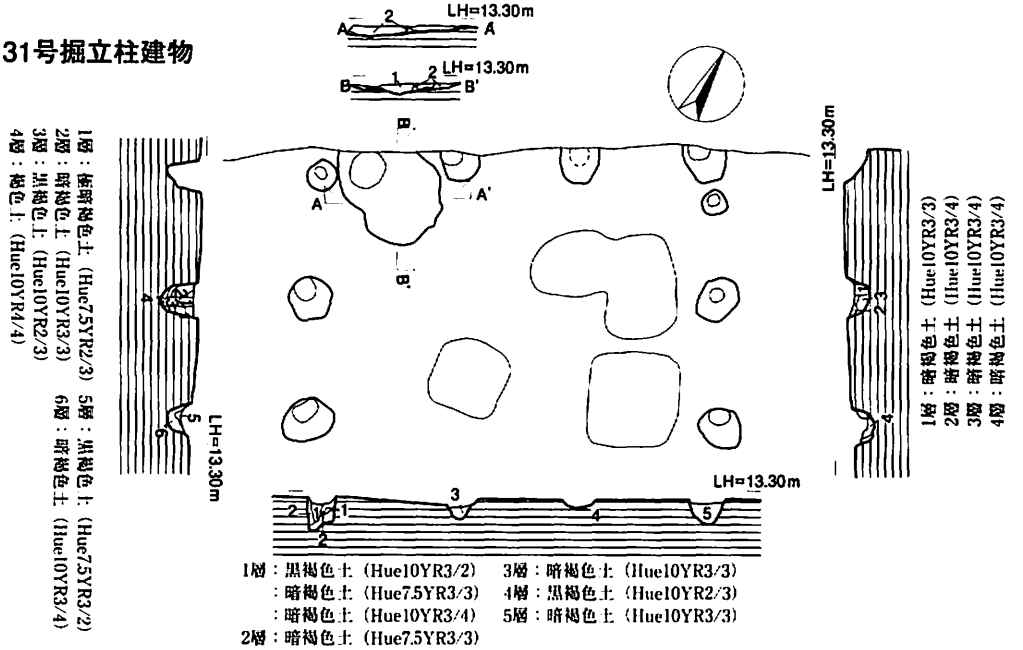
23号土壙墓



72号土壙墓



31号掘立柱建物



20号竪穴住居址

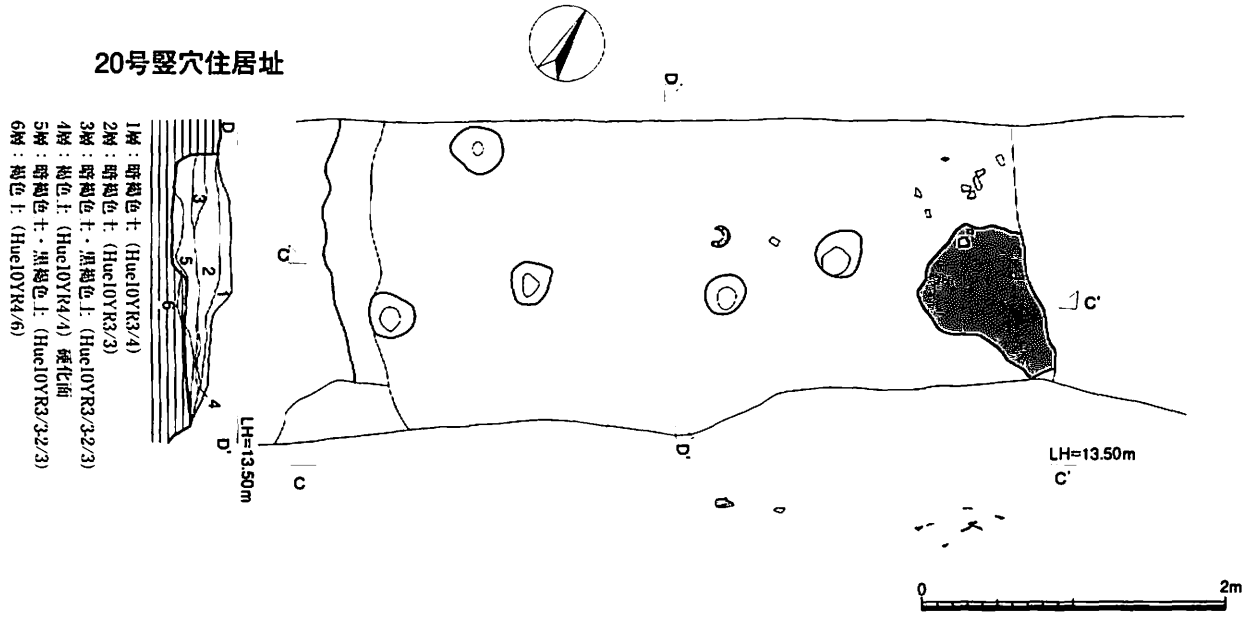


図29　23・27号土壙墓・31号掘立柱建物址・20号竪穴住居址実測図（1 /25・1 /100・1 /50）

＜竪穴住居址＞

20号竪穴住居址（図29）

調査区北東部で検出したもので、旧建物の基礎により南辺と北辺が削平を受けている。平面プランは方形で、4.5× 4 mの規模と推定される。竈は残存部には認められなかった。東辺に焼土が認められ、竈を壊した際のものと推定される。竈自体は残存していなかった。その焼土の左側を中心に、甕形土器や甑形土器の破片が集中して出土した。ほぼ中央部に硬化した面が認められた。住居中央部より完形に近い須恵器の高台付坏1点（図31：5）、覆土中から土師器坏1点（図31：4）が出土した。

19号竪穴住居址（図30）

調査区の南西部、中央付近で検出した6 × 6 mの方形プランの竪穴住居址である。主軸はN－42° －Wである。覆土内には部分的に焼土および炭化した木が残っていた。覆土には古代の遺物が少量混じって、明確な時期は決め難いが、北東部床付近から出土した二段逆刺をもつ鉄鏃（図34：88）から古墳時代前期末の時期と考えられる。

21号竪穴住居址（図29）

調査区の北東側で20号竪穴住居址と並列するような位置で検出したもので、同様に旧建物の基礎によって南側と北側辺が破壊されていた。19号竪穴住居址と同規模の6 × 6 mの方形プランと推定される。上部の削平も著しく、器壁は10cmほどしか残存していない。土師器の小型壺1個と小鉢2個が、住居内に遺棄された状態で検出された（図34：85～87）。すべて完形品である。古墳時代前期のものであろう。

＜掘立柱建物址＞

31号掘立柱建物址（図29）

調査区北東部に位置する桁行3間、梁行2間の建物である。柱間は1 mほどであり、土層の観察によると、直径8 cmほどの柱または抜き址が確認できた。ただし、南側の桁部では中間の柱穴を確認できていない。時期の決め手になるような遺物は出土していないが、古代以降のものと思われる。

＜溝・水溜状遺構＞

13号溝

北北東方向から南南西方向へ流れる幅2 m、深さ1 mの断面逆台形の溝である。軸はN－35° －Eである。南側では幅60cm、深さ40cmの台形の段落ちが認められる。覆土上部より馬歯や刀子？（図31：24）などが出土した。

15号溝

東方向から湾曲しながら13号溝に合流するように掘削された溝である。幅2 m、深さ0.8mの断面逆台形を呈する。13号溝より新しいものである。鉄鏃（図32：46）が出土した。

16・17号溝

13号溝の北側に張り出した形で検出したもので、17号溝のラインのさらに外側に16号溝のラインが延びている。それぞれおそらく旧河川の北岸を捉えたものであろうと思われる。

22号水溜状遺構

上記16・17号溝の南端を検出していた際、かなり深い水溜状の落込みを検出した。深さは2.5m余りに達し、大きさも幅4 m、長さ6 mとかなり大型のものである。砂岩ブロックや粗砂、シルトなどが入り組んで堆積しており、マンガンの沈殿した硬い面を下げるとさらに粗砂と遺物が出るなど、複雑な堆積状況を示す。河川水の滞留した場所と考えられる。8世紀後半代の土師器・須恵器などが出土することから、上記の溝群はこれより新しいものと考えられる。

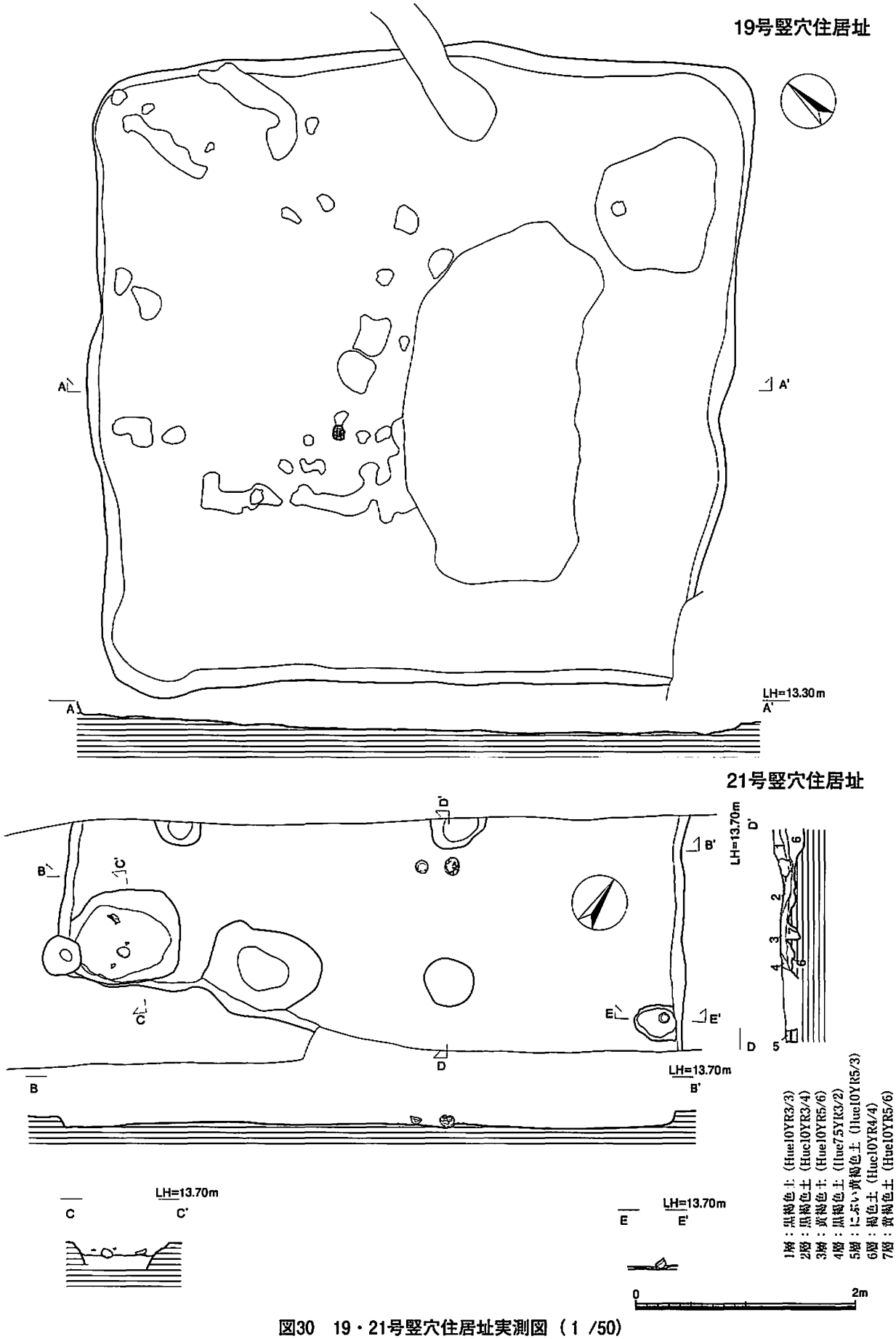


図30　19・21号竪穴住居址実測図（1 /50）

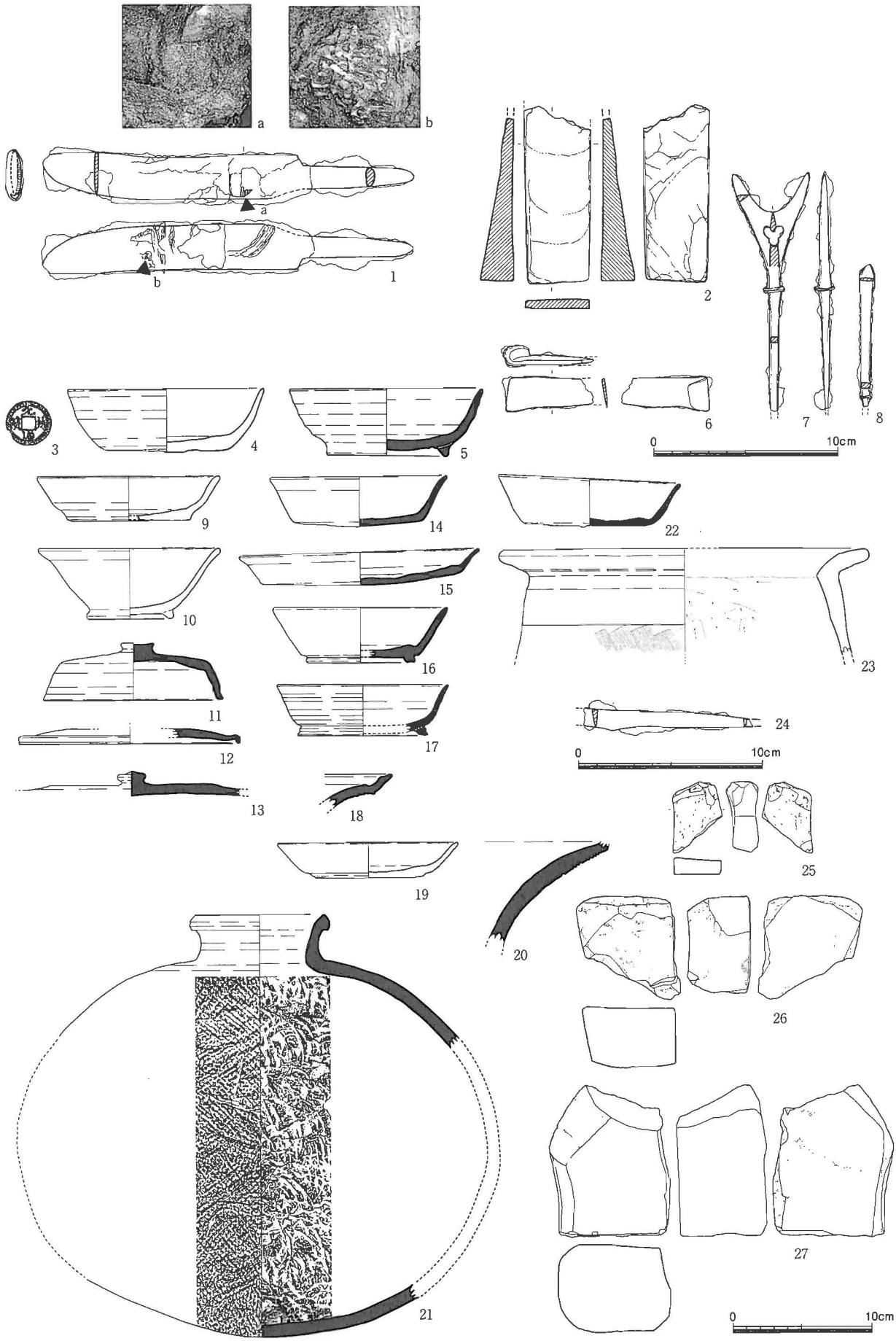


図31　0101調査地点出土遺物実測図１（１／４・１／３）

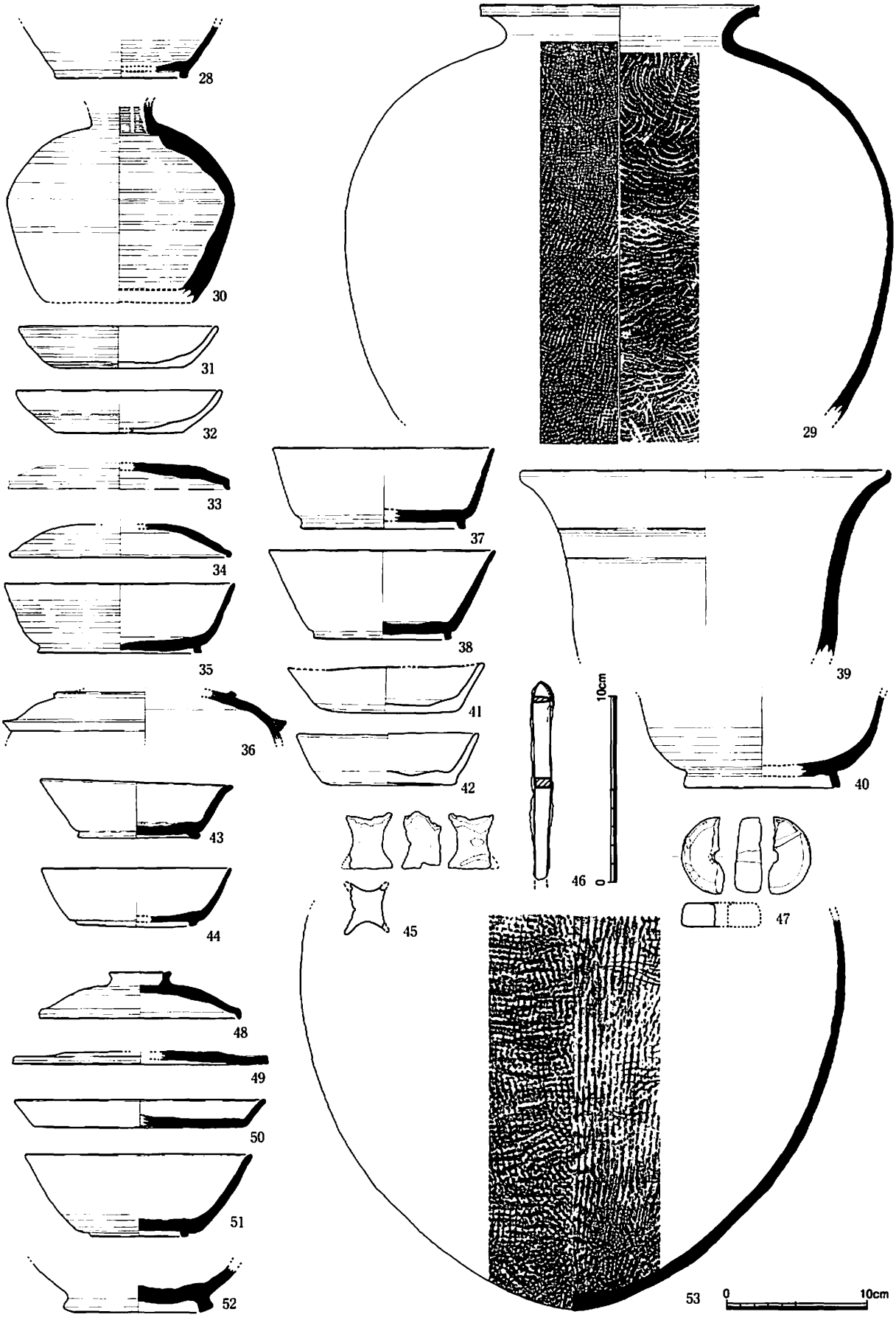


図32　0101調査地点出土遺物実測図２（１／４・１／３）

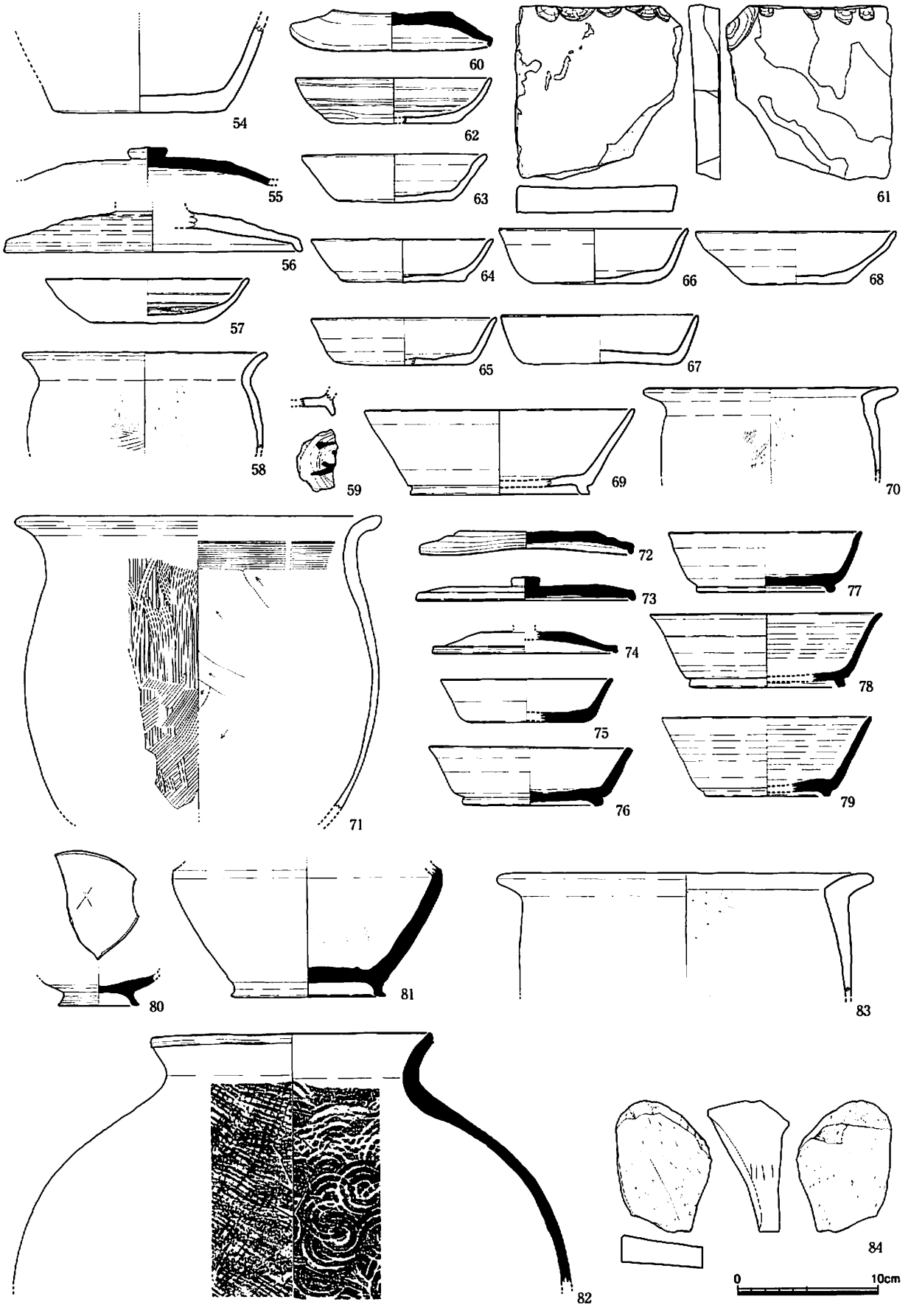


図33　0101調査地点出土遺物実測図３（１／４）

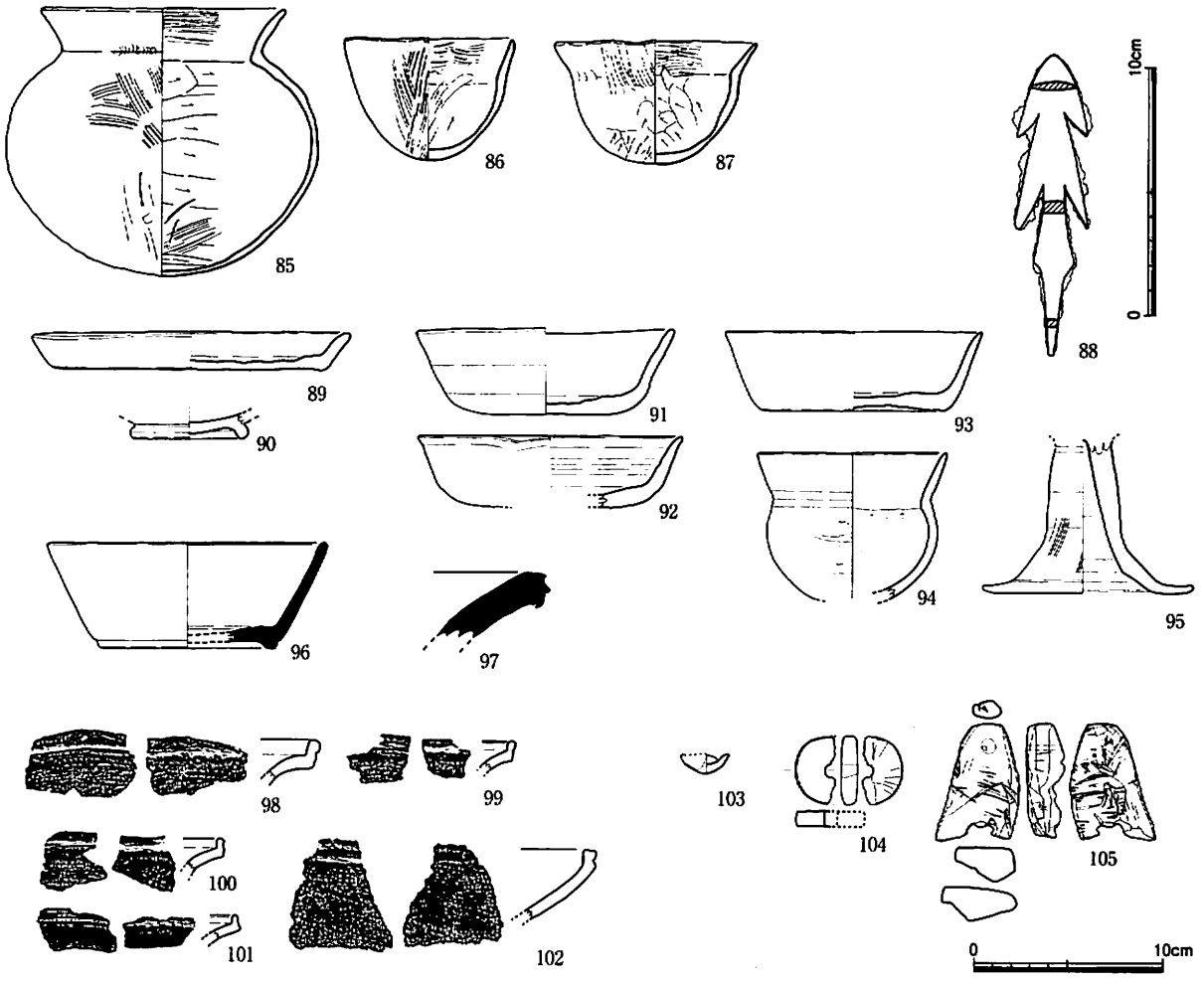


図34　0101調査地点出土遺物実測図４（１／４・１／３）

（４）出土遺物

本調査で出土した遺物は、古墳時代～古代の土師器・須恵器がほとんどである。器種は、坏、高台付坏、皿、蓋、高坏、壺、甕が主体であり、遺物の詳細については遺物観察表で確認されたい。以下に特徴的なもののみ解説する。

23号土壙墓副葬品（図31：１・２）

１は長さ18cm、刃渡り２cmの短刀である。表面に鞘の痕跡とともに布痕や紐状の痕跡が残っていた（写真a・b）。２は泥岩製の手持ち砥石である。磨り減った中央部で折れたものである。

台地上およびその他遺構出土遺物（図31～34）

３面の包含層を調査中に、台地上から鉄鏃２点（図31：７・８）および鎌（図31：６）が出土した。７は透かしのある狩俣の鉄鏃であり、中世期のものか。98～102は縄文時代晩期前半の鉢形・浅鉢形土器である。103はミニュチュア土器、104は紡錘車である。105は滑石製の垂飾であろうか。

（5）まとめ

本地点は遺跡の北東部に相当するが、周辺の既往調査地点に比べて若干地形が高まっている。近世に削平は受けているものの、この北側においても遺構はかろうじて残存していた。この一帯では、遺構の密度は白川へ近づくにつれ遺構の密度が高くなっており、西側の既往の調査地点である9901地点や0006地点で確認された状況とあわせて、古墳時代や古代においては白川の流路がより北側にあったことを裏付けている。

今回の調査では、19号竪穴住居址および22号竪穴住居址のように、より西側の0006・0119調査地点で確認されていた古墳時代前期の住居址がここまで広がっていることが確認できた。本遺跡一帯が白川流域において古墳時代の大きな集落の一つであったことを予想させる。また、22号水溜状遺構・16～13号溝は、大学附属病院敷地内の古代～中世の地形を考える上で貴重な情報となった。構内を流れる暗渠部分は、古代より河川が流れ、生活排水もしくは水田の取配水路として機能していたようである。９世紀以降はこの河川とそこへの傾斜地形を利用して水田や畑が営まれていたようである。

表７　0101調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
31	1	鉄器	短刀	長さ　3.1 幅　20.0 厚さ　1.0	完形			23号土壙墓	重量46.4g
	2	石器	砥石	長さ　9.6 幅　3.6 厚さ　1.8	1／2		Hue　2.5Y 6／2	23号土壙墓	重量67.0g　砂岩
	3	銅銭		長さ　2.45 幅　2.45 厚さ　0.1	完形			畑址	重量2.7g 「元祐通寶」
	4	土師器	坏	口径　14.2 底径　8.9 器高　4.7	1／3	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，ヘラ削り	内：Hue　7.5YR 7／6 外：Hue　7.5YR 7／6	20号竪穴住居址	
	5	須恵器	碗	口径　14.0 底径　8.9 器高　4.9	2／3	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue　N 5／0 外：Hue　2.5GY 5／1	20号竪穴住居址	外面に自然釉
	6	鉄器	鎌	長さ　4.9 幅　2.0 厚さ　1.2				3面包含層（台地上）	重量9.7g
	7	鉄器	鏃	長さ　13.0 幅　4.3 厚さ　1.35				3面包含層（台地上）	重量24.2g
	8	鉄器	鏃	長さ　7.7 幅　9.0 厚さ　0.35				3面包含層（台地上）	重量6.6g
	9	土師器	坏	口径　13.2 底径　9.0 器高　3.2	1／3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ヘラ切り	内：Hue　2.5YR 5／8 外：Hue　2.5YR 6／8	13号溝	内外面に赤色化粧土
	10	土師器	碗	口径　13.2 底径　6.3 器高　5.1	1／3	内：回転ナデ，削り，斑き 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue　N 3／0 外：Hue　7．5YR 6／4	13号溝	内黒
	11	須恵器	壺	口径　13.0 底径 器高　4.2	2／3	内：回転ナデ，ナデ，削り 外：回転ナデ，ナデ，削り	内：Hue　7.5Y 4／1 外：Hue　7.5Y 6／1	13号溝 Ⅱ面畑土	
	12	須恵器	壺	口径　16.0 底径 器高	1／6	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue　5 Y 5／1 外：Hue　5 Y 6／1	13・15・16号溝	
	13	須恵器	壺	口径 底径 器高	約1／4	内：ナデ 外：回転ナデ，削り，ナデ	内：Hue　5 Y 5／1 外：Hue　5 Y 5／1	13号溝上層	
	14	須恵器	坏	口径　12.8 底径　9.2 器高　3.7	2／3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue　2.5GY 5／1 外：Hue　2.5Gy 5／1	古代包含層 13・15・16・号溝	
	15	須恵器	皿	口径　17.3 底径　14.0 器高　2.6	1／2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り，ヘラ切り	内：Hue　N 4／0 外：Hue　7.5Y 5／1	13号溝	
	16	須恵器	碗	口径　12.4 底径　7.8 器高　4.0	約1／2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue　7.5YR 5／3 外：Hue　7.5YR 4／1	13号溝	外面高台削り出し
	17	須恵器	碗	口径　12.4 底径　9.4 器高　3.2	約1／3	内：削り 外：削り	内：Hue　10R 4／2 外：Hue　10R 4／2	13・15号溝	貼付高台
	18	須恵器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目，タタキ	内：Hue　2.5GY 3／1 外：Hue　7.5Y 2／1	13・15号溝	
	19	土師器	坏	口径　13 底径　8.0 器高　2.6	1／2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ヘラ削り	内：Hue　7.5YR 8／6 外：Hue　5 YR 7／6	13・15号溝	
	20	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ハケ目，削り	内：Hue　5 Y 6／1 外：Hue　5 Y 3／1	13号溝	内外面に自然粕 外面に波状文
	21	須恵器	横瓶	口径　20.7 底径 器高　30.5	約2／3	内：回転ナデ，タタキ 外：回転ナデ，タタキ	内：Hue　5 Y 7／2 外：Hue　N 7／0	13・15・16号溝 Ⅱ面畑	
	22	須恵器	坏	口径　13.2 底径　9.5 器高　3.8	2／3	内：回転ナデ 外：回転ナデヘラ切り	内：Hue　10Y 6／1 外：Hue　10Y 6／1	13号溝 16号溝 22号水溜状遺構	
	23	土師器	甕	口径　26.8 底径 器高	口縁部1／4	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　5 YR 7／6 外：Hue　10YR 7／3	13号溝・16号溝付近 撹	
	24	鉄器	刀子	長さ　9.2 幅　1.8 厚さ　0.35				13号溝	重量11.6g
	25	石器	砥石	長さ　5.1 幅　3.6 厚さ　2.6				13号溝・15号溝検出時ベルト北側土層	重量43.6g　砂岩
	26	石器	砥石	長さ　7.5 幅　7.1 厚さ　4.6				13号溝ベルト②部分上	重量302g　砂岩
	27	石器	砥石	長さ　10.9 幅　8.7 厚さ　6.5				13号溝・15号溝他	重量951g　砂岩
32	28	須恵器	碗	口径 底径　9.4 器高	1／2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue　7.5Y 5／1 外：Hue　7.5Y 5／1	13号溝 14号溝 13・15・16号溝付近 （22号水溜状遺構）	貼付高台
	29	須恵器	壺	口径　20.0 底径 器高	1／6	内：回転ナデ，タタキ当て具痕 外：回転ナデ，タタキ	内：Hue　5 PB 5／1 外：Hue　5 PB 3／1	13号溝 22号水溜状遺構	外面に自然釉付着

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
32	30	須恵器	壺	口径 底径 10.5 器高	約1／2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue N 7／ 外：Hue N 7／	22号水溜状遺構 13号溝 トレンチ	
	31	土師器	坏	口径 14.7 底径 9·2 器高 3.1	1／4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 6／6 外：Hue 2.5YR 6／6	14号溝	内外面に赤色化粧土 底部糸切り
	32	土師器	坏	口径 14.2 底径 9·7 器高 3.0	約1／2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り，ヘラ磨き	内：Hue 2.5YR 5／8 外：Hue 2.5YR 6／8	14号溝	
	33	須恵器	蓋	口径 15.8 底径 器高	約1／2	内：回転ナデ，ナデ，削り 外：回転ナデテデ，削り，ヘラ切り	内：Hue 5 Y 7／1 外：Hue 5 Y 7／1	14号溝	
	34	須恵器	蓋	口径 15.8 底径 器高	1／4	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR 6／1 外：Hue 10YR 6／1	14号溝	
	35	須恵器	碗	口径 16.4 底径 11.7 器高 5.0	約1／2	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5 YR 4／2 外：Hue 5 YR 4／2	14号溝	底面に植物茎痕
	36	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10BG 5／1 外：Hue 10BG 5／1	14号溝上	外面に自然釉付着
	37	須恵器	碗	口径 15.8 底径 11.8 器高 5.8	1／4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5GY 6／1 外：Hue 5 Y 7／1	14号溝	
	38	須恵器	碗	口径 16.2 底径 9.8 器高 6.4	1／3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 5／3 外：Hue 10YR 5／1	14号溝	
	39	須恵器	鉢	口径 26.6 底径 器高	口縁部・胴部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 6／8 外：Hue 2.5YR 6／8	14号溝	粘土紐積み上げ
	40	須恵器	碗	口径 底径 11.2 器高	1／4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR 8／4 外：Hue 7.5YR 5／1	14号溝	
	41	土師器	坏	口径 14 底径 9.4 器高 3.7	ほぼ完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 6／8 外：Hue 5 YR 6／8	15号溝	内外面に赤色化粧土
	42	土師器	坏	口径 13.0 底径 9.6 器高 3.8	完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 8／4 外：Hue 7.5Y 7／4	15号溝	底面・外面一部に赤色化粧土
	43	須恵器	碗	口径 13.6 底径 8.7 器高 4.2	2／3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ヘラ削り	内：Hue N 4／0 外：Hue N 4／0	15号溝	
	44	須恵器	碗	口径 13.6 底径 8.6 器高 4.3	2／3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5Y 6／1 外：Hue 2.5Y 5／1	15号溝 16号溝	
	45	土製品	ミニチュア器台	長 4.1 幅 3.3 厚 2.8	2／3	内：ナデ 外：ナデ，削り	内：Hue 外：Hue 7.5YR 7／6	15号溝	
	46	鉄器	鏃	長さ 7.6 幅 0.9 厚さ 0.4				15号溝	重量7.4g
	47	土師器	紡錘車	長 5.5 幅 3.0 厚 2.0	約1／2	内： 外：ナデ，削り	内：Hue 外：Hue 5 YR 7／6	15号溝	重量22.6g
	48	須恵器	蓋	口径 14.4 底径 器高 3.3	約1／4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ，削り	内：Hue 10YR 8／4 外：Hue 10YR 5／2	16号溝	内面にスス付着
	49	須恵器	蓋	口径 18.2 底径 器高	約1／4	内：回転ナデ，ナデ、削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5 PB 5／1 外：Hue 5 PB 4／1	16号溝	
	50	須恵器	坏	口径 17.9 底径 15 器高 2	1／4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 6／1 外：Hue 5 Y 6／1	16号溝	底面・外面にワラ痕
	51	須恵器	碗	口径 16.2 底径 7.0 器高 5.9	約1／2	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5 Y 7／1 外：Hue 5 Y 7／1	16号溝 17号溝	貼付高台
	52	須恵器	碗	口径 底径 器高 10.7	1／3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り，ナデ	内：Hue 5 YR 5／3 外：Hue 7.5Y 4／1	16号溝	
	53	須恵器	壺	口径 底径 器高	1／3	内：削り，タタキ 外：タタキ	内：Hue 7.5YR 3／2 外：Hue 2.5YR 4／3	16号溝 17号溝 22号水溜状遺構	外面一部に自然粕付着
33	54	土師器	鉢	口径 底径 12.0 器高	1／3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5YR 6／6 外：Hue 2.5YR 6／6	17号溝	内外面に赤色化粧土
	55	須恵器	蓋	口径 底径 器高	約1／4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 7／1 外：Hue 7.5YR 7／1	17号溝	
	56	土師器	蓋	口径 21.2 底径 器高	約1／2	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5YR 5／8 外：Hue 2.5YR 5／8	17号溝	内面にスス？付着 内外面に赤色化粧土
	57	土師器	坏	口径 14.5 底径 8.0 器高 3.2	2／3	内：回転ナデ，回転ヘラ磨き 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7／6 外：Hue 7.5YR 8／3	17号溝	
	58	土師器	甕	口径 17.2 底径 器高	口縁部1／2	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8／2 外：Hue 5 YR 4／3	17号溝 22号水溜状遺構	粘土紐積み上げ 外面にスス付着
	59	土師器	碗	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7／6 外：Hue 7.5YR 7／6	72号土壙墓	文字不明・墨書

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
33	60	須恵器	蓋	口径 14.4 底径 器高 3	ほぼ完形	内：回転ナデ，ナデ，削り， 外：回転ナデ削り，ヘラ切り	内：Hue 5 Y 7 / 2 外：Hue 5 Y 7 / 2	108号遺構	
	61	石器	砥石	長 12.2 幅 9.8 厚 2.2				108号遺構	重量578g　砂岩
	62	土師器	坏	口径 14.0 底径 9.0 器高 3.3	1 / 3	内：回転ナデ，ヘラ磨き 外：回転ナデ，ヘラ磨き，ヘラ削り	内：Hue 2.5YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 4	13・15・16号溝付近 (22号水溜状遺構)	内外面にスス付着
	63	土師器	坏	口径 13.2 底径 8.0 器高 3.5	約1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 8 / 4	22号水溜状遺構	
	64	土師器	坏	口径 13 底径 9.0 器高 3.1	1 / 3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 8 外：Hue 5 YR 6 / 6	22号水溜状遺構	
	65	土師器	坏	口径 13.2 底径 9.8 器高 3.7	1 / 3	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデヘラ削り	内：Hue 5 YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 7 / 6	22号水溜状遺構	内外面に赤色化粧土
	66	土師器	坏	口径 13.4 底径 9.0 器高 4.1	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ	内：Hue 2.5YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	22号水溜状遺構	
	67	土師器	坏	口径 14.1 底径 3.5 器高 10.8	4 / 5	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，ヘラ削り	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 7 / 6	22号水溜状遺構	
	68	土師器	坏	口径 14.4 底径 7.4 器高 3.8	1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 7 / 4 外：Hue 5 YR 7 / 4	22号水溜状遺構	内外面に赤色化粧土
	69	土師器	碗	口径 19.2 底径 12.8 器高 6.1	1 / 3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5YR 6 / 8 外：Hue 5 YR 7 / 6	22号水溜状遺構	
	70	土師器	甕	口径 18.2 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5Y 7 / 3 外：Hue 7.5YR 6 / 4	22号水溜状遺構	粘土紐積み上げ
	71	土師器	甕	口径 26.0 底径 器高	約1 / 3	内：回転ナデ，ハケ目 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 2 外：Hue 10YR 8 / 3	22号水溜状遺構 16号溝	
	72	須恵器	蓋	口径 15.2 底径 器高 1.7	約1 / 2	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ナデ，削り，ヘラ切り	内：Hue 5 Y 4 / 1 外：Hue 5 Y 6 / 1	22号水溜状遺構	
	73	須恵器	蓋	口径 15.6 底径 器高 1.7	2 / 3	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ナデ，ヘラ削り	内：Hue 10Y 5 / 1 外：Hue 10Y 4 / 1	22号水溜状遺構	外面に自然釉
	74	須恵器	蓋	口径 13.2 底径 器高	1 / 3	内：ナデ，削り 外：ナデ，削り	内：Hue 5 Y 6 / 1 外：Hue 5 Y [6 / 1	22号水溜状遺構	
	75	須恵器	坏	口径 12.2 底径 8.0 器高 3.1	1 / 3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 5 / 2 外：Hue 5 Y 6 / 2	22号水溜状遺構 13・15・16溝付近	
	76	須恵器	碗	口径 14.4 底径 9.9 器高 4.1	2 / 3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10Y 6 / 1 外：Hue 10Y 4 / 1	22号水溜状遺構	
	77	須恵器	碗	口径 13.8 底径 10.0 器高 4.3	約1 / 4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 5 / 3 外：Hue 7.5Y 4 / 1	22号水溜状遺構	
	78	須恵器	碗	口径 16.6 底径 11.2 器高 5.3	1 / 8	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ヘラ削り	内：Hue N 4 / 0 外：Hue N 4 / 0	13・15・16号溝付近 (22号水溜状遺構)	
	79	須恵器	碗	口径 15.0 底径 9.0 器高 5.7	1 / 4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5 Y 6 / 2 外：Hue 5 Y 5 / 1	13・15・16号溝付近 (22号水溜状遺構)	
	80	須恵器	碗	口径 底径 5.8 器高	1 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5 B 5 / 1 外：Hue 2.5GY 4 / 1	13・15・16号溝付近 (22号水溜状遺構)	
	81	須恵器	壺	口径 底径 10.9 器高	約1 / 3	内：ナデ，タタキ 外：ヘラ削り	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5Y 4 / 1	22号水溜状遺構	
	82	須恵器	壺	口径 19.6 底径 器高	口縁部・胴部片	内：回転ナデ，タタキ 外：回転ナデ，削り，タタキ	内：Hue 2.5Y 4 / 2 外：Hue 5 PB 6 / 1	22号水溜状遺構 13・15・16号溝	内面頸部に自然釉付着 外面一部に自然釉付着
	83	土師器	甕	口径 26.8 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8 / 3 外：Hue 7.5YR 7 / 2	13・15・16号溝付近 (22号水溜状遺構)	
	84	石器	砥石	長 9.4 幅 6.7 厚 5.8				13－15－16付近（22号水溜状遺構）ブロック錯	重量271g　砂岩
34	85	土師器	小型丸底壺	口径 13.0 底径 器高 14.5	胴部一部欠損	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5YR 6 / 4 外：Hue 2.5YR 6 / 4	21号竪穴住居址	外面に焼きむら 外器面口縁部に圧痕
	86	土師器	鉢	口径 8.9 底径 器高 6.5	完形	内：指ナデ，ヘラ磨き，削り 外：指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 5 / 2 外：Hue 10YR 7 / 6	21号竪穴住居址	内外面にスス付着
	87	土師器	鉢	口径 10.8 底径 器高 6.7	完形	内：指ナデ，ハケ目，削り 外：指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 5 / 3 外：Hue 10YR 7 / 3	21号竪穴住居址	焼きむら 内面にスス付着

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	現 存 量	特　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
34	88	鉄器	鏃	長さ 12.1 幅 3.2 厚さ 0.55				19号竪穴住居址	重量31.6g
	89	土師器	皿	口径 16.8 底径 14.0 器高 2.0	1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5YR 6 / 6 外：Hue 2.5YR 7 / 6	南側攪乱	内外面に赤色化粧土
	90	土師器	碗	口径 底径 6.2 器高	1 / 3	内：磨き 外：回転ナデ，ヘラ削り	内：Hue 5 G1.7/ 1 外：Hue 7.5YR 7 / 6	包含層	
	91	土師器	坏	口径 13.6 底径 7.5 器高 4.6	2 / 3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 4 外：Hue 7.5YR 7 / 4	包含層	内外面に赤色化粧土
	92	土師器	坏	口径 14.0 底径 9.8 器高 3.8	破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	溝	底部ヘラ切り
	93	土師器	坏	口径 13.6 底径 10.0 器高 4.2	約1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ヘラ切り	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 8 / 3	トレンチ	
	94	土師器	小型丸底瓶	口径 10.0 底径 器高	1 / 4	内：回転ナデ，ヘラ削り，ナデ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5Y 6 / 4 外：Hue 2.5Y 7 / 4	基本土層ベルト	粘土紐積み上げ
	95	土師器	高坏	口径 3.1 底径 13 器高 9.0	約1 / 2	内：回転ナデ，回転削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 5 / 6	攪乱	
	96	須恵器	瓶	口径 14.3 底径 9.4 器高 5.6	1 / 3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ヘラ削り	内：Hue 5 Y 7 / 2 外：Hue 5 Y 6 / 1	包含層	
	97	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5 Y 6 / 2 外：Hue 5 GY 6 / 1	3面包含層(台地上)	外面に波状文
	98	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ	内：Hue 10YR 7 / 1 外：Hue 10YR 7 / 3	3面包含層(台地上)	
	99	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ヘラ磨き 外：ヘラ磨き	内：Hue 2.5Y 5 / 2 外：Hue 2.5Y 6 / 3	ベルト	沈線文
	100	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ヘラ磨き 外：ヘラ磨き	内：Hue 10YR 8 / 2 外：Hue 10YR 8 / 2	畑址東側畝	
	101	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR1.7/ 1 外：Hue 10YR 4 / 1	包含層	黒色磨研
	102	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 2	II面畑	黒色磨研
	103	手捏土器	ミニチュア土器	口径 2.6 底径 器高 1.1	約2 / 3	内：指ナデ 外：指ナデ	内：Hue 10YR 5 / 1 外：Hue 2.5YR 4 / 2	包含層	
	104	石器	紡錘車	長さ 3.6 幅 3.6 厚さ 0.8	約1 / 2			包含層	重量9.8g 片岩
	105	石製品	垂飾品	長さ 6.25 幅 4.5 厚さ 2.0	下半欠損			包含層	重量58.5g 滑石

3．(医病)基幹･環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

本荘北地区に所在する本荘遺跡は、熊本市遺跡地図№8－95の熊大病院敷地遺跡として周知されている遺跡である。阿蘇に発する白川は細かな蛇行をしながら中流域で河岸段丘を発達させ、熊本大学黒髪地区付近で大きく蛇行したのち有明海に注ぐ。本遺跡は、蛇行の見られなくなる下流域に差し掛かる地点にあり、白川左岸に形成された自然堤防上（標高14m）に立地する。

本荘北地区では、校舎・病棟の新営に伴い比較的規模の大きな発掘調査が実施されてきた。これまでの発掘調査では、まず周辺の大江遺跡群や新屋敷遺跡と同様に奈良・平安時代の集落址を確認した(9601調査地点　熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ)。続いて付近一帯としては初めて古墳時代の集落址を確認し、本遺跡が複合的な遺跡であることを予見した。1999年度の調査で病院敷地の西側で古墳時代の集落址を検出し（9901調査地点)、9901調査地点周辺で当該時期の遺構・遺物が次々と確認され、貴重な資料を得ている（本書)。これらの調査で、本遺跡は縄文時代後・晩期から営まれ、病院敷地の特に西北側に古墳時代から古代の集落址が密に分布している様子が分かっている。

本事業は平成10年度に計画が挙げられていた事業である。病棟新営・共同溝敷設事業として挙げられ、1999年度に病棟新営工事（9901調査地点)、昨年度に共同溝敷設に伴う支障配管替えを行い(0006調査地点)、共同溝本体工事を施工することとなった。

調査区は病院敷地の北西隅に位置し、旧第5病棟北側に沿った狭長な範囲である。廃土処理を行うのに十分な空間が確保できず、また病院の給食配膳室前にあたり、食料資材の搬入路の確保が必要であったため、全区間を一斉に調査することは不可能であった。調査区全体をⅠ～Ⅴ区に分けて調査を行った。食料資材の搬入路については仮設の橋をかけることで確保する事になった。この仮設の橋の部分については、施設部との協議の結果、先行して調査を行い（Ⅰ区)、架橋工事の終了を待って残りの区間について順次調査を行うこととした。具体的に調査準備に入れるようになったのは6月下旬で、準備期間が不充分であったが、Ⅰ区は範囲が狭く短期間で終了するとの見通しにより、7月初めに調査を行い、残りの区間については十分な準備を整え他の現場との調整をはかったうえで7月末から実施した。Ⅰ区は旧第5病棟の給食配膳室前の約10mの区間、2区はⅠ区の東側約36m、Ⅲ区はⅡ区の東側である。Ⅳ区はⅠ区の西南約46の区間で、不規則なZ字型をしている。Ⅴ区はⅣ区の南側である。

本分・図中の遺構番号については、遺構の種類によらず、検出順に一連の番号を与えている。

b．調査の経過

Ⅰ区	2001年6月25日	周囲の支障樹木の撤去。Ⅰ区から一次掘削。
	2001年7月4日	遺構掘り下げ。記録等を行い終了。
Ⅱ区	2001年7月30日	調査開始。
	2001年8月16日	全体写真。若干の図面を残し終了。
Ⅲ区	2001年8月7日	調査開始。
	2001年9月4日	全体写真、調査終了。
Ⅳ区	2001年8月16日	Ⅱ区の処理と並行して調査開始。
	2001年8月21日	161号住居址付近で帯金具（蛇尾）出土。

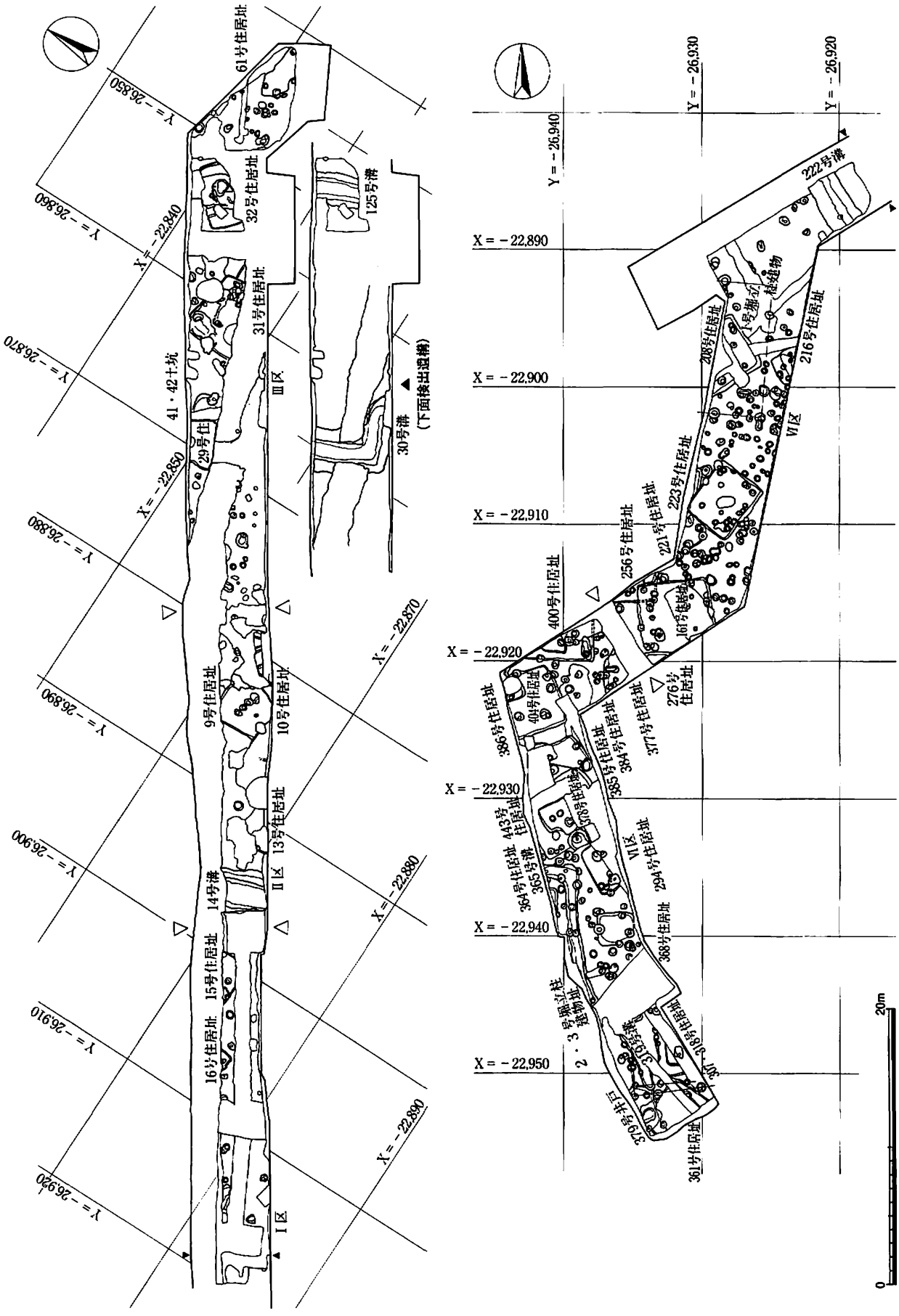


図35　0104調査地点遺構配置実測図（1 /400）

2001年９月４日　全体写真。若干の図面を残し終了。
Ｖ区　2001年９月27日　一次掘削開始。
2001年10月23日　全体写真（南部10m除く）
2001年10月29日　調査終了。

ｃ．調査の組織

調　査　員：小畑弘己・大坪志子
事 務 担 当：冨永明子
発掘作業員：岡田イツ代・河野義勝・黒木重信・黒木タケ子・白石美智子・鈴木笙子・溜渕俊子・高松北子・中川毅人・林田恵子・早田咲百合・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・宮村邦子・森川征子・森川護・森田登
測 量 補 助：埋蔵文化財サポートシステム
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・泗水直子・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・長谷智子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山嵜早苗・早川　翔

（２）調査区の基本層序（図36）

図36－１はＩ区南壁の実測による。調査範囲が狭長であったため、遺構や集落の全体像は把握し難かった半面、周辺地域の広範囲の地下の様子を把握することができた。周辺では東から西に向かって地山が傾斜しており、遺物包含層・遺構面の検出は西に行くほどに深くなる。調査区全体は敷設されていた道路部分に重なっており、基本的にアスファルト、バラス、１層：近・現代埋土、２層～３層：包含層の順である。２層は主に古代の遺物包含層であり、３層は古代の遺構の掘り込み面であると共に、古墳時代の遺物包含層・遺構覆土である。地山が浅くなる東側（Ｉ区～Ⅲ区）では、地表下0.5～0.6m程度で包含層が検出され、過去の工事等による包含層・遺構面の削平が著しい。Ⅳ・Ｖ区（図36－２・３）では、包含層の検出レベルが地表下0.7m前後、遺構面の検出は地表下1.2mである。包含層の厚さが0.4～0.5m程度あり、包含層・遺構面とも遺存状態は良好であった。

（３）検出遺構（図13）

今回調査で検出した遺構は、弥生時代の溝１条、古墳時代の竪穴住居址７基・溝２条、古代の竪穴住居址27基・掘立柱建物址３棟・井戸１基・溝２条、近世の溝１条である。古代の竪穴住居址については、建替えが同じ場所で繰り返されたようで、硬化面、あるいは竈の跡と思われる焼土塊のみを確認したものも多く、平面プランを把握したものより実際の数は多かったものと考えられる。

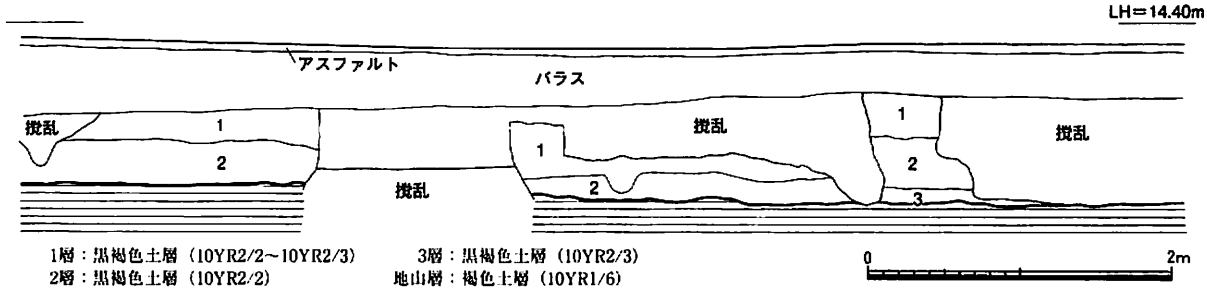
＜溝＞

弥生時代の溝

125号溝（図35・37）

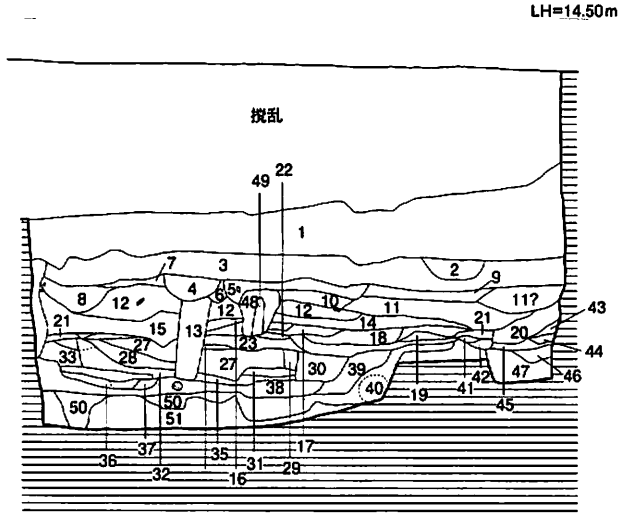
Ⅲ区東側で、古代の32号竪穴住居址の下から検出した。幅２m、深さ1.1mで、断面形状は逆台形である。底辺の幅は0.8mである。溝の主軸はＮ－26°－Ｗで、調査区と直交する。堆積土は９層に分けられるが、下部の５～９層は溝掘削後の早い段階で埋没しており、その上部の４層（黒褐色土層：10YR３／３、厚さ15cm）と３層（黒褐色土層：7.5YR３／２、厚さ20cm）下部を中心として遺物が出土する。出土遺物は黒色磨研土器片や条痕文粗製土器も含まれるが、弥生時代前期の壷形土器

Ⅰ区南壁土層断面図



1層：黒褐色土層（10YR2/2～10YR2/3）
2層：黒褐色土層（10YR2/2）
3層：黒褐色土層（10YR2/3）
地山層：褐色土層（10YR1/6）

Ⅴ区南壁土層断面図

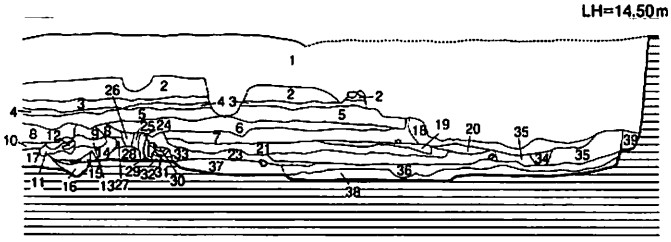


41層：黒褐色土（Hue10YR2/2）硬化面
42層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
43層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
44層：黒褐色土（Hue10YR2/2）上部が硬化部分
45層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
46層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
47層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
48層：黒褐色土（Hue10YR2/3)砂岩ブロック多量混入
49層：黒褐色土（Hue10YR2/3）砂混入
50層：黒褐色土（Hue10YR2/3）地山
51層：暗褐色土（Hue10YR3/4）

1層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
2層：黒褐色土（Hue10YR2/2）炭粒・オレンジ粒混入
3層：黒褐色土（Hue10YR2/2）2層より黒っぽい
4層：黒褐色土（Hue10YR2/2）3層と同じ
5層：黒褐色土（Hue10YR2/2）3層と同じ
6層：黒褐色土（Hue10YR2/2）3層と同じ
7層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂混入
8層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂・砂岩・焼土粒混入
9層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂・焼土粒
10層：黒褐色土（Hue10YR2/2）焼土粒混入
11層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂・焼土粒・炭粒混入
12層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂
13層：黒褐色土（Hue10YR2/2）少し赤っぽい
14層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
15層：黒褐色土（Hue10YR2/2-2/3）砂・砂岩粒含む
16層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂
17層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂岩粒含む
18層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
19層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
20層：黒褐色土（Hue10YR2/2）オレンジ粒含む
21層：黒褐色土（Hue10YR2/2）オレンジ粒含む
22層：黒褐色土（Hue10YR2/3）炭粒・焼土粒含む
23層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
24層：黒褐色土（Hue10YR2/2）炭粒・焼土粒・砂岩粒含む
25層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
26層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
27層：黒褐色土（Hue10YR2/2）炭粒混入
28層：黒褐色土（Hue10YR2/2）焼土・炭粒混入
29層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂混入
30層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂岩粒混入
31層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂混入
32層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂混入
33層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂岩粒・炭粒・褐色粒混入
34層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂混入
35層：黒褐色土・暗褐色土（Hue10YR2/3-3/4）
36層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
37層：黒褐色土（Hue10YR2/2-2/3）砂混入
38層：暗褐色土（Hue10YR3/4）砂・焼土粒・炭粒混入
39層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂混入
40層：暗褐色土（Hue10YR3/4）地山・炭混入

0 2m

Ⅳ区北壁土層断面図



1層：黒褐色土（Hue10YR2/2）撹乱
2層：黒褐色土（Hue10YR2/2-2/3）砂まじりの少しガサガサ
3層：黒褐色土（Hue10YR2/2-2/3）少し黒っぽい
4層：黒褐色土（Hue10YR2/3）砂質土層
5層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂・オレンジ粒混入
6層：黒褐色土（Hue10YR2/3）砂混入
7層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂混入
8層：黒褐色土（Hue10YR2/3）焼土粒・炭粒・砂混入
9層：黒褐色土（Hue10YR2/2）焼土粒・炭粒・砂混入
10層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂混入
11層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂混入
12層：暗褐色土（Hue10YR3/3）ピンクの粘土
13層：黒褐色土（Hue10YR2/2-2/3）ピンクの粘土
14層：黒褐色土（Hue10YR2/3）焼土・粘土混入
15層：黒褐色土（Hue10YR2/3）炭・焼土・粘土
16層：黒褐色土（Hue10YR2/2-2/3）地山のような土
17層：黒褐色土（Hue10YR2/3）焼土粒混入
18層：黒褐色土（Hue10YR2/3）砂混入
19層：黒褐色土（Hue10YR2/3）砂混入
20層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂・地山混入
21層：黒褐色土（Hue10YR2/2）オレンジ粒・炭粒混入
22層：黒褐色土（Hue10YR2/2）オレンジ粒・炭粒混入
23層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂・オレンジ粒混入
24層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂混入
25層：黒褐色土（Hue10YR2/2）24層より黒く硬い
26層：黒褐色土（Hue10YR2/2）砂
27層：黒褐色土（Hue10YR2/2-2/3）地山
28層：黒褐色土（Hue10YR2/3）地山
29層：黒褐色土（Hue10YR2/3）
明褐色土（Hue7.5YR5/8）焼土
30層：黒褐色土（Hue10YR2/3）焼土
31層：黒褐色土（Hue10YR2/3）焼土
32層：黒褐色土（Hue10YR2/3）地山
33層：黒褐色土（Hue10YR2/3）焼土
34層：黒褐色土（Hue10YR2/3）焼土粒・炭粒混入
35層：黒褐色土（Hue10YR2/3）焼土粒・炭粒混入
36層：黒褐色土（Hue10YR2/3）地山の混土層
37層：黒褐色土（Hue10YR2/3）地山の混土層
38層：暗褐色土（Hue10YR3/3-3/4）地山

0 5m

図36　Ⅰ区南壁・Ⅴ区南壁・Ⅳ区（400号竪穴住居址付近）北壁土層断面実測図（1 /50・1 /100）

や甕形土器・鉢形土器が主体を占める。ただし遺物は総数で30点を超えない。石器としては打製石斧や石鏃、黒曜石剥片など数点がある。

古墳時代の溝

30号溝（図37）

Ⅲ区のほぼ中央部で検出した溝である。調査区を横断するように南から北へ抜けるが、S字状のコーナー部をもつ。幅3m、深さ1.3mで、断面形は逆台形である。南半は埋設管の掘り方などで上部を破壊されている。北側は古代の29号竪穴住居址が重なっており、土層断面図の2層部分がこの住居址の覆土となる（図37）。この下の3層は0119地点の古墳時代前期溝でも溝の堆積土最上部に認められ、溝の窪みを古代に整地した際に埋め戻された土である可能性が高い。遺物は9・14層を中心に出土しており、この間には13層のような大きな木炭片を含む焼土が挟まる。土器の中に二次的な焼成を受けたものが存在することから、遺物は基底土層である15層の堆積後に焼土とともに廃棄されたものと考えられる。土器には甕形土器・壷形土器・鉢形土器・高杯形土器・小形坩形土器・杯形土器などがある。

222号溝（図37）

Ⅳ区の東端、Ⅰ区との境付近で検出された。調査区と直交し、北西に走る。古代の遺物包含層（古墳時代の遺構覆土）を除去したのちに検出された。当初溝の東肩には排水枡があったが、その下に溝の東側肩が遺存していることが判明し、枡を撤去して調査した。溝の幅は約2.5m、深さは約1.3m、底がやや平らなV字状である。遺物は溝の肩付近から出始めるが、低部から少し浮いた、5・6層付近で集中して出土した。

222号溝は0119調査地点でも続きが検出され、遺物も同様に出土している。2箇所の調査でこの溝の一番上の覆土が地山と同じ土（あるいは類似する土）で、この下に溝が存在することを確認した。222号溝の南側延長上に位置する0119調査地点でも古式土師器を収集した。0006Ⅱ区調査地点の西端で多量の土器がほぼ完形で出土したが、位置から考慮すると222号溝の続きの可能性がある。222号溝の出土遺物は古式土師器である。甕・高坏・小型丸底坩・有孔鉢・大型壷のほか、手捏土器などがある。遺存状態がよく、なかには大小の壷を入れ子状にしてあるものもある。これらは布留1～2式など古墳時代前期に属するものである。これらより古い時期の土器が0119調査地点では出土している。

古代の溝

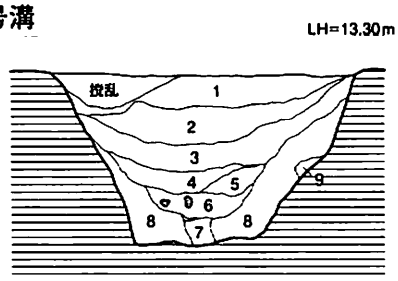
319号溝（図35・38）

V区で検出された溝である。遺物はほとんどない。365号と同じ古代の溝と考えられる。現状で幅約0.8m、深さ約0.2m程度の狭く浅い溝である。南側端部は自然に浅くなり途切れているが、北側の端部は撹乱により不明である。しかし、撹乱より北側で続きは検出されず、長く北に延びる様子はなかった。

365号溝（図35・38）

V区で検出された古代の溝と考えられる。ほぼ南北に走り、途中でL字状に西へ曲がる。現状で幅は約0.7m、深さ約0.5mである。遺物は非常に少なく時期の判断は困難であるが、378号住居址に切られていることから、古代でも早い段階のものと考えられる。

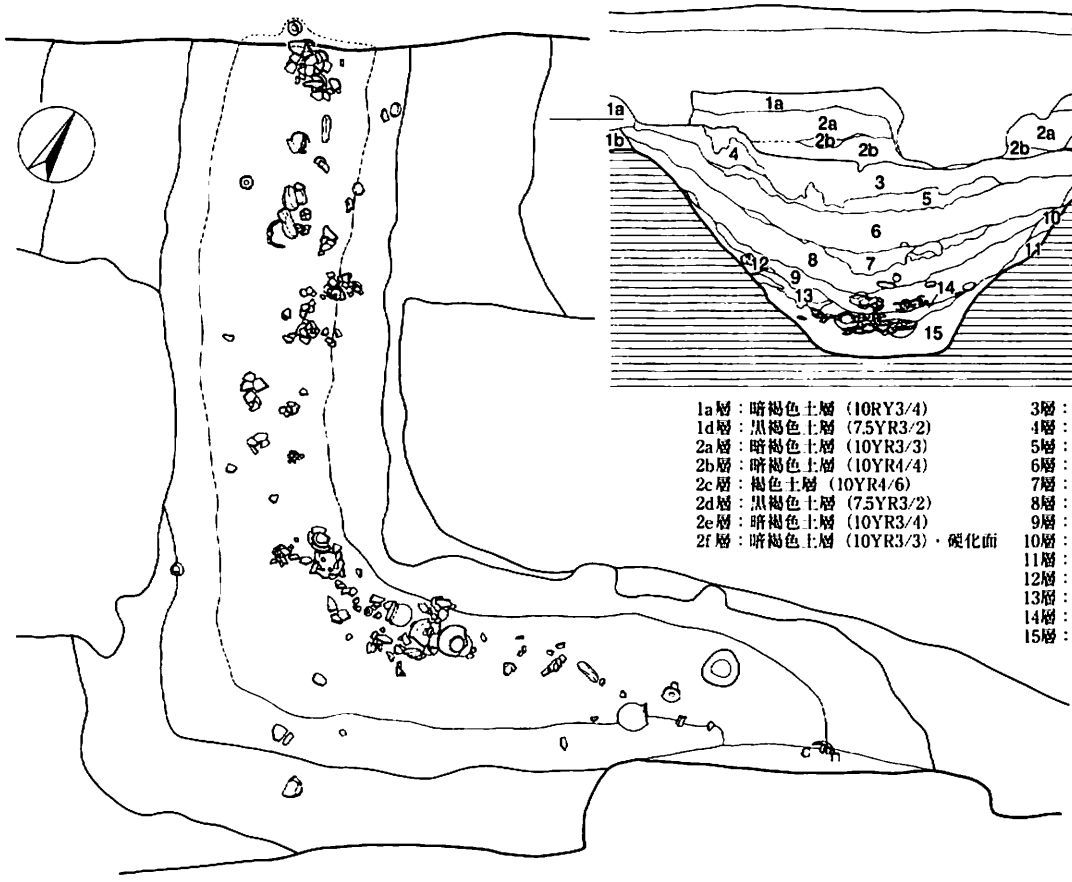
125号溝

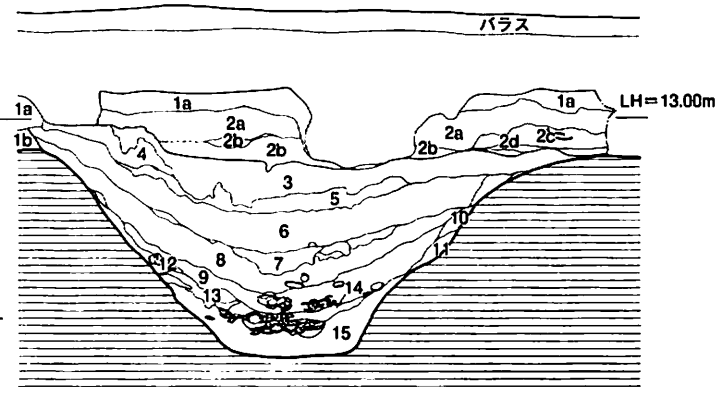


1層：極暗赤褐色土（Hue5YR2/3）
2層：暗赤褐色土（Hue5YR3/2）
3層：黒褐色土（Hue7.5YR3/2）
4層：暗褐色土（Hue7.5YR3/2）
5層：暗褐色土（Hue10YR3/4）
6層：灰黄褐色土（Hue10YR4/2）
7層：暗褐色土（Hue10YR3/3）
8層：黒褐色土（Hue7.5YR3/2）砂質
9層：にぶい黄褐色土（Hue10YR4/3）砂質

0 2m

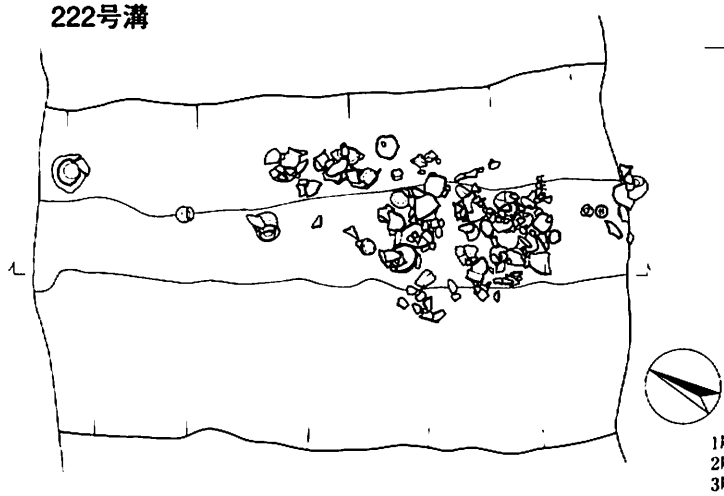
30号溝

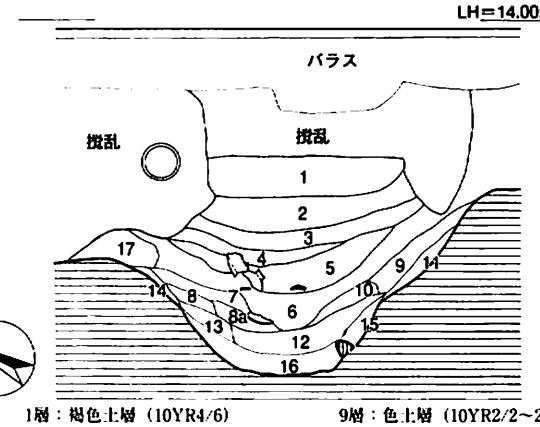




1a層：暗褐色土層（10RY3/4）
1d層：黒褐色土層（7.5YR3/2）
2a層：暗褐色土層（10YR3/3）
2b層：暗褐色土層（10YR4/4）
2c層：褐色土層（10YR4/6）
2d層：黒褐色土層（7.5YR3/2）
2e層：暗褐色土層（10YR3/4）
2f層：暗褐色土層（10YR3/3）・硬化面
3層：褐色土層（10YR4/4）
4層：暗褐色土層（10YR3/3）
5層：黒褐色土層（5YR3/1）
6層：黒褐色土層（7.5YR3/2）
7層：褐色土層（10YR4/4）
8層：黒褐色土層（7.5YR3/2）
9層：黒褐色土層（5YR3/2）
10層：暗赤褐色土層（5YR3/2）
11層：黒褐色土層（7.5YR3/2）
12層：黒褐色土層（10YR3/4）
13層：焼土層
14層：褐色土層（10YR4.4）
15層：黒褐色土層（7.5YR3/2）

222号溝





1層：褐色土層（10YR4/6）
2層：黒褐色土層（10YR2/2）炭
3層：黒褐色土層（10YR2/2）
4層：黒褐色土層（10YR2/2）炭
5層：暗褐色粘質土層（10YR3/4）炭
6層：黒褐色混砂土層（10YR2/2）焼土・炭
7層：黒褐色混砂土層（10YR2/3）
8層：黒褐色土層（10YR2/2）
9層：色土層（10YR2/2～2/3）炭
10層：黒褐色混砂土層（10YR2/2）炭
11層：暗褐色土層（10YR3/4）
12層：黒褐色混砂土層（10YR2/3）バミス・炭
13層：黒褐色土層（10YR2/3）
14層：暗褐色土層（10YR3/4）
15層：黒褐色土層（10YR2/2～3/4）
16層：黒褐色砂質土層（10YR2/2）

0 2m

図37　125号溝・30号溝・222号溝土層断面・出土遺物実測図（1 /50）

近世の溝

14号溝（図35・38）

Ⅱ区で検出された。調査区を横切るように、北西に走る。幅は現在確認出来る範囲で約2.6m、深さは約0.8mで、溝の東岸は途中にテラス状の段がある。遺物は上方で須恵器や近世陶磁器片などが見られたほかは少なく、特に底に近い部分では人骨と思われる骨が数点あっただけである。2001年度の年報では、古墳時代や古代に利用された溝と考えそのように報告したが、埋土について再考した結果、近世の溝と考えられる。

＜竪穴住居址＞

本調査区では、竪穴住居址が30基検出されたが、数次にわたる立替のために、住居址のプランを把握できない住居址も多い。硬化した床面の痕跡から住居址の存在を推定したものも含めると40基近くになる。竪穴住居址は、古墳時代から古代にかけてのものである。住居址の方位を見ると、古墳時代の住居址は、北を向くものはなく、東西のどちらかに傾いている。住居址の1辺も4mほどあり、全体的に大きい。古代になると、住居址の向きに2つのグループがある。221・294・361号などの、遺物や規模から古代と思われるが、古墳時代の名残か方位が北から振れるものと、北を向くものに分かれる。後者の場合は竈の位置は北壁が多いが、東壁に設置する場合と西壁に設置する場合もある。北を向かない住居址は、本調査区の中では時期的に古いものが多い傾向にあり、住居址の方位は徐々に北をとるようになったと考えられる。

古墳時代の竪穴住居址

208号竪穴住居址（図38）

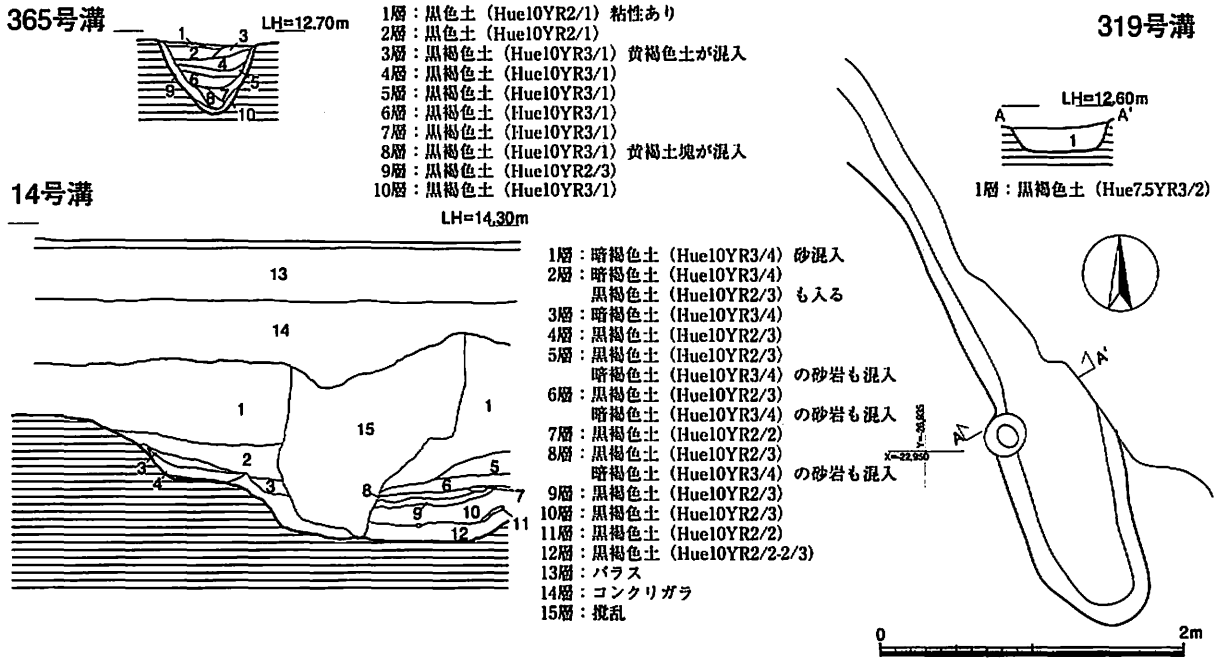
Ⅳ区で検出した。住居址の西側半分は調査区外に延びる。住居址の軸は北北西－南南東である。大半は撹乱により破壊されているが、全体の様子は知り得る。1辺約4.5m前後の長方形で、深さは現状で約0.3mである。明確な硬化面や炉などは検出されなかった。遺物は小型丸底壷・高坏・甕などがある。古墳時代前期（布留1～2式）の頃であろう。

223号竪穴住居址（図39）

Ⅳ区中央で検出した。一部調査区外に延びるほかは、削平や撹乱を受けておらず、遺構・遺物とも遺存状態は良好であった。約4.7×4mの長方形で、長軸は北東－南西を向いている。同じ古墳時代の208号竪穴住居址とは軸が若干ずれている。埋土には多量の焼土や炭・灰が含まれ、床面上に炭化した柱と思われる建築部材も散在しており、223号は焼失住居と思われる。住居の中央には床面を浅く掘り窪めた炉があり、炉を中心として住居中央に硬化面も確認された。遺物は古墳時代前期（布留1～2式）の頃であろう。

378・385号竪穴住居址（図40）

Ⅴ区で検出された。半分以上は現代の撹乱により削平されていた。北側半分は床面直上まで削平が及んでいたが、かろうじて住居の範囲は捉える事ができた。Ⅴ区では同じ場所での住居の建替えを繰り返していたようで、378号住居址でも同様で、住居址中央に443号住居址が重なる。重複した住居を把握するのは困難だったため、ベルトを残し、埋土部分を下げて行った。最終的に確認した住居址のプランは下端で約4.8×5.3mの長方形である。軸の方向は208号住居址と同じである。北東側の壁・隅が捉え難く、溝状に遺構プランが見えていたものを385号としたが、最終的に378号住居址の一部である可能性が高い。378号住居址内では、確実なものとして2枚の硬化面を確認した。1つは住居の肩と思われるところから30cm程の深さで検出し、遺物は図21－12・15が伴う。もう1つはその下



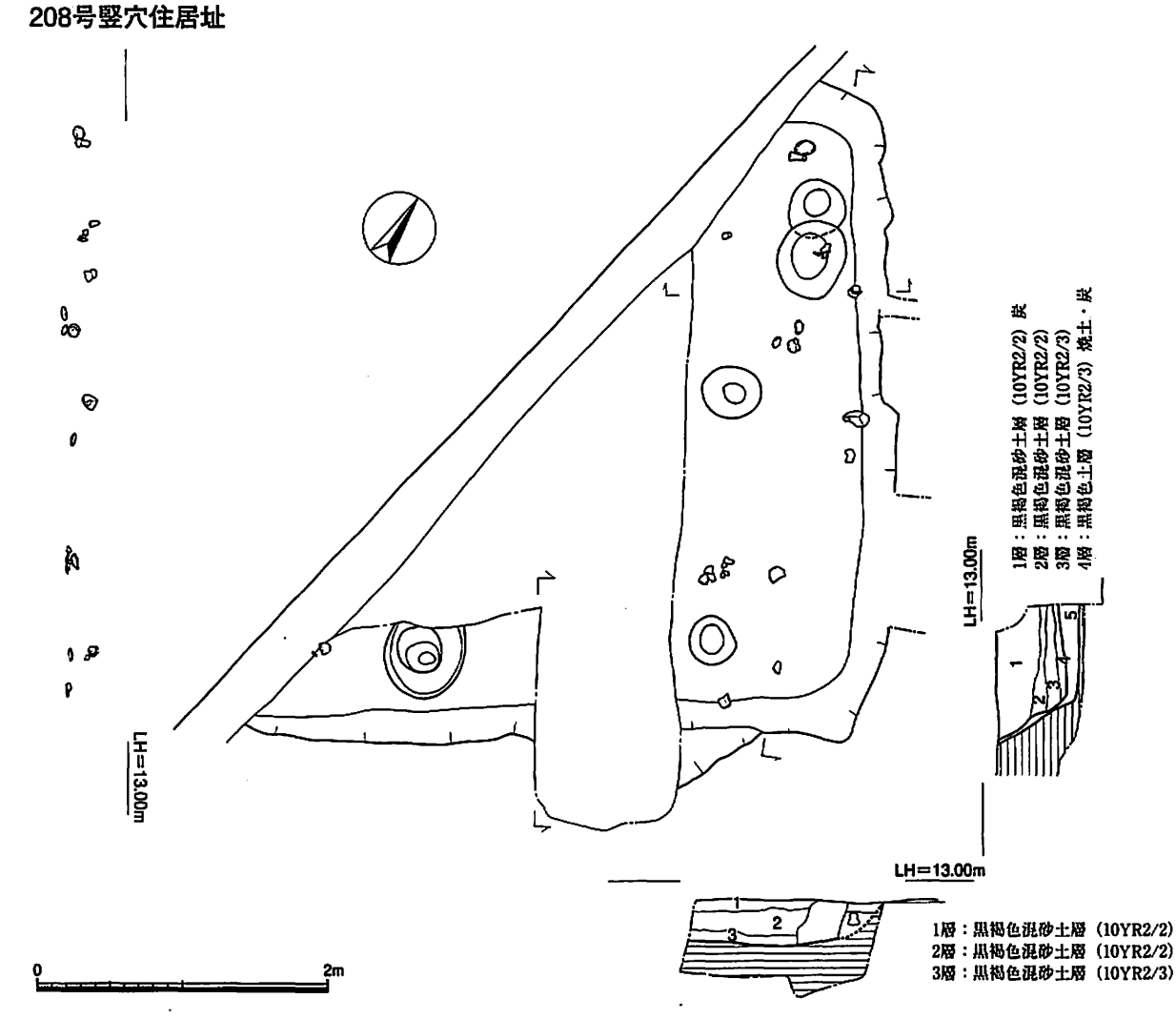


図38　365・319号溝・14・208号竪穴住居址実測図・土層断面実測図（1 /50）

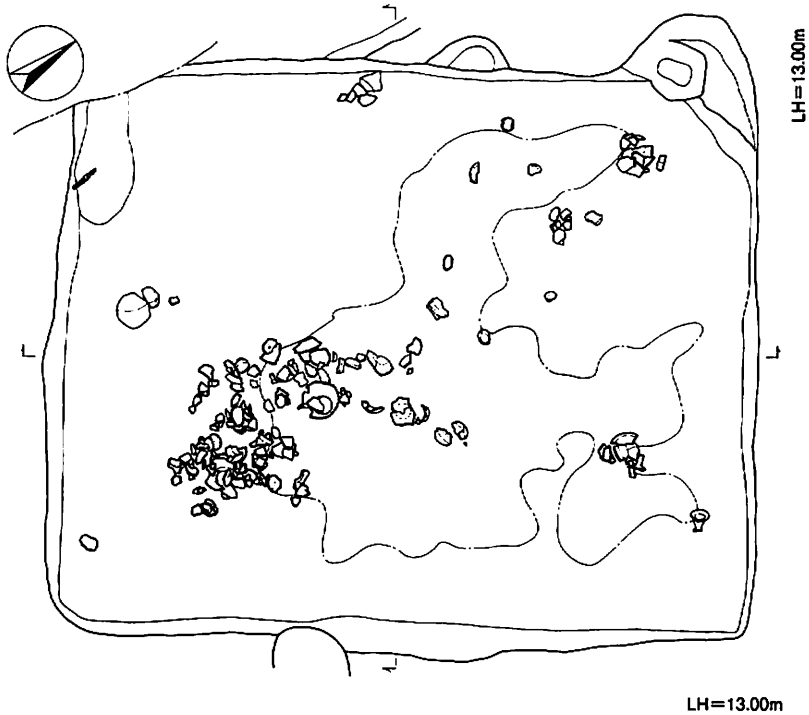


図39　223号竪穴住居址実測図（1 /50）

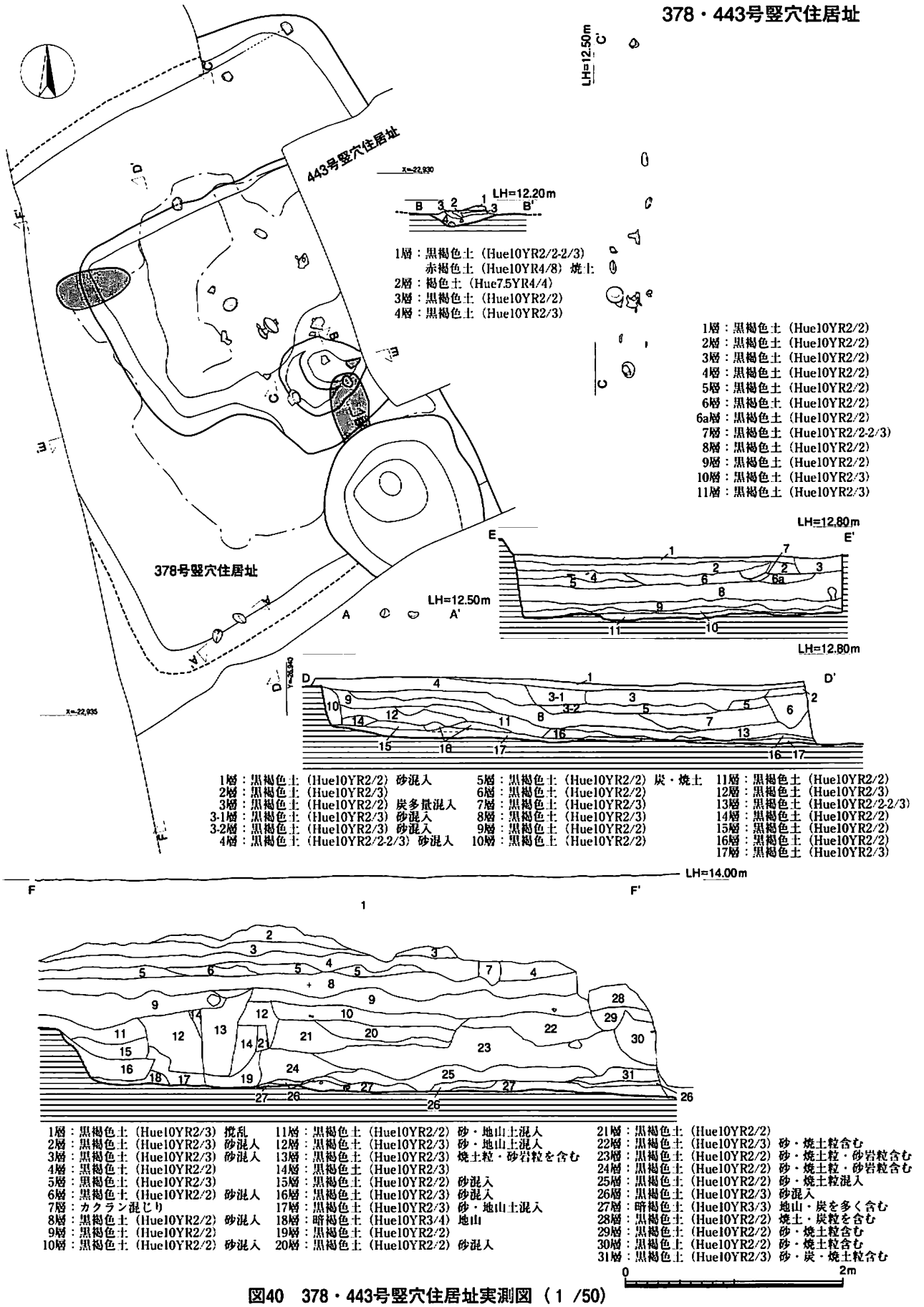


図40　378・443号竪穴住居址実測図（1 /50）

20cm程で検出し、遺物は図21－13・14・16・17が伴う。下の床面では炉も検出された。この床の硬化面の下から2.5m四方の掘込み（443号住居址）と１m弱の土壙状の浅い窪みを検出した。385号住居址の部分からはミニチュア土器が出土している。

384号竪穴住居址（図41）

378（385）住居址の北側で検出された。南東部は、422・423号住居址？に切られ、南西部は378・448号住居址に切られている。378号住居址と同じ軸をとり、北西を向く。現況は2.9×2.6mである。

404号竪穴住居址（図41）

Ⅴ区の、調査区が南に折れるコーナー付近で検出された。西南壁が調査区外に延びる。現状では約4.5×3.8m、深さ約0.25mである。軸の方向は北西である。208号竪穴住居址や378号竪穴住居址とほぼ同じ方向である。南西隅には古代の368号竪穴住居址の竈が接している。また北西隅には撹乱の土壙と、438号土壙が404号住居を切っている。住居址のやや西よりに、床を浅く掘った炉が１基とその周辺で硬化面を検出した。遺物は鉢・高坏・小型丸底壷・甕などで古墳時代前期（布留１～２式）であろう。

443号竪穴住居址（図40）

378号竪穴住居址の中央に、入れ子状にあった浅い窪み状の遺構である。１辺２m程度の方形プランである。中央やや南東よりで、炉の可能性がある焼土が入った皿状のピットが検出された。

古代の竪穴住居址

216号竪穴住居址（図42）

Ⅳ区北側の東側調査区壁沿いで検出した。208号竪穴住居址の東側に隣接する。大半が調査区外に延び、また撹乱によって検出部分の中央を破壊されている。現状で２×２mである。住居の軸は208号住居など古墳時代の竪穴住居と同じであるが、216号住居の北壁に竈が造られており、遺物からもこれは古代の住居と判断される。

16号竪穴住居址（図42）

Ⅱ区の東端近くで検出した。15号竪穴住居址の南西側に位置する。調査区に、住居址の南東隅がわずかにかかる程度である。住居址は北を向くようである。７世紀代と思われる遺物が出土しており、古代の住居址と判断した。

276号竪穴住居址（図47）

161号竪穴住居址の南側に隣接する位置にある。西側のⅤ区で検出された377号竪穴住居址と同一の住居址である可能性があるが、出土遺物に若干の時期差がある。南半分が調査区外に延びる。軸の方向は南北である。７世紀代の遺物が出土している。

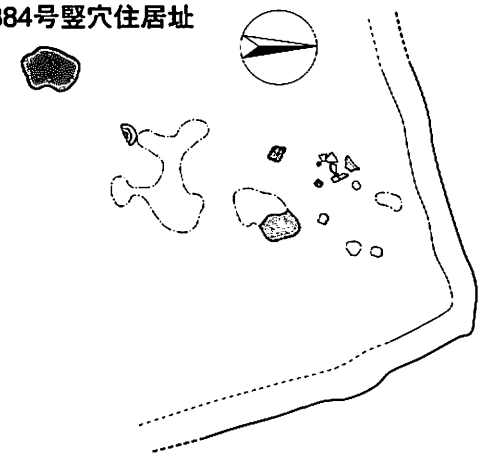
32号竪穴住居址（図42）

Ⅲ区の31号竪穴住居址の東４mほどのところで検出した。大半を埋設管やマンホールの掘り方によって破壊されており、北半部しか残存していなかった。住居の幅は4.4mである。住居の軸は他の29・30号竪穴住居と異なり若干東へ傾いている。北辺の中央西寄りに竈が設けられている。竈は残存状況がよく、袖には幅20cm、長さ50cm、厚さ15cmあまりの大型の砂岩が横に据えてあった。中央にも砂岩製の支脚の一部が残っていた。竈周辺から土師器の甕形土器や杯、須恵器の甕形土器片などが出土した。８世紀前半と考えられる。

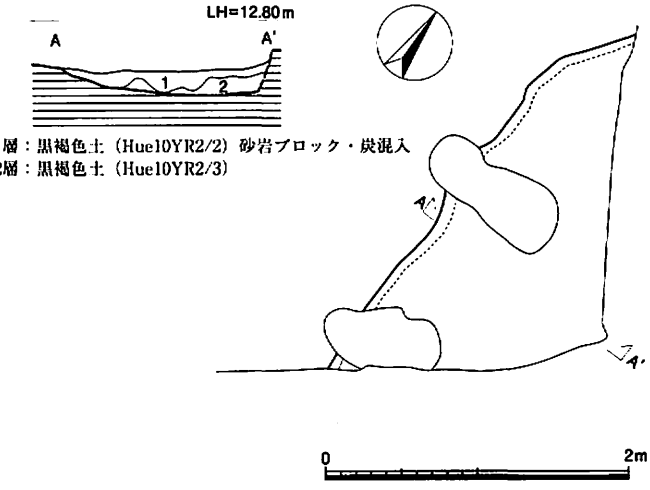
９号竪穴住居址（図43）

Ⅱ区で検出した。Ⅰ～Ⅲ区は遺構面が浅く遺構の多くが上部を削平されており、９号竪穴住居址の壁も遺存していたのはわずか数cmで、ほぼ床面のみが残っている状況であった。東半分は撹乱によ

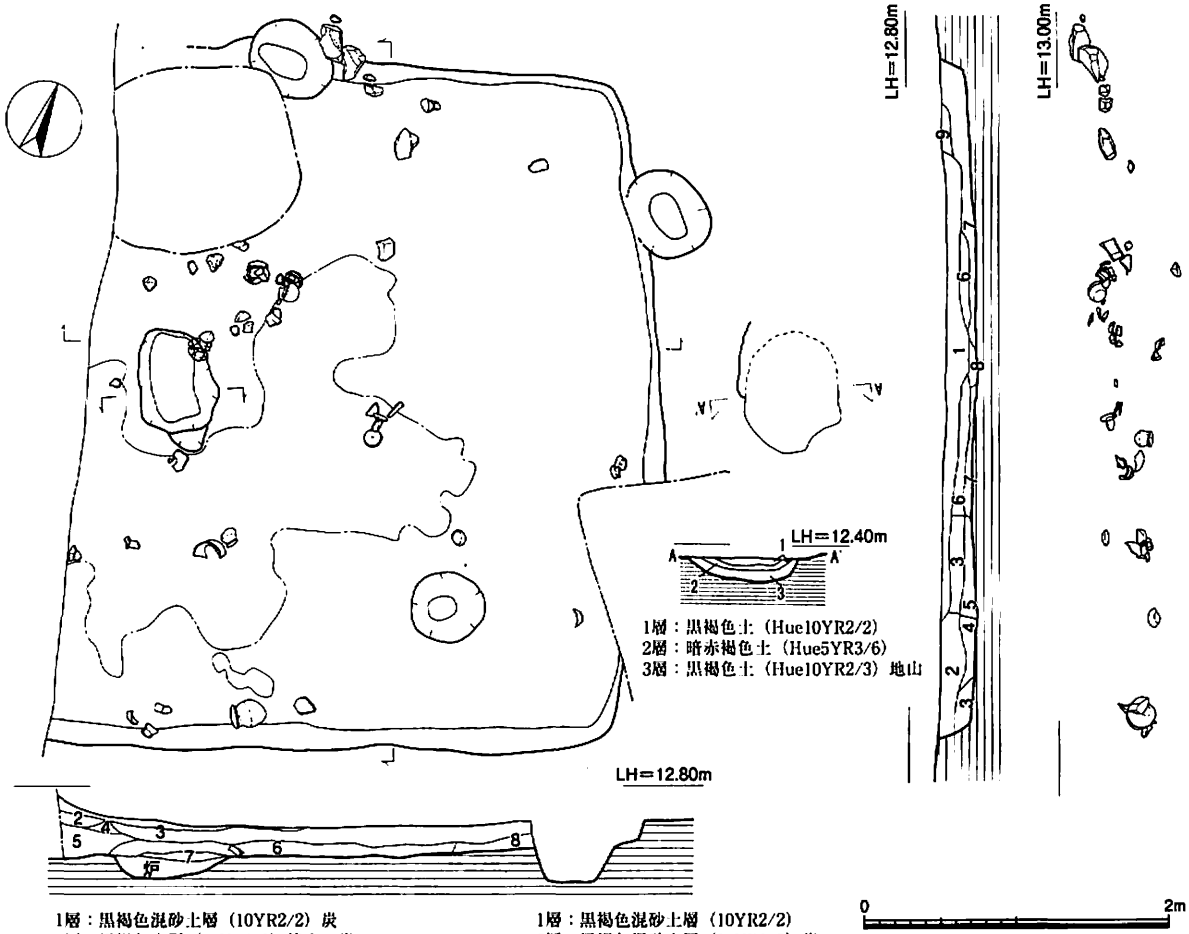
384号竪穴住居址



392号竪穴住居址



404号竪穴住居址

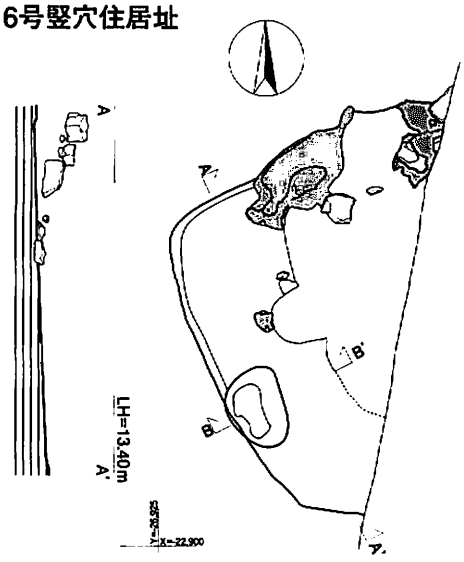


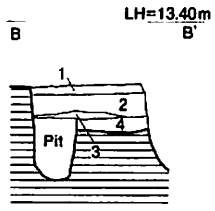
1層：黒褐色混砂土層（10YR2/2）炭
2層：黒褐色土層（10YR2/2）焼土・炭
3層：黒褐色土層（10YR2/3）
4層：黒褐色混砂土層（10YR2/3）
5層：黒褐色混砂土層（10YR2/2～10YR2/3）炭
6層：黒褐色土層（10YR2/2）
7層：黒褐色土層（10YR2/2）焼土
8層：黒褐色～暗褐色土層（10YR2/3～10YR3/4）

1層：黒褐色混砂土層（10YR2/2）
2層：黒褐色混砂土層（10YR2/2）炭
3層：黒褐色土層（10YR2/3）
4層：黒褐色土層（10YR2/3）
5層：黒褐色土層（10YR2/2）
6層：黒褐色土層（10YR2/2）
7層：黒褐色土層（10YR2/2）
8層：黒褐色土層（10YR2/2）
9層：黒褐色土層（10YR2/2）

図41　384・392・404号竪穴住居址実測図・土層断面実測図（1 /50）

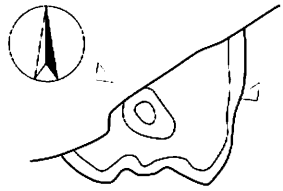
216号竪穴住居址

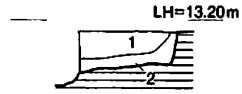




1層：黒褐色土（Hue10YR2/3）
2層：黒褐色土（Hue10YR2/3）
3層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
4層：黒褐色土（Hue10YR2/2）

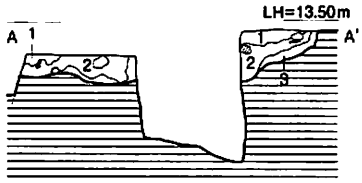
16号竪穴住居址



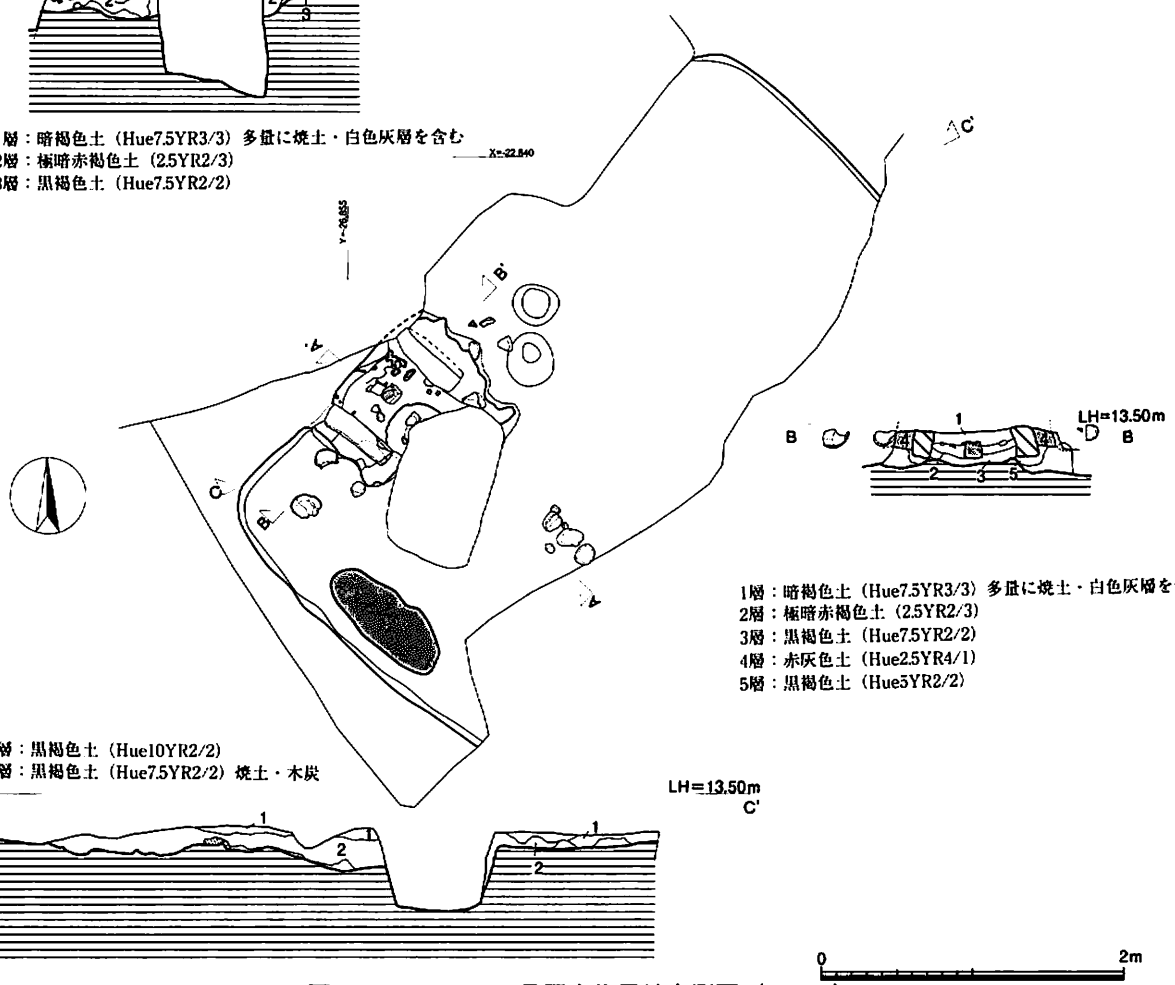


1層：黒褐色土（Hue10YR2/3）炭混入
2層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
　　暗褐色土（Hue10YR3/4-2/3）混入

32号竪穴住居址



1層：暗褐色土（Hue7.5YR3/3）多量に焼土・白色灰層を含む
2層：極暗赤褐色土（2.5YR2/3）
3層：黒褐色土（Hue7.5YR2/2）



1層：暗褐色土（Hue7.5YR3/3）多量に焼土・白色灰層を含む
2層：極暗赤褐色土（2.5YR2/3）
3層：黒褐色土（Hue7.5YR2/2）
4層：赤灰色土（Hue2.5YR4/1）
5層：黒褐色土（Hue5YR2/2）

1層：黒褐色土（Hue10YR2/2）
2層：黒褐色土（Hue7.5YR2/2）焼土・木炭

0　2m

図42　216・16・32号竪穴住居址実測図（1/50）

図43　9号竪穴住居址実測図（1 /50）

り削平され、南側は10号竪穴住居址によって切られる。現状では、北壁1.4m、西壁2.7mである。北壁に竈が造られており、西半分が残っている。住居址の軸は南北方向である。9901地点の52号竪穴住居址も同時期のものと思われ北壁中央に竈を造っている。9号竪穴住居址の北壁を、竈を中心に復元すれば52号竪穴住居址や9901地点の291号竪穴住居址と同様な規模になる。出土した遺物は7世紀後半～8世紀前半のものである。9号竪穴住居址からは土器片と共に小型仿製鏡の所謂破鏡が出土したが（図56－126)、住居址の埋土は撹乱を受けている可能性を否定できない状況であり、遺構と遺物の年代を照らしても9号竪穴住居址に伴うものとは考えられない。

31号竪穴住居址（図44)

Ⅲ区の29号竪穴住居の東側で検出したもので、南半分は埋設管の掘り方によって破壊されている。長軸はほぼ東西方向で、西辺中央に竈がある。長軸の長さはおよそ5mである。硬化した床面は検出できなかった。竈は砂岩ブロックで両袖部の基礎石とするもので、中央には砂岩製の角柱で支脚をしつらえていた。崩壊した竈土の中から土師器の甕形土器片など数点の遺物が出土した。7世紀後半から8世紀後半と考えられる。

221号竪穴住居址（図44)

Ⅳ区中央付近壁沿いに検出した。223号竪穴住居址の南西側に隣接する。住居址の大半は調査区外である。北西を向く。223号住居址の上に作られており、223号住居址の埋土と重なる部分の壁は明確に確認できなかった。現況では2.2×2.3m程である。

10号竪穴住居址（図44)

9号竪穴住居址の南側で検出された。9号竪穴住居址と同じ方向を向き、9号竪穴住居址を切っている。住居内の大半が撹乱により破壊され、南半分は調査区外に延びており、正確な規模などは把握できなかった。北壁に竈を造っている。西壁の推定ラインから復元してみると、9号竪穴住居址に比べ小型である。8世紀前半と考えられる。

361号竪穴住居址（図45)

Ⅴ区の南端で検出された。南半分が調査区外に延び、住居の西側は後代の遺構（379号井戸）に切られている。現状では約3 ×2.6m、深さは残りの良い北東側で約0.4mである。撹乱の西側を361号、東側を312号として掘削し、最終的に同一の住居址と確認した。軸の方向は223号竪穴住居址と同じである。撹乱が北東側の壁に沿って走るが、この撹乱より南西側は遺構の重複が著しく、この住居に伴うと思われる遺物はなかった。8世紀後半の遺物が出土している。

15号竪穴住居址（図45)

Ⅱ区のやや西側で検出した。全体のほとんどが撹乱によって破壊されており、規模は不明である。住居の軸の方向は南北を向いている。南東隅にあたる部分に竈の跡と思われる焼土や、竈の袖石の砕片が残っていた。出土遺物から8世紀前半ごろと思われる。

29号竪穴住居址（図45)

Ⅲ区中央北部で30号溝覆土の上に営まれた竪穴住居址である。埋設管の掘り方によって南辺と東辺を破壊されている。長軸はおよそ4mになるものと推定される。東北部に竈付近の焼土が散乱しており、その中から甕形土器片が、中央の硬化面直上と北西端の壁付近から土師器の坏がそれぞれ1点ずつ出土している。

307・318・322号竪穴住居址（図46)

Ⅴ区の南側で検出された。東側を撹乱により破壊されている。307号住居址の内側で入れ子状に318号竪穴住居址が検出された。現状で307号が約2.1× 1 m、318号が約5.2×0.7m である。いずれも軸

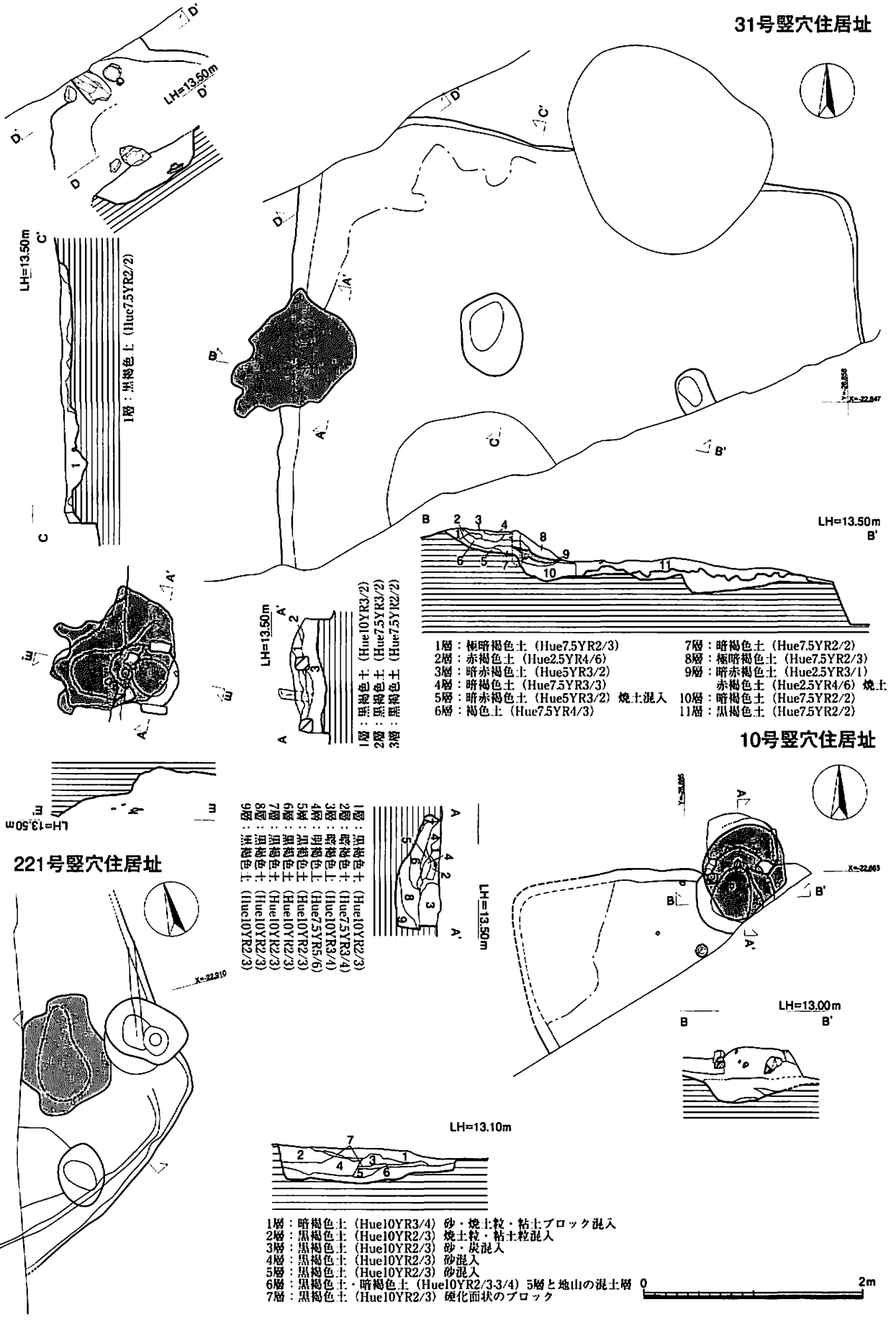


図44　31・10・221号竪穴住居址実測図（1 /50）

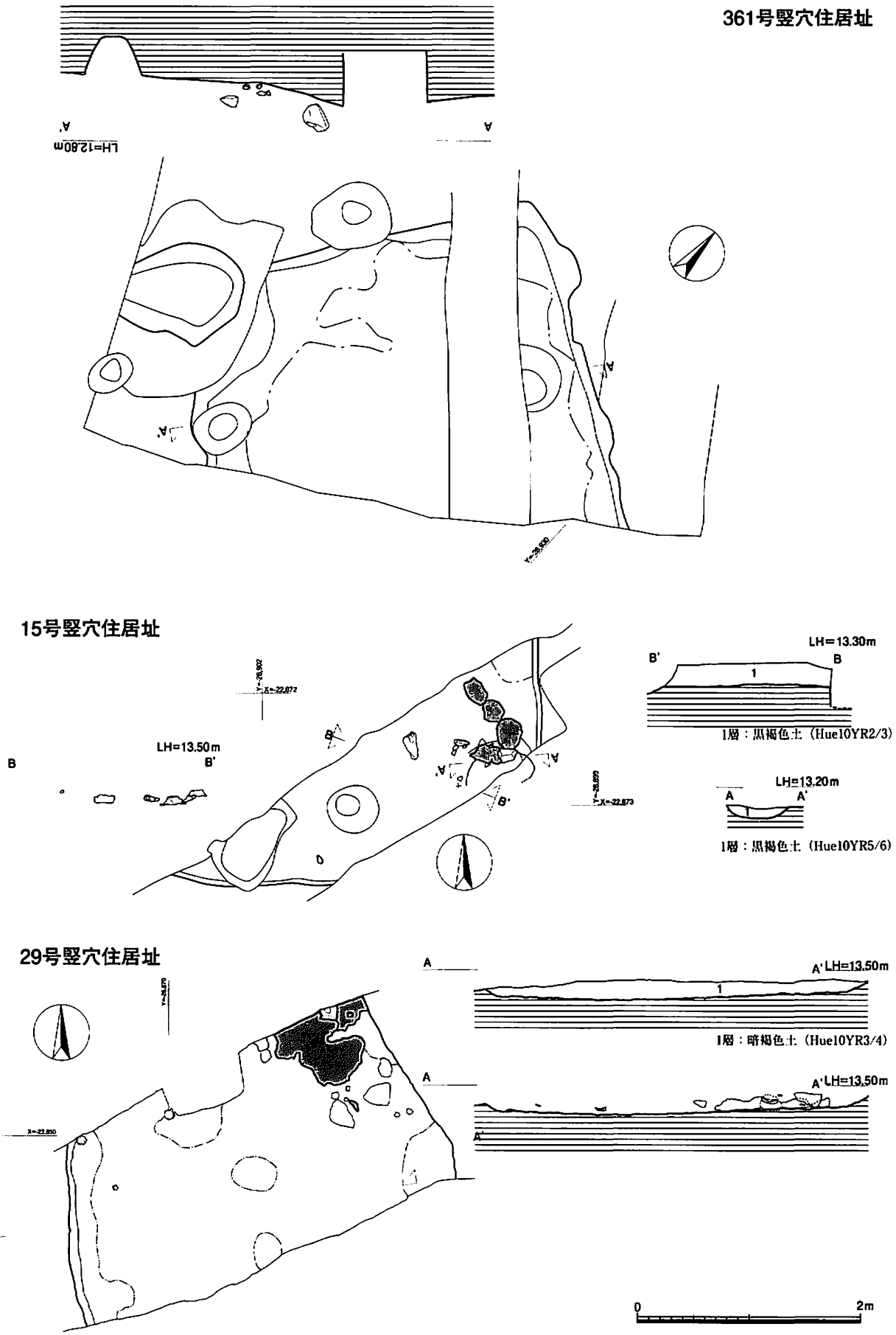


図45　361・15・29号竪穴住居址実測図（1 /50）

は南北であるが、307号竪穴住居址は若干西に傾く。307号竪穴住居址の床を除去したところ、別の遺構があったためこれを318号竪穴住居址とした。318号竪穴住居址の黒色の埋土の下には、別の茶色の土があり、これを322号竪穴住居址とした。322号竪穴住居址に埋土は多量の焼土を含み、火災で焼失した住居址の可能性がある。住居の範囲はほぼ307号と同じである。築造順としては、322号竪穴住居址が最初に築造され、火災などで焼失・埋没した後、318号竪穴住居址が造られ、さらにその上に307号竪穴住居址が築造されたと考えられる。

311・321・323号竪穴住居址？

Ⅴ区の南端、北西―南東に走る撹乱の西側で、379号井戸の上面にあった硬化面のみの遺構である。311号竪穴住居址は、361号竪穴住居址の撹乱から西半の部分を覆う範囲に広がっていた硬化面である。311号竪穴住居址の硬化面を除去したその下から、321号・323号竪穴住居址を検出した。321号竪穴住居址は361号住居址西半の東半分に分布する硬化面であり、323号竪穴住居址は379号井戸を覆うまでの東半分に広がる硬化面である。住居址のプランは確認できなかったが、それぞれの硬化面の様子から３基の住居が切りあっていた。付近より８世紀後半から９世紀前半の遺物が出土している。

377号竪穴住居址（図46）

Ⅴ区の北東隅で検出された。撹乱を挟んで276号竪穴住居址と向い合う。住居址の方向は北を向く。先述のとおり276号竪穴住居址と同一の可能性があるが、出土遺物に時期差がある。377号住居址では、硬化した床面を検出した。

386号竪穴住居址（図46）

Ⅴ区、404号竪穴住居址の南側で検出した。西側は調査区外、南・東側は撹乱によって破壊されている。現況は北壁中央に設けられた竈部分を残すのみである。

99（161）号竪穴住居址（図47）

Ⅳ区の西端で検出した。99（161）号竪穴住居址がある一帯は、竪穴住居址の重複があり、各遺構のプランを決定するのが困難だったため、任意で２ｍのグリッドを設定して掘削した。大きな撹乱坑を挟んで東側半分はプランを把握するのは容易だったが、西側半分は遺構の重複により埋土からプランを把握する事はできず、床面近くでようやく規模を把握できた。それぞれ99号と161号という番号を与えて掘削を進めていたが、99号と161号が同一の住居址であることを確認した。約５×4.6ｍの住居である。軸方向は南北である。東側半分を大きく撹乱により破壊されている。東壁中央に竈が造られていた。８世紀後半と思われる。

368号竪穴住居址（図46）

Ⅴ区の中央部やや南寄りで検出した。調査当初、プランの把握が上手く行かず細部において不手際もあったが、最終的にはプランを確定できた。現状で約2.6×2.4ｍ、深さは約0.25ｍである。東壁の一部は調査区の壁にかかる。西壁中央に竈が造られている。８世紀後半の遺物が出土している。

256号竪穴住居址（図47）

Ⅱ区の西端で検出された。大半は調査区外に延びる。南東隅を99（161）号竪穴住居址が切っている。現状では約２×３ｍ、深さは残りの良い部分で0.2ｍである。軸の方向は南北を向いている。

294号竪穴住居址（図48）

Ⅴ区の中央東よりで検出した。住居址の東側は半分以上が破壊されており、現在は１／３程度が確認できる。本来は一辺が3.7ｍほどの竪穴住居址と思われる。８世紀末から９世紀初の土師器が出土している。

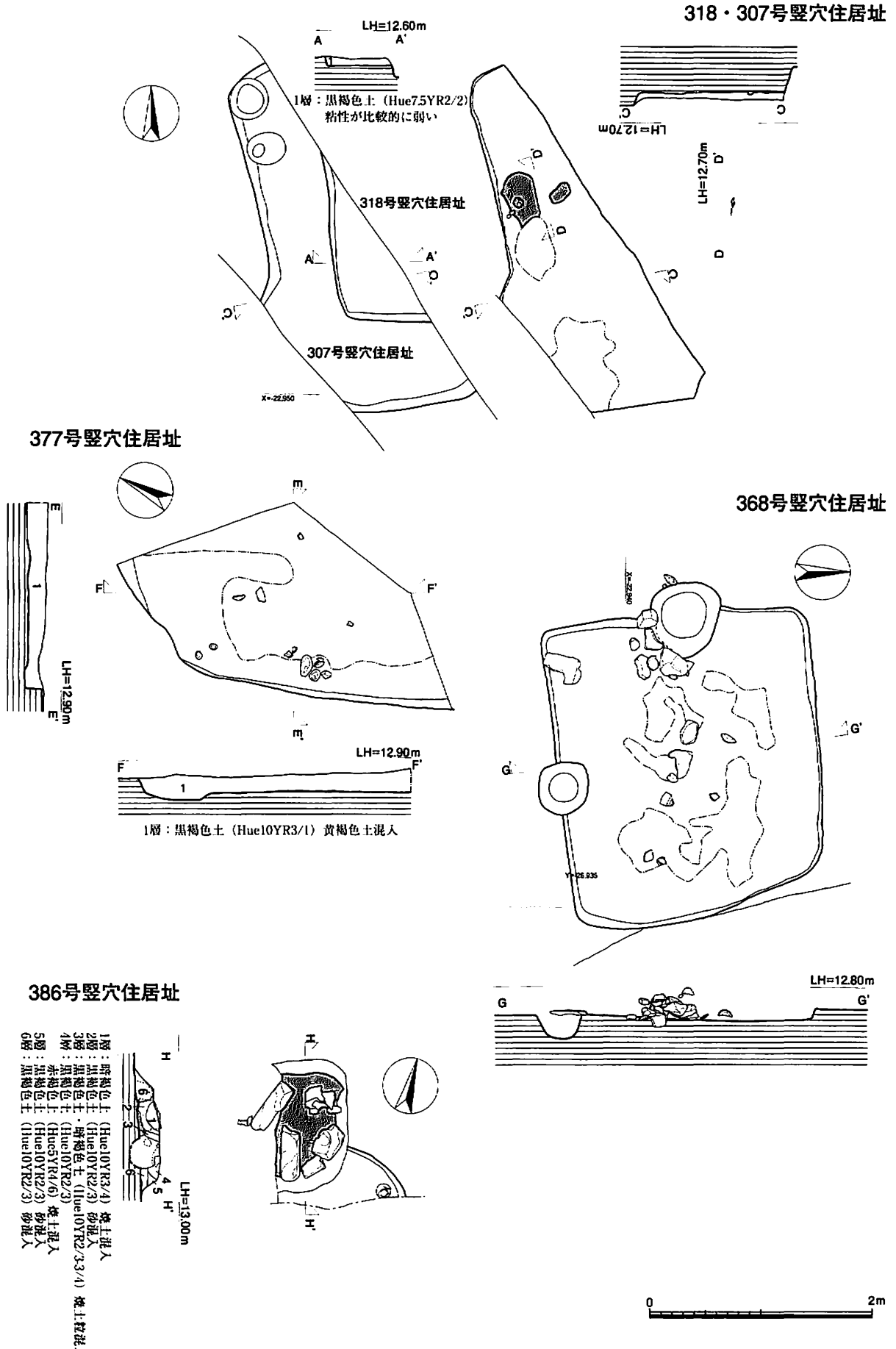


図46　318・307・377・368・386号竪穴住居址実測図（1 /50）

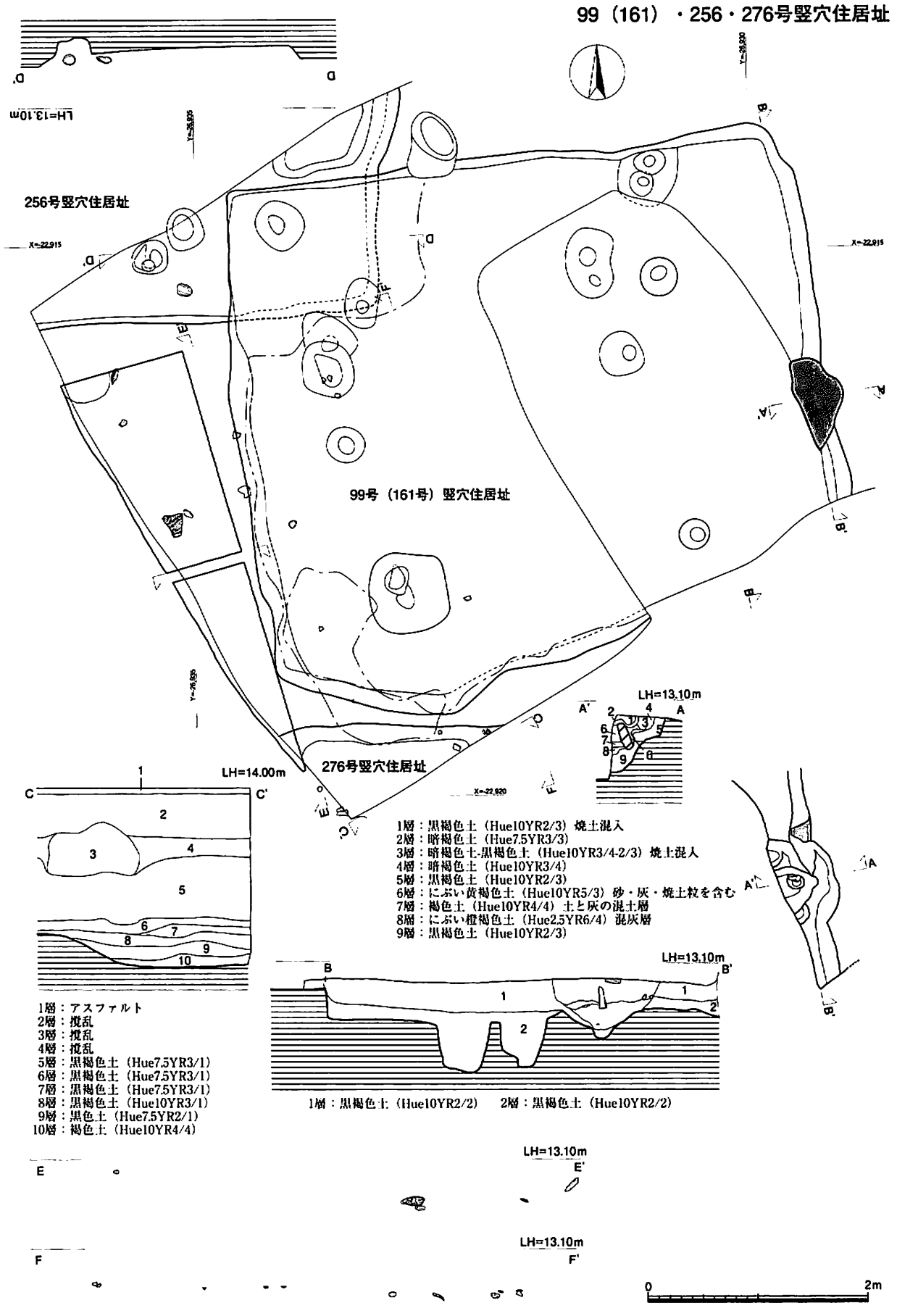
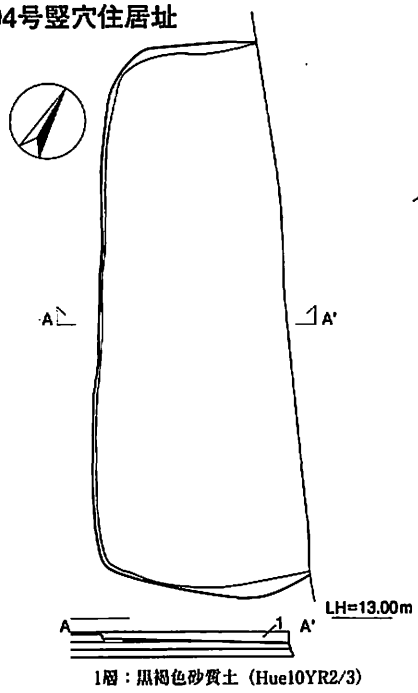


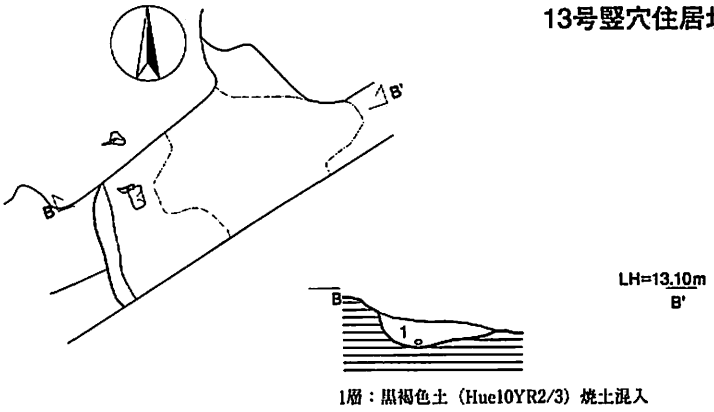
図47　99（161）・256・276号竪穴住居址実測図（1 /50）

294号竪穴住居址



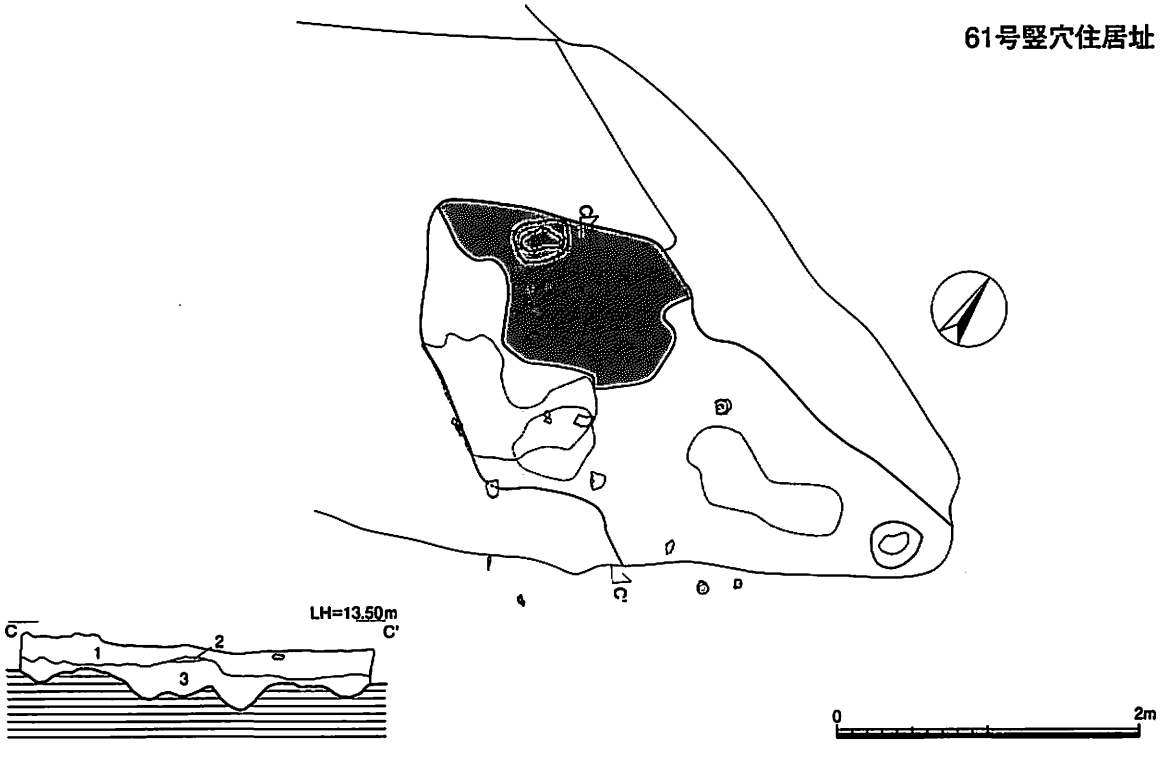
1層：黒褐色砂質土（Hue10YR2/3）

13号竪穴住居址



1層：黒褐色土（Hue10YR2/3）焼土混入

61号竪穴住居址



1層：暗赤褐色土（Hue2.5YR3/2）
2層：極暗赤褐色土（Hue2.5YR2/2）
3層：黒褐色土（Hue7.5YR3/2）

図48　294・13・61号竪穴住居址実測図（1 /50）

13号竪穴住居址（図48）

Ⅱ区の14号溝の北東側で検出した。調査区壁と、既設枡の間に挟まれており、その他は撹乱による破壊と調査区外にでるなど、全容は不明である。現状は西壁が0.7m程度の残っている程度である。西壁に焼土塊があり、掘削したところ竈の支柱と思われる砂岩と土器片が出土した。土器片は接合するとかなり復元でき、浅鉢である。

61号竪穴住居址（図48）

Ⅱ区東端の若干広くなったところで検出した。撹乱の影響が深刻であり、遺存状況は非常に悪かった。

遺構の残存状況がわるく、北西部のコーナー部分らしき浅い掘り方を確認しているが、それ以外は不明である。規模、方向ともよくわからない状況である。

157号竪穴住居址

Ⅳ区西端、158号竪穴住居址の上面にあった硬化面である。99号・158号・256号付近にあった竪穴住居址と思われるが、全容は不明である。明らかに、158号住居址の上にあった住居址の床面であるので、番号を付けて記録した。

158号竪穴住居址

Ⅳ区東端で検出した。99（161）号竪穴住居址と256号竪穴住居址に挟まれた三角形の部分である。東側は99（161）号住居址と256号住居址によって切られており、撹乱を挟んだ西側でも住居址の範囲を確認できなかった。このため、硬化面が広がっており住居址があったと思われるが、全体的なプランは不明である。

159号竪穴住居址

Ⅳ区西端、276号竪穴住居址の上面にあった硬化面である。99号・158号・256号付近にあった竪穴住居址と思われるが、全容は不明である。明らかに、276号住居址の上にあった住居址の床面であるので、番号を付けて記録した。158号竪穴住居址との関係は、不明である。

207号竪穴住居址

223号竪穴住居址の西側で検出した。住居址の東辺がわずかに調査区にかかっている。１辺２m程度で、方位はわずかに東に振れる。

400号竪穴住居址（図49）

Ⅴ区の北東で検出された。北半分は調査区外に延びる。現状で約2.1× 3mで深さは0.2mほどである。軸は南北を向いており、161号竪穴住居址と同様な住居と思われる。

448号竪穴住居址

Ⅴ区中央部で検出した。378（385）・384号竪穴住居址に挟まれた状態で、小さな三角形である。384号住居址を切って築造し、378（385）号住居址に切られている。448号竪穴住居址は北を向いており、北壁設けられた竈部分のみが遺存している。

364号竪穴住居址

Ⅴ区の西壁沿い、365号溝に囲まれた位置にある。北を向く住居址の北東角がわずかに調査区で検出されたと考えられる。詳細は不明。

＜掘立柱建物＞

１号掘立柱建物（図49）

１号掘立柱建物はⅣ区の中央部で検出された。建物の長軸は南北方向より、やや東に触れている。

西側が調査区外に延びるが、現状で５間 × ２間以上の建物である。この柱穴のなかで、東列北から４つ目の144号柱穴で地鎮祭を行なったと思われる遺物が出土した。柱穴の壁の途中に壁龕状の棚をつくり、土師器の椀・蓋を置き、その上に２～３ cm 大の小石を敷いていた。土器の中にも小石が数個入っていた。石については精査をしたが、文字等の加工の痕跡は見当たらなかった。土師器蓋には墨書があり、鑑定していただいた結果「門方人」とか書かれていることが分かった。土器は９世紀前半のころの所産と思われ、１号掘立柱建物もこの時期のものであろう。

２・３号掘立柱建物（図50）

５区の南端で検出した。撹乱による破壊と、調査区外に延びるため全体は不明である。２号・３号とも建物の方向は南北から西に傾いており、１号とは時期を異にすると思われる。9901調査地点の西北部に位置し、この２・３号建物と位置的に近い501号掘立柱建物と同じ方向のようである。

＜土坑・ピット＞

41・42土坑（図50）

Ⅲ区中央部、29号竪穴住居址の東側で撹乱部分を挟んで検出した土坑である。当初別個の遺構の重なりと考え掘っているが、おそらく一つの遺構と思われる。掘り方が30cm あまりと、かなり深く、29号住居址とは異なる遺構と考えられる。中央に深さ20cm ほどの穴が２個連接している。残存部で長さ２ m、幅１ m あまりである。穴の部分と底面から土師器の坏や土製の紡錘車、鉄製刀子が出土した。

204（253）号柱穴

Ⅳ区のＴ字部分の西端で検出したピットである。このピットから土錘が12点出土した。年報では、漁網をこのピットに収納していたのではないかと報告したが、そのような収納状態で使用したか、疑問が残る。253号は１号掘立柱建物を構成する柱穴の１つであるが、144号柱穴のような地鎮であるかは不明である。なお、ピット番号については、本来は253号であるが、年報の整理・報告時に取り違えている。注記も204号で行っているため、別のものと間違えないよう、併記しておく。

＜井戸＞（図51）

379号井戸はＶ区の南西隅で検出された。361号竪穴住居址の上には、硬化面で範囲確認した321号と323号竪穴住居址があったが、井戸は323号住居址の床面下から検出された。361号住居址の床面を切っている。つまり、361号竪穴住居址を壊して、本井戸が掘削され、後に埋め戻されて、321・323号竪穴住居址が設営されたという順序になる。井戸は全体の１／３程が調査区壁にかかる。上部には柱状の石が置かれており、埋土に遺物・灰・焼土も多かったため、当初は墓と考えた。しかし、掘り下げるにしたがい井戸であることが分かった。

埋土を順次掘り下げたが、沈殿物層などは確認されなかった。また、井戸の壁には掘削のために井桁を組んだような跡や、井戸枠を設けたような跡も検出されなかった。途中、遺物が集中する層が何層かあり、中には食物残滓と思われる自然遺物もあった。

（４）出土遺物

本調査区からは、膨大な量の遺物が出土したが、時間・紙面の関係上、今回は遺構の時期を示す代表的、もしくは最低限の遺物を掲載した。本書に掲載できなかった遺物は、今後改めて紹介したい。

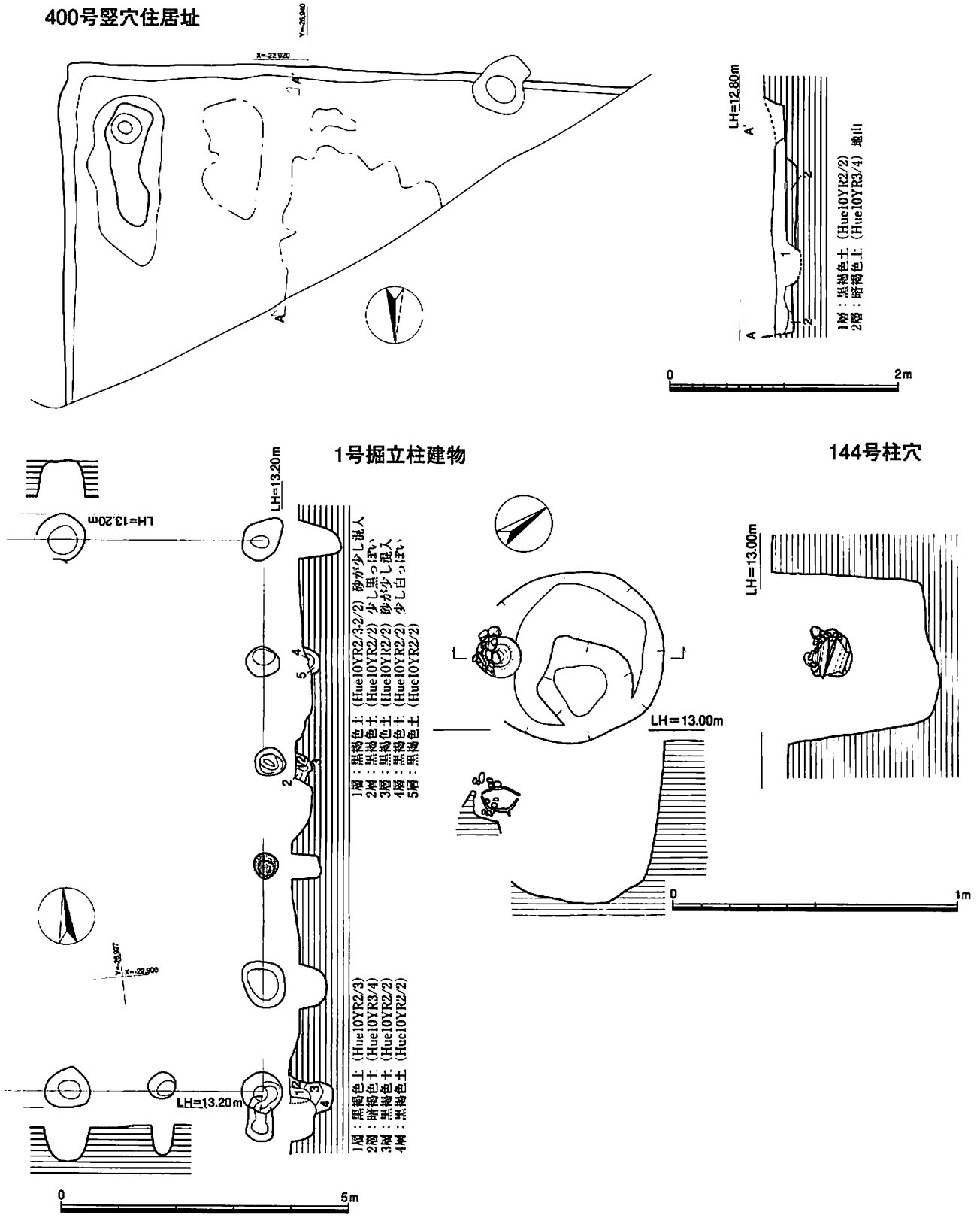
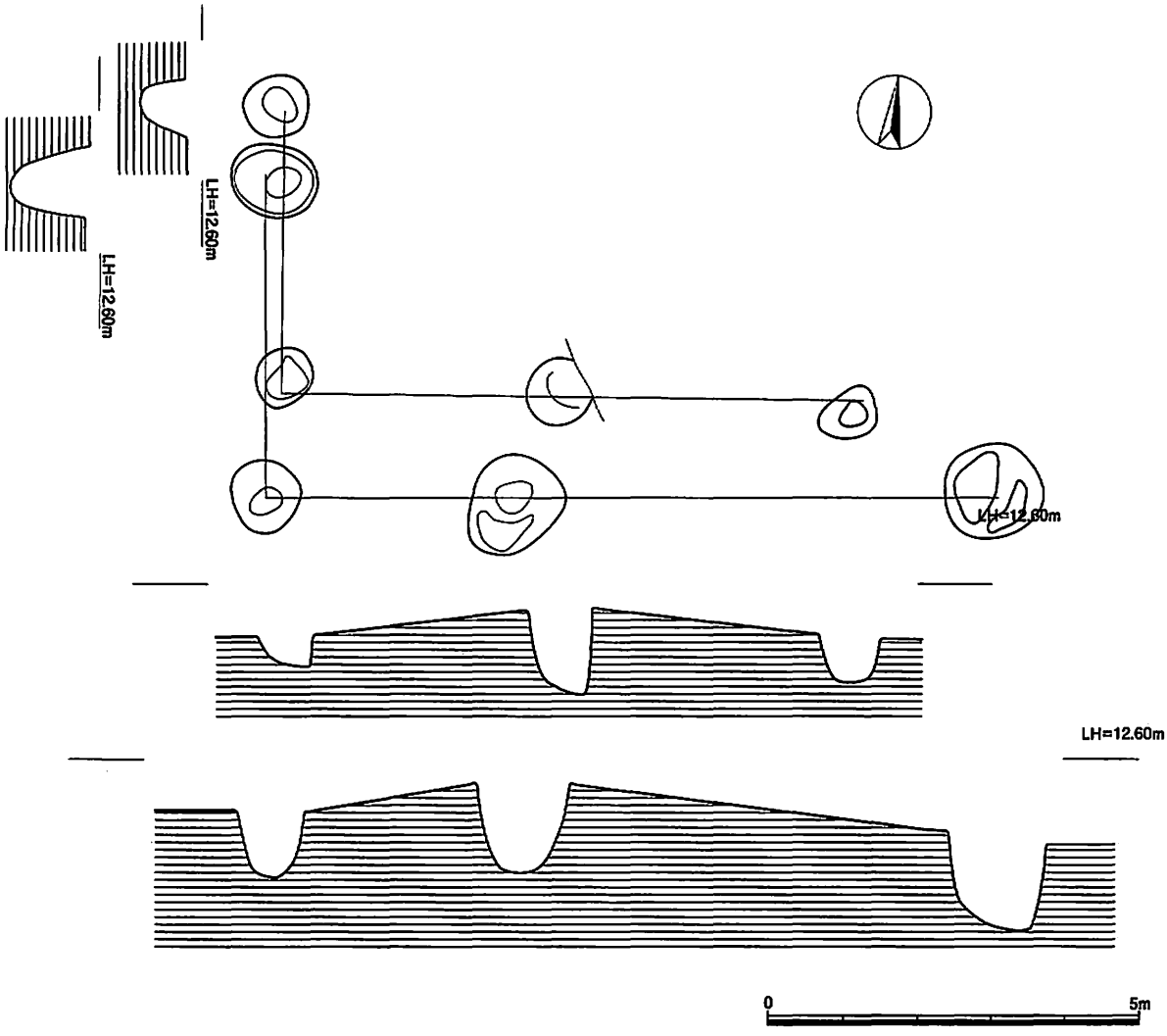


図49　400号竪穴住居址・1号掘立柱建物址・144号柱穴実測図（1 /50・1 /100・1 /20）

2・3号掘立柱建物址



41・42号土坑

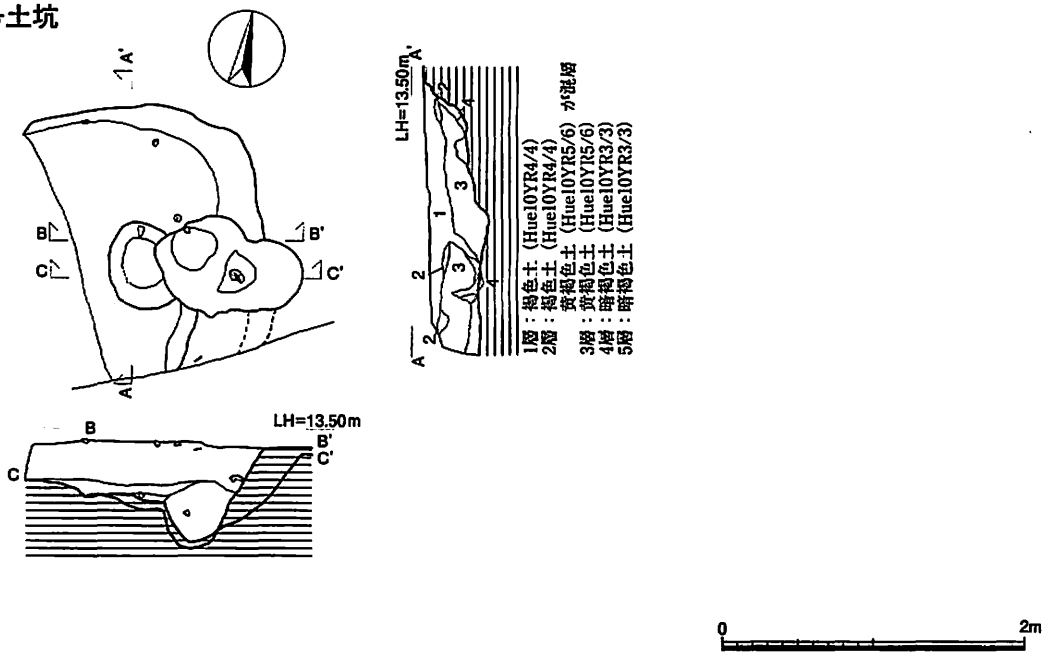
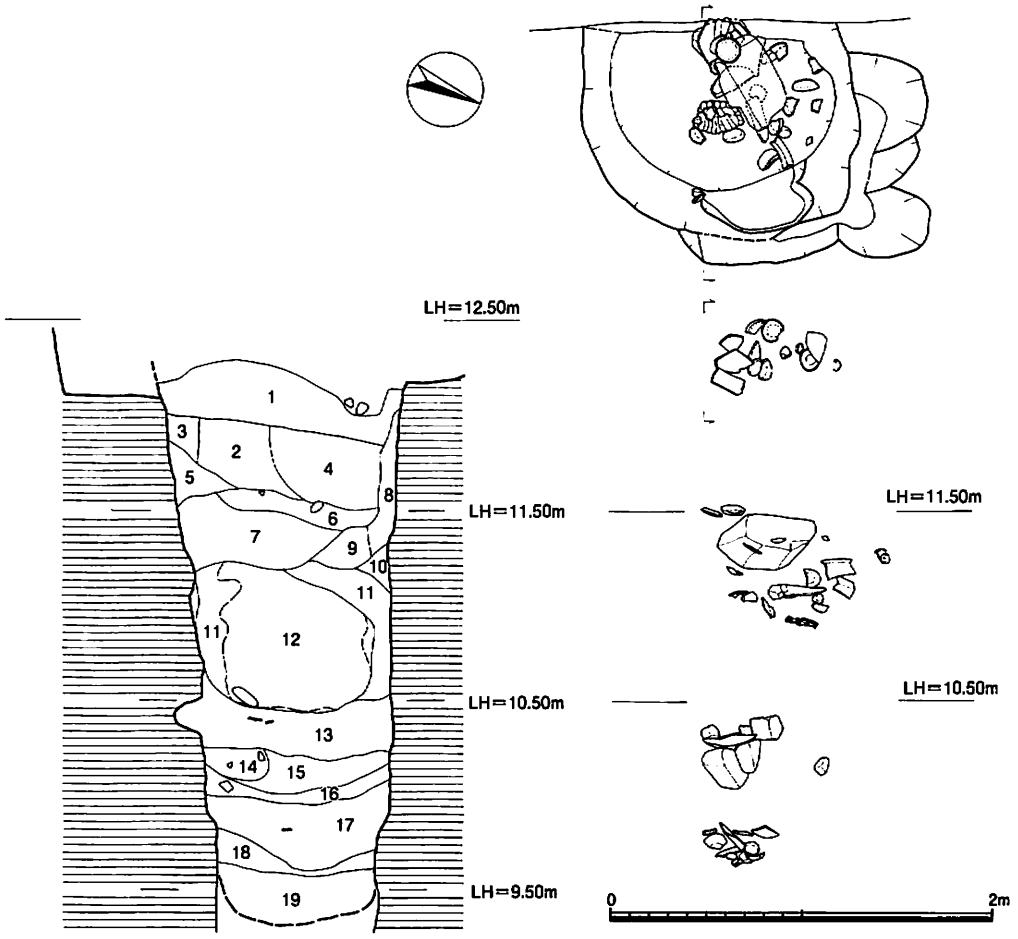


図50　2・3号掘立柱建物址・41・42号土抗実測図（1 /100・1 /50）



1層：黒褐色土層（10YR2/2）礫・焼土
2層：黒褐色土層（10YR2/2）焼土
3層：黒褐色土層（10YR2/2～10YR2/3）
4層：黒褐色土層（10YR2/2）礫
5層：黒褐色土層（10YR2/3）
6層：黒褐色混砂土層（10YR2/2）炭
7層：黒褐色土層（10YR2/2）
8層：黒褐色～暗褐色土層（10YR2/3～10YR3/4）砂礫
9層：黒褐色土層（10YR2/3）
10層：黒褐色～暗褐色土層（10YR2/3～10YR3/4）砂礫
11層：黒褐色土層（10YR2/3）砂礫
12層：黒褐色混砂土層（10YR2/3）
13層：黒褐色土層（10YR2/2）砂礫
14層：黒褐色土層（10YR2/3）礫
15層：黒褐色土層（10YR2/2）
16層：黒褐色砂層（10YR2/3）
17層：黒褐色砂質土層（10YR2/2）礫
18層：黒褐色～暗褐色砂層（10YR2/3～10YR3/4）
19層：黒色砂層（2.5YR2/4）

図51　379号井戸実測図（1 /40）

125号溝出土遺物（図52：1～15）

本荘地区で弥生時代の遺構として、初検出例となった。溝内からは、弥生時代前期の壷形土器・甕形土器・鉢形土器のほか、黒色磨研土器や条痕文粗製土器などの縄文土器が出土した。石器は打製石斧（15）がある。

30号溝出土遺物（図52・53：16～31・図58：198～199・208・212）

古墳時代前期の古式土師器である。小型丸底壷・高坏・甕・鉢形土器がある。また、弥生時代前期の土器と縄文時代晩期の土器も出土している。

222号溝出土遺物（図53・54：32～61・図58：196）

古墳時代前期の古式土師器である。有孔鉢形土器・器台・高坏・小型丸底壷・甕・直口壷？・二重口縁壷・手捏ねのミニチュア土器などがある。石器には、砥石（196）がある。また、弥生土器か、粗い条痕を入れた底部がある。

14号溝出土遺物（図54・58：62・213・221）

近世と思われる磁器片が出土している。また、溝の埋土からは古代の土師器や須恵器片も出土して

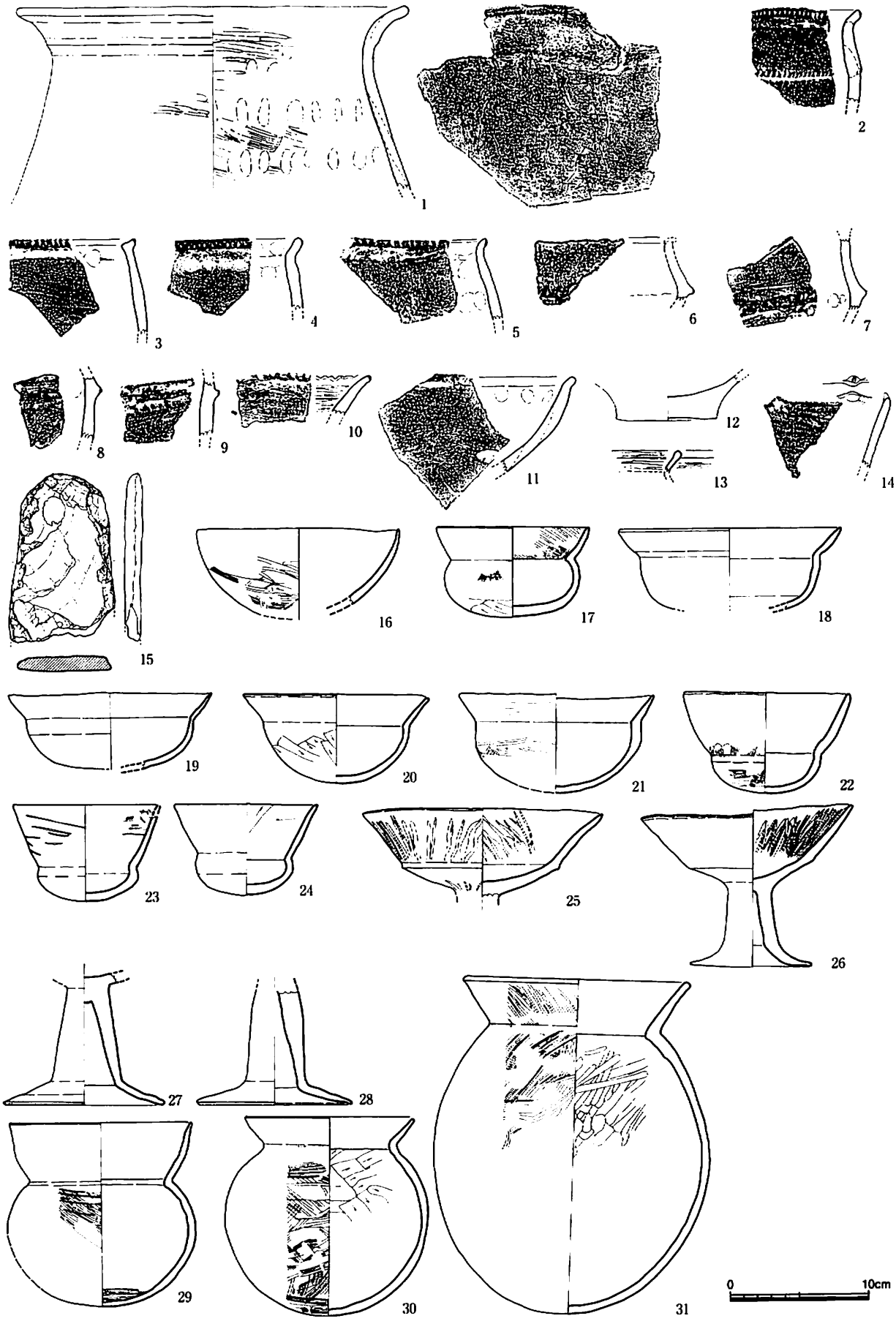


図52　0104調査地点出土遺物実測図１（１／４・１／３）

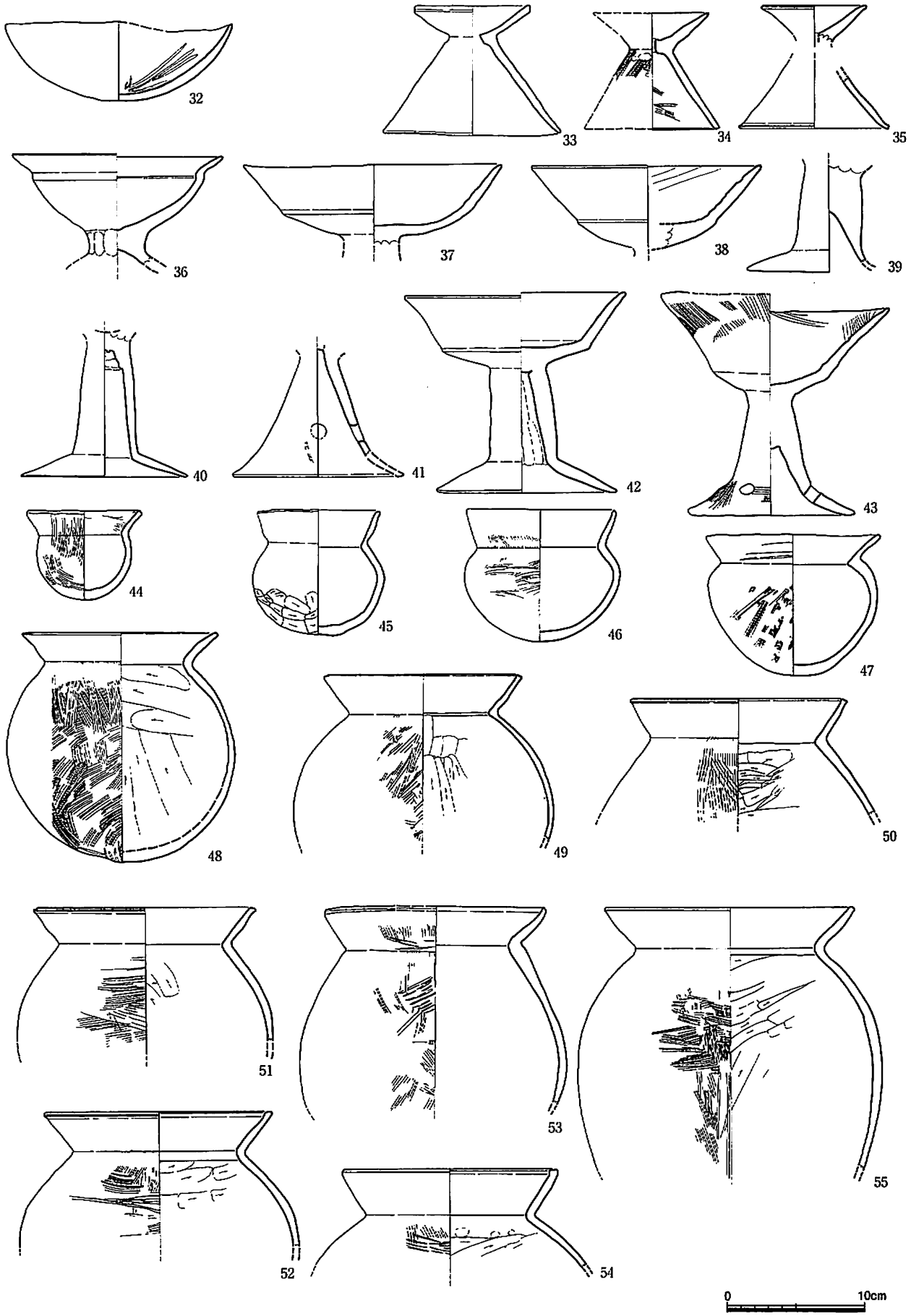


図53　0104調査地点出土遺物実測図２（１／４）

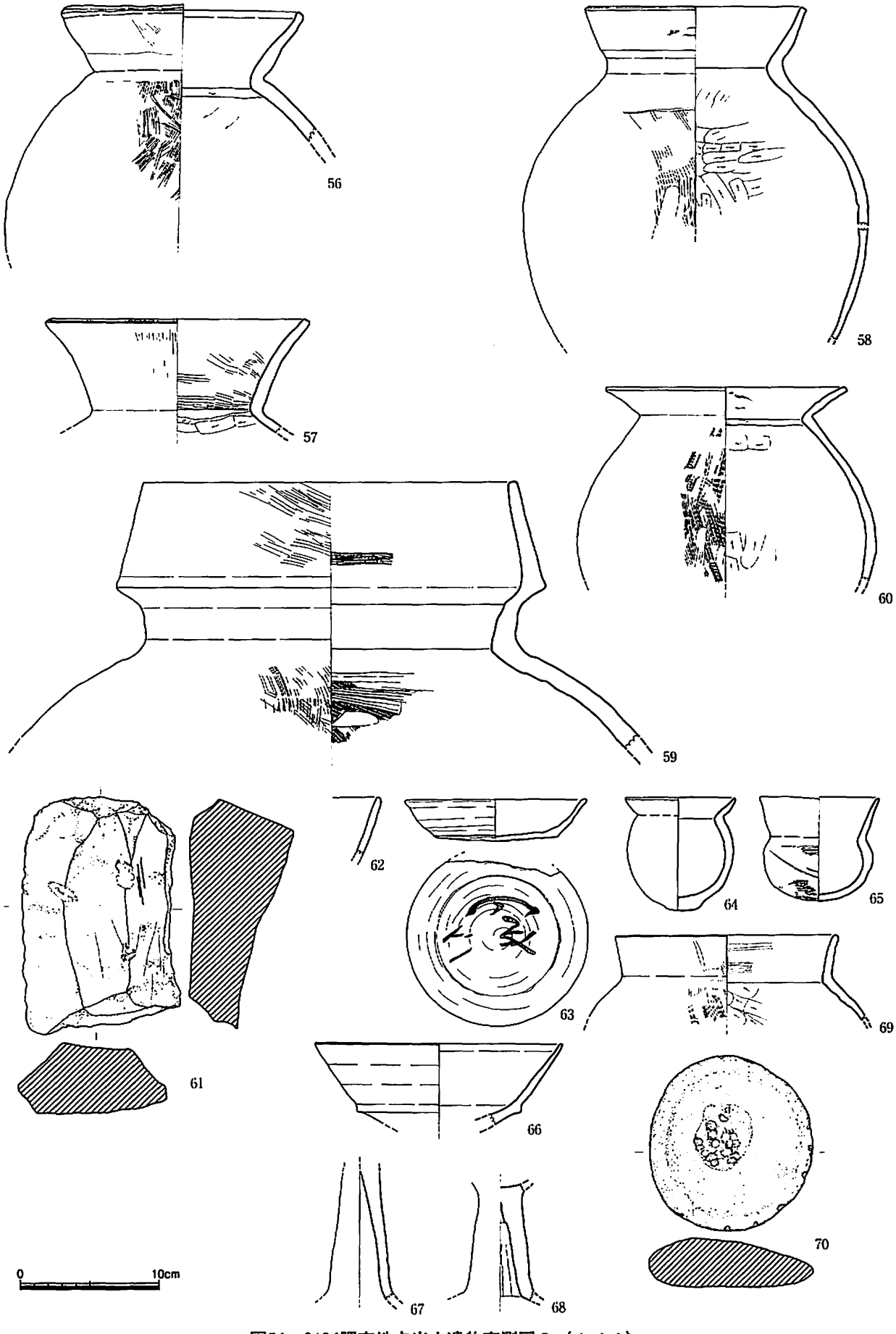
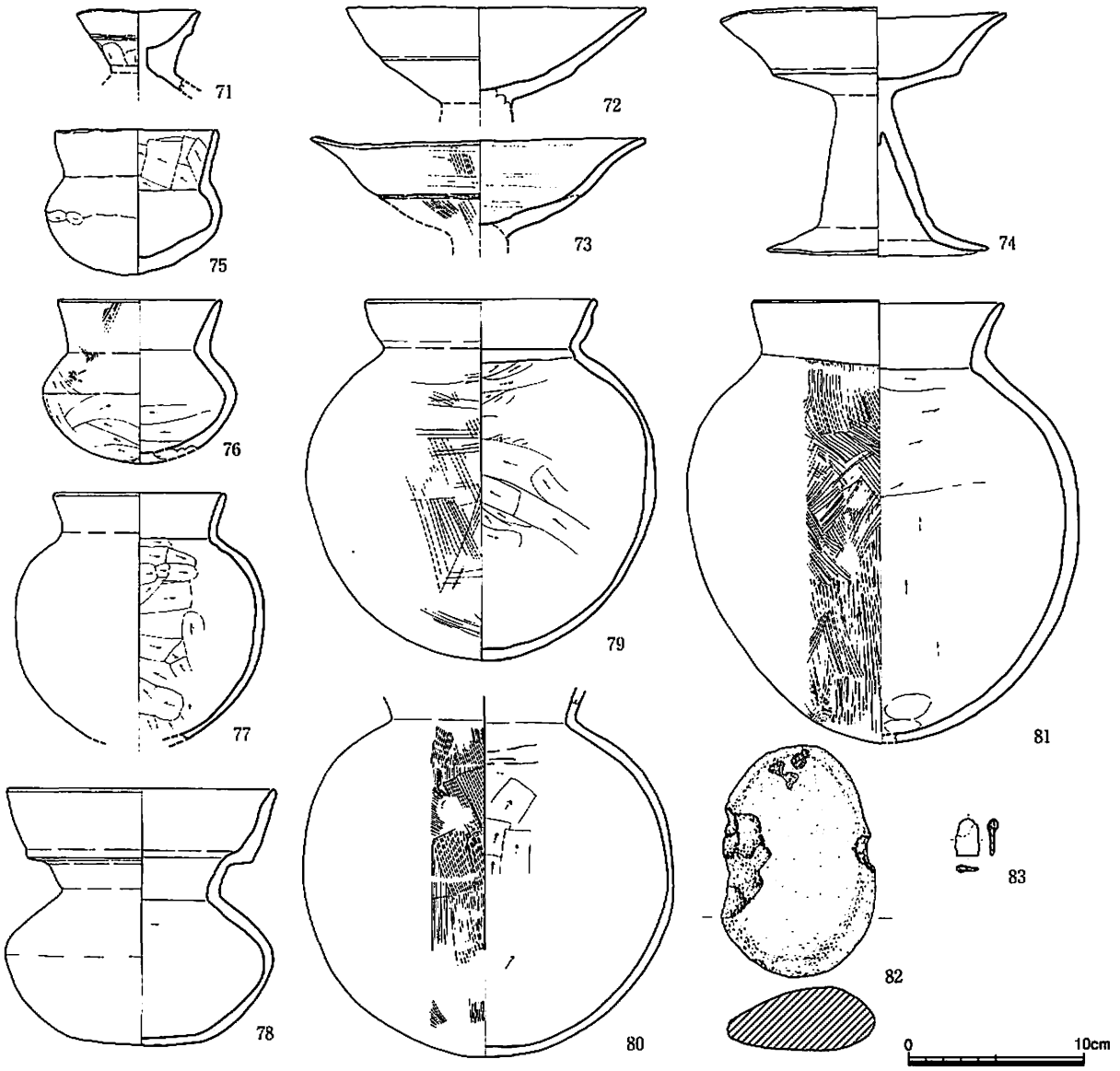


図54　0104調査地点出土遺物実測図３（１／４）



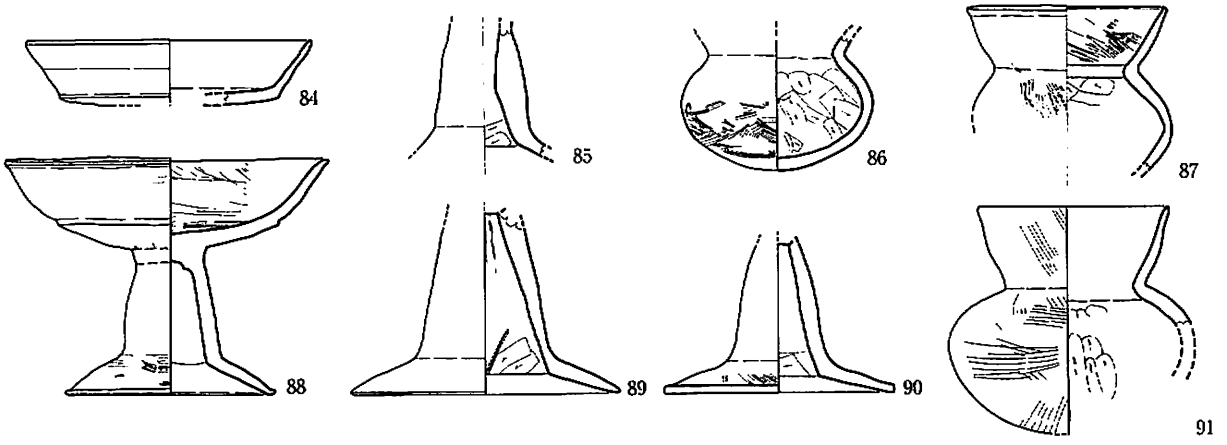


図55　0104調査地点出土遺物実測図４（１／４）

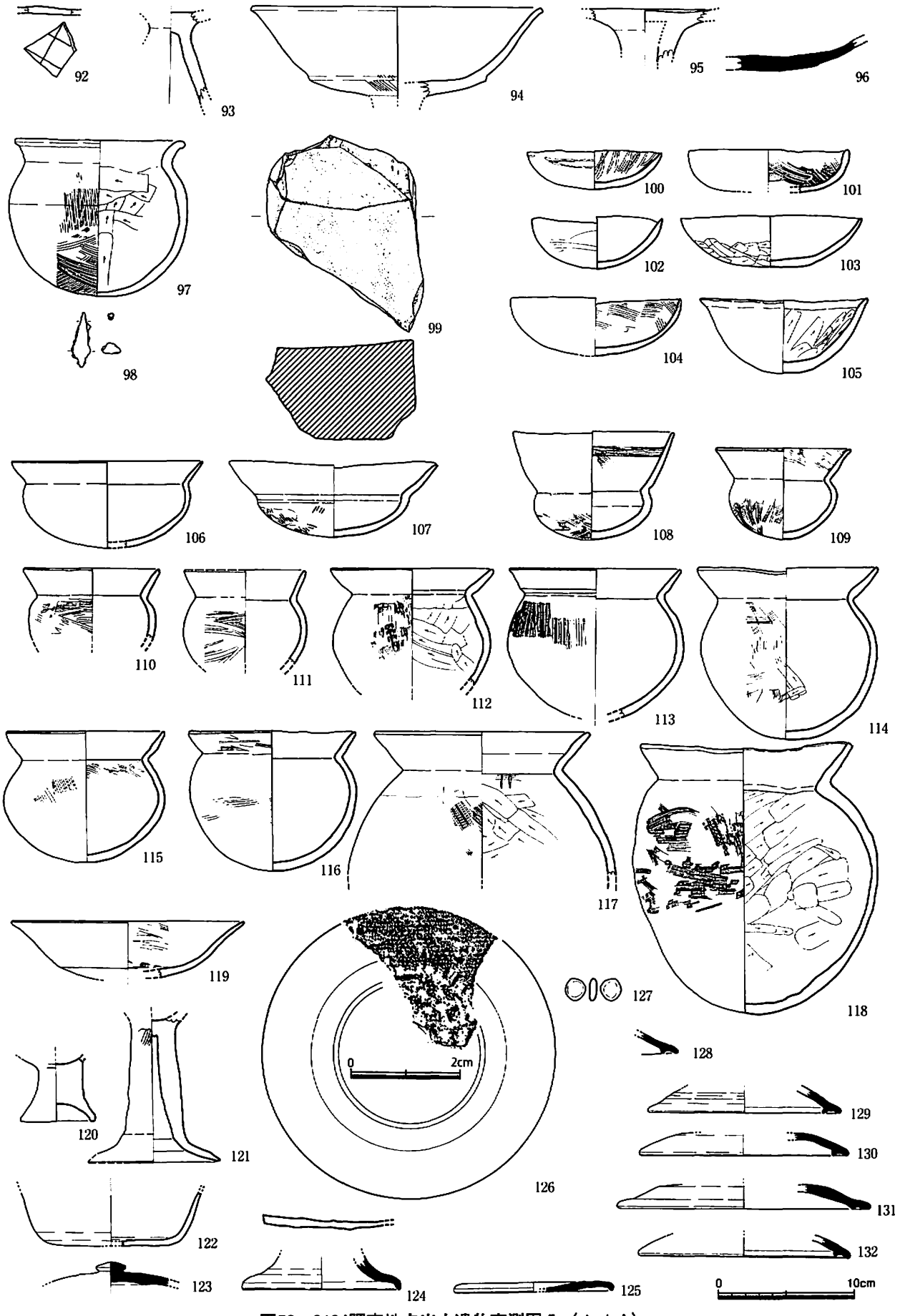


図56　0104調査地点出土遺物実測図５（１／４）

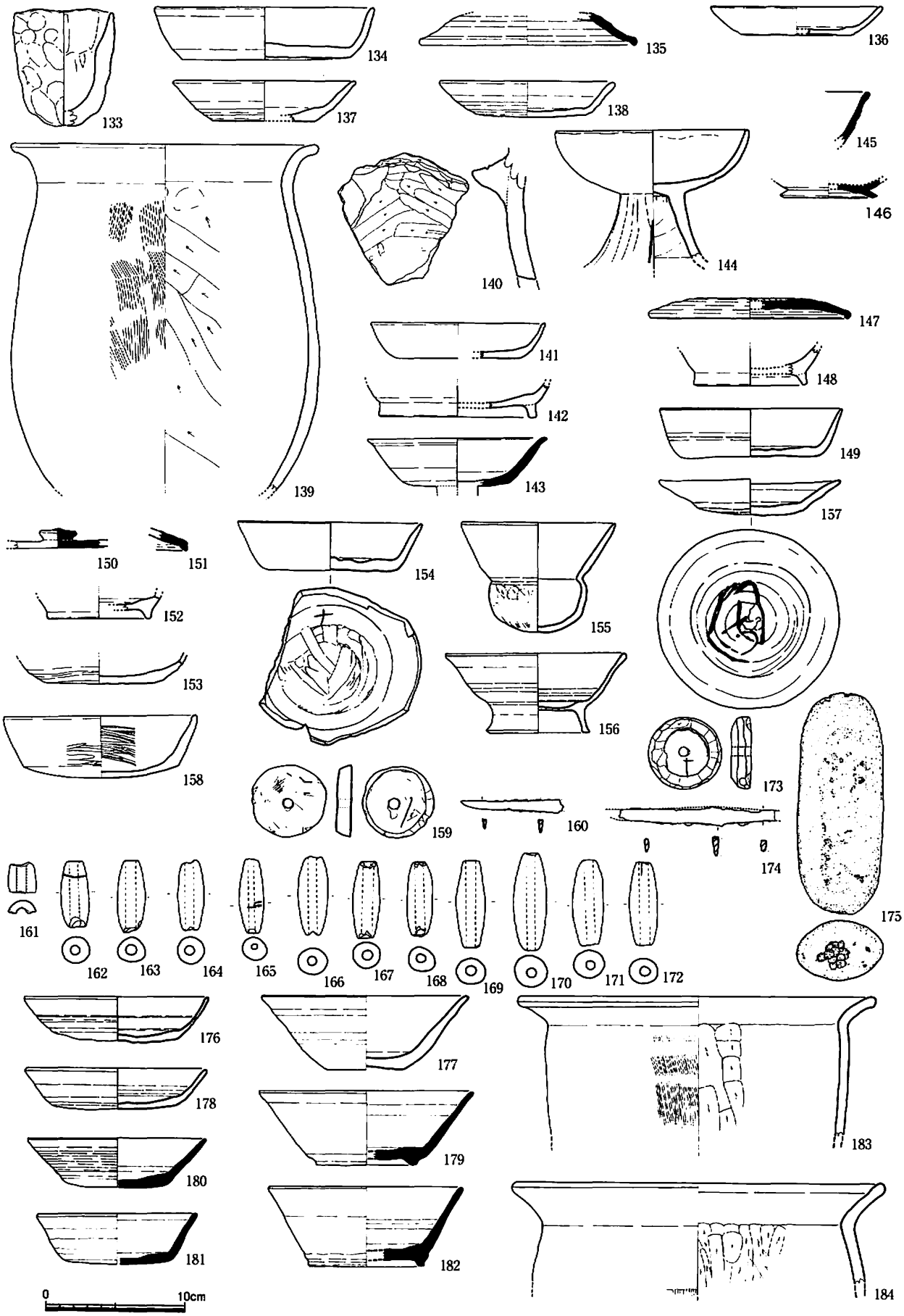


図57　0104調査地点出土遺物実測図６（１／４）

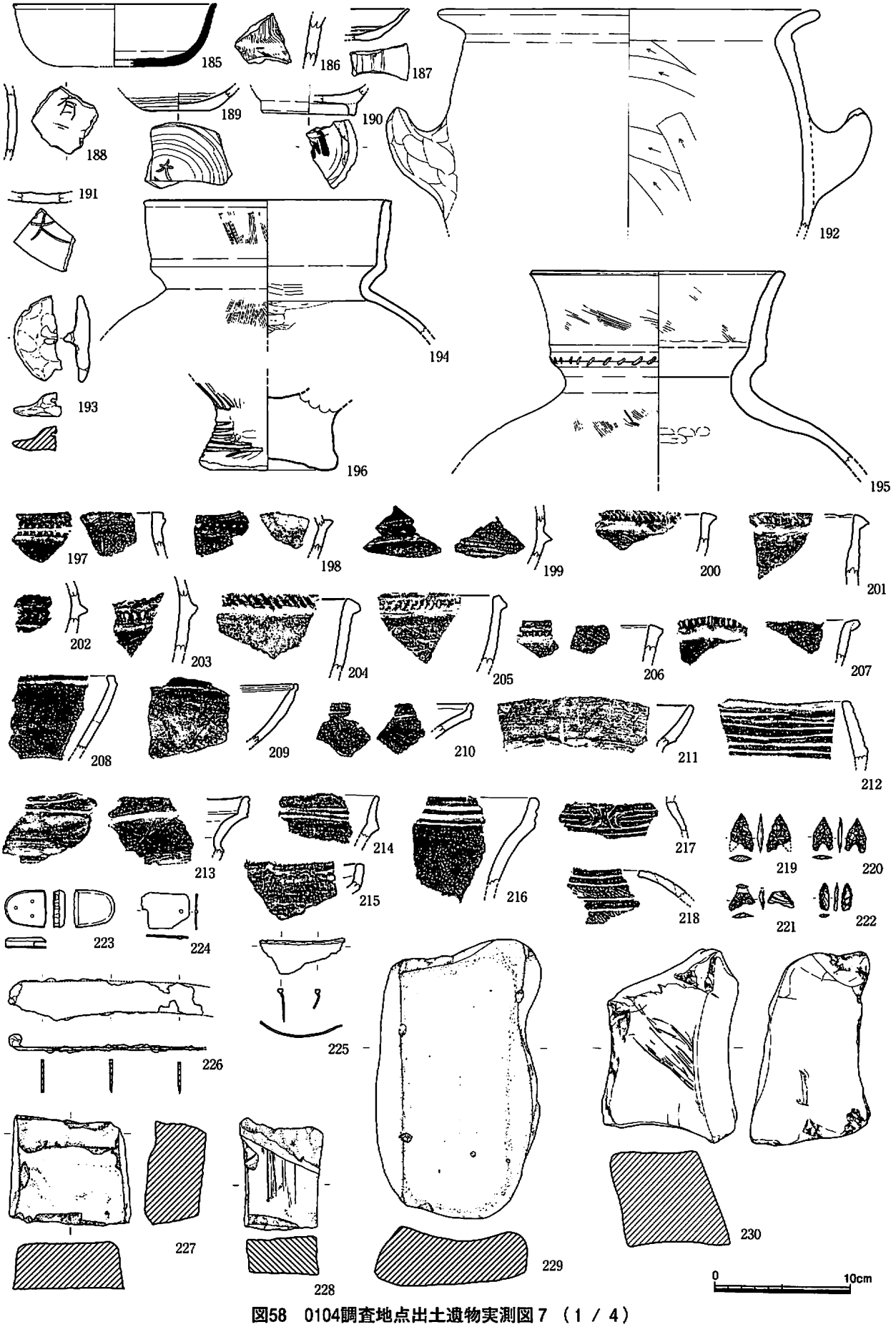


図58　0104調査地点出土遺物実測図７（１／４）

いる。また、縄文土器（213）や石鏃（221）も出土している。

365号溝出土遺物（図54：63）

土師器坏が出土している。図示した土師器坏の底部には、墨書がある。字は不鮮明で正確にはわからないが、既往の調査で周辺から出土している墨書には「安」の文字が多い。365号溝出土の土器も、ウ冠や「女」のように見える箇所があり、「安」の文字の可能性があると思われる。

古墳時代の竪穴住居址出土遺物（図54：64～図56：121）

図54：64～図56：121は、古墳時代の竪穴住居址出土の遺物である。いずれも古墳時代前期の布留式を主とする古式土師器が出土した。器種には、小型丸底壷・高坏・甕・器台・鉢形土器がある。土器以外では、223号竪穴住居址から磨石（82）が出土し、また鉄器？(83）も出土している。32号竪穴住居址からは鉄鏃（98)、404号竪穴住居址からは砥石（99）が出土している。

古代の竪穴住居址出土遺物（図56：122～155）

図56：122～図57：155までが、古代の竪穴住居址から出土した遺物である。７世紀末～９世紀代の土師器・須恵器が出土している。土器以外には、９号住居址から古墳時代の小型仿製鏡の破片（図56：126）が出土し、碁石（図56：127）も出土している。

１号掘立柱建物址出土遺物（図57：156～157）

１号掘立柱建物を構成する柱穴からは、それぞれ土師器片や須恵器片が出土しているが、144号柱穴からは、地鎮行為のためと思われる土師器の蓋・坏が出土した。蓋には鑑定によると「門方人」という墨書が書かれている。中には小石が10数個納められていたが、これらには墨書等の痕跡はなかった。

41・42号土坑出土遺物（図57：158～160）

41・42号土坑からは、土師器坏と土製紡錘車・刀子が出土した。

158は底部から腰折れぎみに立ちあがる坏であり、内外面とも研磨している。158は土製の紡錘車である。160は刀子の先端部の破片である。

204（253）号ピット出土遺物

204（253）号ピットからは、土製の漁網錘が12点出土した。最も短いもので4.3cm、最も長いもので7.1cmを測る。12点が固まった状態ではなく、数個ずつピット内に浮いた状況であった。

379号井戸出土遺物（図57・58：173～184）

井戸からは、古代の土師器や須恵器などの土器類や貝殻などの食物残滓と思われる自然遺物が出土した。遺物は各層で見られたが、ある程度集中して出土する傾向があり、何度か不用になったものをまとめて廃棄したり、あるいは井戸祭祀を行ったと考えられる。これらの土器には、時期差はみられなかった。土器以外の遺物で注目されたのは、12層は貝からなり、土嚢約30袋分の量になった。調査室で水洗選別を行なったところ、７種類程の貝類があったほか、小動物の骨も検出された。最も多かった貝は、アサリに似たバカガイという貝である。また、亀の腹甲があり甲板が本来の配列通りに出土し、食に饗してすぐに廃棄されたものと考えられる。

その他の遺構出土遺物（図58：185～230）

その他の遺構・包含層からの出土遺物中、ピックアップしたものを掲載した。図58：188～191は刻書や墨書土器である。「大」「有」などが判読できる。図58：193は手捏ねの土製鏡である。周辺の9901調査地点でも出土例がある。197～218までは縄文土器である。後期後葉から晩期の土器である。223は蛇尾である。石製の飾りに銅板を貼り付けている。内部に繊維が残る。225は青銅製品である。

形状は不明であるが、ボールのような容器のようなものと思われる。このほか、鉄鎌・石鏃・砥石などが出土している。

（5）まとめ

1999年度の調査で病院敷地の北西側に古代の集落とともに、古墳時代前期の住居址群が確認され、先述した2000年度の0006調査地点では、これらの集落が敷地いっぱいまで広がり、良好な状態で遺存していることが確認されていた。これらの結果から、0104調査地点では密な遺構と遺物を検出することが予想され、その通りの調査結果を得た。

これまでに述べてきたように、多くの遺構と遺物を検出し、9901調査地点と0006調査地点の間を埋め、また東西に広く遺構が存在することが確認できた。

今回の調査で注目されたものの一つは、125号溝と30号溝である。

125号溝は弥生時代前期の土器を伴出し、付近一帯での弥生時代の遺構としては、初の検出例となった。この溝の続きはのちに、2003年度の調査（0304調査地点）においても確認され、やはり弥生時代前期の土器資料を得ている。少なくとも、0304調査地点の状況からは、直線的に北西に走っていることが確認されたが、この溝が白川まで達していたか、その範囲は不明である。

30号溝は、流路が特異である。S字に曲がり、環濠の突出部のような屈曲を示している。屈曲も直線的に曲がる部分と緩くカーブを描くような部分がある。このような溝の例は、比較的面的な調査を実施してきた附属病院敷地内においても、他に例を見ないものである。9901調査地点では、弥生時代の溝は検出されておらず、調査区南側で、さらに方向を変えていると考えられる。このように屈曲を繰り返す溝は、通常の溝というより、周濠のような溝の機能を持っていた可能性があると考えられる。

このほか、222号溝でも遺物が多量に出土し、0119調査地点で続きを検出した。本調査地点では、222号溝からは主に古墳時代前期の布留式を中心とする土器群が出土し、堆積状況から古墳時代前期に掘削されたものと考えていたが、0119調査地点で、弥生時代終末の壺や、庄内から布留式ごろの、これまでの古式土師器の中では最も古い形式になる古墳時代初頭の甕が出土し、掘削の時期はこれまで考えていた時期より遡る可能性がある。

文中ですでに記したが、この溝は上部を地山土に類似する土で覆われていた。0119調査地点も同様であり、遺構検出の際に掘削を少々躊躇させられた。古墳時代の223号竪穴住居址の埋土も、中央に地山に似た土が入っており、住居址を検出した当初は埋土の逆転現象に困惑した。この傾向は、0411調査地点でも見られ、古墳時代の住居址の上面一面に、これに類似する土が張り付けてあるようにあり、やはり遺構の把握・掘削に若干の障害となった。これら数例の積み重ねを概観すると、病院敷地内の古墳時代の遺構は、地山に類似する土で、意図的に封じられたようである。これが古墳時代前期以降、古墳時代に行われたものか、あるいは古代になって行われたものかは不明である。

古墳時代の集落の様子としては、竪穴住居址は白川を向き、9901調査地点同様に、切り合うことがほとんどないよう、一定の間隔をおいて造られていたようである。

古代には、7世紀後半から9世紀にかけての竪穴住居址や掘立柱建物址が造られるようになった。古墳時代の住居址同士の切り合いが無いのに対し、古代の住居址は重複が著しい。同じ場所で4～5軒（回）の建替が行われている。出土遺物も特異である。刻書・墨書土器、蛇尾、ミニチュア土器など一般集落とは異なる居住者を想定させるものである。

0006調査地点・0104調査地点・0119調査地点の調査結果を総合すると、付近では縄文後期の遺物はあるが、遺構はまだ未検出である。遺構の構築という点では、今回検出した125号溝の例から、弥生

時代の前期に土地の利用が見られる。しかし、溝を掘削したのみで、生活の場としての利用は見られない。既往の調査で遺構が検出されないほか、弥生時代の遺物がほとんど出土しないことからすれば、弥生時代の集落が存在した可能性は低いと考えられる。次に弥生時代終末から古墳時代前期に、一帯では集落が営まれるようになるが、前期以降は不明である。古代になると、再び集落が営まれるようになる。9901調査地点の南半は溝が数本走り、竪穴住居址や掘立柱建物は調査区北半に集中している。9901調査地点北半と0006・0104・0119調査地点までの南北約600mの間に、建物群が集中して築かれたようである。9901調査地点から800mほど南に位置する0509調査地点では、古墳時代・古代の集落を確認しているが、0509調査地点では掘立柱建物址と思われる遺構は1棟のみで、遺構の構成としては竪穴住居址に限られるといってよい。今後、本調査区と9901調査地点、0509調査地点の遺構や遺物を精査し、二つの集落の違いを明らかにすることが課題である。

表8　0104調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
52	1	弥生土器	甕	口径 28.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ後磨き,ハケ目後指ナデ・指オサエ 外：回転ナデ,磨き	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	125号溝	
	2	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 4	125号溝	刻目突帯文
	3	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ,指オサエ 外：ナデ	内：Hue 10YR 4 / 2 外：Hue 10YR 3 / 2	125号溝	刻目突帯文
	4	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ヨコナデ,指オサエ 外：ナデ	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	125号溝	刻目突帯文
	5	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ヨコナデ,指オサエ 外：ヨコナデ	内：Hue 7.5YR 5 / 4 外：Hue 5 YR 5 / 4	125号溝	刻目突帯文
	6	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ,指オサエ 外：ヨコナデ	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 6 / 2	125号溝	刻目突帯文
	7	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ヨコナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 5 / 4	125号溝	刻目突帯文
	8	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ヨコナデ,ハケ目後ナデ,ヘラナデ	内：Hue 7.5YR 5 / 4 外：Hue 7.5YR 5 / 3	125号溝	刻目突帯文
	9	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ,指オサエ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 7.5YR 7 / 4	125号溝	刻目突帯文
	10	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ヘラ磨き 外：ヘラ磨き	内：Hue 10YR 5 / 3 外：Hue 10YR 5 / 3	125号溝	刻目突帯文
	11	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ,指オサエ 外：ナデ,磨き	内：Hue 5 YR 4 / 6 外：Hue 7.5YR 5 / 6	125号溝	
	12	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 7.3 器高	底部のみ	内：ナデ,磨き 外：ナデ,磨き	内：Hue 2.5Y 7 / 2 外：Hue 10YR 8 / 2	125号溝	内底部スス付着
	13	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue N1.5/ 0 外：Hue N1.5/ 0	125号溝	黒色磨研
	14	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：横ナデ 外：条痕？	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 5 / 3	125号溝	口縁端部付近に爪痕
	15	石器	石斧	長 12.15 幅 7.65 厚 1.4	刃部欠損			125号溝	重量183ｇ　緑色片岩
	16	土師器	浅鉢	口径 14.5 底径 器高	ほぼ完形	内：回転ナデ,削り,磨き 外：回転ナデ,ハケ目	内：Hue 5 YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	30号溝	口縁部付近にスス付着
	17	土師器	小型丸底壺	口径 11.1 底径 器高 6.5	ほぼ完形	内：回転ナデ,ハケ目,ヘラナデ 外：回転ナデ,ハケ目,磨き	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 7 / 3	30号溝	内外面に黒斑
	18	土師器	浅鉢	口径 16.0 底径 器高	1 / 3	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	30号溝	内外面にスス付着
	19	土師器	浅鉢	口径 14.6 底径 器高 5.8	ほぼ完形	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6 / 6 外：Hue 10YR 6 / 4	30号溝	
	20	土師器	浅鉢	口径 13.3 底径 器高 6.4	ほぼ完形	内：回転ナデ,指ナデ,磨き 外：回転ナデ,削り,磨き	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 7 / 6	30号溝	
	21	土師器	浅鉢	口径 14.2 底径 器高 7.1	ほぼ完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ,指ナデ,ハケ目	内：Hue 2.5Y 7 / 4 外：Hue 2.5Y 7 / 3	30号溝	内外面に黒斑
	22	土師器	小型丸底壺	口径 12.0 底径 器高 7.2	ほぼ完形	内：回転ナデ,指ナデ 外：回転ナデ,指ナデ,ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 7.5YR 7 / 6	30号溝	
	23	土師器	小型丸底壺	口径 10.5 底径 器高 7.0	ほぼ完形	内：指ナデ,ハケ目,磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	30号溝	内面にスス付着
	24	土師器	小型丸底壺	口径 10.3 底径 器高 6.6	ほぼ完形	内：回転ナデ,指ナデ,磨き 外：回転ナデ,指ナデ,磨き	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 10YR 7 / 6	30号溝	内外面底部に黒斑・スス付着
	25	土師器	高坏	口径 17.4 底径 器高	1 / 2	内：回転ナデ,ハケ目,磨き 外：回転ナデ,ハケ目,磨き	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	30号溝	内外面にスス付着
	26	土師器	高坏	口径 15.3 底径 8.8 器高 11.9	ほぼ完形	内：回転ナデ,磨き 外：回転ナデ,削り	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	30号溝	外面に吹きこぼれ
	27	土師器	高坏	口径 底径 器高 11.5	1 / 2	内：回転ナデ,削り 外：回転ナデ,磨き	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	30号溝	内外面に黒斑
	28	土師器	高坏	口径 底径 器高 11.2	1 / 2	内：回転ナデ,指ナデ,削り 外：回転ナデ,指ナデ,磨き	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	30号溝	内外面に黒斑
	29	土師器	小型丸底壺	口径 13.1 底径 器高 13.4	1 / 3	内：回転ナデ,指ナデ,磨き 外：回転ナデ,指ナデ,ハケ目,削り,磨き	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	30号溝	外面底部に黒斑

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量（cm）	残　存　量	特　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
52	30	土師器	小型丸底壺	口径　12.1 底径 器高　14.3	完形	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue　5 YR 6 / 6 外：Hue　5 YR 6 / 6	30号溝	外面に吹きこぼれ
	31	土師器	甕	口径　16.3 底径 器高　24.3	3 / 4	内：回転ナデ，ハケ目，削り，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　5 YR 6 / 6 外：Hue　5 YR 6 / 6	30号溝	内外面にスス付着
53	32	土師器	浅鉢	口径　16.6 底径 器高　5.7	ほぼ完形	内：指ナデ，削り，磨き 外：指ナデ，磨き	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 7 / 4	222号溝	内外面に吹きこぼれ 外面にスス付着
	33	土師器	器台	口径　8.4 底径　12.9 器高　9.8	完形	内：回転ナデ，指ナデ，削り，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　5 YR 6 / 6 外：Hue　5 YR 6 / 6	222号溝	
	34	土師器	器台	口径　8.4 底径　9.8 器高　8.5	1 / 2	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue　2.5Y 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 4	222号溝	内外面にスス付着
	35	土師器	器台	口径　7.7 底径　10.9 器高	2 / 3	内：回転ナデ，指ナデ，削り，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，磨き	内：Hue　7.5YR 7 / 6 外：Hue　7.5YR 7 / 6	222号溝	内外面にスス付着
	36	土師器	高坏	口径　15.2 底径 器高	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ，削り，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，磨き	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 8 / 4	222号溝	内外面にスス付着
	37	土師器	高坏	口径　18.8 底径 器高	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 6 / 6 外：Hue　7.5YR 6 / 6	222号溝	外面に黒斑
	38	土師器	高坏	口径　16.7 底径 器高	1 / 4	内：回転ナデ，指ナデ，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，磨き	内：Hue　5 YR 6 / 6 外：Hue　5 YR 6 / 6	222号溝	外面にスス付着
	39	土師器	高坏	口径 底径 器高	1 / 4	内：指ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，指ナデ	内：Hue　5 YR 6 / 6 外：Hue　5 YR 7 / 6	222号溝	
	40	土師器	高坏	口径 底径　12.2 器高	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　7.5YR 6 / 6 外：Hue　7.5YR 6 / 4	222号溝	外面にスス付着
	41	土師器	高坏	口径 底径　12.4 器高	1 / 4	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　5 YR 5 / 6 外：Hue　5 YR 6 / 6	222号溝	脚部に穿孔（3ヶ所）
	42	土師器	高坏	口径　16.2 底径　13.1 器高　14.8	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ，削り，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，削り，磨き	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 4	222号溝	外面にスス付着
	43	土師器	高坏	口径　16.7 底径　12.2 器高　16.3	3 / 4	内：回転ナデ，ハケ目，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　5 YR 6 / 6 外：Hue　7.5YR 6 / 6	222号溝	内面にスス付着 脚部に穿孔（3ヶ所）
	44	土師器	小型甕	口径　8.8 底径 器高　6.5	完形	内：指ナデ，ハケ目 外：指ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 6 / 3 外：Hue　10YR 6 / 4	222号溝	外面に黒斑 内面にスス付着
	45	土師器	小型丸底壺	口径　8.9 底径 器高　9.2	完形	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，削り	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 7 / 4	222号溝	内外面にスス付着
	46	土師器	小型丸底壺	口径　10.7 底径 器高　9.7	完形	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue　5 YR 6 / 6 外：Hue　5 YR 6 / 6	222号溝	内外面にスス付着
	47	土師器	小型丸底壺	口径　12.8 底径 器高　10.3	ほぼ完形	内：指ナデ，削り，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 7 / 4	222号溝	外面に黒斑
	48	土師器	壺	口径　14.2 底径 器高　16.6	完形	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7 / 6 外：Hue　10YR 7 / 4	222号溝	内外面にスス付着・吹きこぼれ
	49	土師器	甕	口径　14.5 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 6 / 6 外：Hue　10YR 7 / 4	222号溝	外面全体にスス付着
	50	土師器	甕	口径　15.8 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 6 / 4	222号溝	内面に黒斑 外面にスス付着
	51	土師器	甕	口径　16.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue　7.5YR 5 / 6 外：Hue　7.5YR 5 / 4	222号溝	内外面に黒斑
	52	土師器	甕	口径　16.4 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 6 / 4 外：Hue　10YR 6 / 6	222号溝	外面胴部に波状沈線1条 内外面にスス付着
	53	土師器	甕	口径　14.5 底径 器高	1 / 3	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7 / 6 外：Hue　10YR 7 / 4	222号溝	外面にスス付着
	54	土師器	甕	口径　15.7 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue　10YR 7 / 4 外：Hue　10YR 7 / 4	222号溝	外面に黒斑

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
53	55	土師器	甕	口径 18.2 底径 器高	1 / 4	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	222号溝	外面にスス付着
54	56	土師器	甕	口径 17.5 底径 器高	1 / 3	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 7 / 4	222号溝	内面に黒斑 外面にスス付着
	57	土師器	壺	口径 19.1 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ハケ目 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5Y 6 / 4 外：Hue 2.5Y 6 / 4	222号溝	内外面にスス付着
	58	土師器	甕	口径 16.3 底径 器高	1 / 6	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 8 / 4 外：Hue 10YR 8 / 4	222号溝	内外面にスス付着
	59	土師器	壺	口径 27.2 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ハケ目，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 10YR 6 / 4	222号溝	内外面に黒斑・スス付着
	60	土師器	甕	口径 17.5 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	222号溝	焼きむら 外面にスス付着
	61	石器	砥石	長さ 17.4 幅 11.6 厚さ 7.5				222号溝	重量1000g以上　砂岩
	62	陶器	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内： 外：	にぶい黄褐色の胎土に透明の釉	14号溝	
	63	土師器	坏	口径 13.2 底径 8.9 器高 3.1	ほぼ完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ，回転ヘラ切り	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	365号溝	「安」？・墨書 赤色化粧土
	64	土師器	壺	口径 8.0 底径 2.4 器高 8.1	2 / 3	内：指ナデ，指オサエ，ハケ目 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5Y 6 / 3 外：Hue 2.5Y 5 / 3	208号竪穴住居址	外面にスス付着
	65	土師器	小型丸底壺	口径 8.7 底径 器高 7.5	完形	内：回転ナデ，指ナデ，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	208号竪穴住居址	外面に黒斑
	66	土師器	高坏	口径 18.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	208号竪穴住居址	
	67	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部 1 / 2	内：指ナデ，削り 外：指ナデ，磨き	内：Hue 5 YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	208号竪穴住居址	
	68	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部 1 / 2	内：指ナデ，削り，磨き 外：指ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 7.5YR 6 / 4 外：Hue 7.5YR 6 / 4	208号竪穴住居址	
	69	土師器	甕	口径 16.3 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 8 / 6	208号竪穴住居址	外面にスス付着
	70	石器	磨石	長さ 12.8 幅 11.9 厚さ 3.6				208号竪穴住居址	重量688g　安山岩
55	71	土師器	器台	口径 7.0 底径 器高	1 / 3	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，磨き	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	223号竪穴住居址	
	72	土師器	高坏	口径 17.0 底径 器高	1 / 4	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	223号竪穴住居址	内面に黒斑
	73	土師器	高坏	口径 19.1 底径 器高	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5YR 7 / 6 外：Hue 2.5YR 7 / 6	223号竪穴住居址	内面にスス付着
	74	土師器	高坏	口径 16.4 底径 12.7 器高 14.4	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ，削り，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，磨き	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 10YR 7 / 6	223号竪穴住居址	
	75	土師器	小型丸底壺	口径 9.2 底径 器高 8.4	完形	内：指ナデ 外：指ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 10YR 6 / 4	223号竪穴住居址	内外面にスス付着
	76	土師器	小型丸底壺	口径 9.3 底径 器高 9.4	2 / 3	内：指ナデ，指オサエ，磨き 外：指ナデ，削り	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 10YR 7 / 6	223号竪穴住居址	外面にスス付着
	77	土師器	小型丸底壺	口径 9.8 底径 器高 14.5	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 8	223号竪穴住居址	外面にスス付着
	78	土師器	二重口縁壺	口径 15.2 底径 7.1 器高 14.6	完形	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，削り	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 7.5YR 7 / 6	223号竪穴住居址	
	79	土師器	甕	口径 13.3 底径 器高 20.7	2 / 3	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	223号竪穴住居址	外面に黒斑 内面にスス付着
	80	土師器	壺	口径 底径 器高	3 / 4	内：ヘラ削り後ナデ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 7.5YR 7 / 2	224号竪穴住居址	内面にスス付着
	81	土師器	甕	口径 14.4 底径 器高 25.4	ほぼ完形	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 10YR 8 / 4	223号竪穴住居址	内面に黒斑 外面にスス付着

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
55	82	石器	磨石	長さ 13.2 幅 8.7 厚さ 3.6				223号竪穴住居址	重量572g　安山岩
	83	鉄器	不明鉄器	長さ 2.15 幅 1.4 厚さ 0.25	完形？			223号竪穴住居址	重量1.4g
	84	土師器	高坏	口径 15.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	378号竪穴住居址	
	85	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部1 / 2	内：指ナデ，削り 外：指ナデ	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 10YR 6 / 4	378号竪穴住居址	
	86	土師器	小型丸底壺	口径 底径 器高	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 10YR 7 / 6	378号竪穴住居址	外面に黒斑
	87	土師器	小型丸底壺	口径 10.5 底径 器高	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	378号竪穴住居址	内外面スス付着
	88	土師器	高坏	口径 16.9 底径 11.1 器高 12.5	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 4	378号竪穴住居址	外面にスス付着
	89	土師器	高坏	口径 底径 14.1 器高	脚部2 / 3	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	378号竪穴住居址	
	90	土師器	高坏	口径 底径 12.0 器高	脚部2 / 3	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	378号竪穴住居址	
	91	土師器	小型丸底壺	口径 10.1 底径 器高 12.0	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	378号竪穴住居址	内面に黒斑 外面にスス付着
56	92	土師器	不明	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 5 / 6 外：Hue 2.5YR 5 / 6	385号竪穴住居址	外面にヘラ記号？ 赤色化粧土
	93	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部片	内：指ナデ，削り 外：指ナデ	内：Hue 10YR 5 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	385号竪穴住居址	
	94	土師器	高坏	口径 23.6 底径 器高	1 / 6	内：回転ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5YR 5 / 8 外：Hue 2.5YR 5 / 6	384号竪穴住居址	
	95	土師器	高坏	口径 底径 器高		内：ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 5 / 6	276号竪穴住居址	赤色顔料
	96	須恵器	坏	口径 底径 器高		内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，削り	内：Hue 7.5Y 5 / 1 外：Hue 5 Y 5 / 1	32号竪穴住居址	
	97	土師器	小型丸底壺	口径 12.4 底径 器高 11.7	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 2.5YR 5 / 6	32号竪穴住居址	内外面にスス付着
	98	鉄器	鉄鏃	長さ 4.5 幅 1.3 厚さ 0.75	ほぼ完形？			32号竪穴住居址	重量3.1g
	99	石器	砥石	長さ 14.6 幅 11.4 厚さ 7.3				404号竪穴住居址	重量1000g以上　砂岩
	100	土師器	浅鉢	口径 10.0 底径 器高 2.8	ほぼ完形	内：指ナデ，磨き 外：指ナデ，磨き	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 8 / 4	404号竪穴住居址	外面にスス付着
	101	土師器	浅鉢	口径 11.9 底径 8.0 器高 3.2	1 / 4	内：指ナデ，ハケ目 外：指ナデ	内：Hue 2.5Y 6 / 3 外：Hue 2.5Y 6 / 3	404号竪穴住居址	内面にスス付着
	102	土師器	浅鉢	口径 9.6 底径 器高 3.8	ほぼ完形	内：指ナデ 外：指ナデ，磨き	内：Hue 2.5Y 5 / 3 外：Hue 10YR 6 / 4	404号竪穴住居址	外面に黒斑
	103	土師器	浅鉢	口径 13.2 底径 器高 3.8	1 / 4	内：指ナデ 外：指ナデ，ハケ目，削り	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 10YR 6 / 4	404号竪穴住居址	
	104	土師器	浅鉢	口径 12.3 底径 器高 4.3	ほぼ完形	内：指ナデ，ハケ目，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，磨き	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	404号竪穴住居址	内外面に黒斑
	105	土師器	浅鉢	口径 12.4 底径 器高 5.5	完形	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ	内：Hue 2.5Y 7 / 4 外：Hue 2.5Y 7 / 4	404号竪穴住居址	
	106	土師器	小型丸底壺	口径 14.0 底径 器高 6.5	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目 外：回転ナデ，指ナデ，削り	内：Hue 5 YR 5 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	404号竪穴住居址	
	107	土師器	小型丸底壺	口径 15.3 底径 器高 5.6	完形	内：回転ナデ，指ナデ，磨き 外：回転ナデ，磨き	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	404号竪穴住居址	
	108	土師器	小型丸底壺	口径 11.9 底径 器高 8.0	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	404号竪穴住居址	内外面にスス付着
	109	土師器	小型丸底壺	口径 10.0 底径 器高 6.8	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 10YR 7 / 4	404号竪穴住居址	吹きこぼれ
	110	土師器	小型丸底壺	口径 10.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 7.5YR 8 / 6	404号竪穴住居址	外面に焼きむら

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
56	111	土師器	小型丸底壺	口径 9.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 8 / 4	404号竪穴住居址	
	112	土師器	小型丸底壺	口径 12.0 底径 器高	1 / 4	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8 / 3 外：Hue 10YR 8 / 3	404号竪穴住居址	
	113	土師器	小型丸底壺	口径 12.6 底径 器高	1 / 4	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 6	404号竪穴住居址	外面全体にスス付着
	114	土師器	小型丸底壺	口径 13.3 底径 器高 12.6	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 3	404号竪穴住居址	外面スス付着
	115	土師器	小型丸底壺	口径 11.5 底径 器高 9.6	完形	内：回転ナデ，ハケ目，削り，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 10YR 7 / 4	404号竪穴住居址	内外面に黒斑 外面に吹きこぼれ 胴部に穿孔
	116	土師器	小型丸底壺	口径 12.3 底径 器高 10.4	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ，削り，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 7.5YR 7 / 4	404号竪穴住居址	内外面にスス付着
	117	土師器	甕	口径 16.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5Y 7 / 4 外：Hue 2.5Y 6 / 3	404号竪穴住居址	外面にスス付着
	118	土師器	甕	口径 15.7 底径 器高 19.9	完形	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，タタキ	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 7 / 3	404号竪穴住居址	外面全体にスス付着
	119	土師器	高坏	口径 17.0 底径 器高	口縁部片	内：指ナデ，ハケ目，磨き 外：回転ナデ，磨き	内：Hue 7.5YR 7 / 4 外：Hue 7.5YR 7 / 6	404号竪穴住居址	焼きむら
	120	土師器	高坏	口径 底径 5.4 器高	1 / 2	内：指ナデ，削り 外：指ナデ	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 10YR 6 / 3	404号竪穴住居址	
	121	土師器	高坏	口径 底径 10.7 器高	1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ，削り，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	404号竪穴住居址	外面にスス付着
	122	土師器	坏	口径 底径 9.4 器高	1 / 5	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 8 / 6	9号竪穴住居址カマド	
	123	須恵器	蓋	口径 底径 器高		内：回転ナデ 外：回転ナデ，指ナデ	内：Hue 5 Y 6 / 1 外：Hue 5 Y 6 / 1	9号竪穴住居址	
	124	須恵器	高坏	口径 底径 11.6 器高	脚部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10BG 4 / 1 外：Hue 10BG 4 / 1	9号竪穴住居址	
	125	須恵器	蓋	口径 11.8 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR 2 / 1 外：Hue 10YR 2 / 1	9号竪穴住居址	
	126	青銅器	小型仿製鏡	直径 5.4 厚さ 0.1	1 / 8		緑青色	9号竪穴住居址	重量3.2g
	127	石製品	砥石	長さ 0.16 幅 1.45 厚さ 0.55				9号住居址	重量1.8g
	128	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 0 外：Hue 7.5YR 8 / 0	9号竪穴住居址	外面に自然釉付着
	129	須恵器	蓋	口径 14.2 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5 Y 4 / 1 外：Hue 10YR 2 / 1	9号竪穴住居址	外面に自然釉付着
	130	須恵器	蓋	口径 15.4 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10Y 5 / 1 外：Hue 10Y 5 / 1	9号竪穴住居址	
	131	須恵器	蓋	口径 18.6 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 4 / 1 外：Hue 5 Y 4 / 1	9号竪穴住居址	外面一部降灰
	132	須恵器	蓋	口径 15.6 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 2.5GY 5 / 1 外：Hue N 5 / 0	9号竪穴住居址	
57	133	手捏土器	不明	口径 7.0 底径 器高 8.7	1 / 3	内：ナデ 外：ナデ，指オサエ	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 7.5YR 7 / 4	15号竪穴住居址	外面に焼きむら
	134	土師器	坏	口径 15.8 底径 12.3 器高 3.8	4 / 5	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，ヘラ削り	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 7 / 6	31号竪穴住居址	
	135	須恵器	蓋	口径 15.7 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 7.5YR 6 / 3	361竪穴住居址	
	136	土師器	灯明皿	口径 12.5 底径 8.2 器高 2.15	約1 / 3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，回転ヘラ切り	内：Hue 2.5YR 5 / 8 外：Hue 7.5YR 7 / 6	361号竪穴住居址	内面に赤色顔料 外面にスス付着
	137	土師器	坏	口径 13.2 底径 7.5 器高 3.0	1 / 6	内：回転ナデ 外：回転ナデ，回転ヘラ切り	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 10YR 7 / 4	361号竪穴住居址	内面に赤色顔料
	138	土師器	坏	口径 12.7 底径 7.9 器高 2.2	完形	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5YR 6 / 8 外：Hue 5 YR 6 / 8	361号竪穴住居址	
	139	土師器	甕	口径 22.1 底径 器高	1 / 4	内：回転ナデ，指ナデ，ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	29号竪穴住居址	外面にスス付着

図	番号	遺物	種別(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
57	140	土製品	移動式竈	長さ 9.6 幅 9.5 厚さ 4.1	胴部片	内：ナデ，指オサエ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 4 / 2 外：Hue 5 YR 6 / 6	29号竪穴住居址床面	内面にスス付着
	141	土師器	坏	口径 12.6 底径 9.0 器高 2.55	1 / 3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，回転ヘラ切り	内：Hue 2.5YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 4 / 6	307号竪穴住居址	見込みに指頭押圧 赤色顔料
	142	土師器	碗	口径 底径 11.4 器高	底部片	内：回転ナデ，不定方向ナデ 外：回転ナデ，回転ヘラ切り	内：Hue 5 YR 5 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 4	323号竪穴住居址	底部回転ヘラ切り後高台貼付
	143	須恵器	高坏	口径 13.0 底径 器高	杯部1 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，回転ヘラナデ	内：Hue 5 Y 7 / 1 外：Hue 2.5Y 7 / 2	323号竪穴住居址	
	144	土師器	高坏	口径 14.0 底径 器高	脚部一部欠損	内：磨き 外：指ナデ，磨き	内：Hue 2.5YR 5 / 8 外：Hue 10YR 7 / 4	386号竪穴住居址	内外面に赤色顔料
	145	須恵器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 7 / 1 外：Hue 5 Y 7 / 1	99号竪穴住居址	
	146	須恵器	碗	口径 底径 7.0 器高	底部片	内： 外：回転ナデ，削り	内：Hue 外：Hue 5 Y 4 / 1	99号竪穴住居址	外面高台に自然釉付着
	147	須恵器	蓋	口径 14.6 底径 器高 1.5	1 / 2	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5Y 8 / 1 外：Hue 5 Y 7 / 1	368号竪穴住居址	
	148	土師器	碗	口径 底径 8.2 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 10YR 4 / 2	368号竪穴住居址	
	149	土師器	坏	口径 13.3 底径 10.0 器高 3.7	完形	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，削り	内：Hue 5 YR 7 / 8 外：Hue 5 YR 7 / 8	256号竪穴住居址	焼きむら
	150	須恵器	蓋	口径 底径 器高	つまみ部のみ	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 6 / 1 外：Hue 5 Y 6 / 1	61号竪穴住居址	
	151	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 6 / 1 外：Hue 5 Y 6 / 1	61号竪穴住居址	
	152	土師器	坏	口径 底径 7.4 器高	1 / 6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 6 / 2 外：Hue 2.5Y 6 / 2	61号竪穴住居址	
	153	土師器	坏	口径 底径 7.8 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	61号竪穴住居址	
	154	土師器	坏	口径 13.4 底径 9.7 器高 3.5	2 / 3	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，削り	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	61号竪穴住居址	内面底部にヘラ記号
	155	土師器	小型丸底甕	口径 11.2 底径 器高 8.0	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ，磨き 外：回転ナデ，指ナデ，削り，磨き	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	157号竪穴住居址	
	156	土師器	碗	口径 13.0 底径 7.5 器高 5.8	完形	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	1号掘立柱建物	赤色顔料
	157	土師器	皿	口径 13.1 底径 7.7 器高 2.7	完形	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，削り	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	1号掘立柱建物	「門方人」・墨書
	158	土師器	坏	口径 13.9 底径 11.1 器高 4.5	1 / 2	内：回転ナデ後磨き，指ナデ 外：回転ナデ後磨き，ハケ目	内：Hue 10YR 3 / 1 外：Hue 7.5YR 7 / 6	41号土坑	内面にスス付着
	159	土製品	紡錘車	長さ 5.2 幅 5.2 厚さ 1.0	完形	内：ナデ，削り 外：削り	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	41・42号土坑	重量29.4g
	160	鉄器	刀子	長さ 7.4 幅 1.0 厚さ 0.3	基部欠損			41号土坑	重量4.7g
	161	土製品	土錘	長さ 2.2 幅 2.0 厚さ 0.9	約1 / 6	内： 外：ナデ	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	204号ピット	重量3.9g
	162	土製品	土錘	長さ 4.3 幅 2.0 厚さ 1.9	2 / 3	内： 外：ナデ	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 10YR 6 / 2	204号ピット	重量17.0g
	163	土製品	土錘	長さ 5.3 幅 2.0 厚さ 1.8	ほぼ完形	内： 外：ナデ	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 7 / 3	204号ピット	重量16.0g
	164	土製品	土錘	長さ 5.1 幅 1.9 厚さ 1.95	ほぼ完形	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 7.5YR 6 / 3	204号ピット	重量15.4g
	165	土製品	土錘	長さ 5.4 幅 1.8 厚さ 1.7	完形	内： 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 8 / 4 外：Hue 7.5YR 7 / 6	204号ピット	重量15.0g
	166	土製品	土錘	長さ 5.8 幅 2.1 厚さ 1.9	ほぼ完形	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 10YR 6 / 2	204号ピット	重量20.7g
	167	土製品	土錘	長さ 5.6 幅 2.0 厚さ 1.9	完形	内： 外：ナデ	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 10YR 7 / 4	204号ピット	重量17.8g
	168	土製品	土錘	長さ 5.4 幅 1.8 厚さ 1.8	ほぼ完形	内： 外：ナデ	内：Hue 10YR 5 / 2 外：Hue 10YR 5 / 2	204号ピット	重量16.2g
	169	土製品	土錘	長さ 6.4 幅 2.1 厚さ 1.85	ほぼ完形	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 10YR 7 / 1	204号ピット	重量20.0g
	170	土製品	土錘	長さ 7.1 幅 2.4 厚さ 2.3	ほぼ完形	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 10YR 6 / 3	204号ピット	重量33.9g

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
57	171	土製品	土錘	長さ 6.8 幅 2.2 厚さ 2.0	完形	内： 外：ナデ	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 7 / 3	204号ピット	重量28.4g
	172	土製品	土錘	長さ 6.1 幅 2.0 厚さ 1.8	ほぼ完形	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 10YR 7 / 1	204号ピット	重量19.0g
	173	土製品	紡錘車	長さ 5.3 幅 5.3 厚さ 1.5	ほぼ完形	内： 外：ナデ，削り	内：Hue 外：Hue 10YR 4 / 1	379号井戸	重量49.4g ヘラ記号？あり 焼きむら
	174	鉄器	刀子？	長さ 11.3 幅 1.45 厚さ 0.4	先端部・茎部欠損			379号井戸	重量13.4g
	175	石器	砥石	長さ 16.1 幅 6.2 厚さ 4.9				379号井戸	重量844g　安山岩
	176	土師器	坏	口径 13.4 底径 7.8 器高 3.2	完形	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，削り	内：Hue 2.5YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	379号井戸	赤色顔料
	177	土師器	坏	口径 15.1 底径 5.5 器高 5.4	1 / 5	内：磨き 外：ナデ	内：Hue 10YR 2 / 1 外：Hue 10YR 8 / 2	379号井戸	内面全体に黒色顔料 外面に黒斑
	178	土師器	坏	口径 13.1 底径 8.6 器高 3.1	完形	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，磨き	内：Hue 2.5YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	379号井戸	赤色顔料
	179	須恵器	坏	口径 15.6 底径 7.3 器高 5.4	1 / 5	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ	内：Hue 2.5Y 7 / 2 外：Hue 2.5Y 6 / 2	379号井戸	
	180	須恵器	坏	口径 13.0 底径 7.5 器高 3.6	1 / 3	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ	内：Hue 2.5Y 6 / 1 外：Hue 2.5Y 6 / 2	379号井戸	
	181	須恵器	坏	口径 11.6 底径 7.8 器高 3.7	1 / 5	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，ヘラ削り	内：Hue 5 Y 5 / 1 外：Hue 5 Y 6 / 1	379号井戸	焼きむら
	182	須恵器	坏	口径 14.0 底径 8.5 器高 5.8	1 / 3	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，指ナデ，ヘラ削り	内：Hue N 5 / 0 外：Hue 2.5GY 5 / 1	379号井戸	
	183	土師器	甕	口径 26.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	379号井戸	内外面にスス付着
	184	土師器	甕	口径 27.1 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 7.5YR 7 / 6	379号井戸	内面にスス付着
58	185	須恵器	坏	口径 14.9 底径 9.0 器高 4.7	1 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR 3 / 1 外：Hue 5 YR 3 / 1	65号ピット（99号竪穴住居址内）	
	186	土師器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：ハケ目 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 10YR 5 / 2	265号ピット（99号竪穴住居址内）	
	187	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，磨き	内：Hue 5 YR 6 / 4 外：Hue 2.5YR 5 / 8	290号ピット	
	188	土師器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 10YR 5 / 3	Ⅳ区包含層	「有」・刻書
	189	土師器	坏	口径 底径 4.3 器高	底部片	内：回転ナデ後ヘラ磨き 外：回転ナデ後ヘラ磨き	内：Hue 5 YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	Ⅴ区包含層	「大○」・墨書
	190	土師器	坏	口径 底径 6.8 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 5 / 4 外：Hue 7.5YR 6 / 4	Ⅴ区	文字不明・墨書
	191	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内：ナデ 外：削り	内：Hue 7.5YR 8 / 8 外：Hue 7.5YR 8 / 8	Ⅴ区包含層	「大」？・刻書
	192	土師器	椀	口径 28.2 底径 器高	1 / 6	内：回転ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	Ⅳ区	
	193	土製品	鏡	長さ 6.3 幅 3.5 厚さ 1.8	1 / 2	内：ナデ，指オサエ 外：ナデ，指オサエ	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	Ⅳ区包含層	鏡面スス付着
	194	土師器	二重口縁壺	口径 18.2 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 7.5YR 6 / 6	Ⅳ区	
	195	土師器	二重口縁壺	口径 18.9 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，指ナデ，ハケ目，削り 外：回転ナデ，指ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	Ⅳ区	内外面にスス付着 口縁部にヘラによる文様あり
	196	土師器	壺	口径 底径 10.0 器高	底部のみ	内：ナデ，削り 外：ナデ，ヘラ削り	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	222号溝	内面にスス付着
	197	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue 7.5YR 5 / 3 外：Hue 5 Y 2 / 1	31号竪穴住居址	刻目突帯文 黒色磨研
	198	弥生土器	浅鉢	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，指オサエ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 5 / 3 外：Hue 2.5Y 3 / 1	30号溝	刻目突帯文
	199	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	30号溝	刻目突帯文
	200	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 7.5YR 3 / 1 外：Hue 7.5YR1.7/ 1	166号ピット	刻目突帯文 黒色磨研

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
58	201	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，指オサエ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	190号ピット	刻目突帯文
	202	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6 / 6 外：Hue 10YR 6 / 6	包含層	刻目突帯文
	203	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 2.5Y 4 / 1	包含層	刻目突帯文
	204	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：ナデ	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 10YR 3 / 1	305号ピット	刻目突帯文
	205	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：削り	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	Ⅳ区	刻目突帯文 一部にスス付着
	206	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 2.5Y 3 / 1	32号竪穴住居址	刻目突帯文
	207	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ，指オサエ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 2.5YR 5 / 6	32号竪穴住居址	刻目突帯文
	208	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 2.5Y 5 / 2 外：Hue 2.5Y 6 / 3	30号溝	口縁部に沈線文 黒色磨研
	209	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き，削り 外：磨き	内：Hue 2.5Y 2 / 1 外：Hue 10YR 5 / 2	221号竪穴住居址	口縁部に沈線文 黒色磨研
	210	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き，削り 外：磨き	内：Hue 10YR 5 / 2 外：Hue 10YR 6 / 3	365号溝	口縁部に沈線文
	211	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 6 / 3 外：Hue 2.5Y 3 / 2	365号溝	
	212	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ，磨き	内：Hue 2.5Y 6 / 4 外：Hue 2.5Y 7 / 4	30号溝	口縁部に沈線文 黒色磨研
	213	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 7 / 3 外：Hue 2.5Y 6 / 4	14号溝	口縁部に沈線文
	214	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 2.5Y 6 / 3 外：Hue 2.5Y 6 / 4	撹乱	口縁部に沈線文 黒色磨研
	215	縄文土器	浅鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 3 / 1 外：Hue 10YR 3 / 1	Ⅲ区撹乱	
	216	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 6 / 3 外：Hue 10YR 7 / 4	包含層	口縁部に沈線文
	217	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 6 / 3 外：Hue 2.5Y 2 / 1	包含層	胴部に沈潜による文様 黒色磨研
	218	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：磨き	内：Hue 5 Y 5 / 2 外：Hue 2.5Y 5 / 2	包含層	磨消縄文
	219	石器	石鏃	長さ 2.8 幅 1.7 厚さ 0.4	左脚部欠損			223号竪穴住居址	重量1.2g　黒曜石
	220	石器	石鏃	長さ 2.5 幅 1.5 厚さ 0.25	完形			不明	重量0.8g　サヌカイト
	221	石器	石鏃	長さ 1.25 幅 1.9 厚さ 0.35	先端部欠損			14号溝	重量0.5g　黒曜石
	222	石器	石鏃	長さ 2.0 幅 0.7 厚さ 0.25	完形			32号竪穴住居址カマド	重量0.4g　黒曜石
	223	青銅器	蛇尾	長さ 3.0 幅 2.8 厚さ 0.8				Ⅳ区	重量21.0g 石製品部を含む 繊維付着
	224	青銅器	蛇尾？	長さ 3.5 幅 2.7 厚さ 0.2				Ⅳ区包含層	重量3.5g
	225	青銅器	不明銅器	長さ 幅 厚さ				35号遺構	重量9.8g　緑青色
	226	鉄器	鉄鏃	長さ 14.1 幅 3.1 厚さ 1.2	基部欠損			Ⅴ区	重量27.2g
	227	石器	砥石	長さ 8.1 幅 9.85 厚さ 4.4				28号ピット	重量539g　砂岩
	228	石器	砥石	長さ 8.2 幅 9.1 厚さ 2.9				Ⅳ区	重量225g　砂岩
	229	石器	砥石	長さ 20.6 幅 12.1 厚さ 4.4				28号ピット	重量1000g以上　安山岩
	230	石器	砥石	長さ 14.3 幅 10.0 厚さ 8.8				Ⅴ区	重量1000g以上　砂岩

4．(医病)医療用ガス供給設備室取設工事に伴う発掘調査(0119調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a．調査地と調査経緯

本調査地点は、熊本大学附属病院敷地内の北西隅に位置する。2000年に隣接地を発掘調査しており(0006調査地点)、本地点でも遺構が検出されることが予想された。

本事業は、2000年度の当初の事業計画には挙げられておらず、2001年9月初めに附属病院から施設部に対し、設備設置計画とそれに伴う埋蔵文化財に関する手続きの依頼が出された物件である。2002年2月初めに、発掘調査との指導が下り、直ちに発掘調査の届け出を提出するとともに調査体制を整えた。調査予定の隣接地では、共同溝の建設工事が進められており、施設部と周囲の環境整備・調整を行い、また熊本県教育委員会には発掘届に対する回答が下りる前に着手する許可を得て、2月18日より一次掘削を行うこととした。

2月18日から一次区削を行い、2月25日から作業員を投入して発掘調査を開始し、3月20日に終了した。

b．調査の経過

2002年2月18日　一次掘削開始。
2002年2月25日　調査開始。
2002年3月20日　調査区の全体写真撮影。古墳時代の掘立柱建物址検出、掘削・図面・写真。
　　調査終了。

c．調査の組織

調　査　員：大坪志子・小畑弘己
事 務 担 当：冨永明子
発掘作業員：岡田イツ代・呉判錫・河野義勝・黒木重信・黒木タケ子・白石美智子・鈴木笙子・高松北子・田代理恵・橋口剛士・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・森川征子・森川護・森田登
整理作業員：江口　路・鬼塚美枝・小山正子・泗水直子・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・長谷智子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山嵜早苗・早川　翔

(2) 調査区の基本層序 (図59)

本調査地点は0006調査地点の東側に隣接しており、遺物包含層や遺構の検出レベルはほぼ同じである。1層から3層まで（厚さ1m）が、近現代の整地層である。西側の3層の下、4層・16層が古代の遺物包含層であり、これ以下が遺構の埋土などの文化層である。東側は27・28・33・44層までは近現代の埋土であり、東端の掘り込み（1・2・3・45・46・47・48層）も撹乱である。

(3) 検出遺構

今回の調査で検出した主な遺構は、古墳時代の溝1条、古代の溝1条、古墳時代の竪穴住居址2基、古代の竪穴住居址7基、古墳時代の掘立柱建物址1基である。

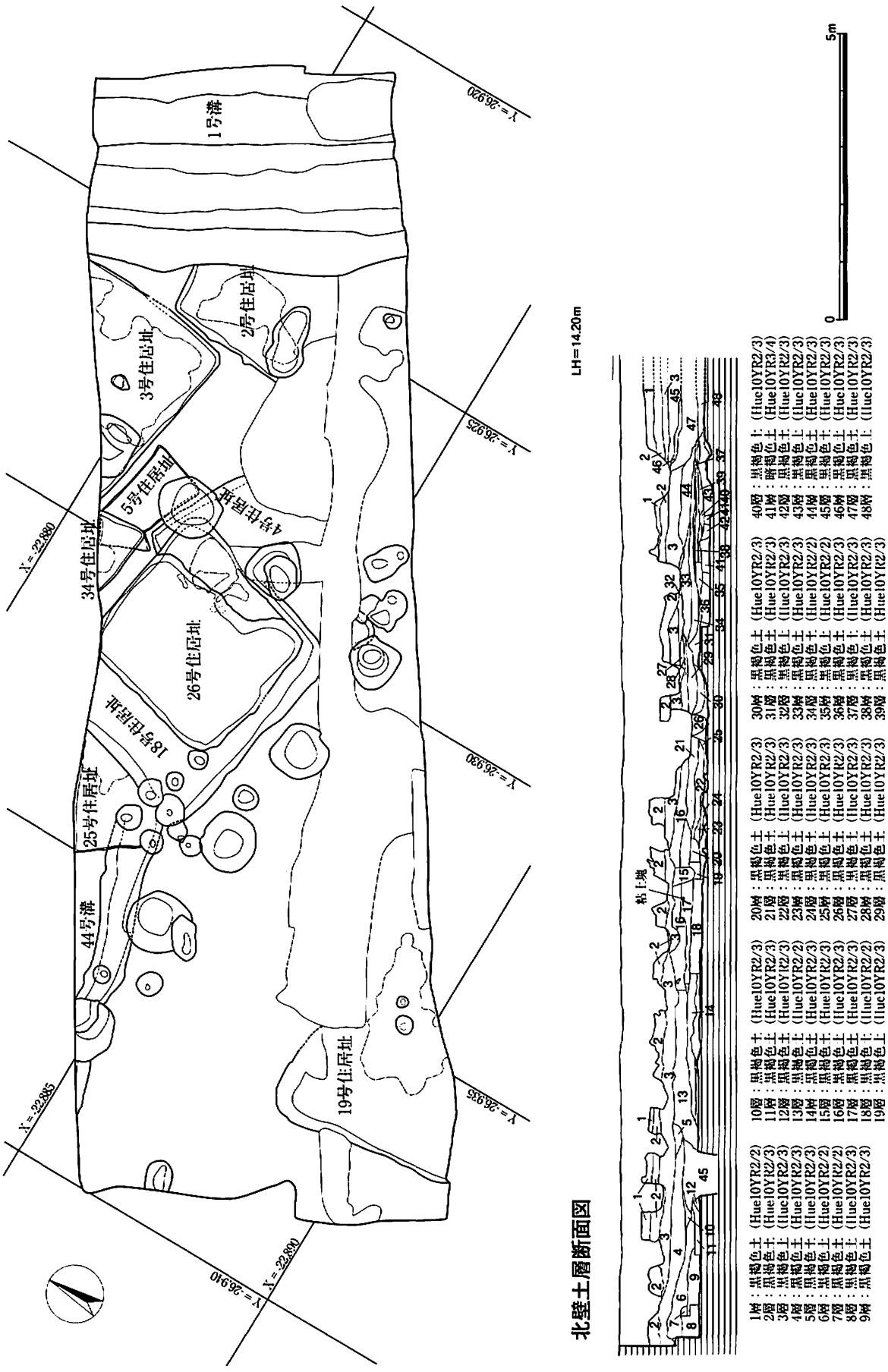


図59　0119調査地点遺構配置実測図・調査区北壁土層断面実測図（1 /100）

＜溝＞

古墳時代の溝

1号溝（図60）

調査区の東端を横切る。方位は北北東から南南西であり、断面は逆台形である。0104調査地点で検出された222号溝の続きである。東側の溝の肩を正確に確認できなかったが、古代包含層以下の遺構面への掘り込みからすれば、溝の幅は約3mであり、0104調査地点より若干幅広くなっている。深さは約1mで溝の底からは、多量の古墳時代前期の土器が出土した。また、弥生時代のものと思われる長頸壷も1点出土した。

古代の溝

44号溝

調査区の北壁下を東西に走る。幅は最も広いところで0.7m、深さは0.3mと細くて浅い、小さな溝である。出土遺物が乏しいが古代と思われる。西側は調査区外に続いていくが、東側は竪穴住居址に切られるようである。住居址において溝の痕跡は確認されなかった。遺物は古代の土師器の砕片が出土した。44号溝の確認は包含層を遺構面（地山）まで下げてからであるが、25号竪穴住居址よりも遅かった。後述する古墳時代の掘立柱建物址の柱穴確認と同様に、終了間際の最後の遺構確認時である。このため、44号溝も古墳時代の遺構である可能性を残すと考える。

＜竪穴住居址＞

古墳時代の竪穴住居址

19竪穴住居址（図61）

調査区の南西隅で検出された。方位は北を向いている。半分が調査区外であり、撹乱により破壊されており全体は不明であるが、現況で東西5mの幅があったことは確認できる。中央やや北寄りに硬化した床面を確認したが、炉や柱穴は確認できなかった。

25号竪穴住居址

調査区北壁沿の中央、やや西よりで検出された。非常に浅く、10cm程度で床を検出した。本住居址の床面が直線的に切れているのが確認されたため、18号竪穴住居址が本住居址を切っている。

古代の竪穴住居址

5号竪穴住居址（図62）

調査区北壁した、中央やや東寄りで検出された。4号・3号竪穴住居址に挟まれた間で確認した。3号住居址と同じ方位で、3号住居址南側に存在したと思われるが、4号・34号竪穴住居址により切られて全容は不明である。

4号竪穴住居址（図62）

調査区のほぼ中央で検出したが、大半がのちの遺構と撹乱により破壊されている。方位は北東を向く。南側に4号竪穴住居址の南島隅の可能性がある掘り込みがあるが、これを基に復元すると3.5×3m程度の長方形の住居址である。

2号竪穴住居址（図63）

1号住居址の西側で検出した。掘削前、1号溝が2号竪穴住居址を切っていると考え、1号溝の掘削を先行して行った。2号竪穴住居址を掘削し、遺物を精査したところ、古代の遺物が出土したため、時期的には本来1号住居址の上に構築されていたことは判明した。2号竪穴住居址は、3号竪穴住居址と同様に北を向く。現状は1　×2.7mであるが、1辺3mはある住居址と思われる。

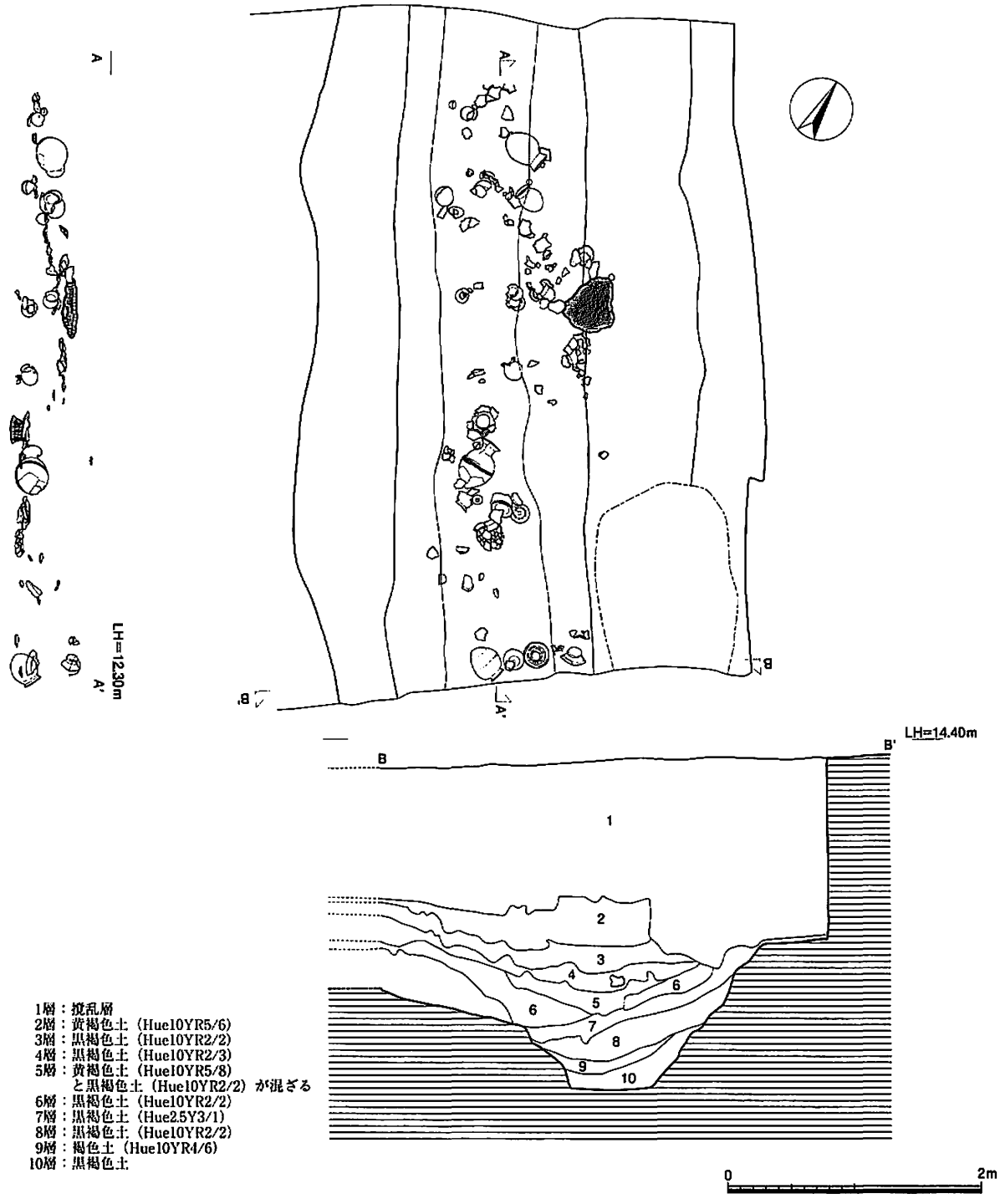


図60　1号溝出土遺物実測図・土層断面実測図（1 /50）

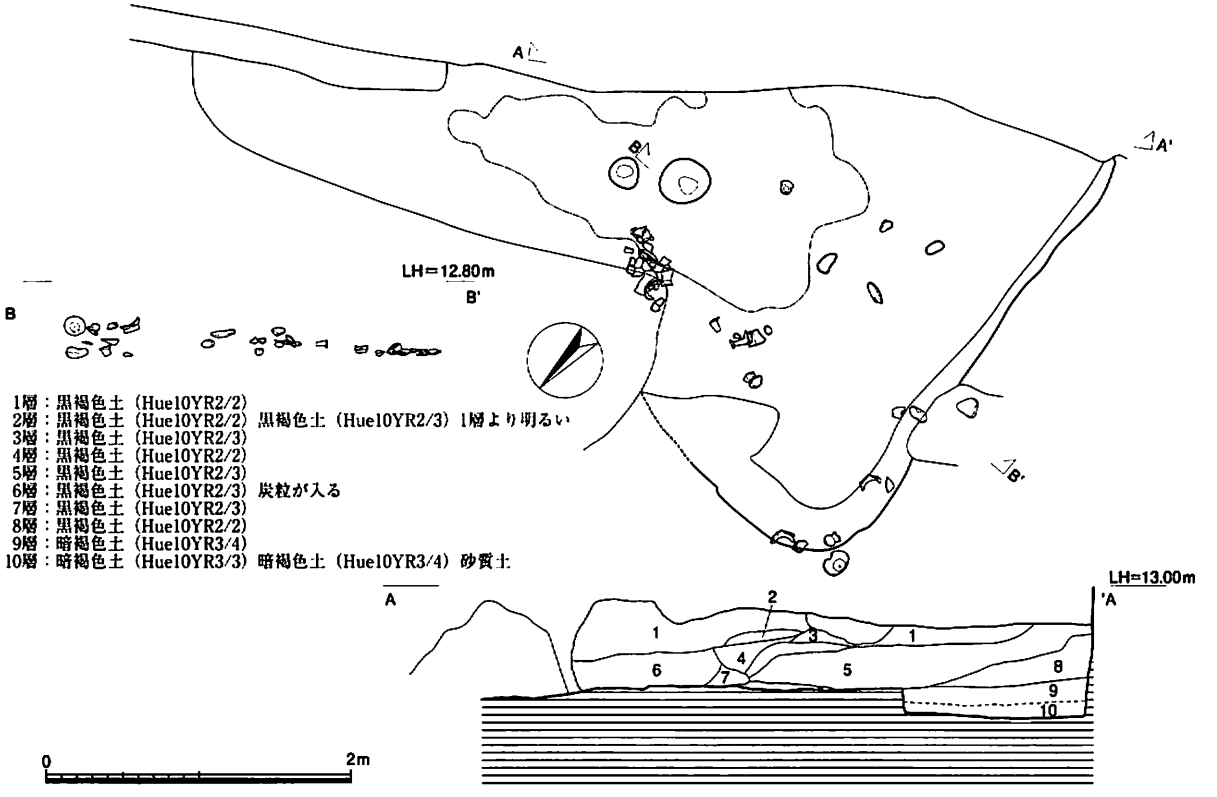


図61　19号竪穴住居址実測図（1 /50）

3号竪穴住居址（図63）

調査区北壁沿い、1号溝の西側で検出した。北を向く。現状は3.2×3.0mである。本来は1辺が3m以上の住居址であろう。

26・18号竪穴住居址（図62）

18号竪穴住居址は調査区のほぼ中央で検出した。北を向くがわずかに東に振れる。東西8m、南北7mの長方形である。出土遺物から古代の住居址であるが、竈は検出されなかった。26号竪穴住居址は18号竪穴住居址の中央で検出した。入れ子状になっている。18号竪穴住居址の遺物などを取り上げたのち、中央部に土が異なる部分があったため掘削したところ、4.5× 6mの長方形の遺構となった。竈はない。周辺での既往の調査から、遺構面である褐色の地山の上には、混入物がほとんどないきれいな黒色の土が堆積している。この黒色の土層がいわゆる古代の遺物包含層である。この包含層に対し同じく古代の遺構が掘り込まれるが、この時期のやや下る時期の遺構の埋土は古代の遺物包含層に類似するが、若干耕作土のような黄色や白や赤の粒子が混入した若干色が薄い黒色土である。26号竪穴住居址の埋土をみると、わずかながら底部に古代遺物包含層のきれいな黒色土が堆積し、その上に時期が遅い古代の遺構埋土の土が堆積している。さらにこれは18号竪穴住居址の埋土である。これらから、26号竪穴住居址が先行して造られ、その後に18号竪穴住居址が造られたと考えられる。古代の遺物包含層土が底部にあることから、26号住居址はいったん使用が停止し、ある程度埋没したと思われる。上部の埋土が18住居址号と同じであるため、埋没後に再度掘削されたか、埋没の時期差がほとんどなかったなどが考えられる。

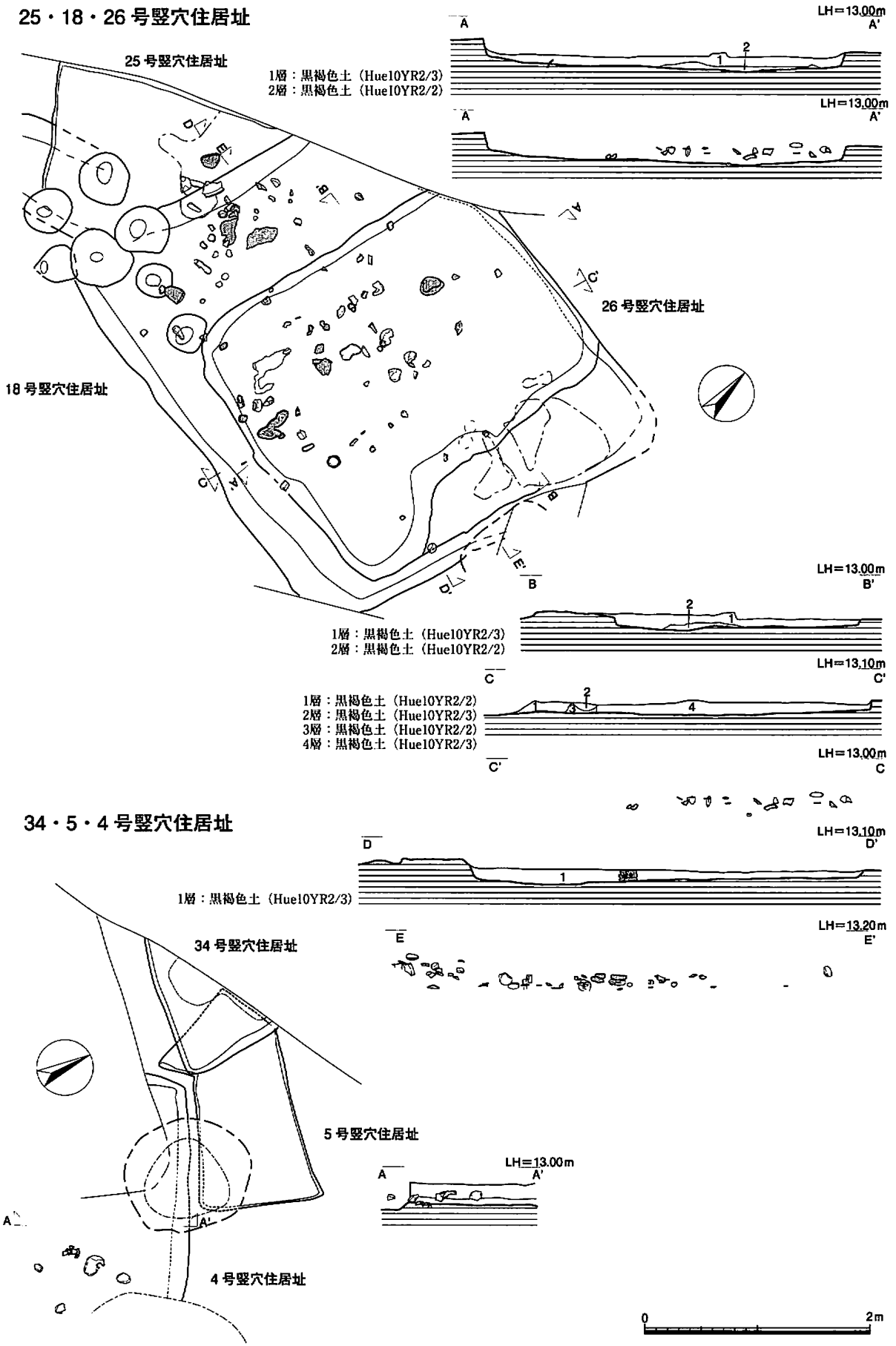


図62　25・18・26・34・5・4号竪穴住居址実測図（1/50）

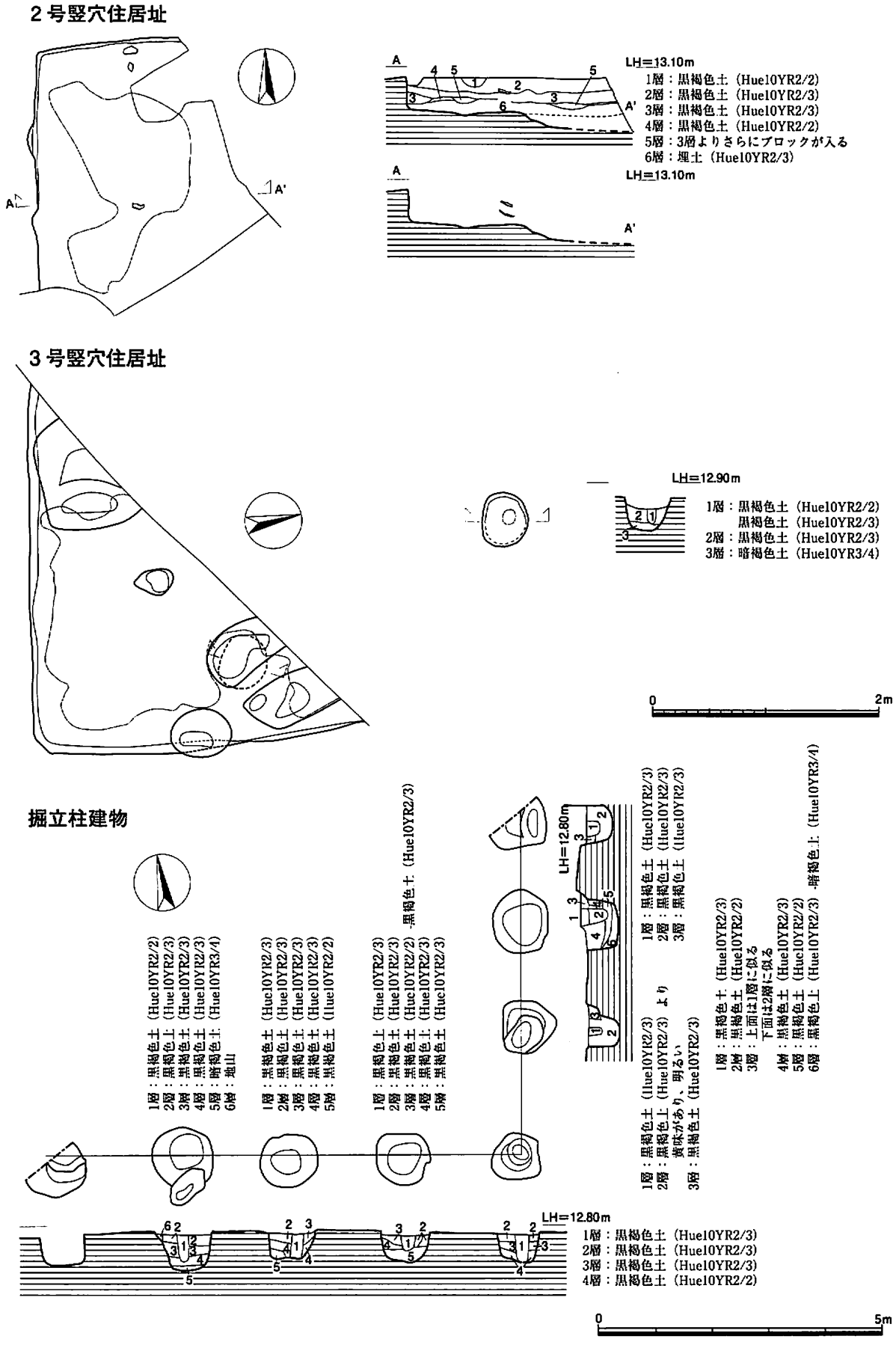


図63　2・3号竪穴住居址・掘立柱建物址実測図（1/50・1/100）

34号竪穴住居址（図62）

調査区北壁沿い、中央付近で3号竪穴住居址と18号竪穴住居址に挟まれた位置で検出した。住居址の角の部分、0.9×1.3mがわずかに調査区にかかる程度で全体の様子は不明である。

＜掘立柱建物址＞

調査区の中央で検出した。現状では3間×4間であり、おおよそ北を向く。柱穴の間隔は、真芯で最長2.2m、最短で1.8m、平均1.97mである。柱穴は最小のもので直径0.8mあり、ほとんどが直径1mである。9901調査地点で検出した掘立柱建物址の柱穴は、直径70cm程度であり、本調査区で検出した掘立柱建物址の柱穴は非常に大きい。柱痕跡からみると、直径20cm程度の木材を使用していたと思われる。

（4）出土遺物

本調査地点の遺物は、1号溝出土の遺物がその大半を占める。竪穴住居址からの遺物は19号竪穴住居址を除くと砕片ばかりで、住居址の時期を的確に示すものは少なかった。1号溝から出土した土器については、器種をそろえることを第一とした。掲載できなかったものは、機会を改めて紹介したい。

1号溝出土遺物（図64・65・66：1～42・70）

0104調査地点における222号溝の続きである。手捏ねのミニチュア土器・小型丸底壷・鉢形土器・甕・二重口縁壷・高坏が出土している。最も注目すべき遺物は、29の甕75の壷である。他の遺物が古墳時代の前期のものであるが、29の甕は調整にタタキを施し、古式土師器の中では最も古く、75の壷は弥生時代終末の所産と考えられる。0104調査地点の222号溝内からは、古墳時代前期をさかのぼる遺物の出土はない。土器のほかには、鉄器（70）が1点ある。

19号竪穴住居址出土遺物（図66：43～51）

古墳時代前期の古式土師器が出土している。手捏ねのミニチュア土器・小型丸底壷・台付小型丸底壷・高坏・甕である。このほか、弥生土器が1点出土している。

その他の遺構出土遺物（図66：52～74）

上記の遺構のほか、各遺構や遺構外が様々な遺物が出土している。

18号竪穴住居址からは、土師器・須恵器が出土し2点を図示した。ほか、土師器の砕片がある。また、鉄鏃と思われる鉄器が1点ある。26号竪穴住居址からは土師器・須恵器が出土し、土師器2点を図示した。撹乱からは、「□弥（祢？）□」文字が書かれた墨書土器が出土している。このほか、弥生土器や縄文土器、土錘、石鏃、刀子等の鉄器が出土している。

（5）まとめ

本調査地点は、本荘北地区の北西隅に位置する。調査区の北側は白川の堤防であり、遺構の分布については不明な点も多かったが、今回の調査で、病院の敷地の北側境界まで遺構が存在していることが判明し、その状況から堤防の下にも続くと思われる。0101調査地点の調査結果に指摘されるように、白川の流路はもっと北側であり、現在は削平された堤防内まで遺跡が広がっていた可能性が高い。一帯の集落については、0104調査地点の項で述べたとおりである。古代の集落の中心は、9901・0104調査地点付近であろうと思われ、0006調査地点はその縁辺部にあたるのではないかと考える。古墳時代の大型柱穴を持つ掘立柱建物址が調査区北側へ展開することから、古墳時代は堤防下や現在は失われた白川の堤防内に、建物群があった可能性がある。

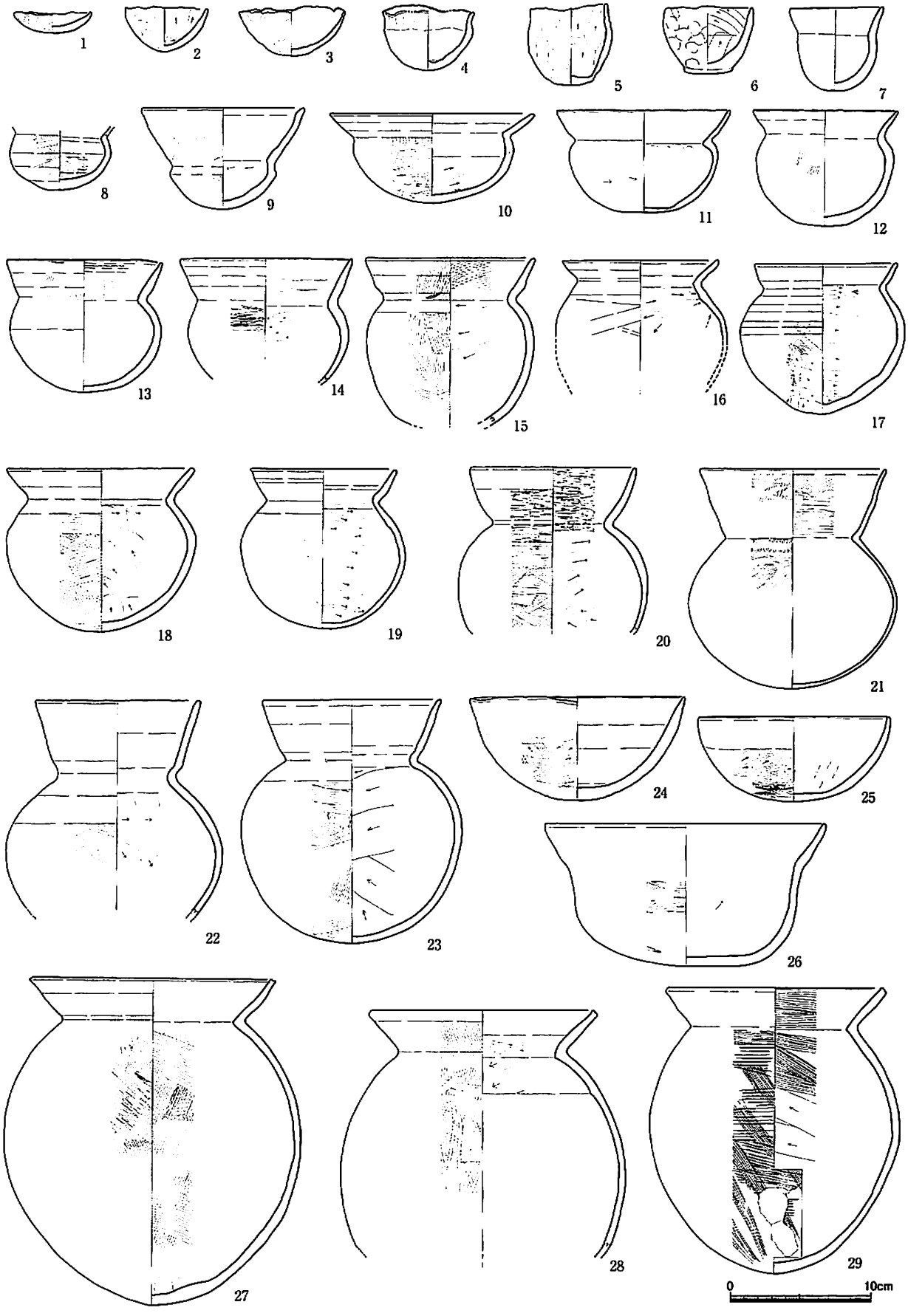


図64　0119調査地点出土遺物実測図１（１／４）

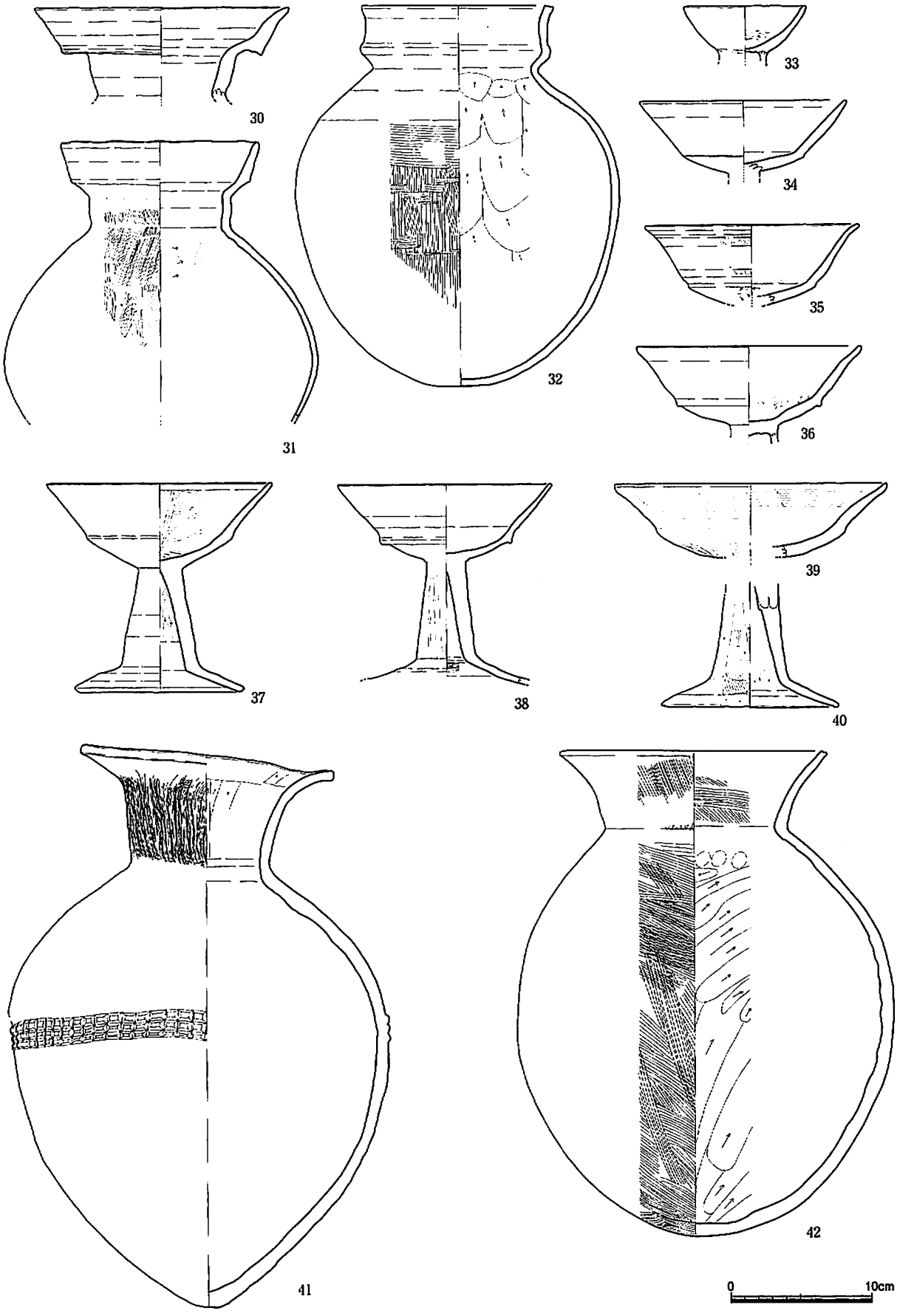


図65　0119調査地点出土遺物実測図２（１／４）

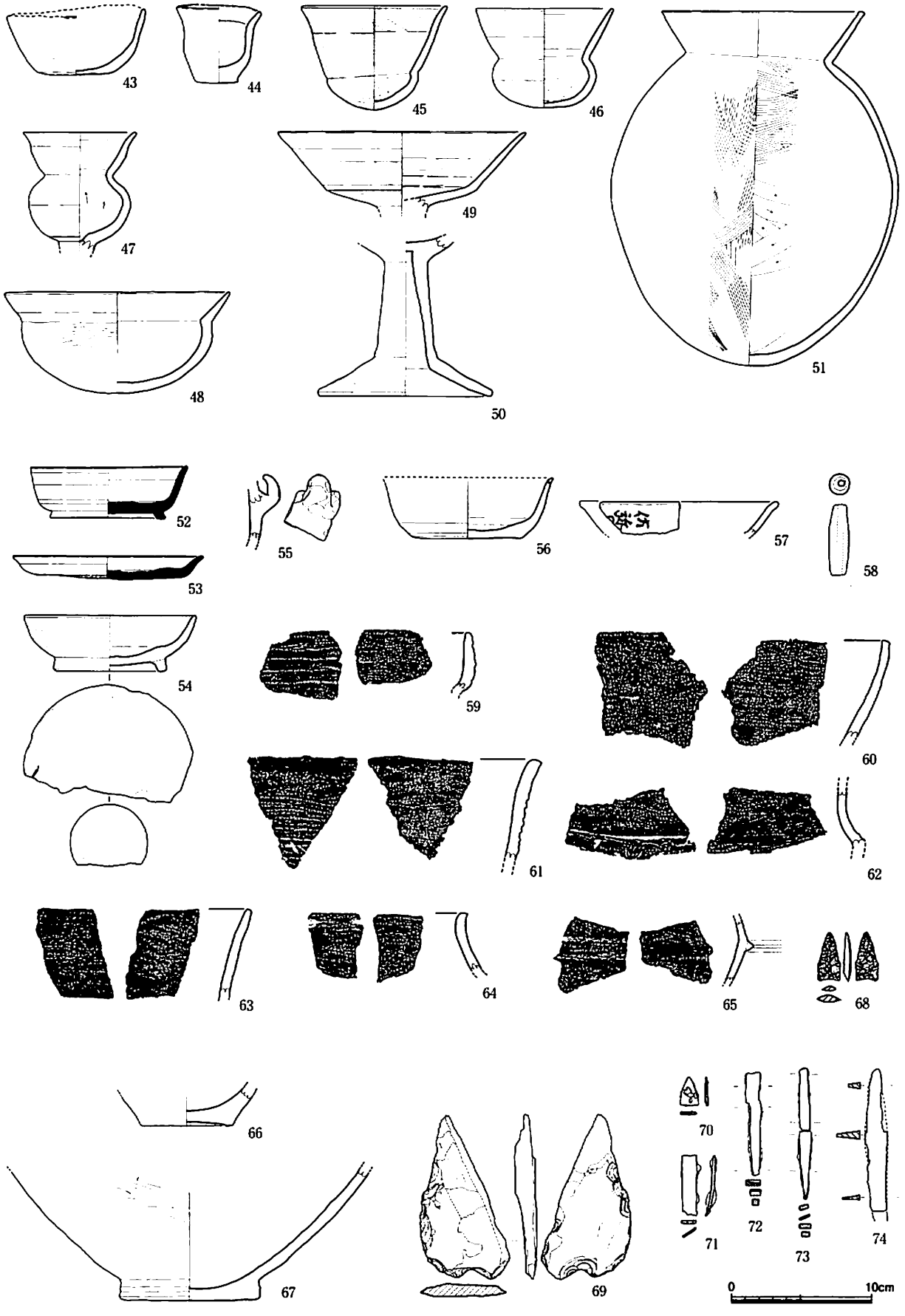


図66　0119調査地点出土遺物実測図３（１／４）

表9　0119調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
64	1	手捏ね土器	鉢	口径 5.5 底径 器高 1.5	2／3	内：ナデ，指オサエ 外：ナデ，指オサエ	内：Hue 10YR 5／2 外：Hue 2.5Y 3／2	1号溝壁	
	2	手捏ね土器	鉢	口径 5.9 底径 器高 3.3	ほぼ完形	内：指ナデ，指オサエ 外：指ナデ，指オサエ	内：Hue 7.5YR 7／6 外：Hue 7.5YR 6／6	1号溝壁	
	4	手捏ね土器	鉢	口径 6.5 底径 器高 4.8	ほぼ完形	内：ナデ 外：指オサエ，ナデ	内：Hue 2.5Y 6／4 外：Hue 2.5Y 6／4	1号溝6～7層	
	5	手捏ね土器	鉢	口径 5.4 底径 2.7 器高 5.9	ほぼ完形	内：指ナデ，指オサエ 外：指ナデ，指オサエ	内：Hue 7.5YR 5／4 外：Hue 7.5YR 6／6	1号溝	
	3	手捏ね土器	鉢	口径 7.5 底径 器高 3.6	ほぼ完形	内：ナデ 外：ナデ，指オサエ	内：Hue 2.5Y 6／3 外：Hue 10YR 7／4	1号溝	圧痕？
	6	手捏ね土器	鉢	口径 6.2 底径 3.4 器高 4.8	ほぼ完形	内：ナデ 外：ナデ，指オサエ	内：Hue 10YR 3／2 外：Hue 10YR 6／4	1号溝	
	7	手捏ね土器	小型丸底壺	口径 6.7 底径 器高 6.2	ほぼ完形	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 6／4 外：Hue 10YR 5／4	1号溝	
	8	土師器	小型丸底壺	口径 底径 器高	2／3	内：ナデ，磨き 外：削り，ハケ目，磨き	内：Hue 10YR 8／4 外：Hue 10YR 7／4	1号溝	
	9	土師器	小型丸底壺	口径 11.6 底径 器高 7.4	約1／2	内：ナデ，ヘラ削り，指オサエ，回転ナデ 外：ナデハケ目，回転ナデ？	内：Hue 2.5YR 6／3 外：Hue 10YR 6／4	1号溝	
	10	土師器	小型丸底壺	口径 14.6 底径 器高 6.5	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，不定方向ハケ目	内：Hue 5 YR 5／6 外：Hue 5 YR 6／6	1号溝壁	
	11	土師器	小型丸底壺	口径 12.3 底径 器高 7.4	約1／2	内：ナデ，指オサエ 外：回転ナデ，ヘラ削り後ナデ	内：Hue 10YR 7／4 外：Hue 10YR 7／4	1号溝	
	12	土師器	小型丸底壺	口径 10.4 底径 器高 8.4	ほぼ完形	内：回転ナデ，ナデ 外：ハケ目，回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5YR 6／6 外：Hue 7.5YR 6／6	1号溝	焼きムラ
	13	土師器	小型丸底壺	口径 11.0 底径 器高 9.5	4／5	内：回転ナデ，ハケ目，ナデ，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，ナデ，磨き	内：Hue 5 YR 6／6 外：Hue 7.5YR 7／6	1号溝	
	14	土師器	小型丸底壺	口径 12.2 底径 器高	1／2	内：回転ナデ，削り，磨き 外：回転ナデ，磨き	内：Hue 5 YR 7／6 外：Hue 2.5YR 6／6	1号溝	外面スス付着 焼きムラ
	15	土師器	小型丸底壺	口径 12.0 底径 器高	1／4	内：磨き，ヘラ削り 外：ハケ目，ナデ，磨き	内：Hue 10YR 5／3 外：Hue 2.5Y 3／2	1号溝	
	16	土師器	小壺	口径 11.0 底径 器高	約1／3	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，不定方向横ナデ	内：Hue 10YR 6／4 外：Hue 5 YR 6／6	1号溝	
	17	土師器	小型丸底壺	口径 10.2 底径 器高 10.7	約1／4	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 7.5YR 6／6 外：Hue 7.5YR 7／6	1号溝	
	18	土師器	小型丸底壺	口径 13.4 底径 器高 11.7	ほぼ完形	内：回転ナデ，ナデ，ハケ目，磨き 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 7.5YR 7／6 外：Hue 5 YR 6／6	1号溝	
	19	土師器	小型丸底壺	口径 10.4 底径 器高 11.4	ほぼ完形	内：回転ナデ，不定方向ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，不定方向ナデ	内：Hue 10YR 7／4 外：Hue 10YR 7／4	1号溝	
	20	土師器	小型丸底壺	口径 11.8 底径 器高	1／3	内：ナデ 外：ハケ目，削り，磨き，ナデ	内：Hue 2.5YR 6／6 外：Hue 7.5YR 7／6	1号溝5～6層	
	21	土師器	小型丸底壺	口径 13.3 底径 器高 15.8	3／4	内：ナデ，ヘラ削り 外：ナデ，削り，ヘラ削り	内：Hue 5 YR 6／6 外：Hue 5 YR 5／6	1号溝	
	22	土師器	壺	口径 10.7 底径 器高 15.3	1／2	内：回転ナデ，指ナデ，不定方向ナデ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 6／6 外：Hue 5 YR 5／6	1号溝	
	23	土師器	壺	口径 12.6 底径 器高 17.4	3／4	内：削り 外：ナデ，削り，ハケ目	内：Hue 10YR 7／4 外：Hue 7.5YR 7／6	1号溝	
	24	土師器	鉢	口径 15.3 底径 器高 7.4	2／3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ハケ目，削り，指オサエ	内：Hue 2.5YR 6／3 外：Hue 10YR 7／3	1号溝	内外面が荒れている
	25	土師器	鉢	口径 13.8 底径 器高 6.1	約1／2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ハケ目，削り	内：Hue 7.5YR 6／6 外：Hue 7.5YR 5／6	1号溝	黒斑
	26	土師器	浅鉢	口径 20.15 底径 器高 10.15	3／4	内：ナデ 外：ハケ目後ナデ	内：Hue 2.5YR 5／3 外：Hue 2.5Y 7／4	1号溝	

図	番号	遺　物	種類(器種)	法量 (cm)	残　存　量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
64	27	土師器	甕	口径 17.5 底径 器高 23.5	ほぼ完形	内：ナデ，ハケ目，指オサエ 外：ナデ，ハケ目，タタキ	内：Hue 5 YR 7 / 8 外：Hue 10YR 7 / 6	1号溝	
	28	土師器	甕	口径 15.7 底径 器高	1 / 2	内：ナデ，磨き，削り 外：ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 5 YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 2 / 1	1号溝	
	29	土師器	甕	口径 15.8 底径 器高 20.5	ほぼ完形	内：ヘラ削り，ハケ目 外：タタキ後ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 3 外：Hue 10YR 6 / 3	1号溝	体部下位に人為的な穿孔（焼成後，内側から）
65	30	土師器	二重口縁壺	口径 18.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	1号溝	口縁外面褐色 焼きムラ
	31	土師器	壺	口径 14.0 底径 器高	1 / 3	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 2.5Y 5 / 3 外：Hue 2.5YR 5 / 8	1号溝	
	32	土師器	二重口縁壺	口径 13.6 底径 器高 27.2	約1 / 2	内：回転ナデ，指ナデ 外：回転ナデ，回転ヨコハケ，不定方向ハケ目	内：Hue 2.5YR 6 / 3 外：Hue 10YR 7 / 4	1号溝	
	33	土師器	高坏	口径 8.65 底径 器高	坏部ほぼ完形	内：回転ナデ，ハケ目，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 10YR 8 / 3 外：Hue 10YR 8 / 2	1号溝	
	34	土師器	高坏	口径 14.8 底径 器高	約1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	1号溝	
	35	土師器	高坏	口径 15.4 底径 器高	1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 5 YR 5 / 6 外：Hue 10YR 7 / 6	1号溝	
	36	土師器	高坏	口径 16.0 底径 器高	坏部ほぼ完形	内：回転ナデ，ハケ目，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	1号溝	
	37	土師器	高坏	口径 16.0 底径 12.0 器高 15.0	3 / 4	内：回転ナデ，磨き 外：ナデ，削り	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 10YR 6 / 4	1号溝	
	38	土師器	高坏	口径 15.2 底径 器高	約1 / 2	内：磨き 外：削り，磨き	内：Hue 2.5YR 6 / 6 外：Hue 2.5YR 5 / 4	1号溝	
	39	土師器	高坏	口径 19.4 底径 器高	坏部1 / 4	内：回転ナデ，ハケ目，ナデ 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	1号溝	
	40	土師器	高坏	口径 底径 器高 12.6	約1 / 2	内：回転ナデ，磨き，回転ヘラ削り 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 7.5YR 5 / 6 外：Hue 7.5YR 5 / 6	1号溝	
	41	土師器	壺	口径 18.0 底径 器高 40.4	ほぼ完形	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 4 / 8 外：Hue 2.5YR 5 / 8	1号溝	突帯文 焼きムラ
	42	土師器	甕	口径 19.0 底径 器高 34.8	完形	内：回転ナデ，ハケ目，ヘラ削り，指オサエ，ナデ 外：ナデ，タタキ，ハケ目	内：Hue 10 YR 7 / 4 外：Hue 10YR 2 / 1	1号溝	
66	43	土師器	鉢	口径 9.8 底径 5.4 器高 5.0	4 / 5	内：ナデ 外：ナデ，指オサエ	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	19号竪穴住居址	手捏ね
	44	土師器	小型鉢	口径 6.0 底径 3.0 器高 5.7	ほぼ完形	内：回転ナデ，ナデ，ハケ目 外：回転ナデ，指オサエ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 4	19号竪穴住居址	手捏ね
	45	土師器	小型丸底壺	口径 10.4 底径 器高 7.5	ほぼ完形	内：ナデ，ハケ目 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	19号竪穴住居址	
	46	土師器	小型丸底壺	口径 9.8 底径 器高 7.1	完形	内：回転ナデ，ヘラナデ 外：回転ナデ，指ナデ，不定方向ナデ	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	19号竪穴住居址	
	47	土師器	小壺	口径 8.0 底径 器高	ほぼ完形	内：回転ナデ，指ナデ，磨き 外：回転ナデ，タテハケ，磨き	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 8 / 8	19号竪穴住居址	
	48	土師器	小型丸底壺	口径 16.0 底径 器高 7.3	約1 / 2	内：回転ナデ，磨き，ナデ 外：回転ナデ，ハケ目，磨き	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	19号竪穴住居址	外器面に黒斑
	49	土師器	高坏	口径 17.6 底径 器高	1 / 2	内：回転ナデ，ハケ目 外：ハケ目後ナデ	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 10YR 6 / 6	19号竪穴住居址	
	50	土師器	高坏	口径 底径 器高 12.4	底部・脚部 1 / 2	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ハケ目，ナデ	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 6	19号竪穴住居址	
	51	土師器	甕	口径 14.6 底径 器高 25.5	ほぼ完形	内：ヘラ削り，ナデ 外：ハケ目，回転ナデ	内：Hue 5 Y 6 / 2 外：Hue 2.5YR 6 / 2	19号竪穴住居址	
	52	須恵器	坏	口径 11.3 底径 4.1 器高 4.0	1 / 2	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 6 / 1 外：Hue N 5 /	18号竪穴住居址 包含層4号竪穴住居址	
	53	須恵器	皿	口径 13.4 底径 10.0 器高 1.7	1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 5 / 1 外：Hue N 5 /	18号竪穴住居址	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
66	54	土師器	椀	口径 12.2 底径 8.0 器高 3.95	約1／2	内：回転ナデ，回転ヘラ磨き 外：回転ナデ，回転ヘラ磨き	内：Hue 5 YR 6／6 外：Hue 5 YR 5／8	26号竪穴住居址	赤色化粧土 圧痕
	55	土師器	椀	口径 底径 器高	取手部	内：削り 外：ナデ，削り	内：Hue 5 YR 7／6 外：Hue 7.5YR 7／4	26号竪穴住居址	
	56	土師器	坏	口径 底径 8.0 器高 4.4	1／2	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR 8／3 外：Hue 10YR 8／6	北壁	
	57	土師器	坏	口径 14.2 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 6／6 外：Hue 5 YR 5／6	攪乱	「？弥（or 祢）…」・墨書 赤色化粧土
	58	土製品	土錘	長さ 5.1 幅 1.45 厚さ 1.45	ほぼ完形	内： 外：ナデ	内：Hue 外：Hue 5 YR 5／6	27号ピット	
	59	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y 6／3 外：Hue 10YR 7／4	包含層西	
	60	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ，削り	内：Hue 10YR 7／4 外：Hue 10YR 6／4	包含層北西	
	61	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 7／6 外：Hue 7.5YR 6／6	43号柱穴	
	62	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ	内：Hue 10YR 6／6 外：Hue 10YR 5／4	包含層	
	63	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 5／4 外：Hue 10YR 4／1	北西部包含層	外面に沈線文
	64	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，磨き 外：ナデ，磨き	内：Hue 10YR 7／3 外：Hue 10YR 7／3	包含層南東	吹きこぼれ状？
	65	弥生土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 7／4 外：Hue 10YR 7／3	19号竪穴住居址	外面に刻目突帯文
	66	縄文土器	深鉢型土器	口径 底径 器高	底部1／3	内：ナデ 外：磨き	内：Hue 2.5YR 6／3 外：Hue 10YR 5／4	2号竪穴住居址	
	67	土師器	鉢	口径 底径 10.0 器高	1／3	内：ナデ，磨き 外：ナデ，削り	内：Hue 10YR 6／3 外：Hue 7.5YR 5／3	包含層	粉炭？
	68	石器	石鏃	長さ 3.5 幅 1.6 厚さ 0.5	完形			包含層西半	重量2.7g　サヌカイト
	69	石器	扁平打製石斧	長さ 11.8 幅 6.4 厚さ 1.5	基部欠損			25号竪穴住居址	重量91.0g　緑色片岩
	70	鉄器	不明	長さ 2.0 幅 1.35 厚さ 0.2	ほぼ完形			1号溝	重量0.6g
	71	鉄器	不明	長さ 4.3 幅 1.4 厚さ 0.5	ほぼ完形			清掃	重量2.9g
	72	鉄器	刀子？	長さ 7.4 幅 1.1 厚さ 0.7	先端部欠損			攪乱	重量7.1g
	73	鉄器	鏃？	長さ 9.4 幅 1.0 厚さ 0.3	先端部欠損			18号竪穴住居址	重量6.7g
	74	鉄器	刀子	長さ 10.2 幅 1.6 厚さ 0.8	基部欠損			包含層	重量13.4g

写真図版

図版 1　9907調査地点

写真 1　調査区全景（南より）

写真 2　調査区南隅傾斜部分（北より）

写真 3　縄文土器出土状況（北西より）

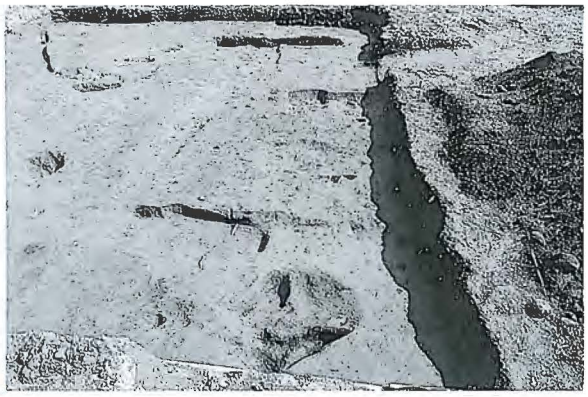


写真 4　遺物出土状況（西より）

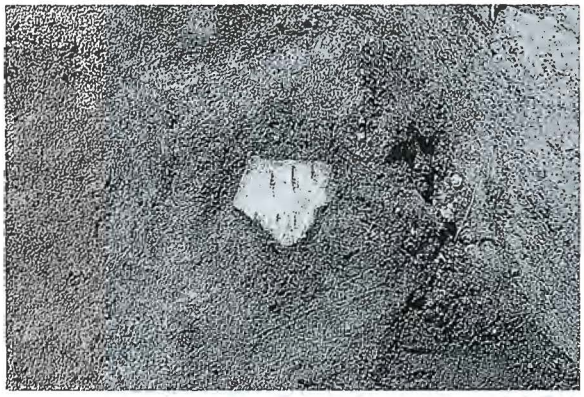


写真 5　縄文土器出土状況

図版２　9907調査地点

写真６　遺物出土状況（南西部）（西より）

写真７　縄文土器出土状況（北より）

写真８　遺物出土状況（南西部）（西より）

写真９　遺物出土状況（北西部）（西より）

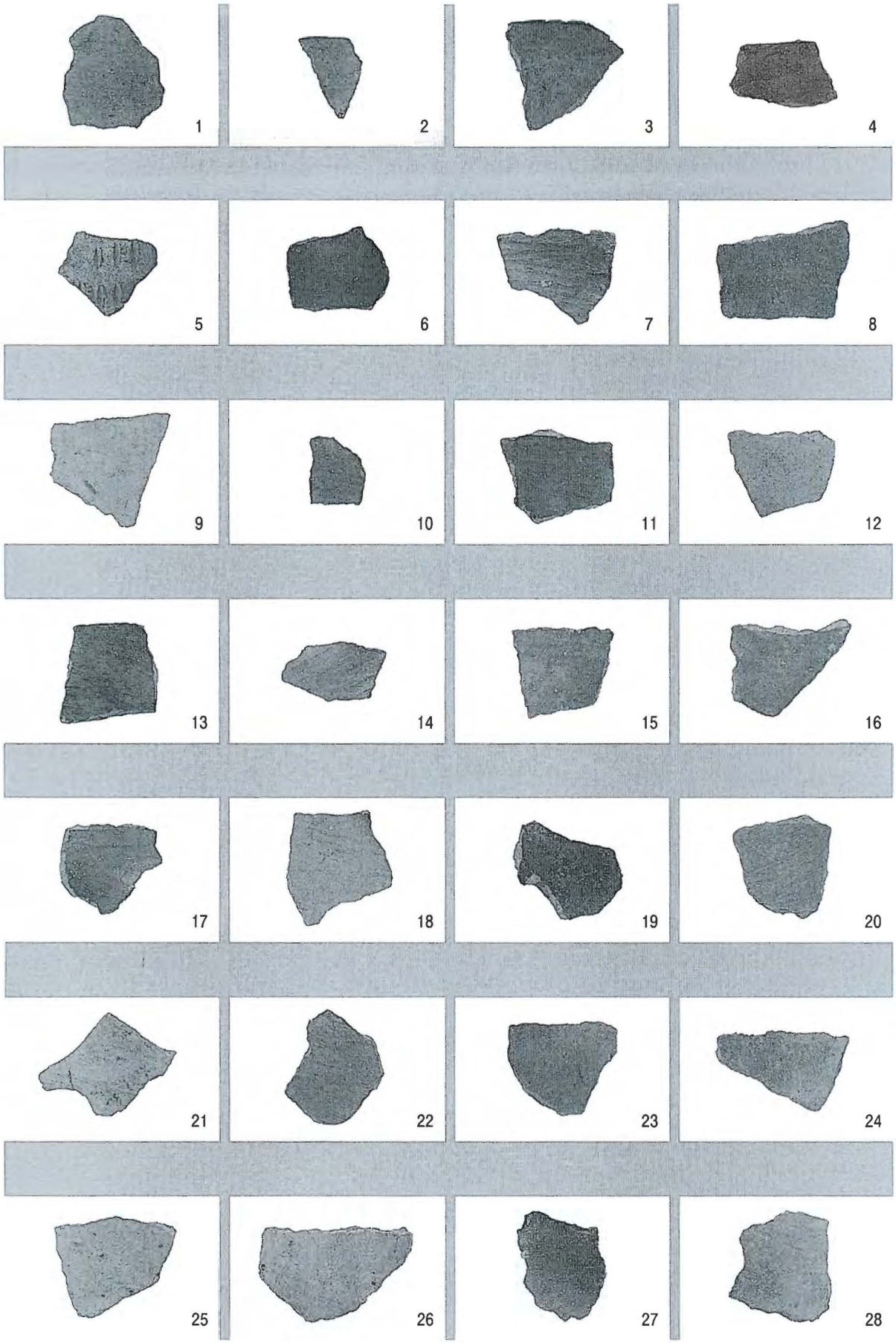
写真10　遺物出土状況（南西部）（北より）

写真11　遺物出土状況（南西部）（西より）

写真12　遺物出土状況（南西部）（南より）

写真13　遺物出土状況（南西部）（南より）

図版 3　9907調査地点出土遺物 1



図版 4　9907調査地点出土遺物 2

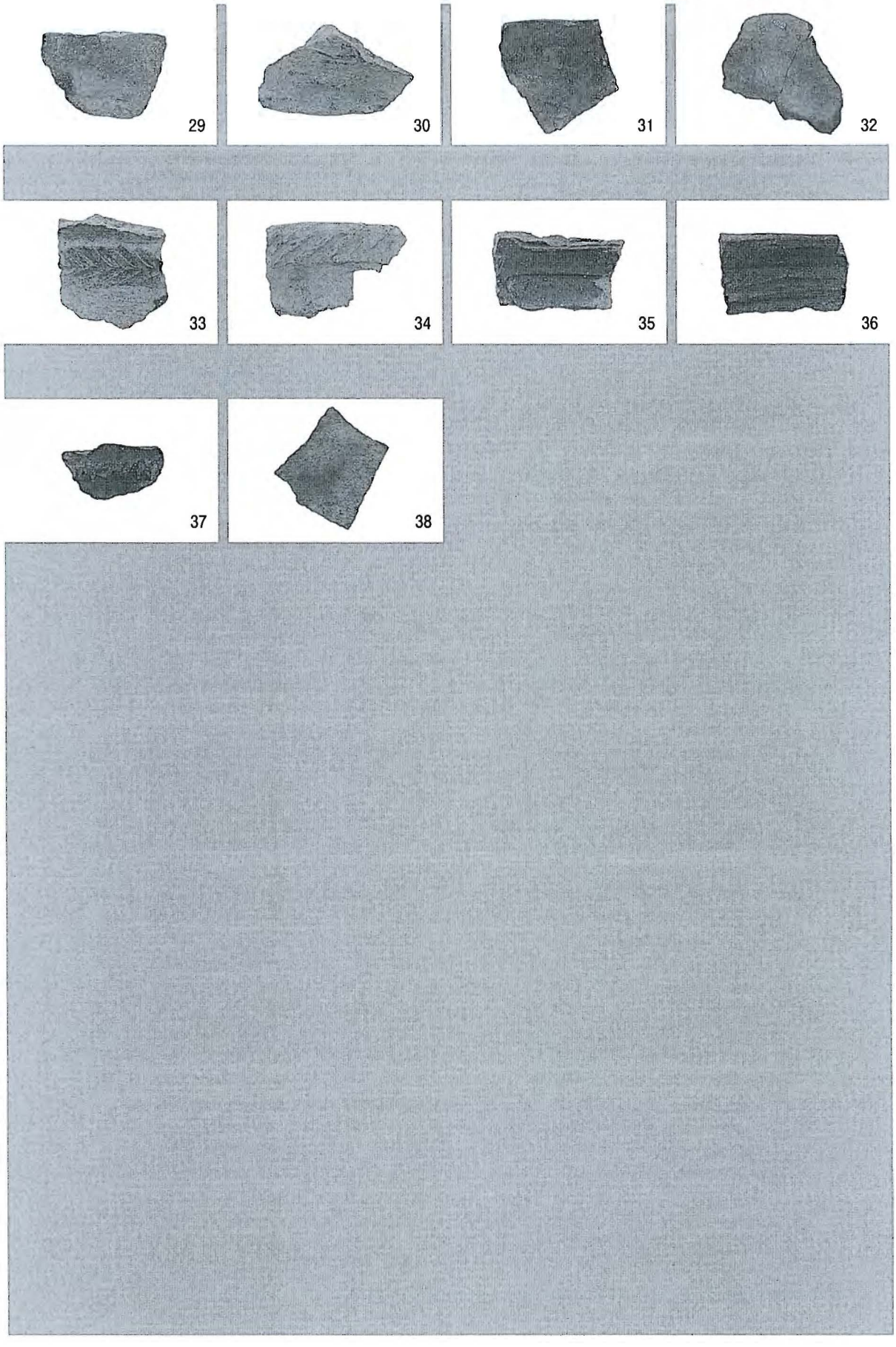


写真14　調査区全景（北東より）

写真15　調査風景（北東より）

図版６　9909調査地点

写真16　Ⅰ区全景（東より）

写真17　Ⅱ区全景（南より）

写真18　Ⅱ区全景（東より）

写真19　Ⅱ区全景（北より）

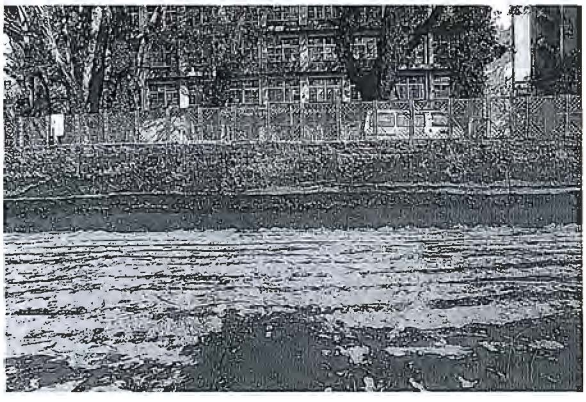


写真20　Ⅱ区北壁土層断面（南より）

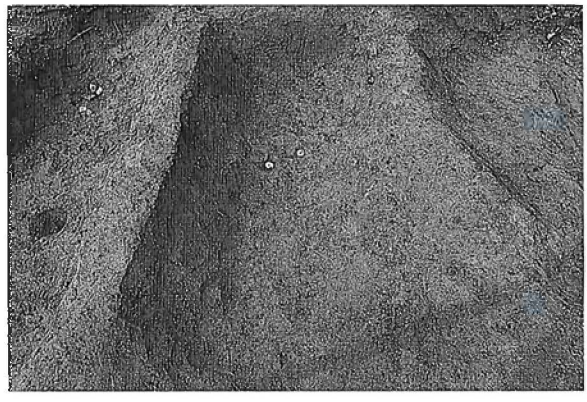


写真21　鉄銭・銅銭出土状況（東より）

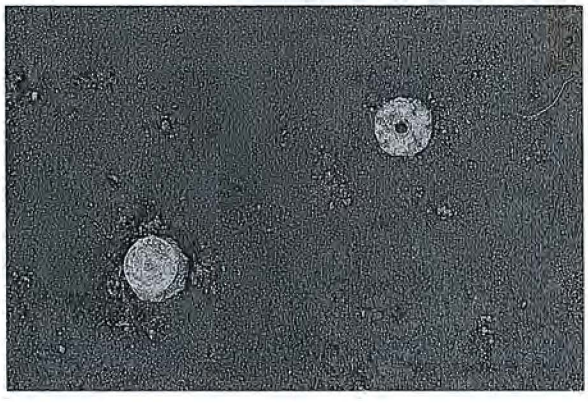


写真22　銭（うね入り）近撮（東より）

写真23　トレンチ１土層（西より）

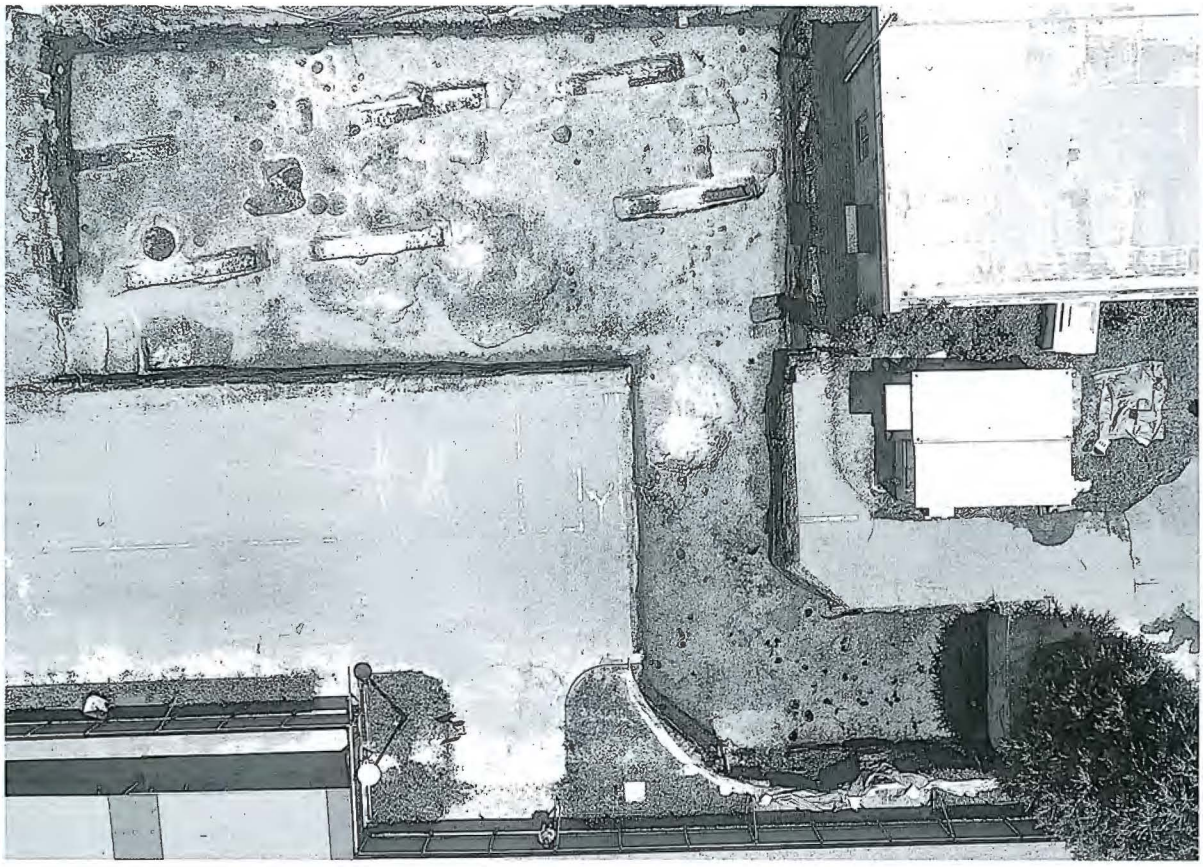


写真24　調査区全景（上空より）

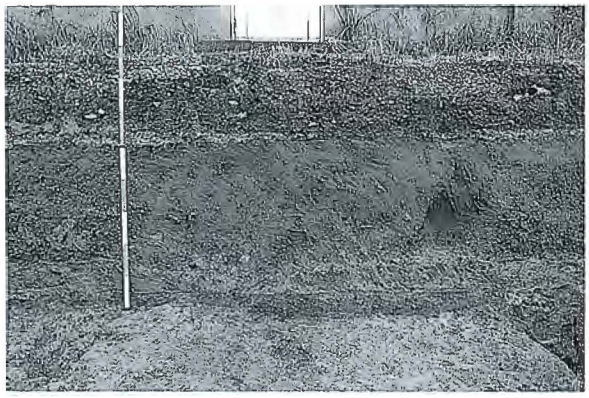


写真25　調査区東壁土層断面（西より）

写真26　風倒木痕 1 遺物出土状況（東より）

写真27　風倒木痕 4（西より）

写真28　風倒木痕 5 完掘状況（南より）

図版 8　0102調査地点出土遺物

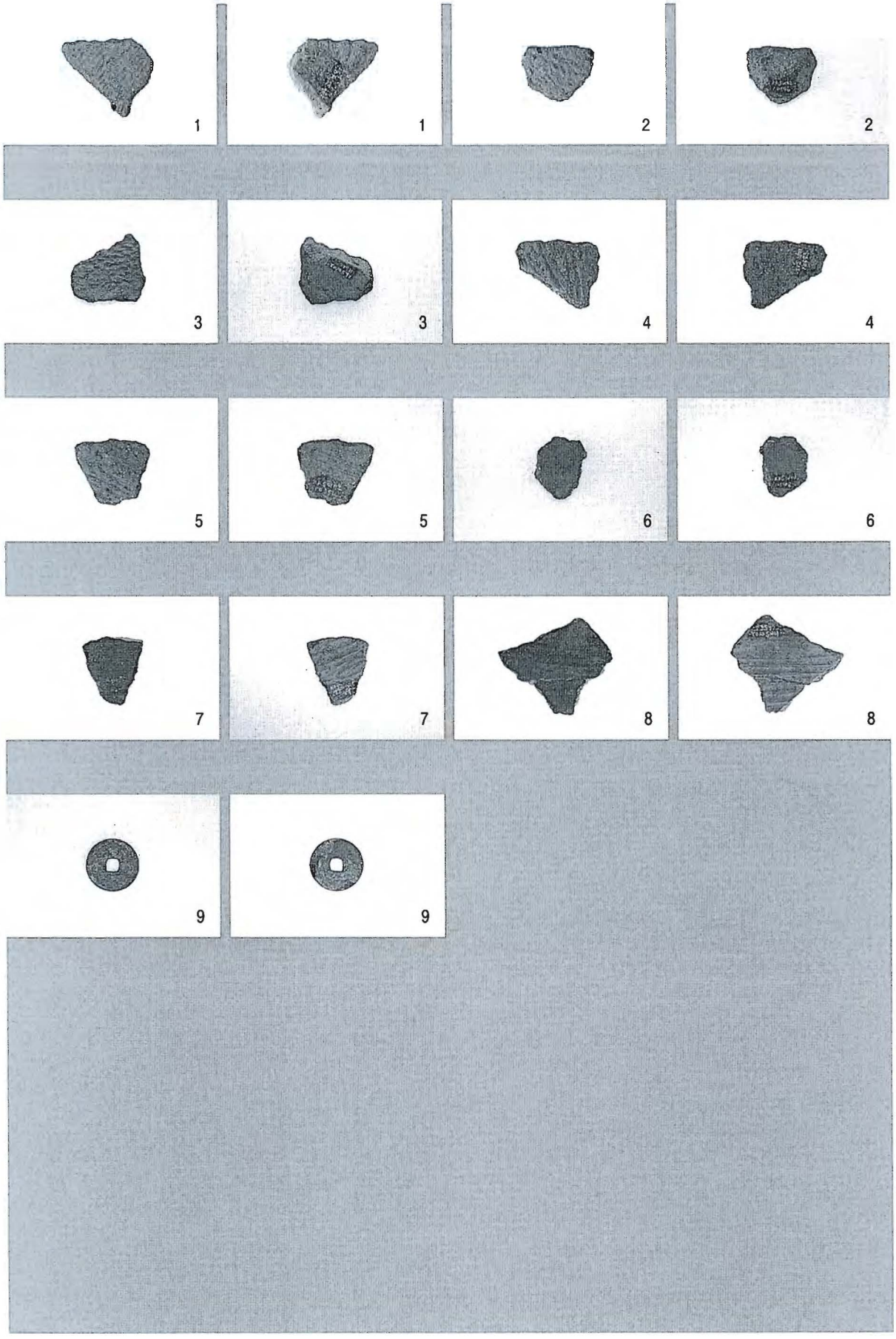


写真29　Ⅰ区全景（東より）

写真30　調査区全景（東半）（西より）

写真31　９号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

写真32　９号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

写真33　９号竪穴住居址遺物出土状況（北より）

図版10　0006調査地点

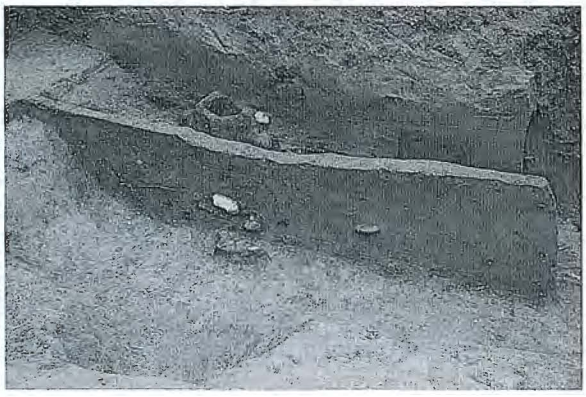


写真34　9号竪穴住居址土層断面（西より）

写真35　9号竪穴住居址（南より）

写真36　22号竪穴住居址（北より）

写真37　22号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）

写真38　28号竪穴住居址（北より）

写真39　29号竪穴住居址（北西より）

写真40　Ⅱ区1号土坑遺物出土状況（北より）

写真41　Ⅱ区2号土坑遺物出土状況（東より）

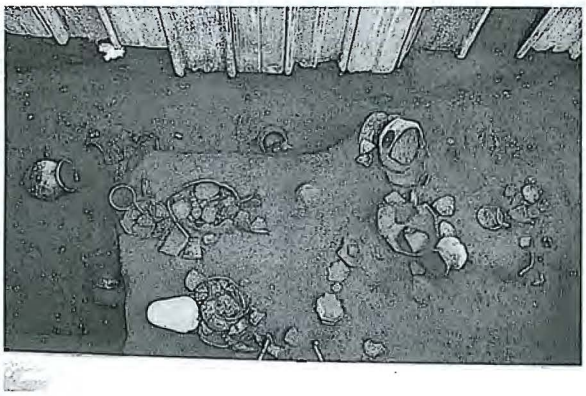


写真42　2号土坑遺物出土状況（北より）

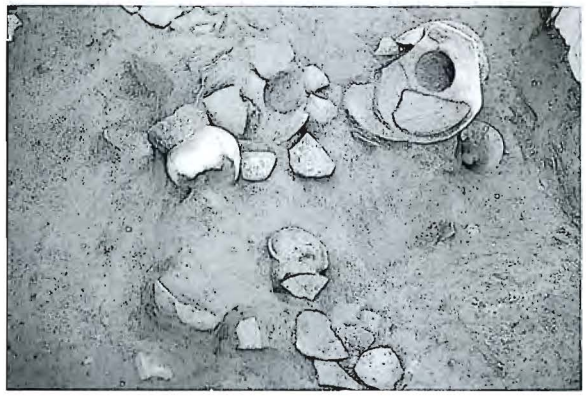


写真43　2号土坑遺物出土状況（西より）

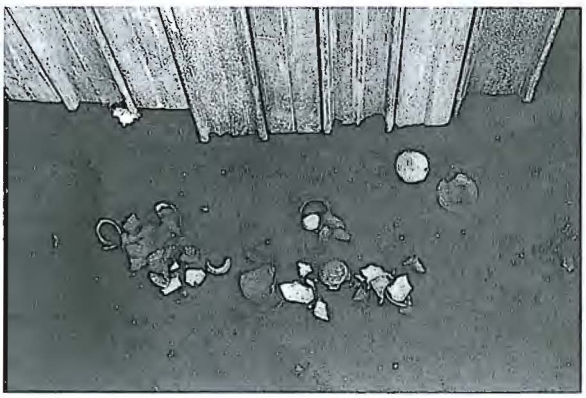


写真44　2号土坑遺物出土状況（北より）

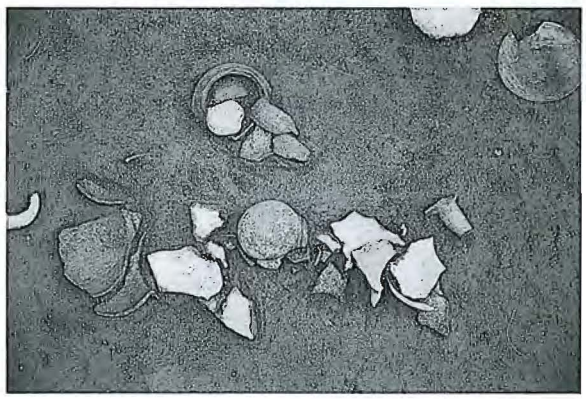


写真45　2号土坑遺物出土状況（北より）

写真46　2号土坑遺物出土状況（西より）

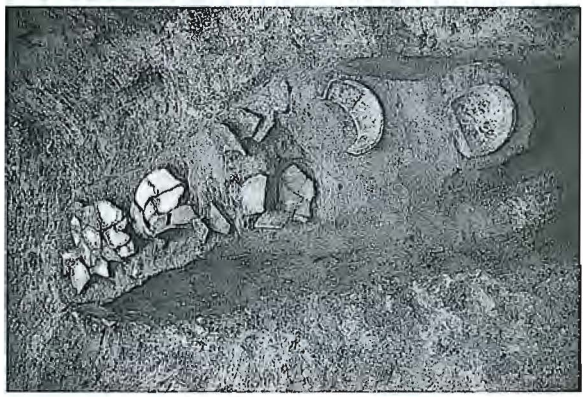


写真47　2号土坑遺物出土状況（東より）

写真48　2号土坑遺物出土状況（東より）

写真49　2号土坑土層断面（西より）

図版12　0006調査地点

写真50　Ⅱ区遺物出土状況・土器群１（北東より）

写真51　Ⅱ区遺物出土状況・土器群２（西より）

写真52　Ⅱ区遺物出土状況・土器群３（北より）

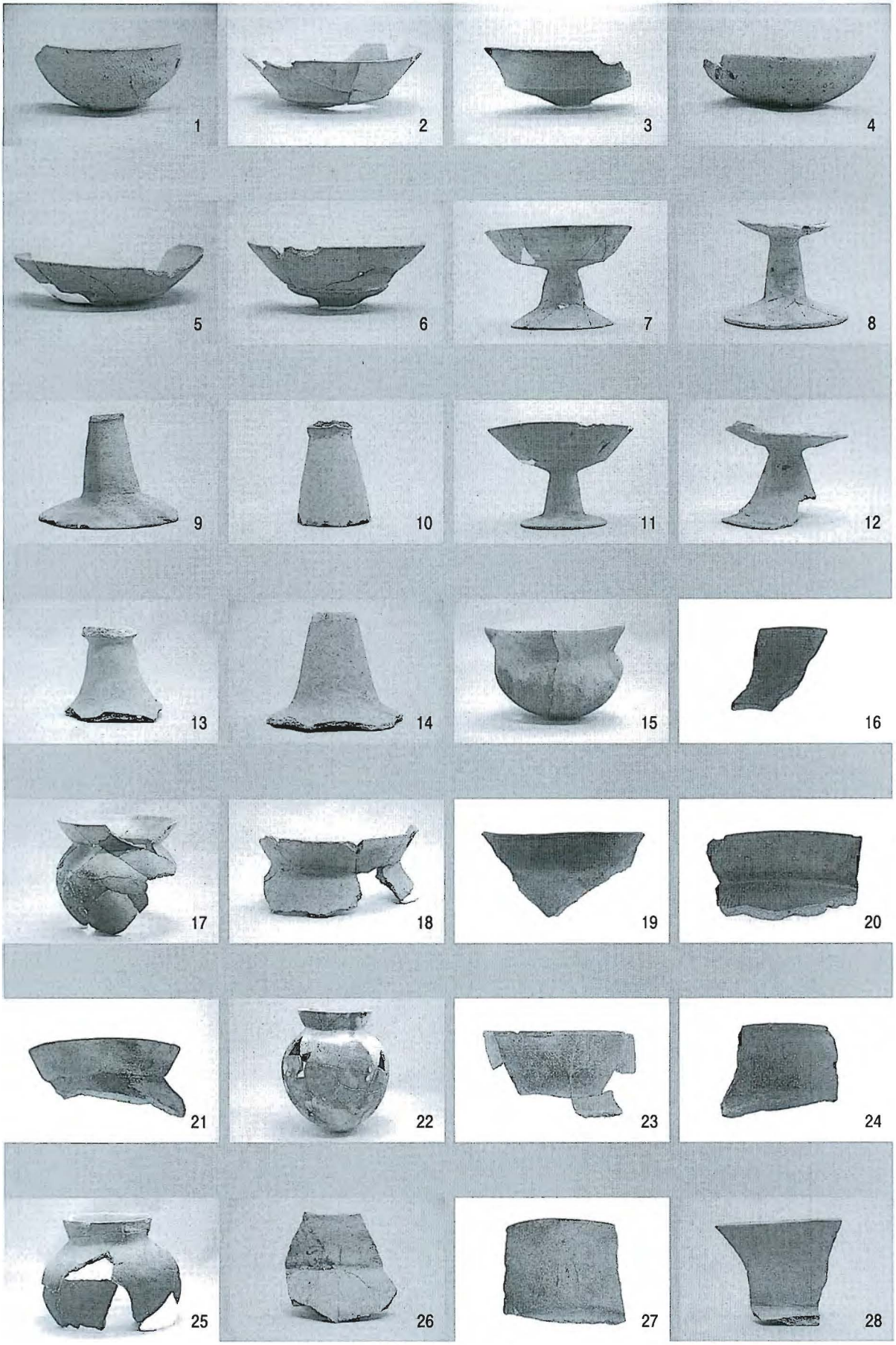
写真53　鉄鏃出土状況（南より）

写真54　Ⅲ区全景（北より）

写真55　遺構完掘状況（南より）

図版13　0006調査地点出土遺物 1

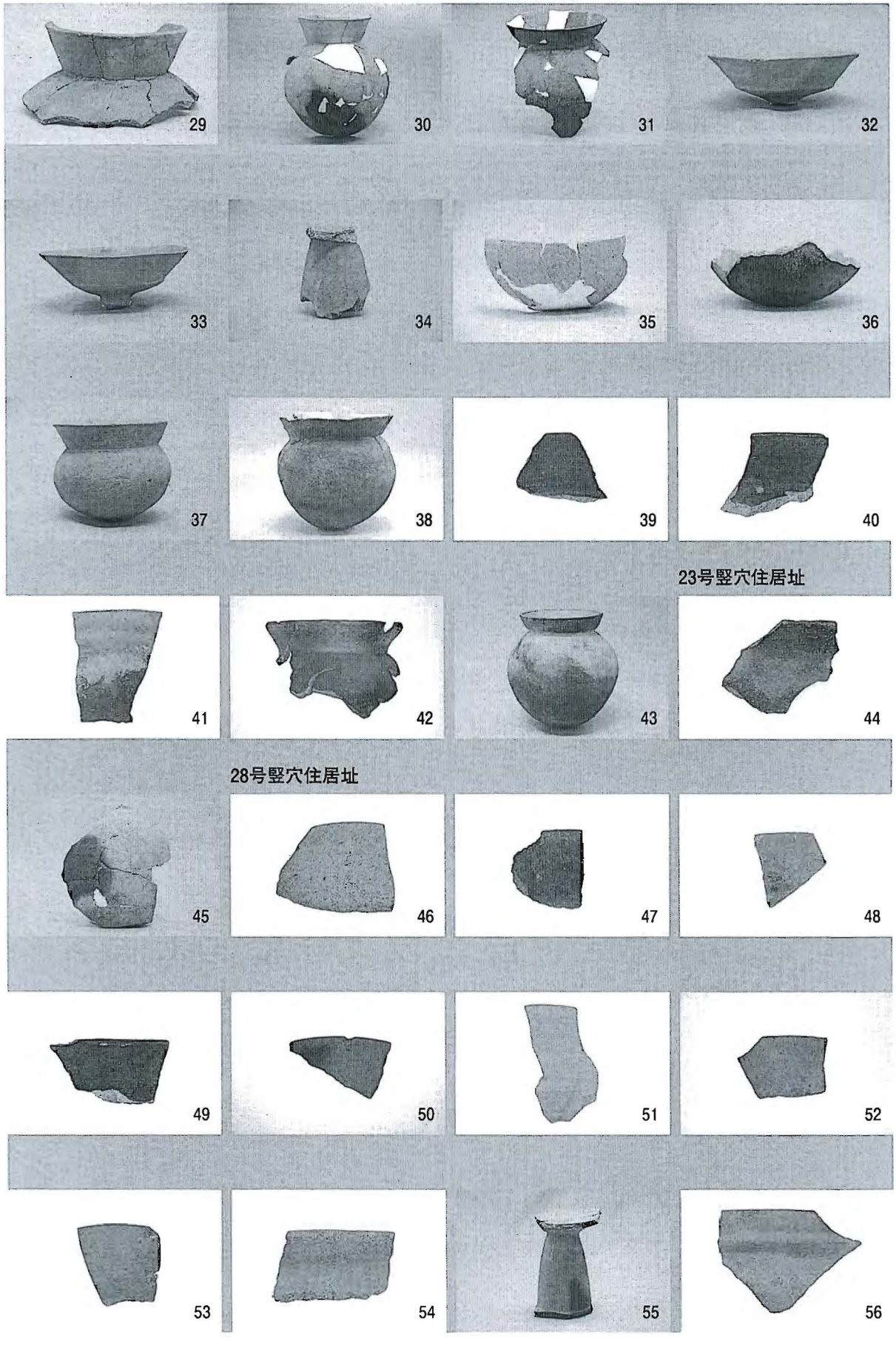
9 号竪穴住居址



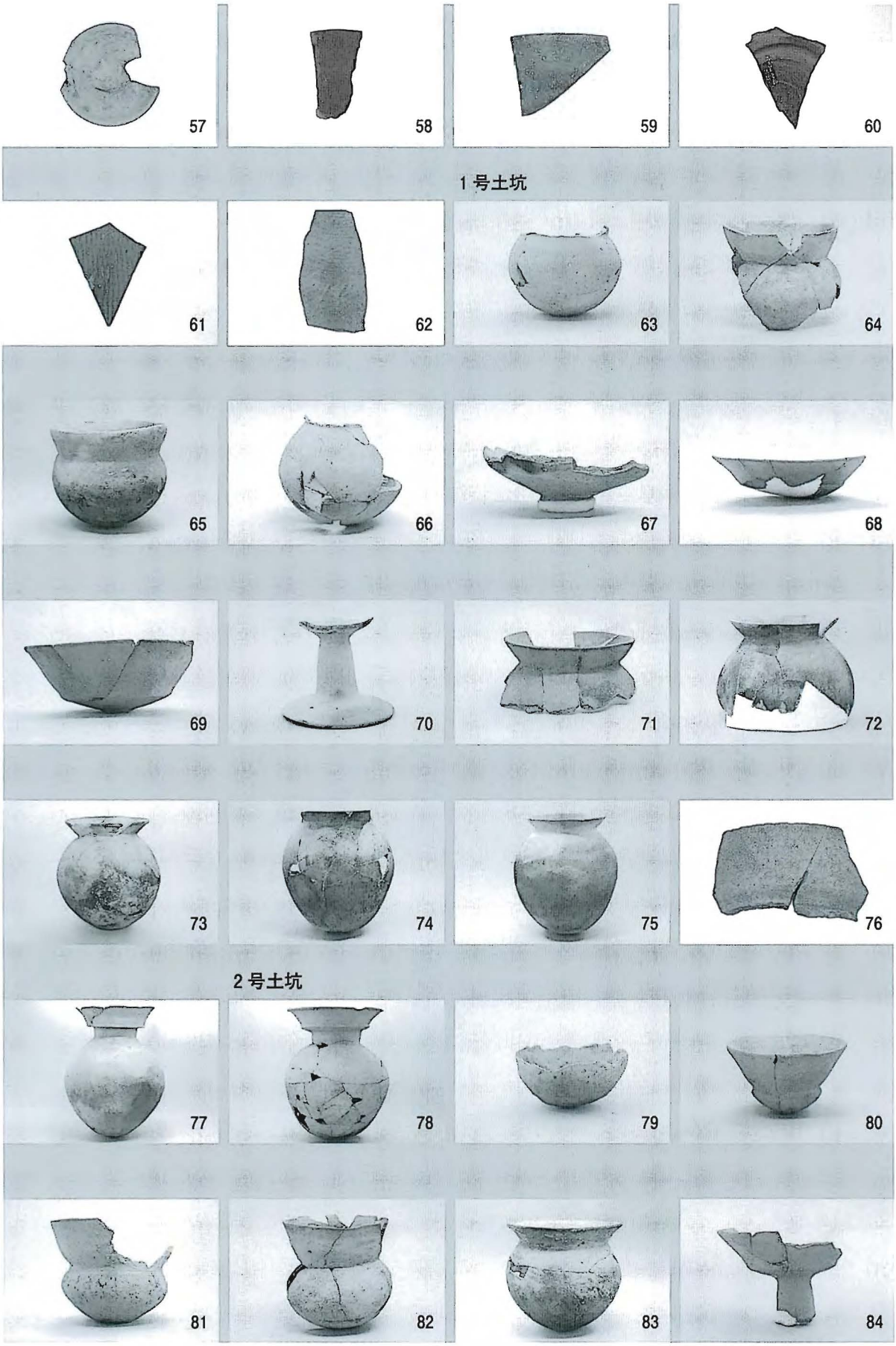
図版14　0006調査地点出土遺物２

9 号竪穴住居址

22号竪穴住居址

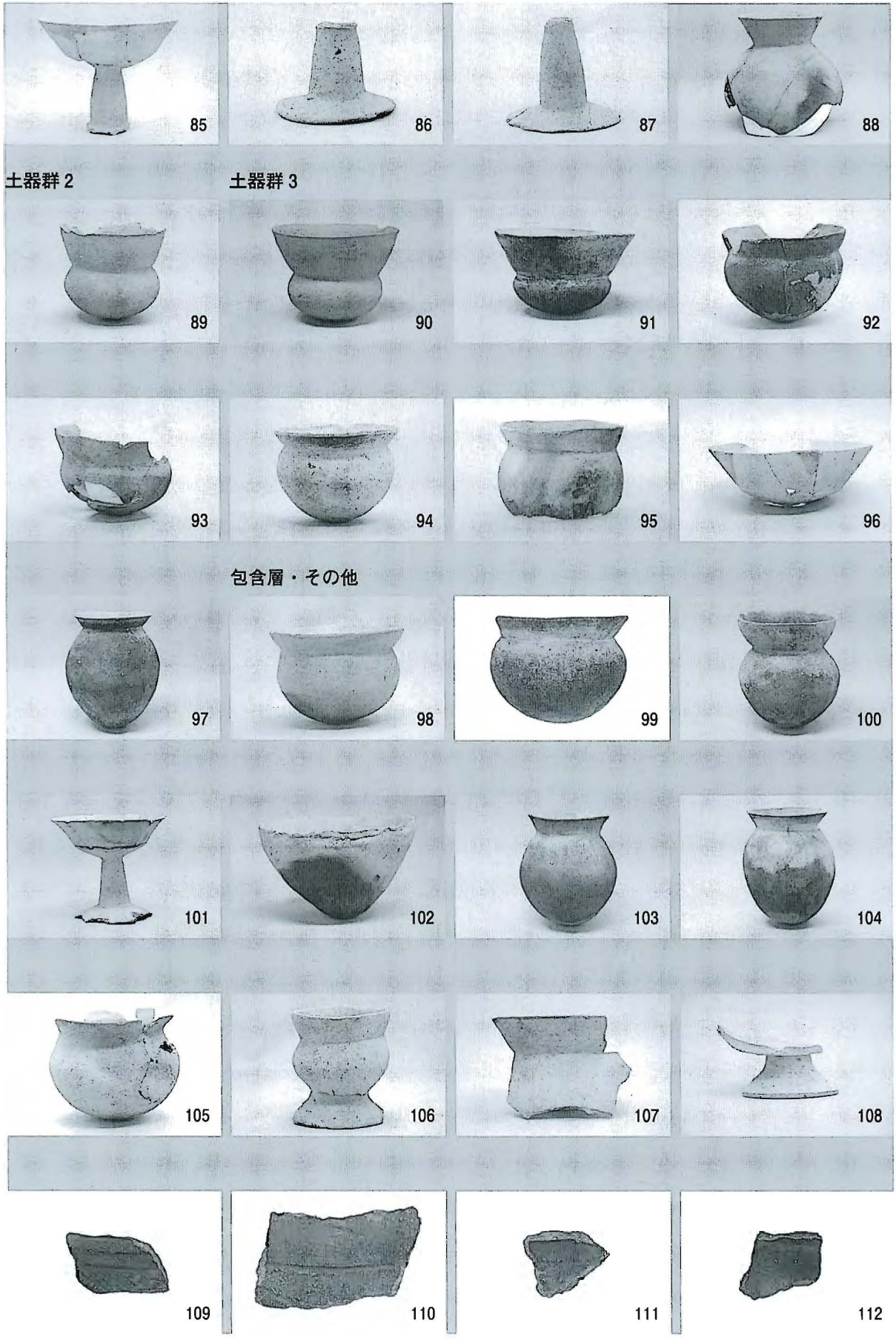


28号竪穴住居址


57
58
59
60
1 号土坑
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
2 号土坑
77
78
79
80
81
82
83
84

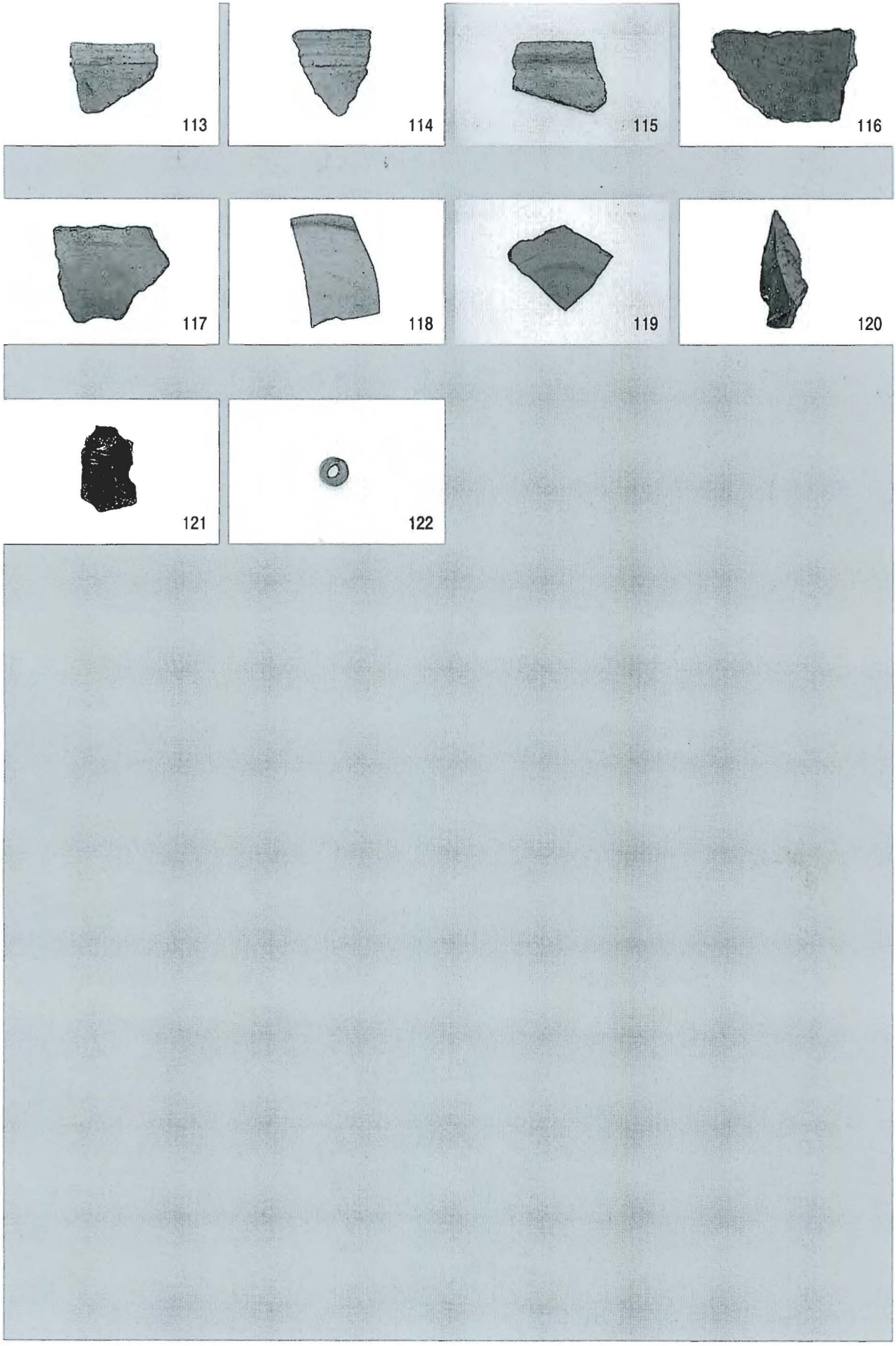
図版16　0006調査地点出土遺物 4

2 号土坑



図版17　0006調査地点出土遺物 5

包含層・その他



図版18　0101調査地点

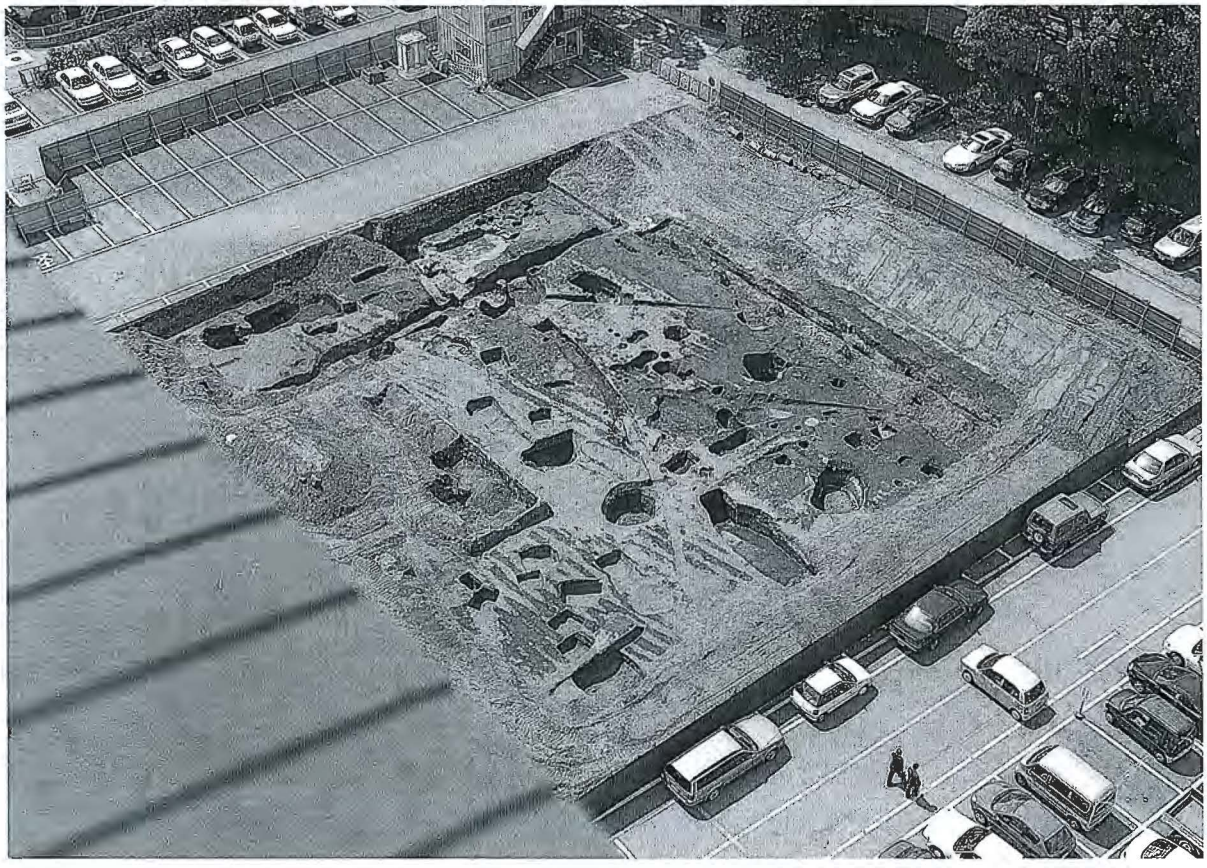


写真56　Ⅰ面全景（東より）

写真57　Ⅰ面全景（南西より）

写真58　Ⅰ面全景（北東より）

写真59　Ⅰ面全景（西より）

写真60　Ⅰ面畑（西より）

写真61　Ⅰ面畑（北東より）

写真62　Ⅱ面畑址（西より）

写真63　Ⅲ面全景（上空より）

写真64　西トレンチ土層断面（西より）

写真65　東壁土層断面（西より）

写真66　東壁南部土層（西より）

写真67　72号土壙墓（北より）

写真68　23号土壙墓（南より）

図版20　0101調査地点

写真69　23号土壙墓出土人骨および副葬品（南東より）

写真70　20号竪穴住居址全景（南東より）

写真71　20号竪穴住居址（西より）

写真72　20号竪穴住居址土層断面（西より）

写真73　20号竪穴住居址遺物出土状況（東より）

写真74　20号竪穴住居址遺物出土状況（西より）

写真75　19号竪穴住居址焼土炭出土状況（北西より）

写真76　19号竪穴住居址鉄鏃出土状況

写真77　21号竪穴住居址（南より）

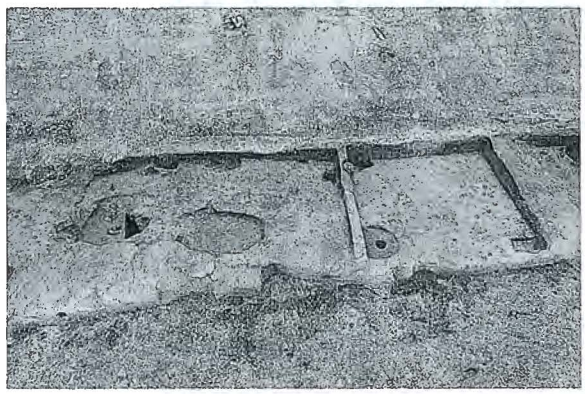


写真78　21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

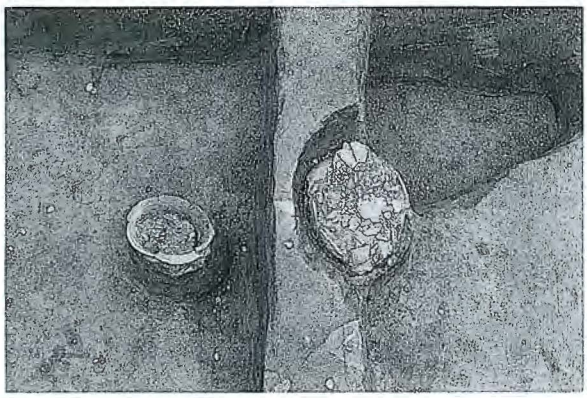


写真79　21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

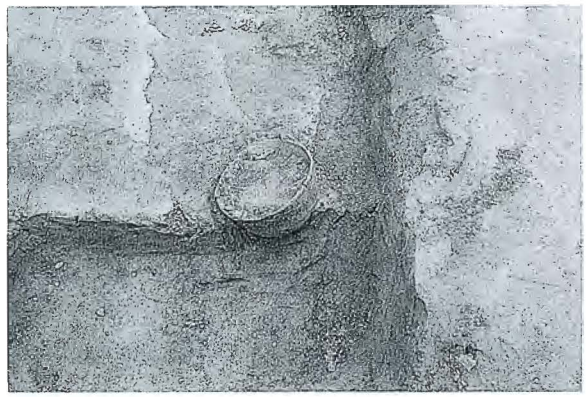


写真80　21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

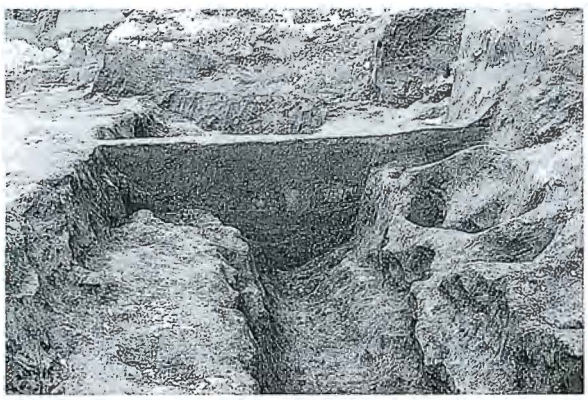


写真81　13号溝土層（西より）

写真82　15号溝土層（西より）

写真83　17号溝（南西より）

写真84　22号水溜状遺構遺物出土状況（東より）

図版22　0101調査地点

写真85　22号水溜状遺構遺物出土状況（東より）

写真86　38号焼土平面（東より）

写真87　38号焼土ベルト（西より）

写真88　調査風景（北西より）

写真89　作業風景（東より）

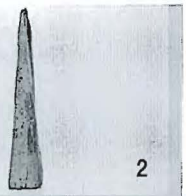
図版23　0101調査地点出土遺物 1

23号土壙墓

1

2

畑址


2

3

20号竪穴住居址

4

5

3 面包含層（台地上）

6

7

13号溝

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

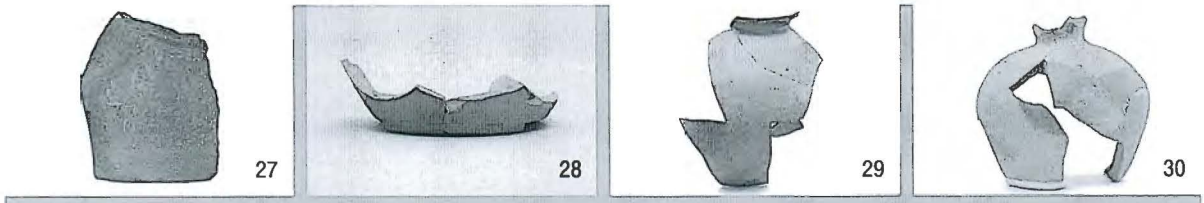
25

26

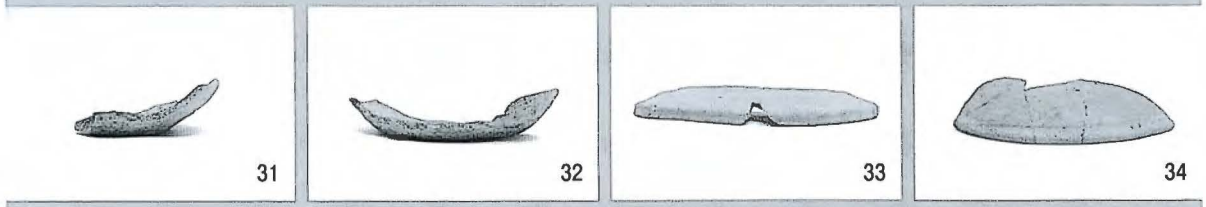
26

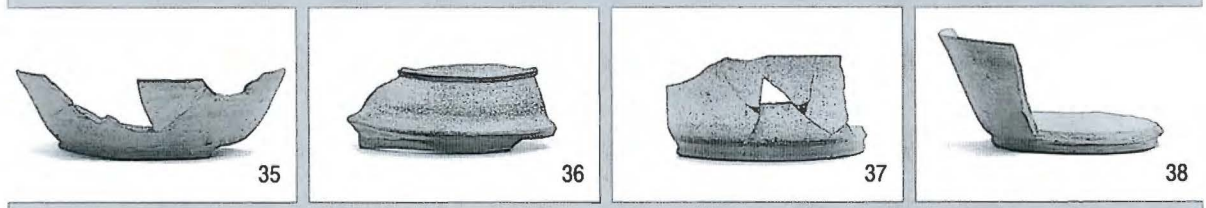
図版24　0101調査地点出土遺物 2

13号溝

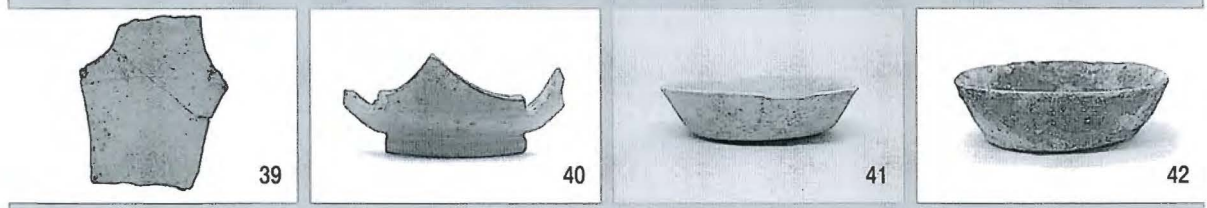


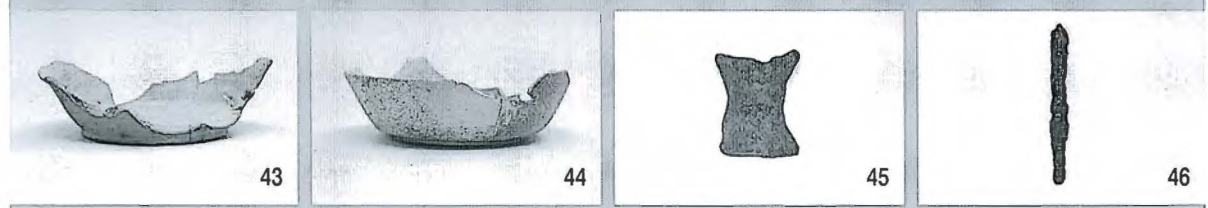
14号溝



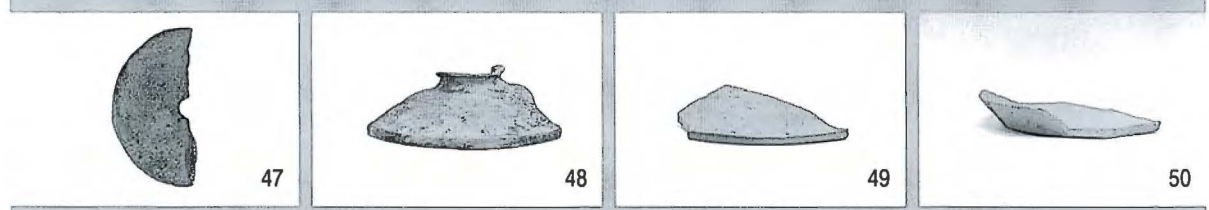


15号溝

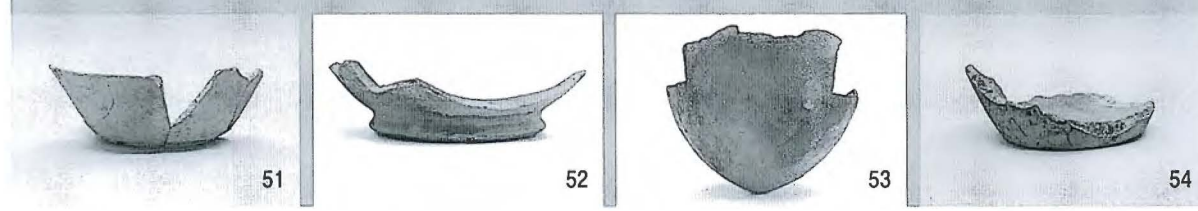




16号溝

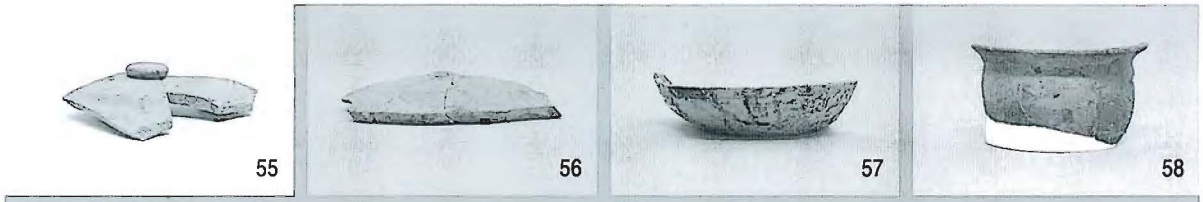


17号溝

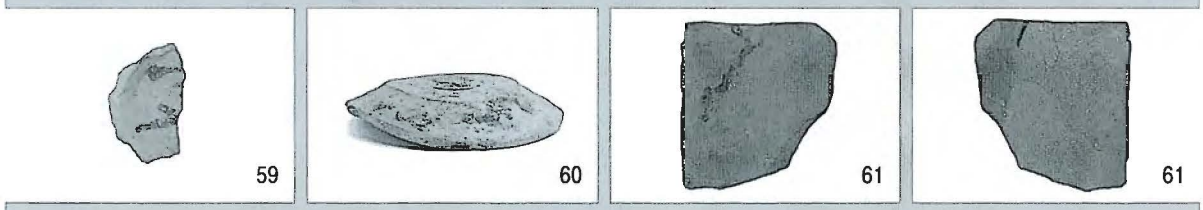


図版25　0101調査地点出土遺物 3

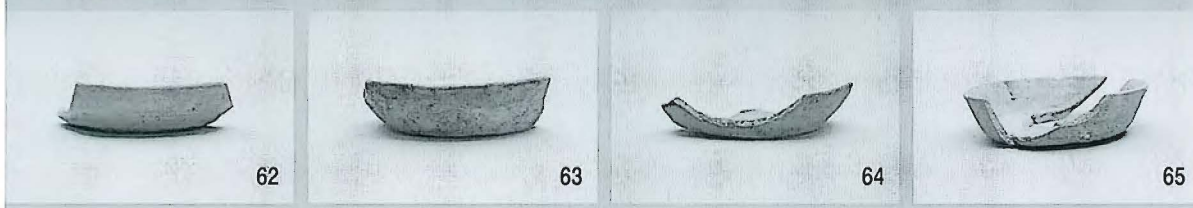
17号溝

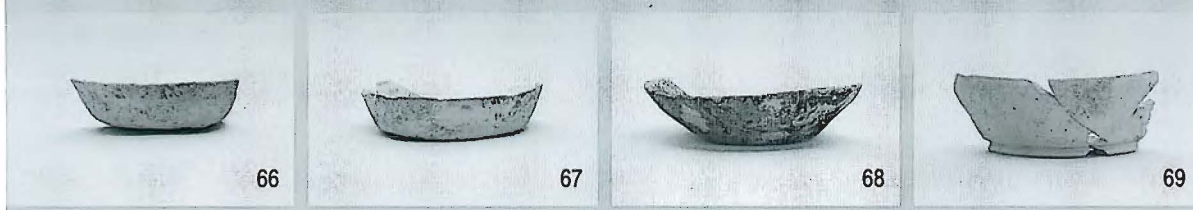


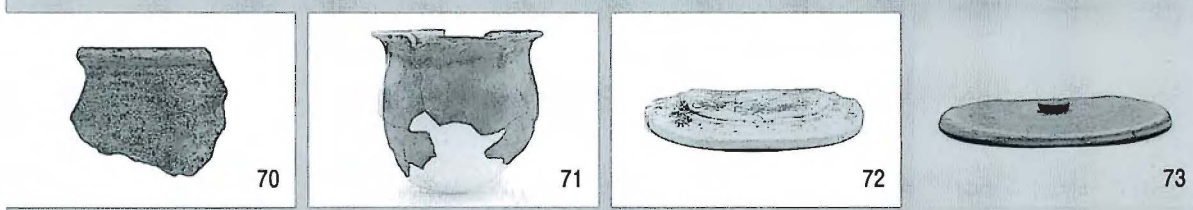
72号土壙墓　108号遺構

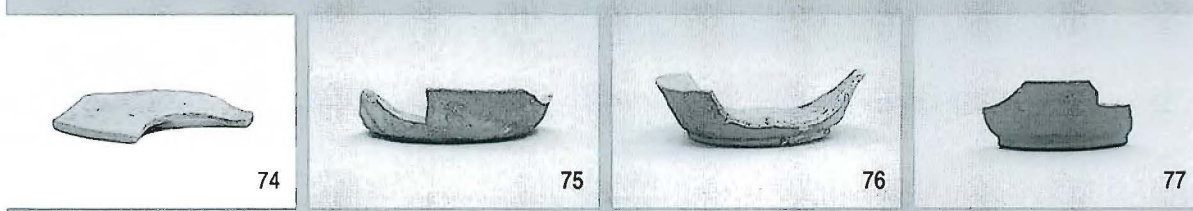


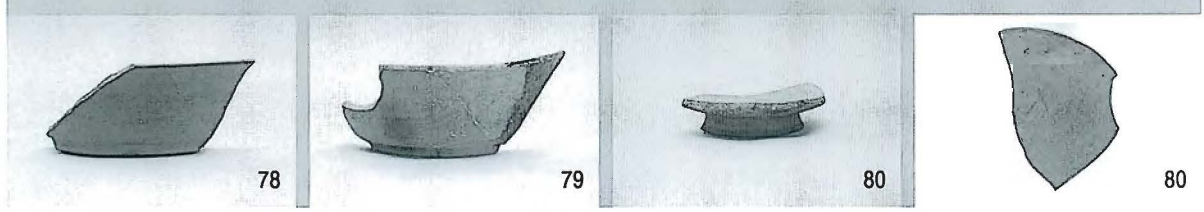
22号水溜状遺構











図版26　0101調査地点出土遺物 4

22号水溜状遺構

写真90　Ⅰ区完掘状況（北東より）

写真91　Ⅱ区完掘状況（西部）（南西より）

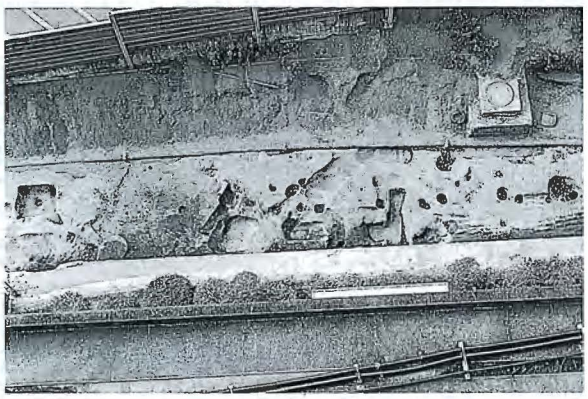


写真92　Ⅱ区完掘状況（東部）（南より）

写真93　Ⅲ区東部全景（南より）

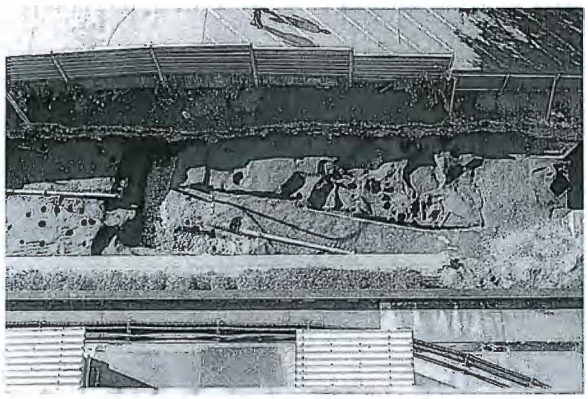


写真94　Ⅲ区西半（南より）

写真95　Ⅲ区東半（南より）

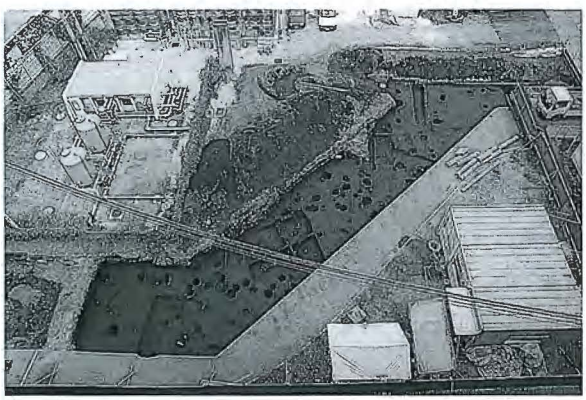


写真96　Ⅳ区全景（南より）

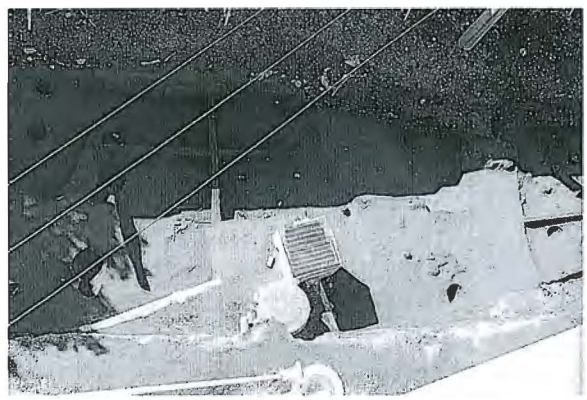


写真97　Ⅴ区中部全景（東より）

図版28　0104調査地点

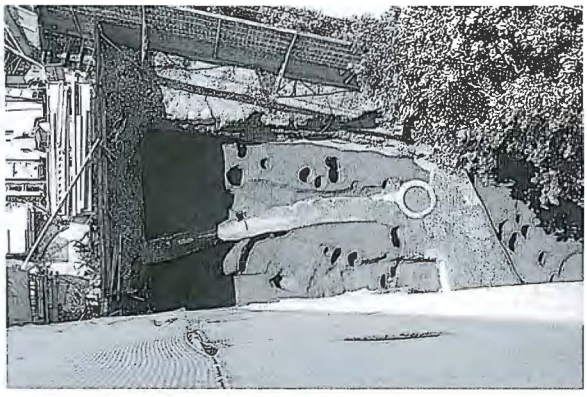


写真98　Ⅴ区南部全景（東より）

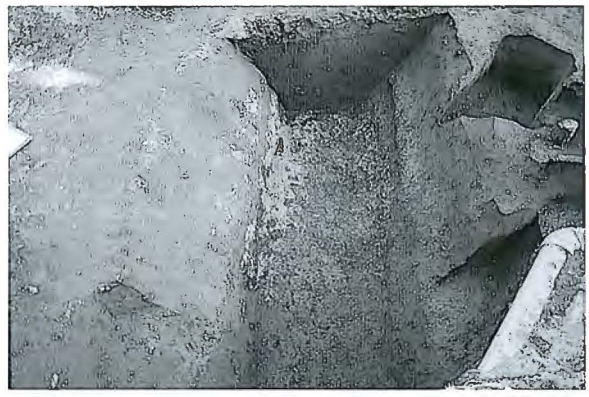


写真99　125号溝（南東より）

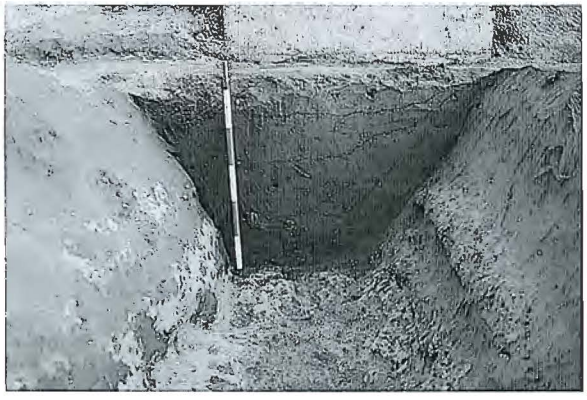


写真100　125号溝土層（北より）

写真101　30号溝上面遺物出土状況（北東より）

写真102　30号溝上面南側（南より）

写真103　30号溝上面南側アップ（西より）

写真104　30号溝掘り上げ状況（南より）

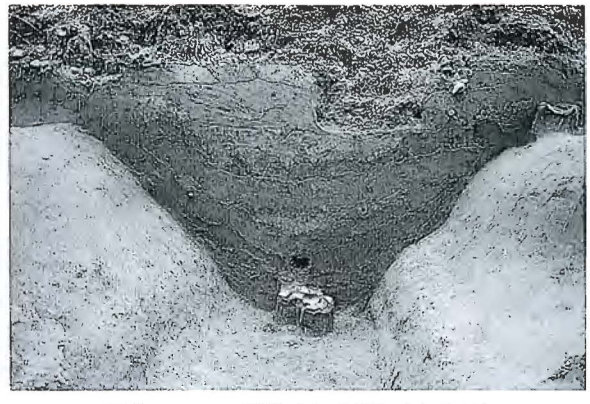


写真105　30号溝土層断面（南より）

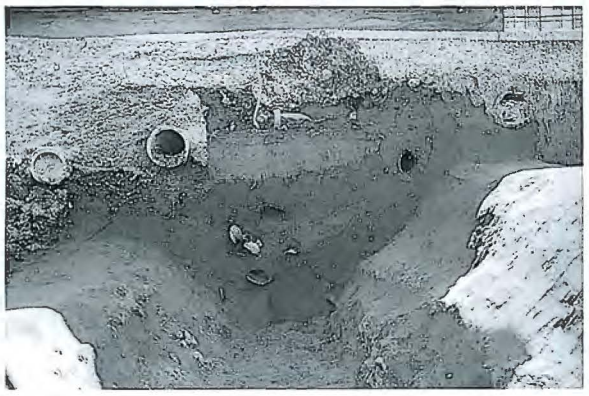


写真106　222号溝土層断面（北西より）

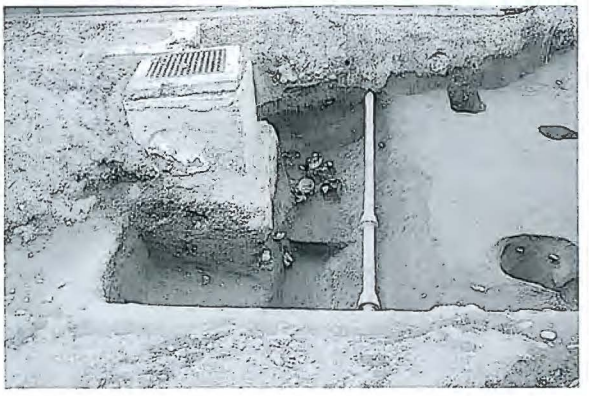


写真107　222号溝遺物出土状況（北西より）

写真108　222号溝遺物出土状況（西より）

写真109　222号溝遺物出土状況（西より）

写真110　222号溝遺物出土状況（南西より）

写真111　222号溝遺物出土状況（北西より）

写真112　222号溝遺物出土状況（南西より）

写真113　222号溝（北西より）

図版30　0104調査地点

写真114　319号溝全景（北より）

写真115　365号溝（東より）

写真116　365号溝土層断面（北より）

写真117　14号溝（北西より）

写真118　208号竪穴住居址遺物出土状況（南東より）

写真119　208号竪穴住居址近景（北より）

写真120　208号竪穴住居址完掘状況（南東より）

写真121　223号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）

写真122　223号竪穴住居址遺物出土状況（北西より）

写真123　223号竪穴住居址床検出状況（南東より）

写真124　223号竪穴住居址炉断面（南西より）

写真125　223号竪穴住居址掘り方完掘状況（南より）

写真126　378号竪穴住居址（東より）

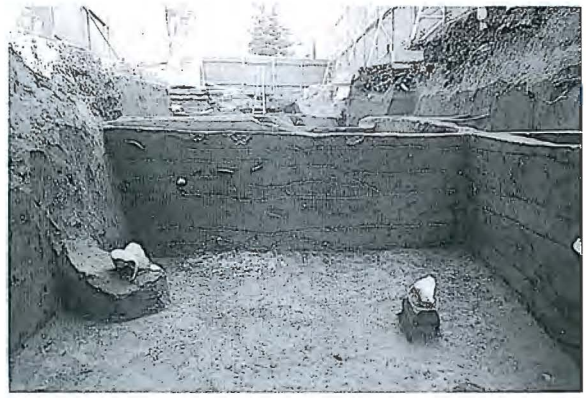


写真127　378号竪穴住居址土層断面（北より）

写真128　385・384号竪穴住居址付近遺物（東より）

写真129　385・384号竪穴住居址付近遺物（北より）

図版32　0104調査地点

写真130　404号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）

写真131　404号竪穴住居址土層断面（南より）

写真132　443号床検出状況（東より）

写真133　216号竪穴住居址（南西より）

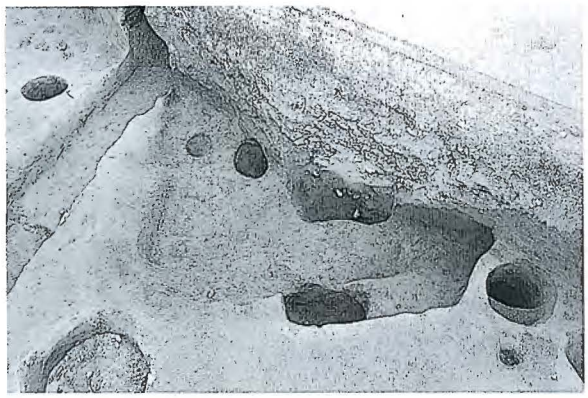


写真134　216号竪穴住居址完掘状況（東より）

写真135　276号竪穴住居址完掘状況（南東より）

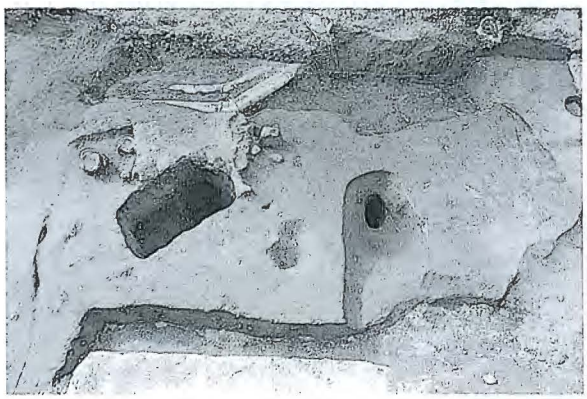


写真136　32号竪穴住居址（南西より）

写真137　32号竪穴住居址掘り上げ状況（南より）

写真138　32号竪穴住居址竈土層断面（南より）

写真139　32号竪穴住居址竈掘り上げ状況（南より）

写真140　9号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

写真141　9号竪穴住居址床検出状況（南より）

写真142　9号竪穴住居址竈土層断面（東より）

写真143　9号竪穴住居址内破鏡出土状況（南より）

写真144　31号竪穴住居址（南東より）

写真145　31号竪穴住居址堀り上げ状況（南西より）

図版34　0104調査地点

写真146　31号竪穴住居址竈土層断面（西より）

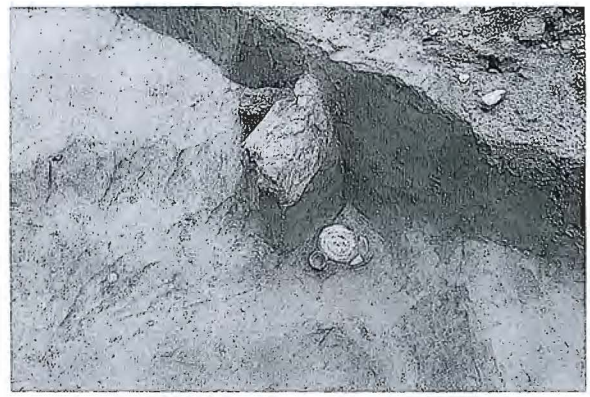


写真147　31号竪穴住居址コーナー遺物出土状況（南より）

写真148　10号竪穴住居址硬化面検出状況

写真149　10号竪穴住居址竈焼土土層断面（西より）

写真150　361号竪穴住居址・379号井戸（北より）

写真151　15号竪穴住居址完掘状況（北西より）

写真152　29号竪穴住居址床面検出状況（東より）

写真153　29号竪穴住居址焼土遺物出土状況（西より）

写真154　29号竪穴住居址（西より）

写真155　307号竪穴住居址完掘状況（東より）

写真156　377号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

写真157　386号竪穴住居址竈袖石（東より）

写真158　386号竪穴住居址完掘状況（南西より）

写真159　161号竪穴住居址（南東より）

写真160　161号竪穴住居址竈土層断面（西より）

写真161　368号竪穴住居址硬化面遺物検出状況（東より）

図版36　0104調査地点

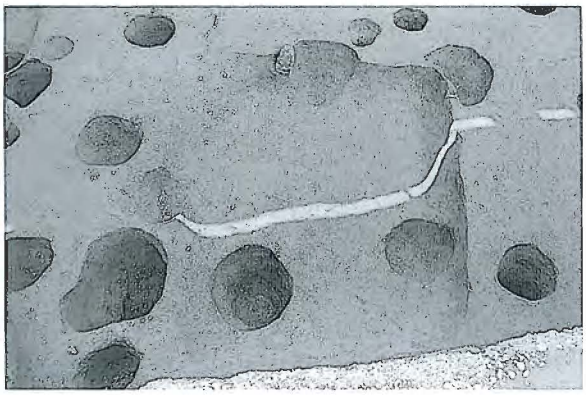


写真162　368号竪穴住居址完掘状況（東より）

写真163　256号竪穴住居址床検出状況（北東より）

写真164　311号硬化面検出状況（北より）

写真165　321・323号竪穴住居址完掘状況（北より）

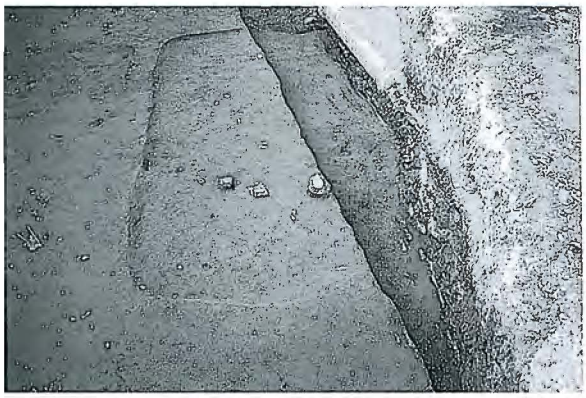


写真166　294号竪穴住居址（南より）

写真167　13号竪穴住居址（南東より）

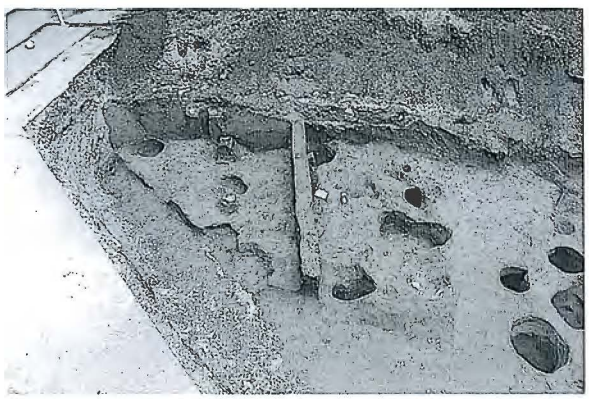


写真168　61号竪穴住居址下面（北より）

写真169　322号竪穴住居址完掘状況（北東より）

写真170　159号竪穴住居址と周辺遺物（北より）

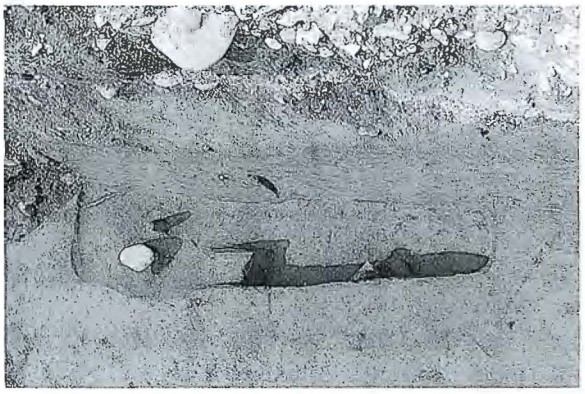


写真171　207号竪穴住居址掘り上げ状況（東より）

写真172　318号竪穴住居址土層断面（南より）

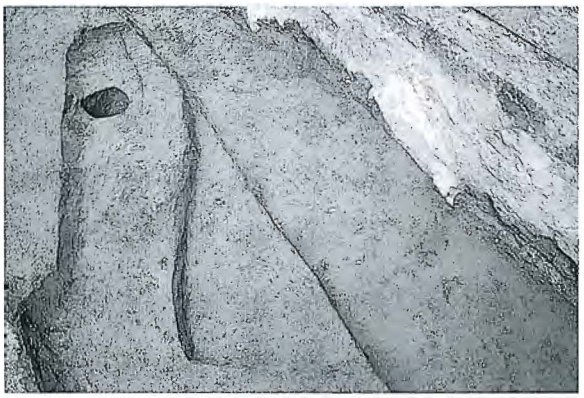


写真173　318号竪穴住居址完掘状況（南より）

写真174　400号竪穴住居址床検出状況（東より）

写真175　400号竪穴住居址完掘状況（東より）

写真176　448号竪穴住居址焼土（東より）

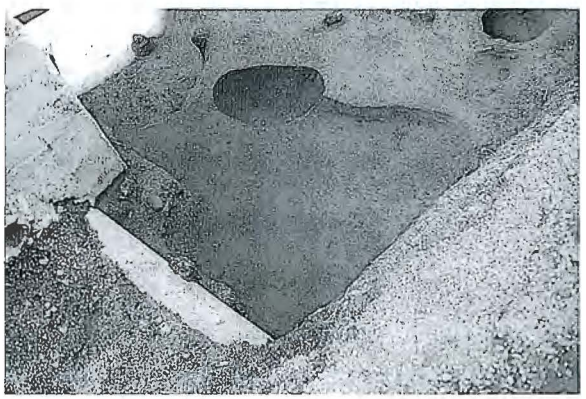


写真177　448号完掘状況（東より）

図版38　0104調査地点

写真178　1号掘立柱建物址（南より）

写真179　144号柱穴内遺物出土状況（南より）

写真180　144号柱穴内地鎮具（北より）

写真181　144号柱穴内土器の中（北より）

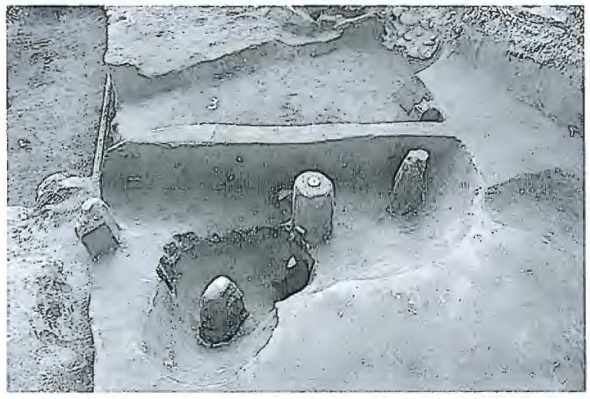


写真182　41・42号土壙（東より）

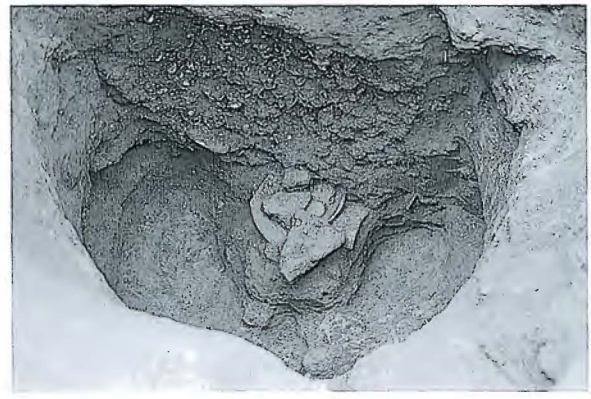


写真183　379号井戸貝層と遺物（東より）

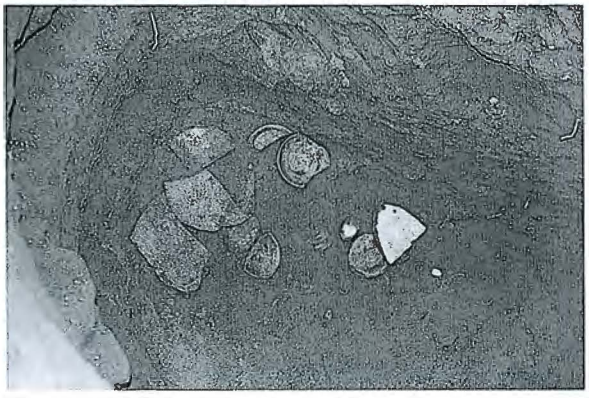


写真184　379号井戸遺物出土状況（北東より）

写真185　379号井戸貝層と遺物（東より）

写真186　379号井戸土層断面（東より）

写真187　204(253)号ピット内土錘出土状況(東より)

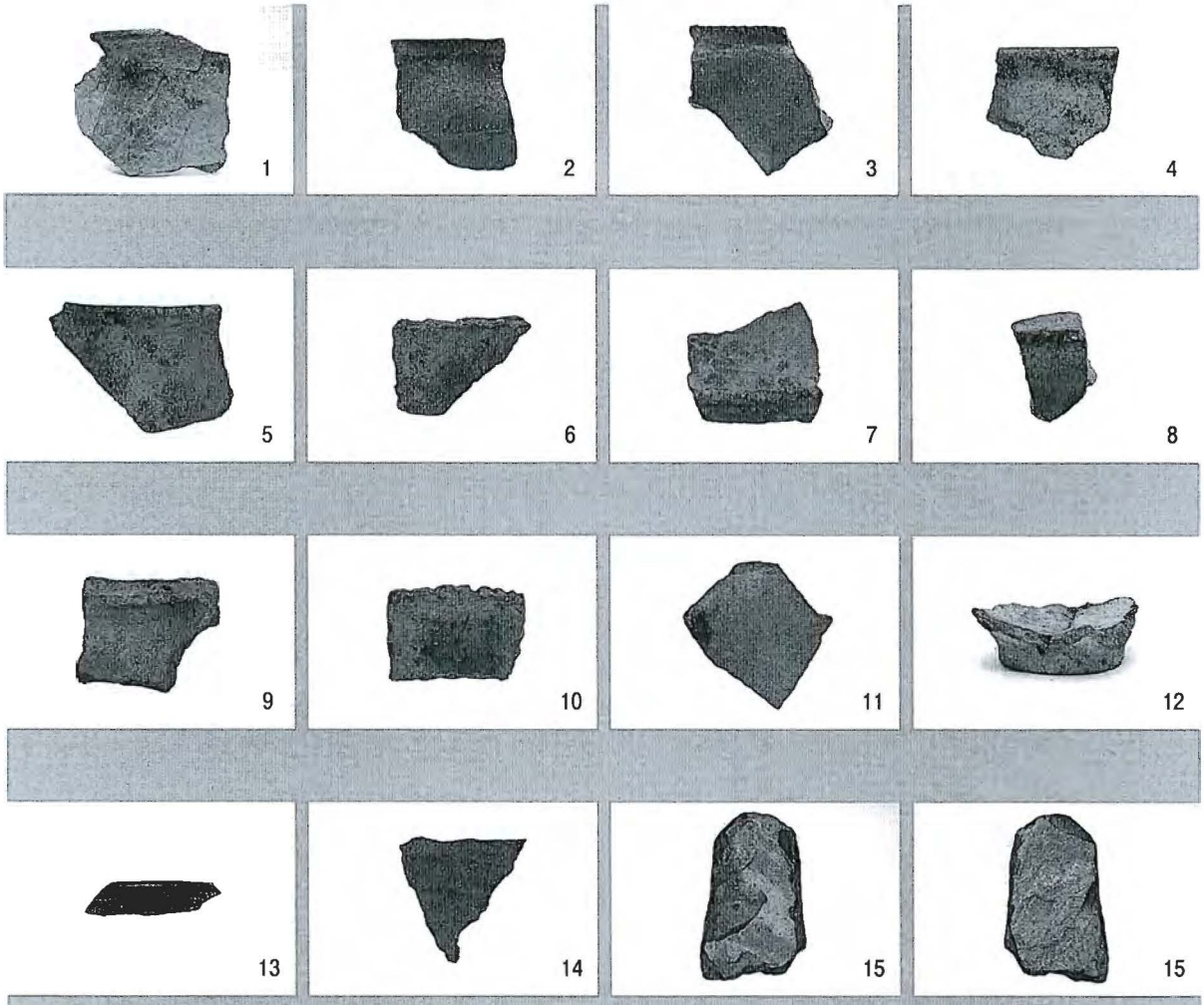
写真188　鍔帯出土状況

写真189　鉄・鎌出土状況（東より）

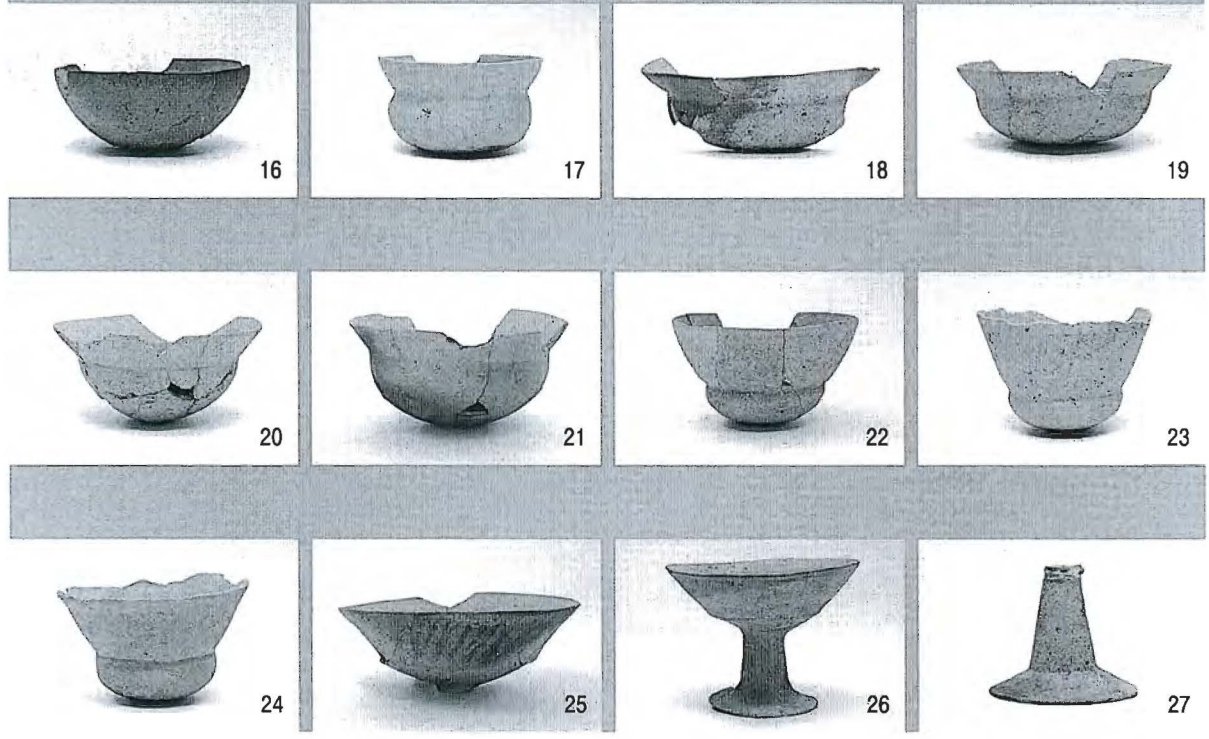
写真190　作業風景（南より）

図版40　0104調査地点出土遺物 1

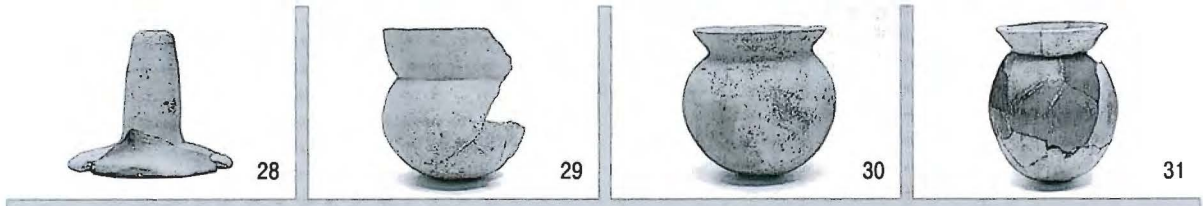
125号溝



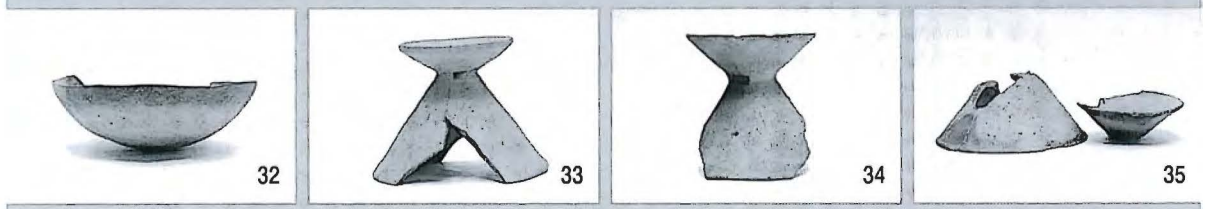
30号溝

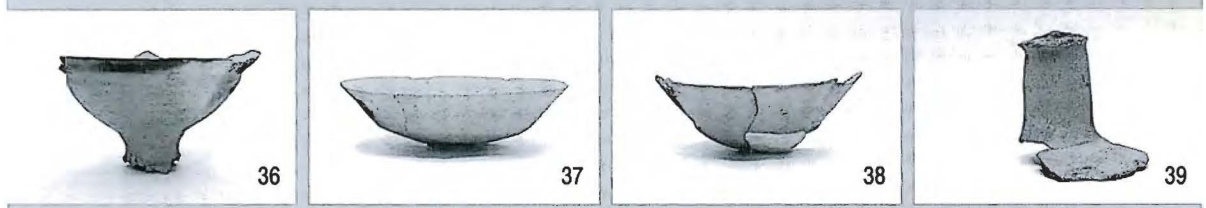


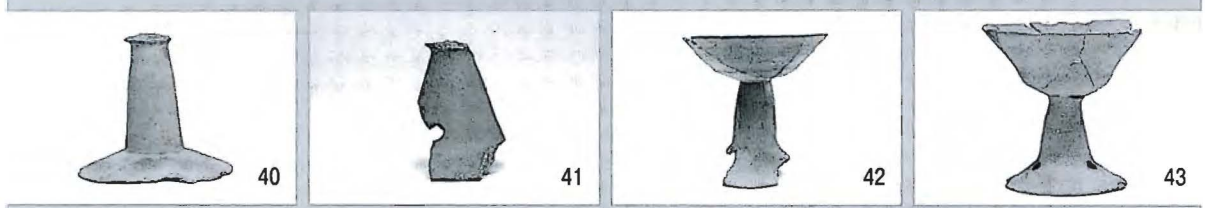
30号溝

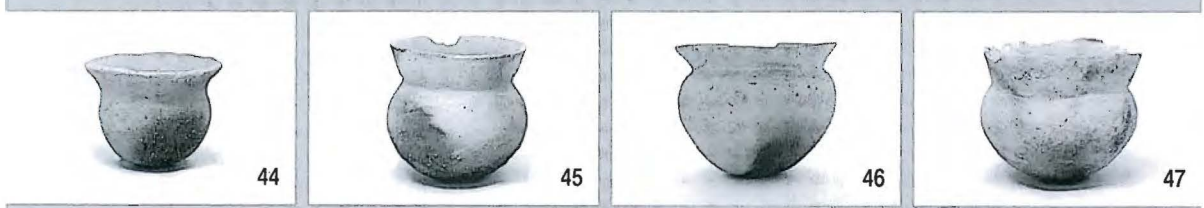

28
29
30
31

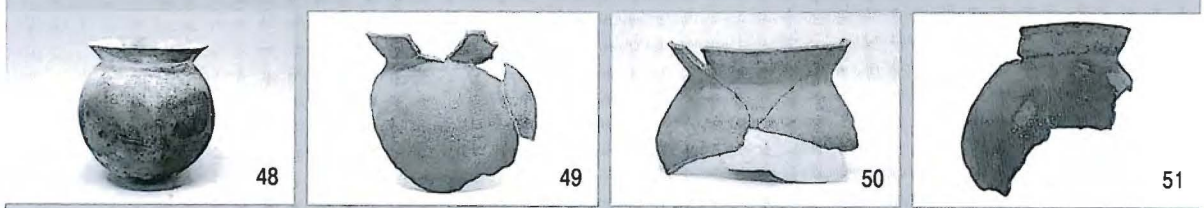
222号溝

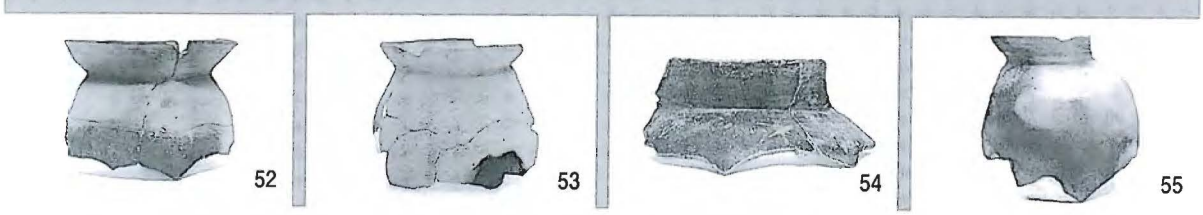

32
33
34
35


36
37
38
39


40
41
42
43


44
45
46
47

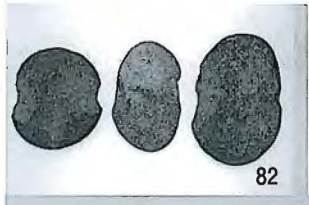

48
49
50
51


52
53
54
55

図版42　0104調査地点出土遺物 3

225号溝

223号竪穴住居址


82

83

378号竪穴住居址

84

85

86

87

88

89

385号竪穴住居址

90

91

92

93

384号竪穴住居址

94

276号竪穴住居址

95

325号竪穴住居址

96

97

404号竪穴住居址

98

99

99

99

100

101

102

103

104

105

106

107

図版44　0104調査地点出土遺物 5

404号竪穴住居址

361号竪穴住居址

136

137

138

29号竪穴住居址

139

307号竪穴住居址

140

141

323号竪穴住居址

142

143

386号竪穴住居址

144

9 号竪穴住居址

145

146

368号竪穴住居址

147

256号竪穴住居址

148

149

61号竪穴住居址

150

151

152

153

154

154

157号竪穴住居址

155

1 号堀立柱建物址

156

157

157

41・42号土壙

158

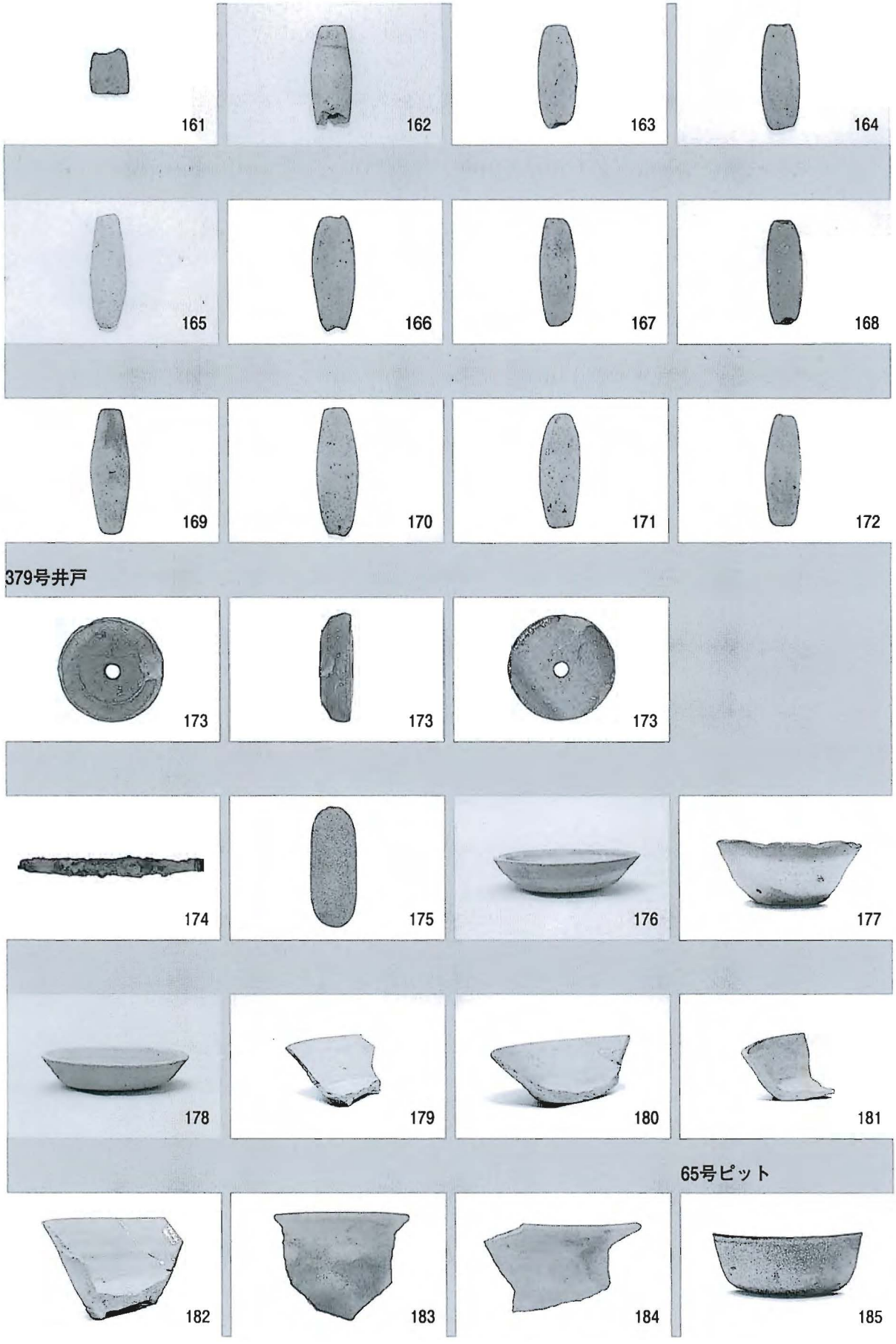
159

159

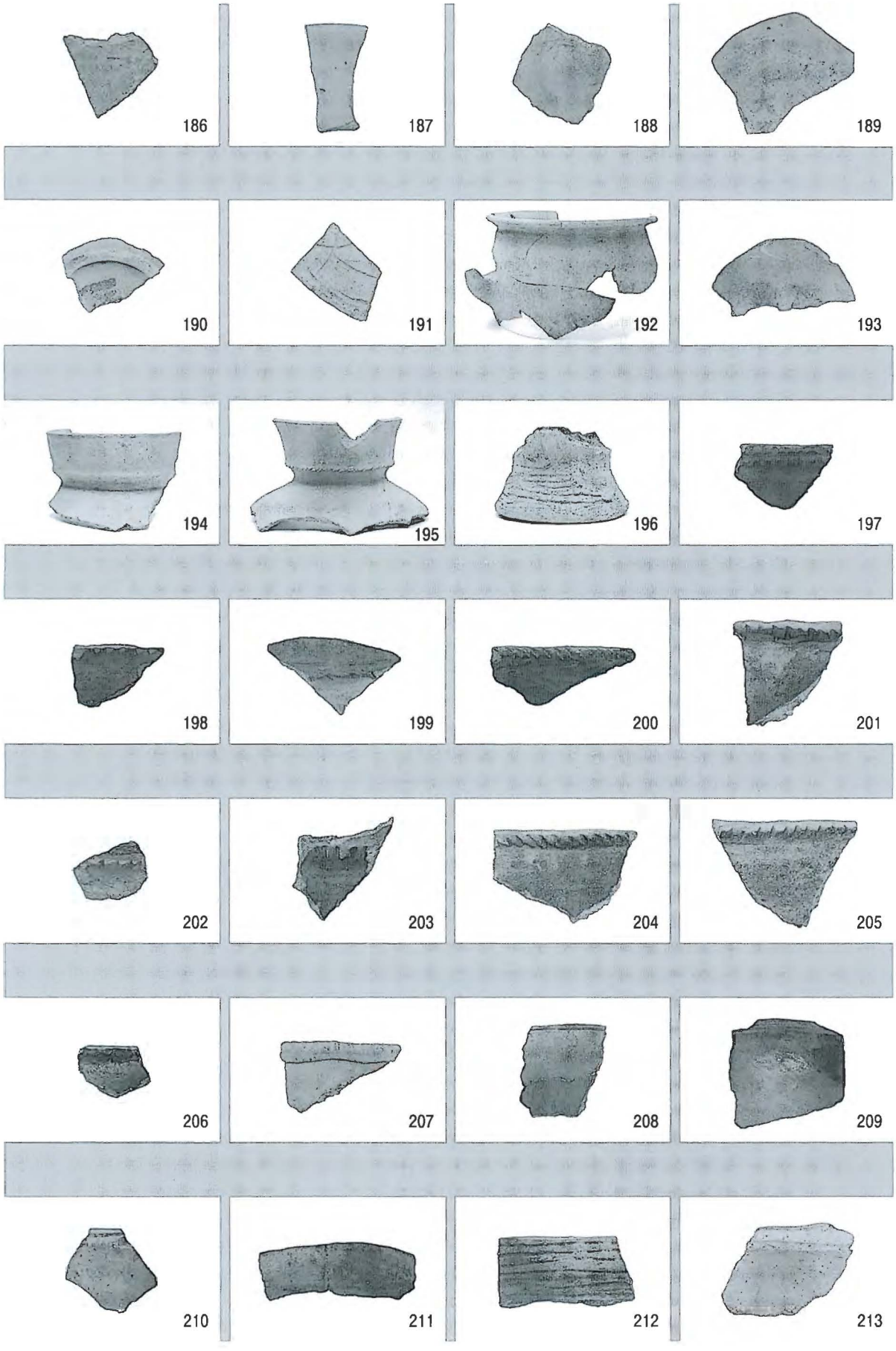
160

図版46　0104調査地点出土遺物７

204（253）号ピット

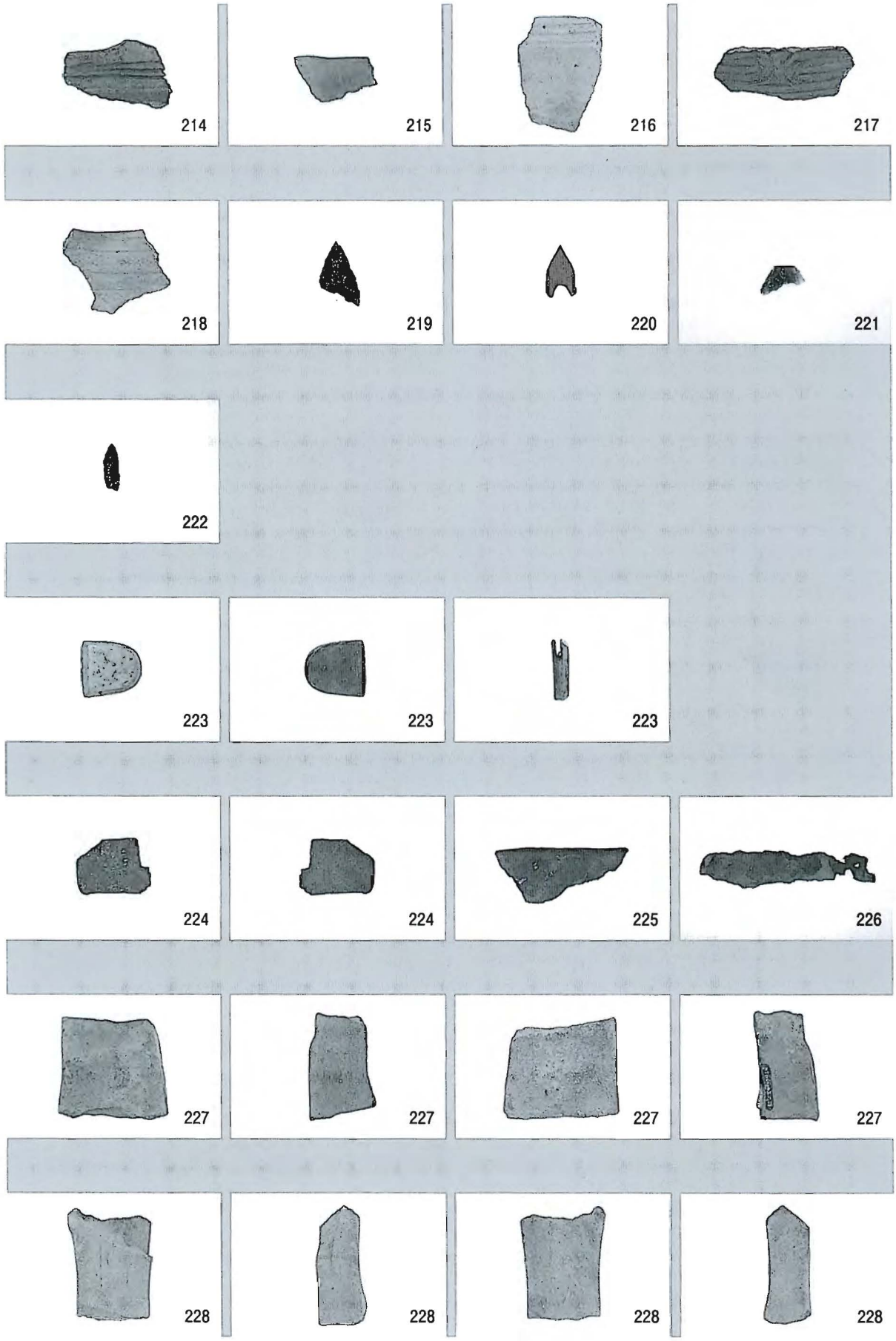


その他の遺構・包含層

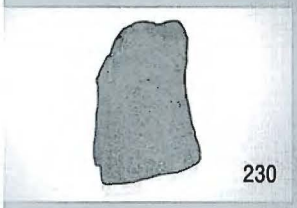

186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213

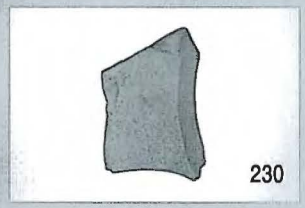
図版48　0104調査地点出土遺物 9

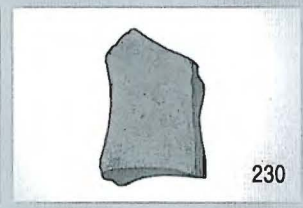
その他の遺構・包含層



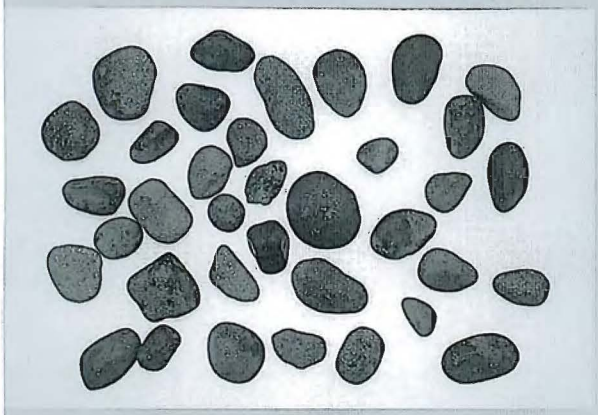
その他の遺構・包含層







1号堀立柱建物144号ピット出土地鎮遺構出土礫



各種遺構・包含層出土黒曜石製石器・剥片

図版50　0119調査地点

写真191　調査区全景（西より）

写真192　1号溝遺物出土状況（東より）

写真193　1号溝遺物出土状況（南西より）

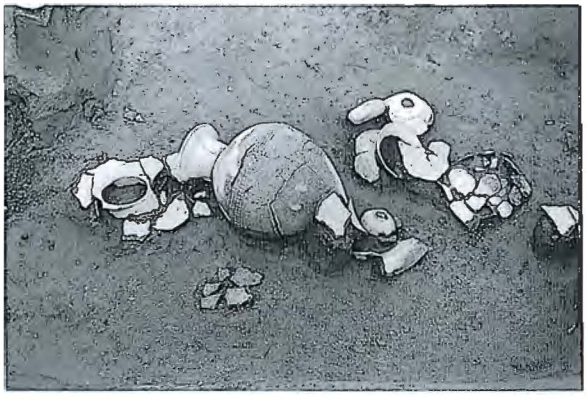


写真194　1号溝遺物出土状況（西より）

写真195　1号溝完掘状況（北より）

写真196　19号竪穴住居址遺物出土状況（西より）

写真197　19号竪穴住居址遺物出土状況（近景）

写真198　19号竪穴住居址遺物出土状況（北西より）

写真199　19号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

写真200　19号竪穴住居址完掘状況（西より）

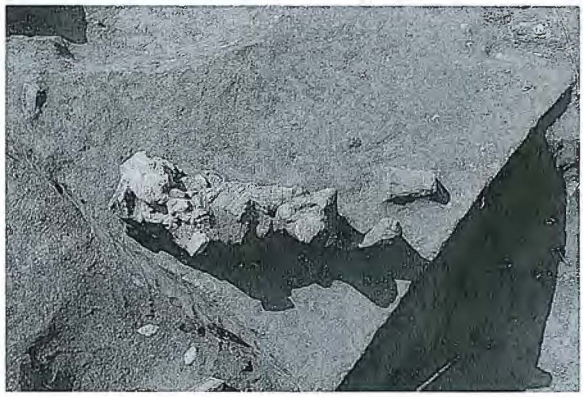


写真201　25号竪穴住居址掘削状況　（西より）

写真202　4 号竪穴住居址床検出状況（南東より）

写真203　2 号竪穴住居址遺物検出状況（西より）

図版52　0119調査地点

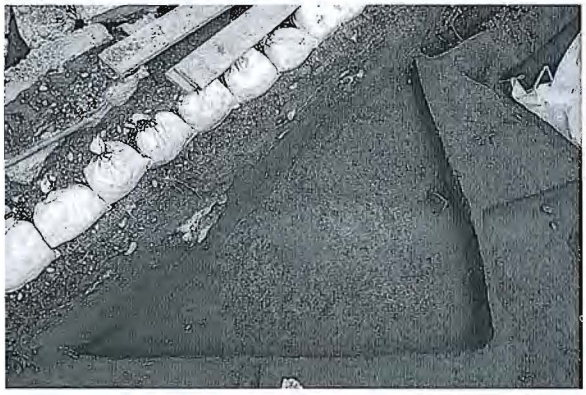


写真204　3号竪穴住居址遺物検出状況（南より）

写真205　18号竪穴住居址遺物出土状況（東より）

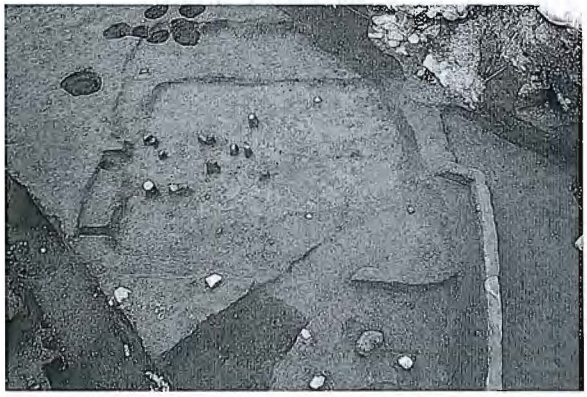


写真206　26号竪穴住居址遺物出土状況（東より）

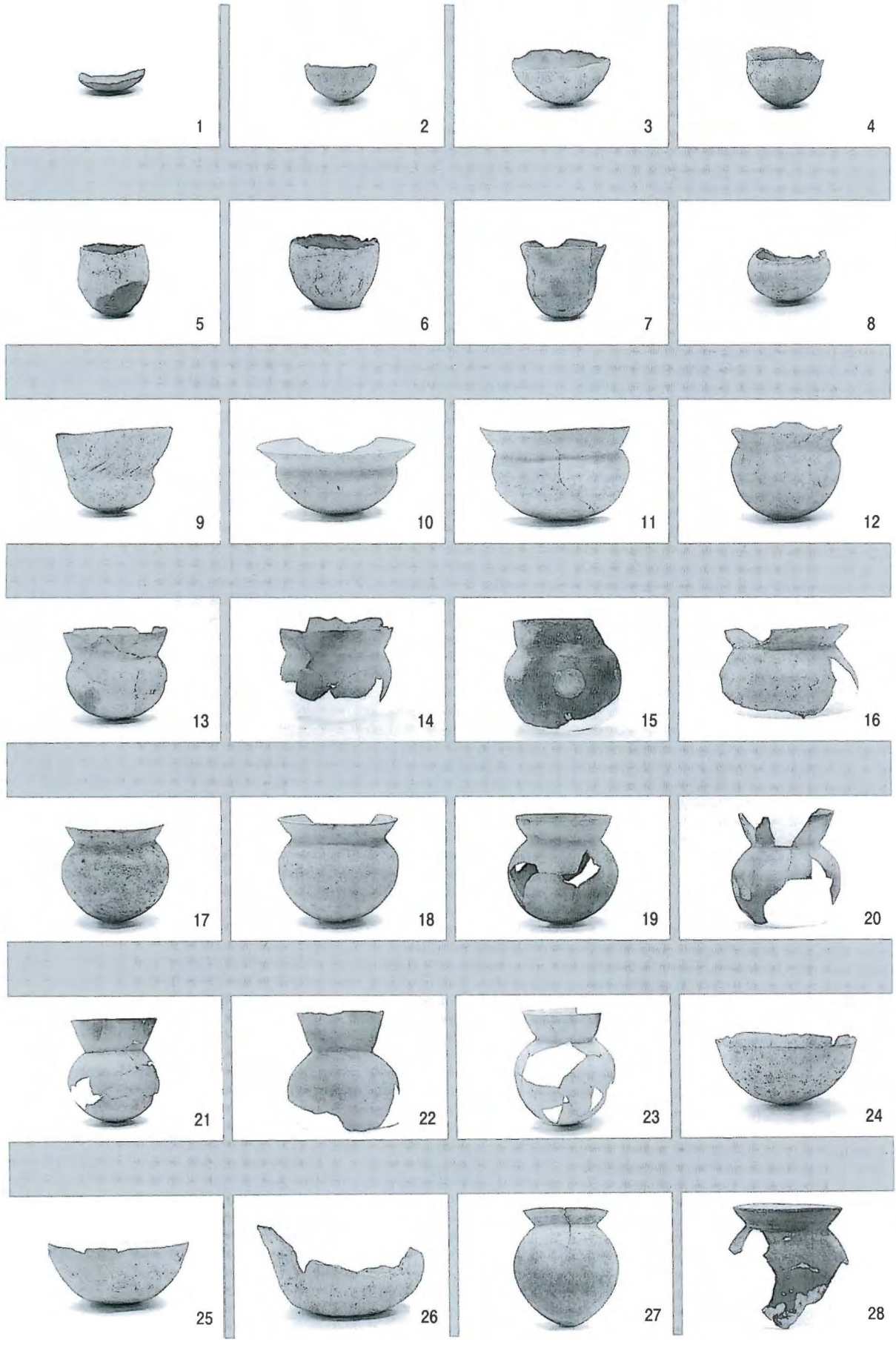
写真207　掘立柱建物址（西より）

写真208　調査区北壁土層断面（東より）

写真209　作業風景

図版53　0119調査地点出土遺物 1

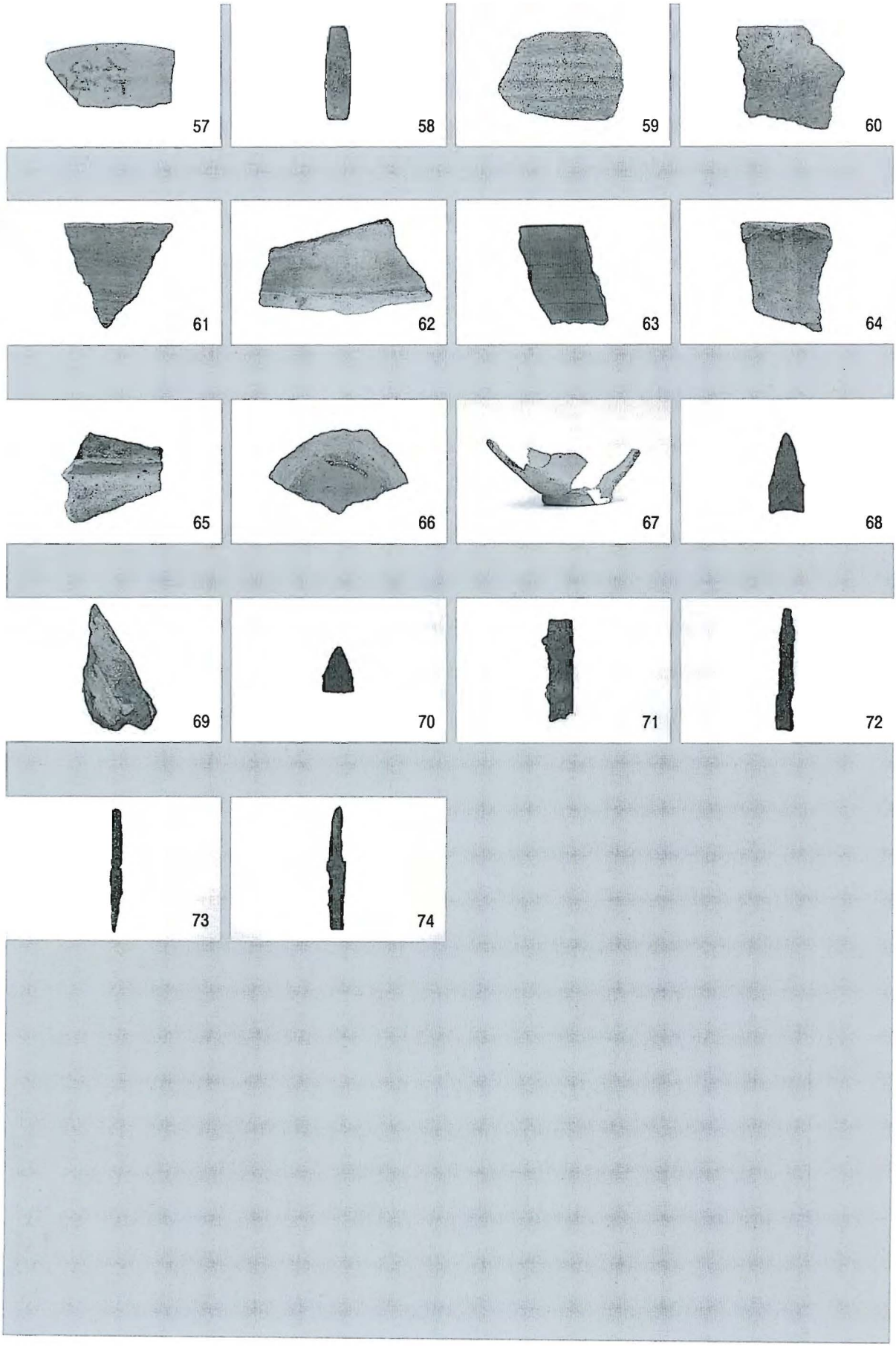
1 号溝



図版54　0119調査地点出土遺物２

１号溝

包含層・その他

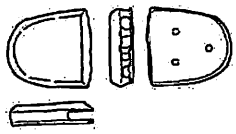


報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくこうないいせきはっくつちょうさほうこくⅥ
書名	熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅵ
副書名	
巻次	
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書
シリーズ号	Ⅵ
編著者名	小畑弘己・大坪志子・村田知聖
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査室
所在地	〒860－8555　熊本県熊本市黒髪２－39－１　　TEL.096－342－3832　FAX.096－342－3832
発行年月日	2010年３月31日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
黒髪町遺跡(9907地点)	熊本県熊本市黒髪	43201	278	32°48'26"	130°43'57"	19990922～19991005	136.5㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡(9909地点)	熊本県熊本市黒髪	43201	278	32°48'30"	130°43'44"	20000214～20000324	1,853㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡(0006地点)	熊本県熊本市本荘	43201	285	32°47'40"	130°42'38"	20001109～20010129	171.8㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡(0101地点)	熊本県熊本市本荘	43201	285	32°47'75"	130°42'47"	20010409～20010703	1,733.75㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡(0102地点)	熊本県熊本市黒髪	43201	278	32°48'36"	130°43'42"	20010709～20010726	418.5㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡(0104地点)	熊本県熊本市本荘	43201	285	32°47'50"	130°42'40"	20010704～20011029	1023.8㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡(0119地点)	熊本県熊本市本荘	43201	285	32°47'55"	130°42'40"	20020225～20020320	205.8㎡	学校敷地内の開発事業に伴う

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
黒髪町遺跡(9907地点)	散布地	縄文	土壙　10	縄文土器	
黒髪町遺跡(9909地点)	生産遺跡 墓地	近世	畝　約200 近世墓　54	近世陶磁器片 釘・煙管・銅銭	
本庄遺跡(0006地点)	集落址	縄文・古墳 古代	竪穴住居址　4 土壙　29	縄文土器 縄文時代石器 古代土師器・須恵器 鉄器・ガラス玉	
本庄遺跡(0101地点)	散布地 集落址 墓地	古墳・古代・近世	住居址・溝・畑	縄文土器・土師器・須恵器	
黒髪町遺跡(0102地点)	散布地	縄文	風倒木痕・防空壕	縄文早期・晩期土器	
本庄遺跡(0104地点)	散布地 集落址	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・掘立柱建物・溝・井戸	縄文晩期土器 弥生土器・古代土師器 土師器・須恵器・青銅器・鉄器 自然遺物	
本庄遺跡(0119地点)	集落址	弥生・古墳・古代	住居址・掘立柱建物・溝	弥生土器 土師器・須恵器・鉄器	

熊本大学埋蔵文化財調査報告書　第６集
熊本大学構内遺跡発掘調査報告書Ⅵ
（1999・2000・2001年度）

平成22年３月25日　印刷
平成22年３月31日　発行
編集・発行　熊本大学埋蔵文化財調査室
〒860－8555　熊本市黒髪２丁目39－１
TEL　096(342)3832　　FAX　096(342)3832
印　　刷　シモダ印刷株式会社